

# 地域別計画

市民の力・地域の力



平成22年度地域づくり総務大臣表彰 受賞

## 地域別計画

市民の力で  
未来を拓く  
希望のまち

小田原市

小田原市



再生紙を使用しています



環境にやさしい大豆油インキを使用しています

## ごあいさつ

このたび、平成23年4月からスタートする新たな総合計画「おだわらTRYプラン」と対をなして本市のまちづくりを進めるための「地域別計画」を策定いたしました。

「地域別計画」には、地域が目指す将来像とそれを実現するための取組内容などが盛り込まれ、市内25の自治会連合会の区域ごとにまとめていただきました。

現在わが国では地域主権改革が進められ、地方自治体が担う責任と役割は今まで以上に重くなってまいります。そして、市民の皆様にとりまして、自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことが求められてまいります。

これは、地域経済の低迷、少子高齢化の進行、地域のつながりの希薄化などにより本市を取り巻く社会経済環境や市民ニーズが複雑・多様化し、これまでの手法では的確に対応することが困難になってきたためです。そして、地域の実情に応じたきめ細かな対応と持続的な地域の発展を可能にするためには、地域住民一人ひとりが自ら考え、主体的に行動することが重要となってまいります。

幸い本市は、豊かな自然、温暖な気候、長い歴史に培われた産業、伝統、文化といった豊富な地域資源に恵まれています。こうした地域資源を掘り起こし、磨き、十分生かしきることで、地域への愛着と誇りが生まれます。

25の自治会連合会の区域には、それぞれ異なる地域特性があり、抱えている課題もさまざまですが、顔の見える関係をつくり、地域住民の皆様の協力と創意工夫による地域運営を進めていくことで、個性豊かで安心して生活できる地域社会をつくり上げることができると考えています。

「地域別計画」の策定作業には、自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、子ども会、PTA、商店会、老人会など地域の諸団体の皆様が顔を合わせ熱心に議論していただきました。全体として約750人の方々にご参画いただき、地域コミュニティの強化が図られ、課題解決力の高い地域へと進化する礎を築くことができたと思います。

なお、「おだわらTRYプラン」の策定プロセスでは、地域住民による「地域別計画」の策定とあわせて、無作為に抽出された市民の皆様が暮らしに身近なテーマを主体的に議論していただく「おだわらTRYフォーラム」などの新たな市民参画手法を取り入れました。こうした取組が高く評価され、平成22年度地域づくり総務大臣表彰を受賞することができました。このことは本市としての誇りであり、今後への大きな励みとなります。地域の皆様には、自信を持って計画推進のための実行段階へと歩を進めていただきたいと思います。

「地域別計画」に描かれた将来像を実現するために、地域住民の皆様と力を合わせ、共に汗をかきながら全力を尽くして取り組んでまいり所存です。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



平成23年3月

小田原市長

加藤 憲一

# 目次

1 計画策定の背景	4
2 計画の趣旨	4
3 計画の区域	4
4 検討組織	5
5 計画策定の流れ	5
6 計画の構成	6
7 地域における課題と今後の取組について	7

## 地域別計画

緑地区	9
新玉地区	23
万年地区	35
幸地区	49
十字地区	63
足柄地区	77
芦子地区	91
二川地区	107
東富水地区	119
富水地区	133
久野地区	147
大窪地区	169
早川地区	181
山王網一色地区	199
下府中地区	209
桜井地区	225
豊川地区	241
上府中地区	255
下曾我地区	267
国府津地区	283
酒匂・小八幡地区	299
片浦地区	313
曾我地区	327
前羽（橘南）地区	347
橘北地区	359

### ■地域別計画書におけるデータについて

#### 1 人口・世帯数（割合）

- 自治会連合会ごとのデータが存在しないことから、大字の境界と自治会連合会の境界が一致しない場合は、大字の大半が含まれる区域に該当大字の人口を全て算入するか、住居表示実施区域は街区数をベースとした比率按分で集計しています。
- 昭和50年～平成17年については国勢調査、平成21年については同年10月1日の推計人口を基に算出しています。
- 人口・世帯数の推移は、昭和50年又は昭和55年を100とした場合の推移です。

#### 2 産業別就業者の割合

- 自治会連合会ごとのデータが存在しないことから、大字の境界と自治会連合会の境界が一致しない場合は、大字の大半が含まれる区域に該当大字の人口を全て算入するか、住居表示実施区域は街区数をベースとした比率按分で集計しています。
- 平成17年の国勢調査を基に算出しています。

#### 3 土地の利用状況

- 平成17年度都市計画基礎調査を参考に作成しています。

## 1. 計画策定の背景

急速な少子高齢化の進行、地域経済の低迷、人口の流出などにより、地域全体の活力低下が懸念されています。また、高度情報化の進展、産業構造・就業構造の変化などによりライフスタイルやニーズが多様化し、生活空間としての地域内のつながりが希薄になってきています。そこで、今まで家族やコミュニティが担ってきた役割について再考するとともに、地域において課題を共有し、多様性のなかの連携や地域運営の仕組みの再編に取り組む必要があります。

一方、地域主権の確立に向けた取組が進められるなか、地方公共団体においては、「自己決定」と「自己責任」の原則のもと、限られた財源と人材を有効に活用しながら、地域住民の協力と創意工夫によって地域運営を進めていくことが求められています。同時に、市民ニーズの多様化・複雑化などにより行政需要が増大するなか、画一的な行政施策では対応することが困難になってきています。

そこで、生活の基盤となる地域において「自分たちの地域は自分たちでつくる」という考えのもと、持続可能な地域社会をつくっていくことが必要となっています。

## 2. 計画の趣旨

市民一人ひとりが身近な地域のまちづくりについて考え、主体的に関わり合いを持つことで、地域固有の課題を解決するうえでの担い手が地域のなかで育成されるとともに、地域住民の創意と工夫による住民主導のまちづくりを目指します。

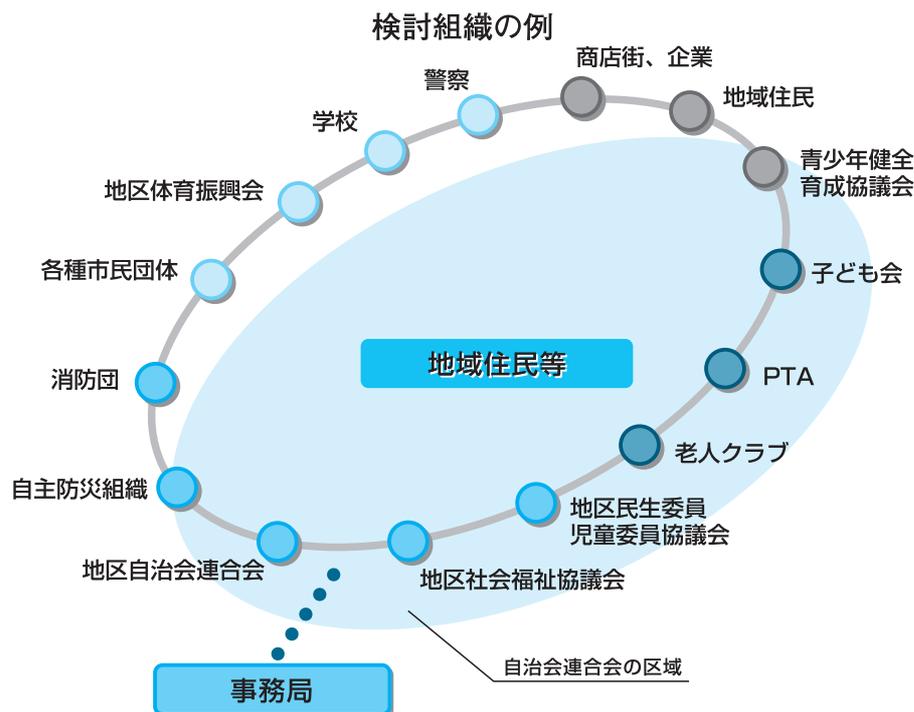
## 3. 計画の区域

自治会連合会の区域を単位として市内25地域において地域別計画を策定しました。



## 4. 検討組織

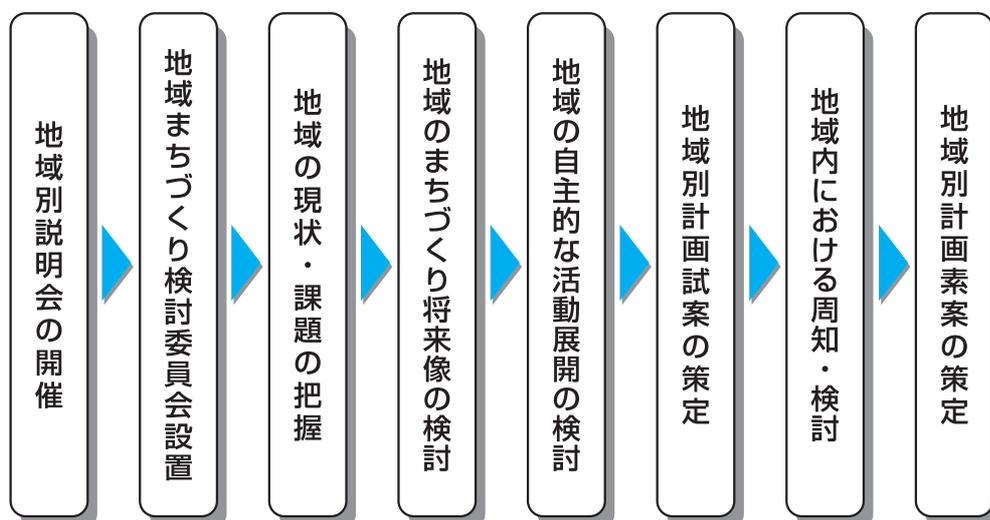
地域のまちづくりについて検討する組織を設置し作業を行いました。なお、検討組織の構成は地域の実情に応じた形となっており、自治会役員を中心に地域に関わりの深い各種団体の役員などにより構成されました。



## 5. 計画策定の流れ

地域別計画の策定の流れは、概ね次のとおりです。

手順、手法等については、地域ごとに検討組織を設置してから、その組織において決定しました。



## 6. 計画の構成

地域別計画は、地域のキャッチフレーズ及びめざす姿（将来像）、地域の今（現況）、はじめの一步（住民自ら取り組むこと）により構成しています。

また、第5次小田原市総合計画は、地域別計画と一対で本市のまちづくりを進めることとしています。

### (1) 地域のキャッチフレーズ・めざす姿（将来像）

地域の資源を活かし、課題を解決することにより実現される将来の姿

### (2) 地域の今（現況）

地理状況、人口と世帯、産業別就業者、土地利用、地域の誇り（特色）、地域の課題

### (3) はじめの一步（住民自ら取り組むこと）

将来像を実現するため住民自らが取り組む活動

### ■地域のキャッチフレーズ

市内25の地域において、それぞれのまちづくりの将来像を「地域のキャッチフレーズ」として掲げました。

地区名	キャッチフレーズ
緑	小田原の“かお” 歴史と文化のまち “緑”
新玉	深めよう!! 安心、安全、地域のふれあい みんなでつくろう誇りのもてるまちづくり
万年	旧き良き伝統のまち 万年
幸	いつまでもこれからも住み続けたい、だれもが安心して暮らせる自然と歴史文化が調和したまち
十字	歴史と文化のいぶきの中で みんなで創ろう豊かなまちを
足柄	住んでみたい 住んでよかった 足柄
芦子	人と伝統と発展が融和するまち 芦子
二川	伝統が息づき、交流と活力のあるまち 二川
東富水	青い空 水と花と みんながあつまるまち 東富水
富水	水と緑 みんながふれあうまち 富水
久野	子育てにやさしい久野
大窪	歴史と文化遺産が薫り、自然と環境に恵まれたまち 大窪
早川	自然(海・山・川)の恵みを大切に!! 笑顔で広げる人の  はやかわ
山王網一色	潮騒の香る地域づくり
下府中	小田原の中核として発展し、みんな仲良く生き生きと暮らせる町、下府中
桜井	尊徳の教えが生きているまち
豊川	友愛のまち 豊川 ～相寄り相扶け～
上府中	上府中 みんなで起こそう 地域の和
下曾我	梅かほる歴史の郷 下曾我
国府津	人と海と山の織りなす小田原の東玄関 国府津
酒匂・小八幡	住んでいることに誇りがもて 住みたくなるまち、酒匂・小八幡
片浦	海と山・四季の香り漂う 片浦
曾我	緑と歴史遺産を誇り、富士を仰ぐ長寿の里 “曾我”
前羽（橘南）	海と山に囲まれ、昔の風情が残る住みよいまち 前羽
橘北	歴史溢れる長寿の里 たちばな北

## 7. 地域における課題と今後の取組について

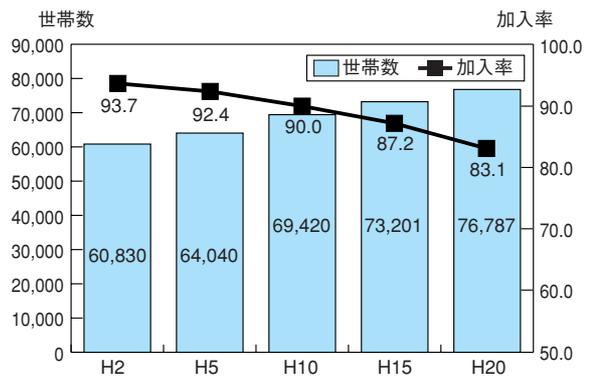
少子高齢化や小世帯化、人と人とのつながりの希薄化により、地域で支えあう力が低下していることから、多くの市民がまちづくりの担い手として参画し、課題を自ら解決していく取組を進める必要があります。

地域別計画においても、自治会、老人会、子ども会の加入率の低下や地域活動の担い手の減少、防災訓練参加者の減少や防災意識の低下、単身高齢者世帯への支援のあり方、地域の防犯対策、ごみ出しのルールを守らない住民への対応など、さまざまな課題が出されています。

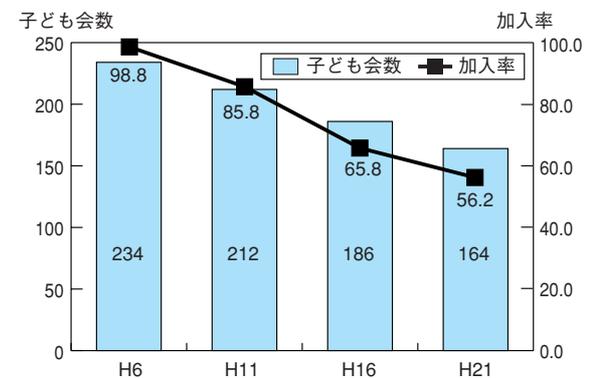
地域では、福祉、防災、防犯、環境美化、青少年育成など、さまざまな分野で活動を行っていますが、それぞれの地域の実情に応じた体制を整備し、より身近な問題にきめ細かく対応していくことが求められています。また、これらの仕組みづくりにおいては、地域活動や市民活動団体などが相互に連携し、新たな担い手を育成していくことが重要です。

今後、地域においては、地域別計画に掲げた目標の実現に向けて住民自らが取り組みを行っていきます。また、市においては、地域が主体的に作成した地域別計画を促進するとともに、個性豊かな魅力ある地域づくりへの取組を支援していきます。

■自治会の加入率の推移



■子ども会の加入率の推移



まちづくりの  
推進

### 総合計画

基本構想 ……将来都市像

基本計画 ……施策の方向

実施計画 ……具体的事業

### 地域別計画

緑地区、新玉地区、万年地区、幸地区、十字地区、足柄地区、芦子地区、二川地区、東富水地区、富水地区、久野地区、大窪地区、早川地区、山王網一色地区、下府中地区、桜井地区、豊川地区、上府中地区、下曾我地区、国府津地区、酒匂・小八幡地区、片浦地区、曾我地区、前羽(橘南)地区、橘北地区

# 地域別計画 ～ 緑地区 ～



緑地区まちづくり検討委員会

## 小田原の“かお” 歴史と文化のまち “緑”

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

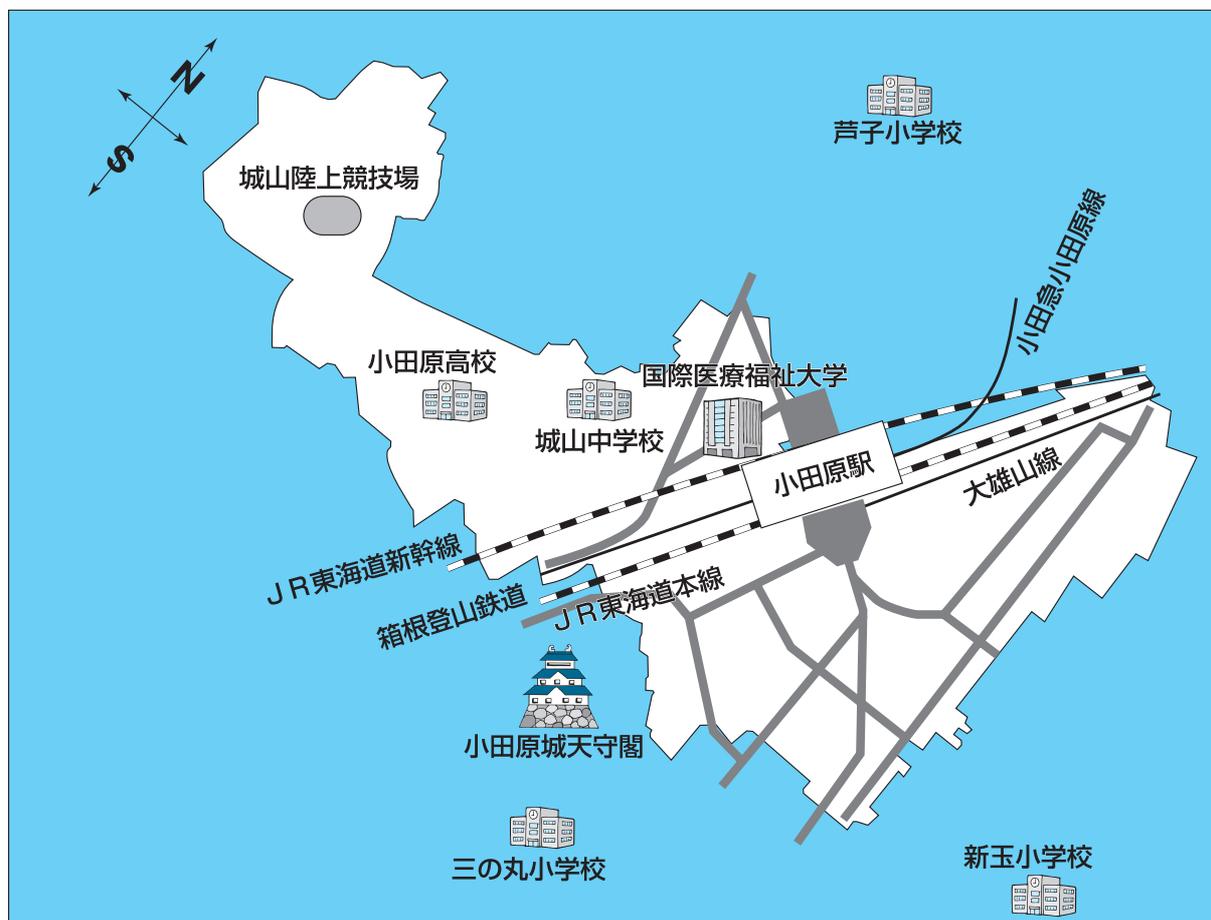
### 1 地域の地理状況

緑は、小田原駅を中心に東西に広がり、小田原城にも隣接した地域です。

小田原駅は、旅客鉄道5社がのり入れ、東西にバスターミナルを有する交通の拠点となっています。

小田原駅周辺には、商店街、金融機関、大学、高校などが集中しています。

また、周辺地域には商店街と住宅が混在しています。



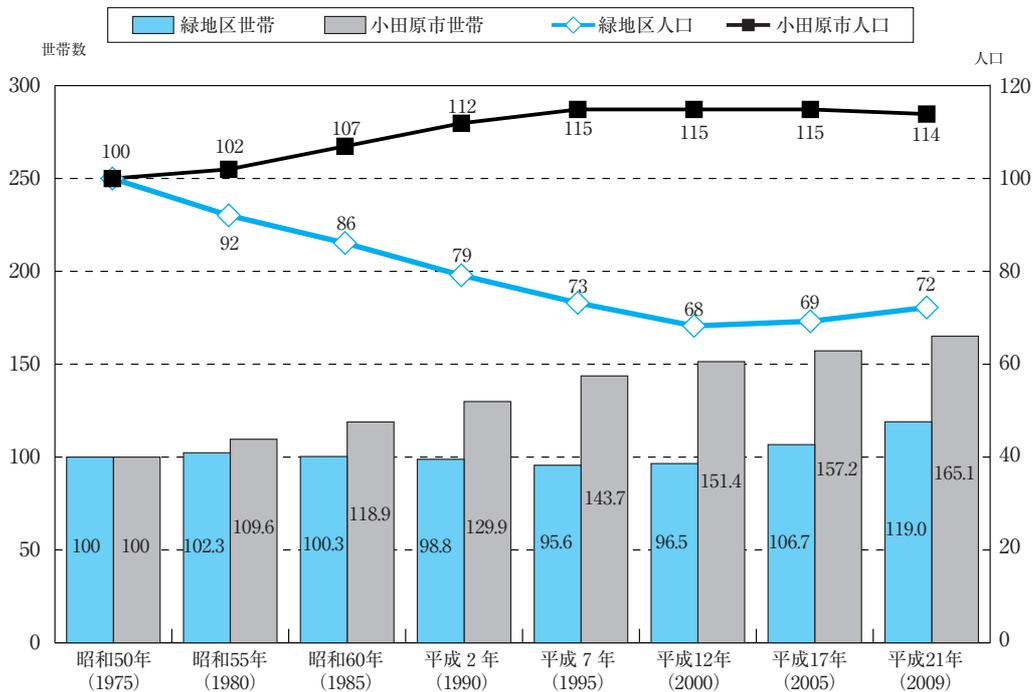
## 2 地域の人口・世帯

昭和50（1975）年と比較すると、人口は、平成12（2000）年まで減少し、その後、なだらかに増加しています。また、世帯数は、約1.2倍となっています。

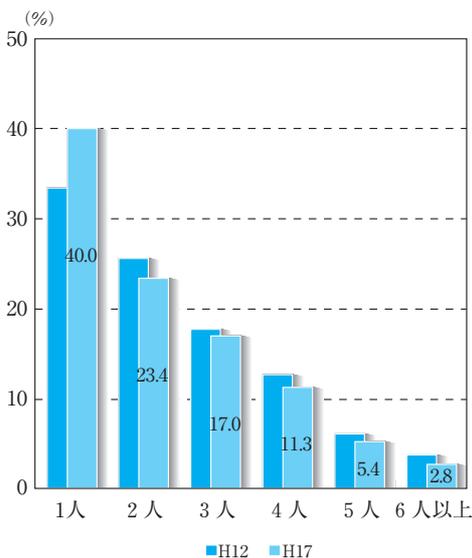
また、世帯人員の割合をみますと、単身世帯の割合が多く、増加傾向にあります。

年齢3区分の人口割合を小田原市全体と比較すると、15歳未満の人口が少なく、65歳以上が多くなっており少子高齢化が進んでいます。

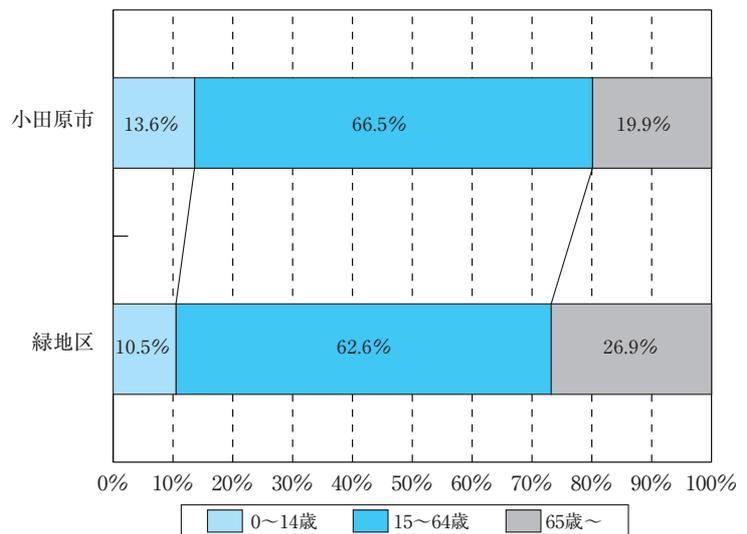
小田原市全域と緑地区の人口・世帯数の推移（昭和50年=100）



世帯人員（一般世帯）の割合

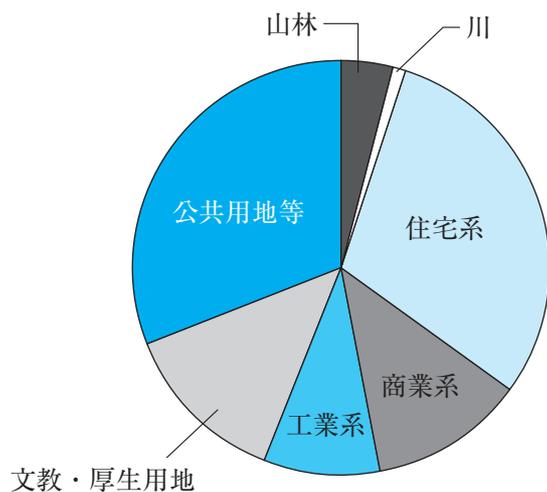


年齢3区分人口割合の比較（平成17年）



### 3 土地の利用状況

住宅系が全体の3割、商業と工業系が2割を占め、山林は4%となっています。また、学校、病院などの文教・厚生用地の割合が13%となっております。道路や鉄道用地などの公共用地等は31%を占めています。



区 分	割合
住宅系	30%
商業系	12%
工業系	9%
文教・厚生用地	13%
公共用地等	31%
山林	4%
川	1%

## 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

## ■歴史や文化、新しき感性とが調和した地域

古くは戦国時代そして江戸時代から近世にかけての町民文化……。また、近代の交通拠点（駅周辺）として繁えた現代文化……。おだわらの“生いたち”“なりわい”が集約された魅力あふれる地域です。



小田原  
ふるぎとの  
原風景  
百選

小田原駅

## ■多種多様の価値観や住環境が整った地域

代々続く住民、郊外や他都市から越して来られた住民、商業者、企業家、そして観光や交流で訪れる人々……。多種多様の想いや活動を求めて人々が集える活発で元気な地域です。また、地域周辺には、良き小田原の落ち着いた雰囲気のある住宅地もあり、日頃から街に愛着のある方々が多く生活しています。



小田原  
ふるぎとの  
原風景  
百選

昔ながらの小田原駅周辺の商店街

## ■歩きやすく、数多くの出会い発見のある地域

ちょっと歩けば何かを発見！交通手段はもとより歩道等が整備され歩きやすく回遊しやすい街なみです。また、パブリック性のある施設や立ち寄りスポットなどが点在し、皆様が集い、情報交換でき、生活ニーズに対応しやすい機能が充実しています。



歩きやすい街なみ

## ■学べる街と活発な地域活動

近郊に幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、専門学校と数多くの教育の場、そして、社会人としての生涯学習の場なども充実しています。また、自治会や商店会など数多く点在し、各々の地域活動、活性化活動、街づくり活動が日々行われる地域です。



にぎわいのある街

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

世帯数の減少や少子化、核家族化に加え、ライフスタイルの変化や価値観の多様化により、地域に無関心な人が増えています。その結果、自治会や各種団体の役員の担い手不足が問題となっています。

また、社会との接点が少ないひとり暮らしの高齢者が増えており、日頃からのコミュニケーションが必要になってきています。

さらに、不審者に襲われるなどの犯罪被害が発生しており、地域の安全が脅かされています。

このような中、各団体では、様々な活動が実施されていますが地域内での情報共有が十分になされていないのが現状です。

一方、災害に対する備えが十分とはいえません。その上、高齢者が増加しており、通勤、通学、買物客などの流入人口が多いことから災害時に対応できるかが課題となっています。

また、ごみ出しのルールを守らない人などがいるため、良好な生活環境の保持が求められています。

## はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～できることから始めよう～

### 1 健康・福祉

【めざす姿】

#### なかよしこよし 人に優しいまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>少子高齢化や人口減少が進むとともに、地域に無関心な人が増えてきており、どうやって支えあうかが課題となっています。</p> <p>また、各団体では、様々な活動が実施されていますが地域内での情報共有がなされていません。</p> <p>敬老会行事は高齢者の交流の場となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会福祉協議会やともしび会などによる一人暮らし高齢者への配食サービスや在宅福祉サービスなど、高齢者を支える活動を引き続き実施していきます。</li><li>・老人会が子ども会のラジオ体操に協力したり、子ども会が敬老会でお礼するなどの世代間交流を図っていきます。</li><li>・地域活動の担い手不足が顕著となることが想定されるため、各団体の情報を共有し団体間の連携を図りながら、効率的で持続可能な地域活動の展開を検討していきます。</li></ul>

## 2 防災・防犯・交通安全

【めざす姿】

### お互いに声を掛け合えるまちづくり

### 安全安心なまちをつくりましょう

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>防災訓練の参加者が固定されており、災害に対する備えが十分とはいえません。</p> <p>また、高齢化が進んでいるほか、通勤、通学、買物客などの流入人口が多いため、災害時に対応できるか不安です。</p> <p>さらに、自治会区域と小学校学区が異なるため、避難場所が2つに分かれてしまいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地区防災訓練や新玉地区広域防災訓練などを通じて、防災に対する意識を高め、災害時に対応できる体制をつくっていきます。</li> <li>・災害時要援護者を地域で支えていくため、日頃から住民同士の交流を深めていきます。</li> <li>・より多くの住民へ防災訓練の参加を呼びかけるとともに、通勤、通学、買物客などを含めた防災訓練の実施を検討していきます。</li> <li>・青少年がボランティアとして、救援活動などに参加するような意識づくりをしていきます。</li> </ul>
<p>地域の安全を守るため、防犯パトロールや夜警がしっかりと行われています。</p> <p>5区自治会では、21時まで子ども会が、24時までは自治会が夜間パトロールを実施しています。</p> <p>子どもたちを犯罪の被害から守るため、高校の部活のランニングコースを子どもの通学路に設定しています。</p> <p>中学校の生徒が不審者に髪を切られたり、スタンガンで襲われる犯罪被害にあうなど地域の安全が脅かされています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街で防犯カメラを設置したり、自動販売機を設置することで明るい環境を確保しています。</li> <li>・こうした取り組みにより犯罪が起こりにくい環境づくりに努めていきます。</li> <li>・老人会や子ども会（特に朝）などのパトロールを強化していくとともに、各組織で行われているパトロールなどの情報交換会を警察と共に定期的に行います。</li> <li>・自治会、青少年健全育成会、消防第1分団などによる防犯パトロールやPTA役員の登校時見守り活動、交通指導員による交差点監視、地域の高齢者による児童の登下校時における清掃活動を継続し、地域の安全を守っていきます。</li> <li>・町内歳末夜警は色々な団体が参加し、20年以上も続いています。</li> <li>・駅前という特殊な地域性を考慮した交通安全教室を充実していくことを検討します。</li> </ul>

### 3 環境

【めざす姿】

## グリーンが多い クリーンなまちづくり ごみのないきれいなまちをつくりましょう

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>近くには海や山があり、空気がきれいで、春になるとお城周辺の桜に誘われ多くの人で賑わう地域です。</p> <p>また、行事の開催が多く、多数の買物客、観光客の方々が訪れる地域です。</p> <p>指定喫煙所があり、歩きタバコが禁止されています。</p> <p>しかし、他地区からのごみの持ち込み、ごみ出しのルール違反、落書き、タバコのポイ捨て、ペットの糞の放置などが見受けられ、良好な生活環境の保持が求められています。</p> <p>地域では、街路樹植栽帯等の検討を推進しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校行事でのごみ拾い、地域住民による美化清掃やごみ集積場の管理、環境美化推進による落書き消しなどを継続実施し、一人ひとりが意識を持ってまちをきれいにすることで、良好な生活環境を保持していきます。</li><li>・観光都市、また市街地としての自覚を持ち環境に対して積極的にPRしています。</li><li>・必要と思われる場所に灰皿、ごみ箱等の設置を社会的配慮をもとに、さらに検討していきます。</li><li>・商店街で設置している防犯カメラが、落書きやごみの持込などの抑止力となっています。不法投棄が多い場所には注意看板を立て、ごみを捨てにくい環境を作っていきます。</li><li>・飲食店などが多いことから、生ごみはごみバケツに入れて捨てるなど、地域の特性にあったごみ出しに関するルールづくりを検討していきます。</li><li>・ペットの糞の始末をしない人や野良猫などにえさを与えている人に対し、環境パトロールなどの中で注意していきます。</li><li>・緑化に対する意識を高めていきます。</li></ul>

## 4 コミュニティ

【めざす姿】

### 自治会が笑顔を守るまちづくり ふれあいの輪をもっと広げていきましょう

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>神社の祭典や健民祭、子ども会行事が盛んで、団結力のある地域です。</p> <p>しかし、世帯数の減少や少子化、核家族化に加え、ライフスタイルの変化や価値観の多様化により、地域に無関心な人が増えています。</p> <p>その結果、自治会や各種団体の役員の担い手不足が問題となっており、こうした活動をさらに盛り上げていくことが難しくなっています。</p> <p>また、一般住民と商業者が混在している地域特性があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大稲荷神社、松原神社の祭典をはじめ、夏祭り、風の盆踊り、氷彫刻技術コンクール、ハロウィン、クリスマス、どんど焼き、節分、朝市、公民館活動などを自治会や商店会等地域が主体となって行うことでふれあいの輪を広げていきます。</li> <li>・バス旅行やクリスマスリースを地域の人と一緒に作るなど活動内容を見直したり、声かけをして加入を促したり、子ども会の合併も検討し、子ども会の魅力を高めていきます。</li> <li>・敬老会で子どもが小田原囃子を演奏するなど、子どもとの交流を中心に世代間交流を実施し、人と人のつながりを作っていきます。</li> <li>・小学校卒業と同時に地域とのつながりが薄れてしまうため、5区で行っている中学生も含めた子ども会を他地区においても実施することを検討していきます。</li> <li>・自治会運営の担い手を増やすため、マンション建設時に自治会（特に防災時）の必要性を説明し、加入を勧めていきます。</li> <li>・自治会行事を盛り上げるため、地区ごとの年間カレンダーを作り情報を共有していきます。また、学校に対し地域行事への配慮や協力を求めています。</li> <li>・地域の横のつながりをつくり、楽しい行事に参加するよう声かけをしていきます。</li> <li>・人が嫌がる仕事を進んでやるような人づくりをしていき、まちの活性化を図ります。</li> </ul>

## 5 子育て・教育

【めざす姿】

### 三世代が学び合えるまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、専門学校と全て揃っており、また、学校間や地域との連携がとれている文教地区です。</p> <p>学校教育にスクールボランティア、図書ボランティアなどの形で協力していますが、地域の人がどのような知識や技能をもっているのか十分に把握できていません。</p> <p>また、小田原の文化・歴史などについて、詳しい方が多く存在しています。</p>	<p>・盛んなPTA活動をより一層充実するため、バザーをしながら借り物競争や宝物探しをあわせて行うなど、ひと工夫入れた活動が展開できないか検討していきます。</p> <p>・育成会と協力し、地域密着型の活動を進めていきます。</p> <p>・「歴史・伝統文化」～漆塗り、紙飛行機や竹とんぼなどの昔遊び～などを教えられる地域の人々の知識や技術をリストにし、スクールボランティアや地域行事などにおいて講師として活躍していただくことで、子どもから高齢者までが互いに学びあい、生きがいを見つけることができるまちにしていきます。</p> <p>・自治会や子ども会などで地域の歴史的資産を学ぶ機会を設け、地域のことを知ることで、愛着や誇りを育てていきます。</p>

【めざす姿】

### 地域が子どもを育てていきます

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域、家庭、学校の連携が非常に良くとれています。</p> <p>また、自治会、商店会、子ども会が一つにまとまっており、住民間の声かけができていく地域です。</p>	<p>・自治会や子ども会によるバザーやキャンプなどを通じて、子どもと地域との交流を推進していきます。</p> <p>・子ども会を魅力あるものにするため、行事を見直したり、複数の子ども会が合同で活動を行ったり、自治会と連携を図るなど地域で子どもたちを育てていきます。</p> <p>・地域住民が共に子どもを見守る活動をしていくことで、子ども会の必要性について再構築していきます。</p>

## 6 特色あるまちづくり

【めざす姿】

### 歴史を守るまちづくり

誇れるもの	できることから始めよう
<p>富士箱根伊豆交流圏の玄関口、神奈川県西部地域の中核的な交流拠点である小田原駅が存在しています。</p> <p>小田原城をはじめとした観光資源が豊富で老舗が多く点在し、商店街が活発な地域です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小田原北條五代祭り、夏祭りなど、観光資源を活かした行事を地域で盛り上げていきます。</li> <li>・地域の人に知られていない地域資産をマップにし、子どもたちによる「まちなか探検隊」を実施したり、「ウォークラリー」を実施したり、ツーデーマーチのチェックポイントに活用してもらうよう関係機関に要請するなど、地域の資産をより多くの人に発信していきます。</li> <li>・まだ知られていない宝（歴史や文化遺産）を把握し後世に伝承するため、専門家などのアドバイスをいただきながら歴史認識を高めていきます。</li> <li>・小田原駅前に商店街マップを設置するなど、商店街を更に盛上げていけるよう検討していきます。</li> <li>・空き店舗の利用や空地に緑化を進めることにより、気軽に座ったり話をしたりする場所の設置を検討していきます。</li> <li>・まち中の必要と思われる場所や空地にベンチ等を設置していきます。</li> </ul>

【めざす姿】

### 自治会と商店が交流を持ちましょう

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>商店街で行われている「秋の収穫祭おだわらハロウィンIN竹の花」は、多くの親子に楽しまれており、他地域の人も多く訪れています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハロウィンや夏祭りを継続的に実施し、自治会と商店会などが一体となり、協力し合ってまちづくりをしていきます。</li> </ul>
<p>社会との接点が少ないひとり暮らしの高齢者が増えており、地域の課題となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の持っている特技を地域にどのように活かしていきたいか確認し、自治会と商店会などが連携して活躍の場を作り、高齢者の話す機会や交流を促していきます。</li> </ul>

## 緑地区まちづくり検討委員会の検討経過

平成21年 9月 7日	地域別計画説明会及び第1回まちづくり検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域別計画の説明</li> <li>・委員長、副委員長、委員の選出について</li> <li>・事務局の選出について</li> <li>・今後の進め方とスケジュールについて</li> </ul>
10月	地域の誇り（特色）及び課題等についての意見募集（配布）
10月 9日	第2回まちづくり検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の誇り（特色）について</li> <li>・地域の課題について</li> </ul>
11月 9日	第3回まちづくり検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の誇り（特色）について</li> <li>・地域の課題について</li> </ul>
12月11日	第4回まちづくり検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けた取り組みの検討</li> <li>・特色を活かした取り組みの検討</li> <li>・地域の将来像について検討</li> </ul>
平成22年 1月12日	第5回まちづくり検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けた取り組みの検討</li> <li>・特色を活かした取り組みの検討</li> <li>・地域の将来像について検討</li> </ul>
2月12日	第6回まちづくり検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域別計画のとりまとめ</li> </ul>
2月24日	編集会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域別計画のとりまとめ</li> </ul>
3月10日	第7回まちづくり検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域別計画素案の承認</li> </ul>

### 検討委員会の様子



平成22年3月作成

## 緑地区まちづくり検討委員会

## 委員長

瀬戸 衛 (緑地区自治会連合会会長・竹花自治会会長)

## 副委員長

角田 克宏 (銀座商店会会長)

## 委員

飯田 晁巨 (第1区自治会会長)  
 栗田 新市 (駅前第2区自治会会長)  
 古屋 正義 (第3区自治会会長・体育振興会会長)  
 小山 公一 (浦町自治会会長)  
 草山 匡文 (第4区自治会会長)  
 坂本 坦 (第5区自治会会長)  
 佐久間興一 (銀座自治会会長・社会福祉協議会会長)  
 池田 法枝 (みどり地区主任児童委員)【事務局兼務】  
 稲沢さおり (第5区若葉会副会長)  
 金子 由子 (浦町子ども会会長)  
 川崎 清史 (第5区青壮年会会長)【事務局兼務】  
 河鍋 勇 (第4区防災リーダー)  
 岸 廣久 (体育振興会会計)  
 鈴木 裕子 (第1区子ども会会長)  
 高梨 保夫 (銀座自治会)  
 高橋 正 (おだわら竹の花商店会会長)  
 長崎 光宣 (第5区防災リーダー)  
 西島摩瑠瑠 (緑地区青少年育成協議会会長)  
 早間 夏美 (ボランティア)  
 古川 孝昭 (錦通り商店街協同組合理事長)  
 蓑宮 美子 (竹花子ども会会長)  
 矢口 正世 (健康普及員)  
 山口 正隆 (緑地区民生委員児童委員協議会会長)

# 地域別計画

## ～ 新玉地区 ～



新玉地区まちづくり検討委員会

## 地域のキャッチフレーズ

# 深めよう!! 安心、安全、地域のふれあい みんなでつくろう誇りのもてるまちづくり

## 地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

### 1 地域の地理状況

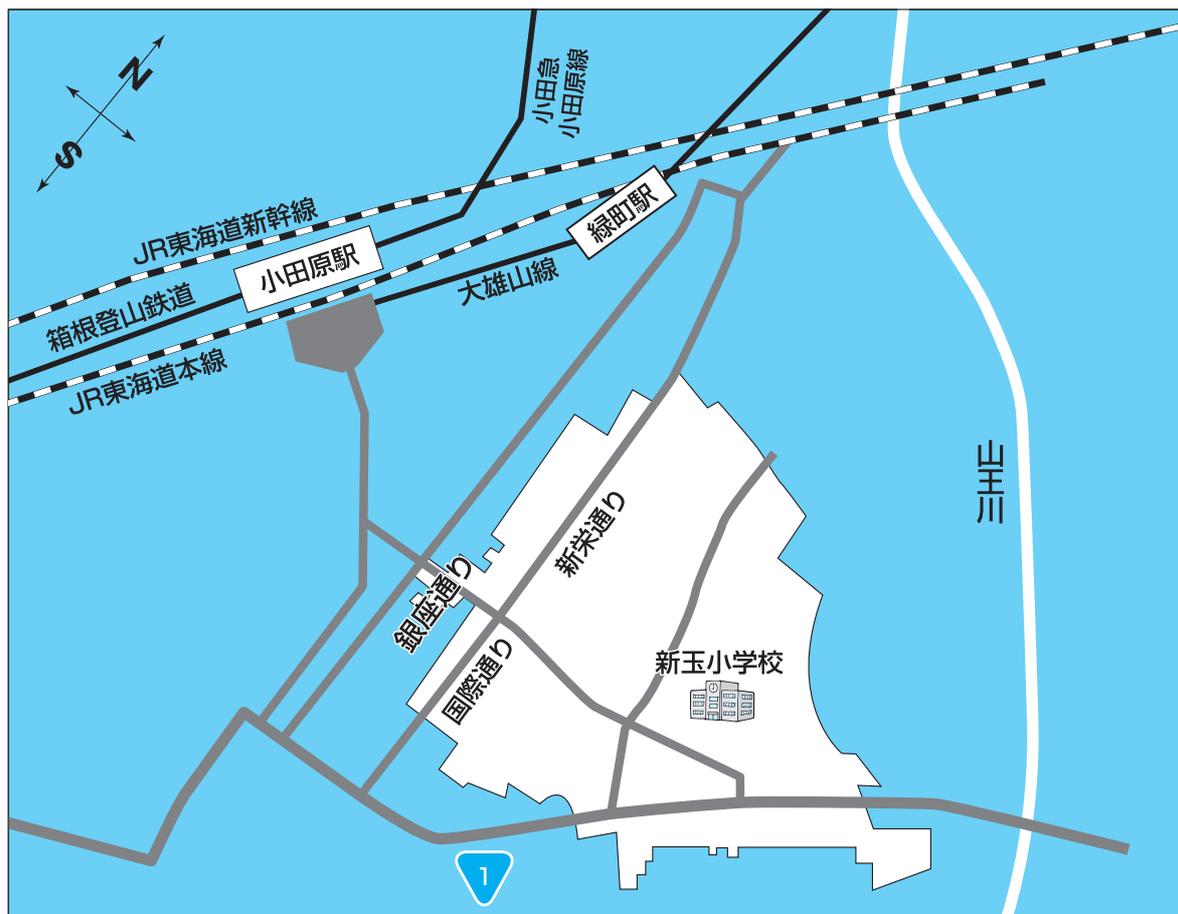
新玉は、小田原城や小田原駅周辺の繁華街から北東1～2 kmに位置します。

周辺にはありませんが、東に山王川が流れ、南は海に面しており、徒歩でも自然を楽しめる環境です。

交通のアクセスは、西には小田原駅や大雄山線緑町駅が徒歩で10分程度の位置にあり、南には国道1号、西湘バイパスが走っており、車による都心への移動にも便利な地域といえます。

商業的には、新玉西部を南北につながる新栄通りから国際通り沿いの商店街があり、その通りから東は広大な住宅街が広がります。

住宅街の中央には新玉小学校があり、この地域の小学生は安心して通学できます。城下町ということもあり寺社が多く、閑静な住宅街です。



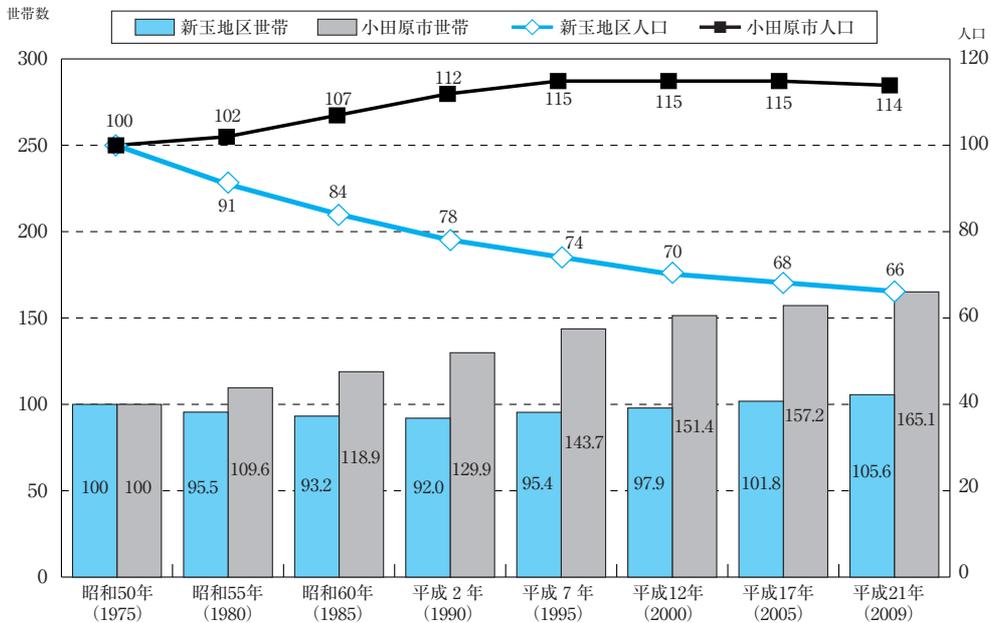
## 2 地域の人口・世帯

新玉は、市の中心部に位置しているものの、地域が抱える人口は減少し、商店街としての活力が衰えてきているといえます。空き家、空き地が増え、地域の過疎化が心配されます。

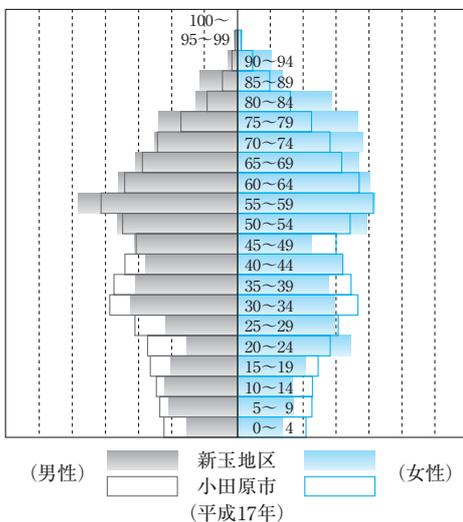
小田原市全体のデータと比較してみても、市全体の世帯数が大きく増加しているのに対し、地域の世帯数はほぼ横ばいであり、人口については市の人口がわずかながら増加しているにもかかわらず、地域の人口はあきらかな落ち込みが見られます。

また、世代のバランスをみると、人口ピラミッドでは、小田原市の釣鐘型と比べると、54歳以下の層から若い層にいくほど痩せた形になっています。また生産年齢層（15～64歳）の割合をみても小田原市よりも4%ほど少なく約62%となっており、65歳以上の人の割合は反対に7%ほど多くなっています。人口の減少とともに少子高齢化が進んでいると思われます。

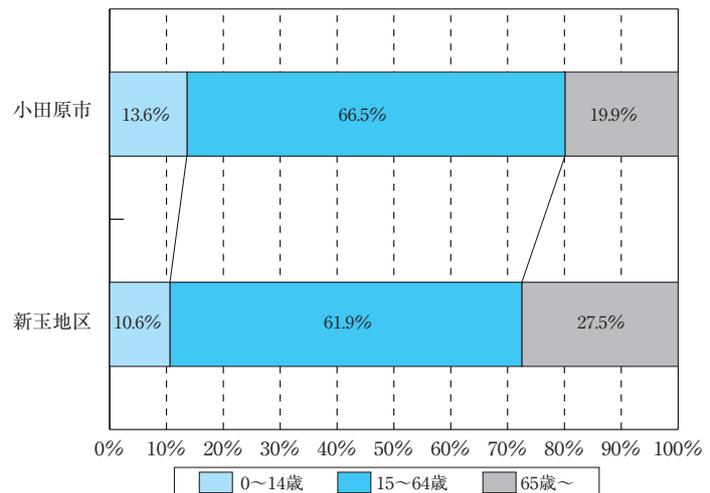
小田原市全域と新玉地区の人口・世帯数の推移（昭和50年=100）



人口ピラミッド



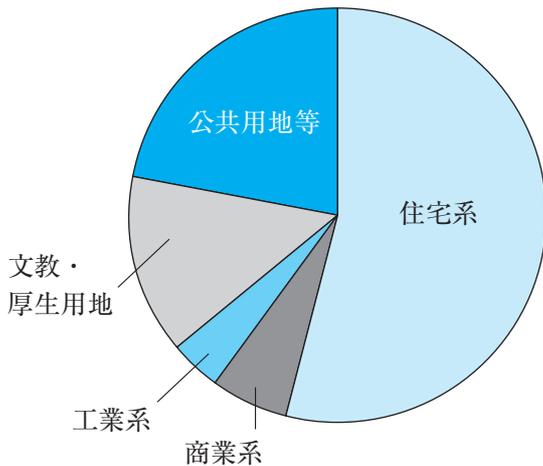
年齢3区分人口割合の比較（平成17年）



### 3 土地の利用状況

小田原市は、山林、川、海岸が市の約半分、産業としては農耕地が20%と高水準を占めています。その自然豊かな市のイメージの中にあって、本地区は住宅系が半数を超え、商工業に利用されている割合が10%（小田原市5%）と高い割合を占めています。

【新玉の土地利用の状況】



区分	割合
住宅系	54%
商業系	6%
工業系	4%
文教・厚生用地	14%
公共用地等	22%

### 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～



蓮上院土塁跡

歴史上、有名な豊臣秀吉の小田原攻め。それに備えた北条氏が築いた壮大な土塁や堀は総延長約9キロメートルにおよんでいます。

その土塁や堀に囲まれた地域を江戸時代には小田原府内とよび、その中に今日の新玉があります。当時の名残は、私たちの身近に今も残されています。

子どもたちの通う新玉小学校の裏には実際に土塁が確認でき、また一歩街を歩けば、多くの歴史ある寺社

をいくつも見ることができます。そして、旧町名が今も生活の中に残っており、通りの隅には当時の様子が刻まれた石碑が立っています。

新玉は地域の活動も盛んでイベントやお祭りでは地域が一つになります。

つぎに地域のみなさんの声をもっとも多かったイベントを3つあげます。

#### ■スポーツフェスティバル

毎年5月に地域と新玉小学校が協力して行われる市内でも珍しい運動会です。そしてもっとも皆さんの声で評価が高かったのがこのイベントです。

小学校以下の小さなお子さんからおじいちゃんおばあちゃんまで参加します。



スポーツフェスティバル



松原神社祭礼

### ■松原神社祭礼

松原神社祭礼は5月に行われます。新玉では神輿と山車が出されます。

各神輿は、旧町名の提灯で飾られ、祭りの中日には新玉の神輿7基のタイムレースが盛大に行われます。

### ■箱根駅伝

毎年1月2日、3日に箱根駅伝の選手が国道1号を走りぬけます。

沿道には多くの方がでて応援します。

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

少子高齢化・人口の減少は、地域活動に影を落としています。

私たちは、次の4つに項目をわけ、課題をあげました。

### 1 健康・福祉

地域活動の組織では、積極的に役員をひき受けてくれる人が少なく、老人会も同様に存続が難しくなっています。高齢者の豊かな生活環境づくりのためには、更なる老人会の活性化が必要です。そのため、高齢者と子どもたちがふれあえるような場所づくりや一緒に体力づくりを進めるようなイベントを企画していくことが望まれます。

### 2 防災・防犯

この地域は地震や津波等の災害が特に心配される場所なので、自治会活動レベルの防災体制づくりは急務だといえます。また、防犯対策としては地域の暗い場所の改善、増加する独居老人世帯の把握が必要です。これらの課題は、各地域の組織が連携、協力して改善していく必要があります。

### 3 生活・環境

アンケート調査では、緑や公園、疲れたときに休憩する場所が少ないなどの声が多く寄せられました。

ただし、古くからの城下町ということもあって、土地等の問題もあり直接的な解決は困難です。できるものは市と連携してすすめ、それにかわる施策を地域で検討していくことは重要です。

また、ごみ出しのルールを守らない住民がおり、まちがきれいに保たれていないところがあります。

### 4 文化・教育

地域の各種スポーツイベントなどの参加者が少ないため、より一層参加を促すような地域の活動が必要です。

また、新玉小学校では校庭芝生化に取り組んでおり、芝生の維持管理を地域で応援していく必要があります。

## 1 健康・福祉

【めざす姿】

### 高齢者や子どもが健康で、ふれあい・コミュニケーションのあるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>本地区においても、少子高齢化や人口減少は進んでおり、高齢者が健康を維持し、いきいきと暮らすことが必要になっています。</p> <p>また、休憩場所やベンチが少ないため、散歩するときに休憩する場所がありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気アップ事業により作成した新玉のウォーキングマップを活用し、健康づくりの取り組みを実施していきます。</li> <li>・また、ウォーキングコースにおける休憩場所の確保について検討し充実していきます。</li> </ul>
<p>子どもから高齢者までがふれあう場や憩える場が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操を復活し、子どもだけでなく高齢者にも参加を仰ぎ、健康づくりとふれあいの機会をつくります。</li> <li>・実施にあたっては、開催場所を各自治会において持ち回りで行うなど、参加しやすい方法を検討していきます。</li> </ul>
<p>地域の行事の中で、健康相談や健康体操などを実施しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康相談や健康体操について、更なるPRを行い周知していきます。</li> <li>・隣近所で声をかけ、誘い合うことで参加を促していきます。</li> </ul>
<p>高齢者が楽しく、元気に暮らせるよう、高齢者同士の交流を促進するなど、地域全体で支援する必要があります。</p> <p>また、老人会の加入者が減少しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会、誕生会、手芸教室、健康体操など、高齢者の交流や健康づくりのための活動を継続していきます。</li> <li>・敬老会の参加者が減少し、行事の実施に苦慮しているため、参加が増えるよう工夫していきます。</li> <li>・老人会の加入者を増やすため、自治会としても回覧等住民への情報提供を行い、老人会の主体的な取り組みに協力していきます。</li> </ul>

<p>民生委員児童委員の活動は行政や地域の要請により、多種多様になっているため負担が増加しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いの問題もありますが、民生委員児童委員の業務について、地域のボランティアに協力を要請するなど活動を広げるよう検討していきます。</li> </ul>
--	--

## 2 防災・防犯

【めざす姿】

### 地域全体で顔が見え、安心・安全なまちづくり

困ったこと	できることから始めよう
<p>地域の防災組織はありますが、実際に災害が発生したとき、個々のメンバーが組織としての役割を理解し、行動できるか不安です。</p> <p>また、防災訓練は、自治会役員の参加は義務付けていますが、それ以外の住民の参加が少ないため、防災意識の低下が懸念されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を各自治会単位で実施し、より小さい単位での訓練を行うことで、一人ひとりの防災意識を高めていきます。</li> <li>・訓練は、同じ内容の繰り返しにならないよう、見直しを行っていきます。</li> </ul>
<p>住民のコミュニケーションが不足しており、世帯構成がわからない家庭も増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いについて理解を得るとともに、地域のコミュニケーションの強化に努め、地域内の世帯構成の把握に努めていきます。</li> </ul>
<p>海岸に近いので、津波等の自然災害に見舞われる可能性があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の内容に風水害に対する訓練を取り入れることを検討していきます。</li> </ul>
<p>交番がなくなり治安の面で不安です。</p> <p>また、街灯が少ないところがあり、夜になると怖さを感じます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回実施している夜間の防犯パトロール、歳末警戒パトロール、家屋密集地における夜間警戒パトロール、自治会会合の帰りにおける周辺の見回りなどの防犯活動を継続していきます。</li> <li>・防犯灯については光量の高いものにしていき、まちを明るくしていきます。</li> </ul>

### 3 生活・環境

【めざす姿】

#### 地域住民が良かったと誇りを持てる住環境の優れたまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>まちをきれいに保つため、環境美化委員による清掃活動を実施しています。</p> <p>ごみ出しのルールを守り、まちをきれいに保つ必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境美化委員による清掃活動やごみ袋に名前を書くようにするなど、環境美化への取り組みを充実していきます。</li><li>・ごみの分別方法を守らなかったり、夜間にごみを出したりする人がいるので、ごみ出しのルールの啓発に努めていきます。</li></ul>
<p>公園などお年寄りがちょっと休める場所が少ないため、気軽に外出することができません。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域を散歩しているお年寄りが休憩する場所としてベンチ等を設置するスペースを探し、設置について検討していきます。</li></ul>

### 4 文化・教育

【めざす姿】

#### 和気あいあい、イベントを通じて地域のつながりを深める

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>新玉小学校の行事に地域住民が積極的に協力しています。</p> <p>新玉スポーツフェスティバルや伝統あるお祭りを通じて、地域の連携が図られています。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・新玉スポーツフェスティバルを今後も継続していくとともに、より地域を盛り上げるイベントにするため、大人、高齢者が参加できる種目をプログラムに取り入れられるかどうか学校と地域で検討していきます。</li></ul>
<p>各種スポーツ大会や夏祭りなどは、子どもとその保護者の参加が多く、その他の住民の参加は少なくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各種行事への参加者を増やすためには、コミュニケーションの充実が必要です。</li></ul> <p>日頃から声かけや誘い合いを行い、行事への関心を高めるとともに、参加しやすい環境をつくっていきます。</p>

<p>新玉小学校区青少年健全育成協議会では、ミニ集会を開催したり、各種地域のイベントに参加しています。</p> <p>また、PTAと協力しながら「愛のパトロール」を月2回夜間に実施しているほか、特別集中指導も実施しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年の健やかな育ちや非行防止の観点から、青少年健全育成協議会の活動を今後も継続していきます。</li> <li>・ 自治会等の各団体が連携し、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組んでいきます。</li> </ul>
<p>新玉小学校では、校庭の芝生化に取り組んでおり、芝生の維持管理に地域住民が参加しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校庭の芝生の維持管理については、自治会など地域住民が参加し継続していきます。</li> </ul>

## 5 総括

子どもから高齢者までが楽しくいきいきと暮らし、安心して住めるまちとなるためには、住民間のコミュニケーションや地域のさまざまな団体が相互に連携することが大切です。

しかし、地域活動の担い手が少なくなり、また、地域行事への参加者が少なくなっている現状においては、自治会をはじめとして、老人会、青壮年会、子ども会など地域のさまざまな団体のあり方について検討する必要があります。

地域における組織づくりを推進するとともに、それぞれの横のつながりを大切にし、地域のふれあいを深めることで、だれもが住みやすく、安心、安全で、住民が誇りをもてるまちづくりを目指していきます。

## 新玉地区まちづくり検討委員会の検討経過

- 平成21年 7月 4日 第1回まちづくり検討委員会準備会  
 ・組織のあり方について  
 ・今後の進め方について
- 7月 8日 アンケートの実施  
 ~24日
- 8月 5日 第2回まちづくり検討委員会準備会  
 ・アンケート結果について  
 ・検討委員会委員について  
 ・事務局員について  
 ・今後の進め方とスケジュールについて
- 8月24日 地域別計画に係る説明会及び第1回まちづくり検討委員会  
 ・地域別計画について  
 ・委員長、副委員長、委員の選任について  
 ・事務局員について  
 ・今後の進め方とスケジュールについて
- 9月 地域の誇り（特色）及び課題等についての意見募集（回覧）
- 9月28日 第2回まちづくり検討委員会  
 ・事務局員の紹介  
 ・各団体の概要及び活動上の課題について  
 ・特色の把握について  
 ・課題の整理について
- 10月26日 第3回まちづくり検討委員会  
 ・課題解決に向けた取り組みの検討  
 ・特色を活かした取り組みの検討  
 ・めざす姿について
- 11月17日 第4回まちづくり検討委員会  
 ・課題解決に向けた取り組みの検討  
 ・特色を活かした取り組みの検討  
 ・めざす姿について
- 12月18日 第5回まちづくり検討委員会  
 ・課題解決に向けた取り組みの検討  
 ・特色を活かした取り組みの検討  
 ・めざす姿について
- 平成22年 1月27日 第6回まちづくり検討委員会  
 ・地域別計画素案のとりまとめ
- 2月23日 第7回まちづくり検討委員会  
 ・地域別計画素案の承認



平成22年2月作成

## 新玉地区まちづくり検討委員会

## 委員長

飯田 和男 (新玉地区自治会連合会・第11区自治会)

## 副委員長

土屋 裕利 (第10区自治会)

鳥居泰一郎 (新玉地区社会福祉協議会)

## 委員

長谷川誠一 (台宿自治会)

門松 俊二 (大工町自治会)

小林 康男 (第9区自治会)

須田 勝次 (第12区自治会)

湯川 功 (第13区自治会)

山崎 純一 (新宿自治会)

須山 晴夫 (新玉地区民生委員児童委員協議会)

石内 敏一 (新玉地区老人クラブ連合会)

杉本 孝夫 (新玉地区体育協会)

瀬戸 信夫 (新玉小学校区青少年健全育成協議会)

中沢 冬樹 (新玉小学校PTA)

## 事務局

戸村 昭一 (第11区自治会)

橋本 一弘 (第11区自治会)

# 地域別計画

## ～ 万年地区 ～



万年地区まちづくり検討委員会

## 旧き良き伝統のまち 万年

地域の今（現況） ～ わたしたちの地域はこんな地域 ～

### 1 地域の地理状況

万年は、小田原駅の東南1kmに位置し、そのほとんどが国道1号と西湘バイパスには含まれている、交通の便がよい地域です。

南側は1kmにわたり、相模湾に面しており、地域内には、かまぼこや干物などの水産加工品の店舗が並んでいます。昔は浜辺から魚の水揚げを行い、店先に並ぶ商品までの過程すべてが一連の建物の中で行われていました。今でも、その名残りが感じられる、漁師まちの風情が残っている地域です。



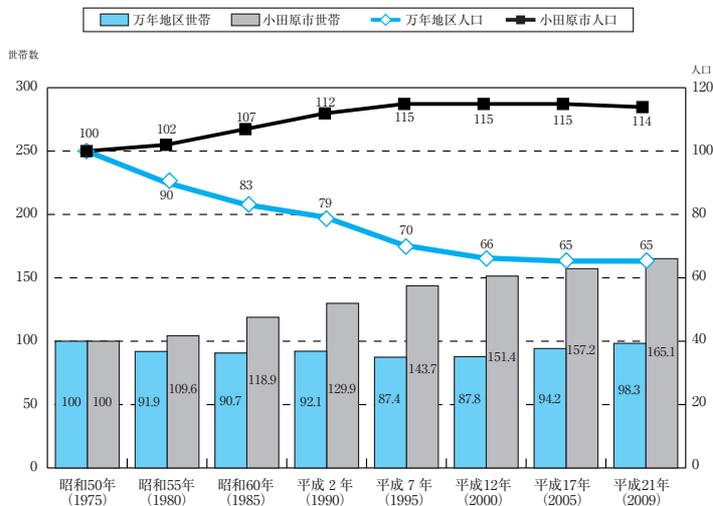
## 2 地域の人口・世帯

万年の人口・世帯の推移は、昭和50（1975）年を100とした場合、平成21（2009）年は、人口が65、世帯数が98.3となっています。昭和50年から平成12年までの25年間で、市全域では人口・世帯とも増加傾向にあります。万年では人口は3分の2ほどまで激減し、世帯数も減少傾向にあります。

次に、人口の構成をみると、市全域の傾向でもある団塊世代の人口が多く、特に万年では男女ともに55歳から59歳までの世代が突出して多いのが特徴です。また、第二次ベビーブーム世代の人口はそれほど多くなく、若い年齢層になるほど人口が減少しています。

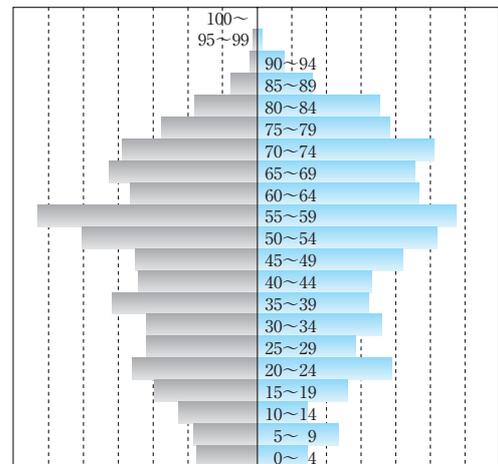
また、年齢3区分人口割合では、高齢人口（65歳以上）が市全域では20%に対して万年では27%であり、7ポイント上回っています。しかし、15歳未満人口は、市全域では14%に対して地域では9%であり、5ポイント下回っており、少子高齢化が進んでいることがうかがわれます。

市全域と万年地区の人口・世帯数の推移  
(1975年=100)

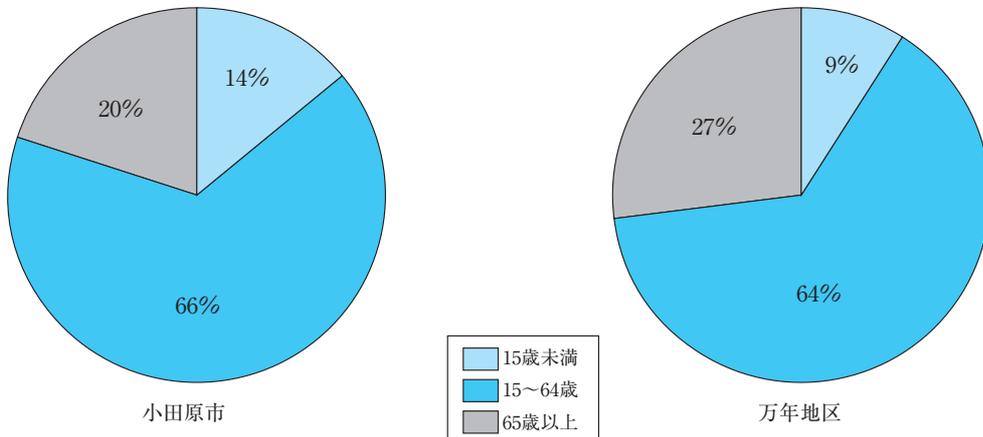


人口ピラミッド（万年地区）

(男性) ■ 2005年(H17年) ■ (女性)



年齢3区分人口割合の比較（平成17年）

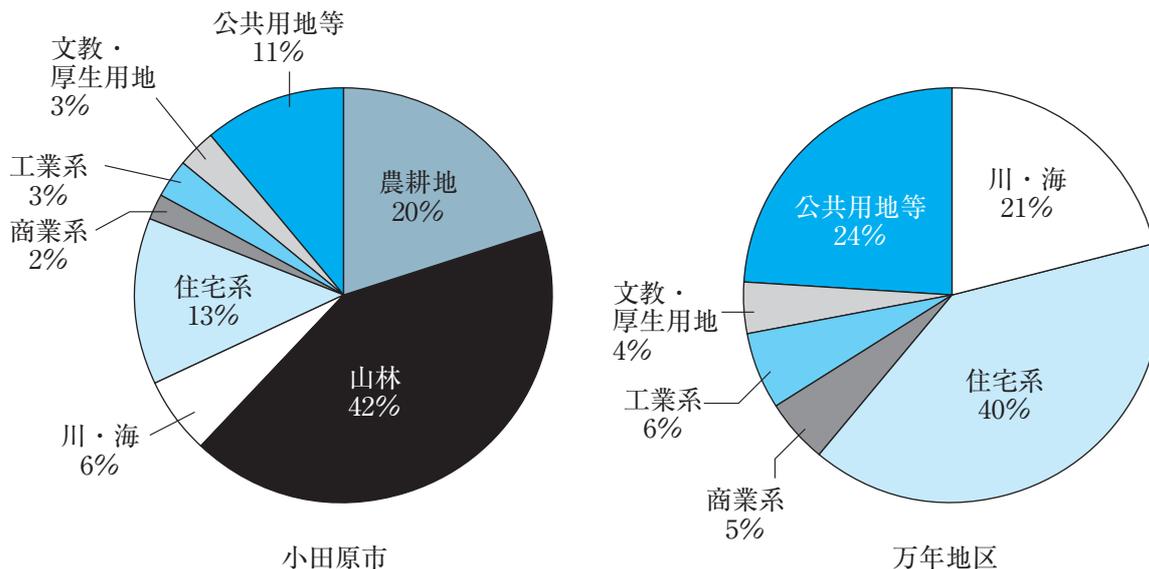


### 3 土地の利用状況

土地利用の状況としては、住宅系が40%を占めており、そのほか商業、工業と合わせると地域の半数を占めています。また、相模湾に面していることから、川・海が21%と割合が多くなっています。

一方、市全域に見られる山林や農耕地は万年にはないのが特徴となっています。

【土地利用の状況】



## 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

## ○漁師まちの風情

今から800年前に始まったと言われる古新宿村の漁業は、秀吉の小田原攻めの際、西の長曾我部等の水軍から技術を得たものであるという謂われがあります。以降、徳川の時代から明治末期まで、四国の高知、駿河の御前崎と並んで、相模の小田原は、日本の三大鮪漁業の基地として有名になりました。

多くの人が自分の船を持っていて、海岸に丸太を敷いて、船を海に出したり岸に引き上げたりしていました。

## ○海岸一斉清掃

毎年7月には、自治会の主催で、沿岸1キロメートルにわたり、海岸の一斉清掃を行っています。老若男女が参加し、清掃をすることによって、海水浴シーズンに御幸の浜を訪れる人々をおもてなしの心を持って迎えようとしています。



## ○体育祭

毎年9月には、新玉小学校で恒例の体育祭が開催されています。子どもからお年寄りまで多くの住民がつめかけた会場は、リレー種目などで終日、大きな歓声に包まれています。



## ○おしんこ祭り（第16区）

今から190年以上前、古新宿では、遠洋で捕獲したマグロからコレラが蔓延し、村民の3分の1が死亡した際、大山阿夫利神社の石尊様に「おしんこ」と「神酒」を持参して疫病退散の祈願をしたのが、この祭事の始まりと伝えられています。「しんこ」とは、米の粉にヨモギの絞り汁を入れて蒸した中に黒砂糖で作った「こしあん」を入れて巻いた生菓子のことです。

おしんこ祭りは昭和20年ごろまで行われ、一時中断していましたが、由緒ある伝承を途絶えさせたくないという人々の熱意と協力で、40年代に「しんこ」を「草もち」に変えて復活しました。今では地区に欠かせない伝統行事として定着しています。毎年3月の最終日曜日、住民が役割分担して草もちを作り、パックに詰め、自治会が地区の全世帯に配っており、世代を超えた取り組みとなっています。



### ○北條稲荷神社と蛙石（かわずいし）

その昔、小田原城内には清流が幾筋か流れており、城内の人々はその川の水を生活に利用していたことから、北条早雲は、川の流れが集まる東口（現 北條稲荷付近）に小田原城東方の守護神として社を建立したそうです。その後、氏綱、氏康も早雲同様、この社を深く信仰したと言われており、これが北條稲荷神社のはじめであるという言い伝えがあります。

また、「北條五代記」「北條盛衰記」などでは、北条氏康が逝去したのは、城内で死んだ老狐の霊によるものと考えた氏康の子の氏政が城内に老狐の霊を祀って供養をしたのが北條稲荷の起こりと伝えられ、その後、古新宿に社が建立され北條稲荷となったという説もあります。



### ○蛙石（かわずいし）

蛙の姿にそっくりの自然石のことで、北条氏康のころは小田原の城中にありましたが、後に北條稲荷ができると、その社地へ寄進したものだと言われています。蛙石は、小田原の府内になにか異変が起きそうになると、必ず鳴いて人々に予告したと言われ、天正18年の小田原落城のときも、江戸時代に入って元禄・天明その他の大地震の前にも、夜な夜な鳴き声が聞こえてきたものだと言われ、地域の古老が言い伝えに聞いているとのこと。

### ○龍宮神社



天正18年（1590年）、豊臣秀吉の小田原攻めの時、加藤清正の家臣である可児才蔵の統率する熊本の八代水軍の船が小田原に上陸中、折からの台風による激浪で古新宿の浜辺に大破して打ち上げられたそうです。

この水軍は有明海の不知火の光を恐れて、八代の龍宮様から御神体を奉受し、船神様として船の親柱の元に納められたものを破船の中から引き出し、古新宿の

祠に安置して、龍宮社として祭ったものが八代龍神の縁起とされています。なお、その水軍で働いていた船頭や船子は近海に魚群の多い小田原の海辺に定着し、代々漁業に携わり、原住の漁師と共に集落を作ったそうです。八代龍神は昔から海的神様として漁師の信仰が厚く、船元の子どもは朝晩必ず社内にある大きな輪型の蠟燭立てに明かりを上げることを日課として行われその光は四六時中、光々として輝き絶えることがなかったと言われています。

## ○海のなりわいを感じられる通り

漁師まちで、水産加工業が盛んであったことから、今でも、かまぼこや干物などを扱う店舗が並んでいます。



## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

住宅地であるにもかかわらず、若い世代の外部への流出が多いことから、地域の人口は減少し続けています。また、高齢化が進み、一人暮らしの高齢者が増加しているため、地域で見守っていく仕組みが必要になってきています。

さらに、核家族化が進み、地域の子どもの数が減っていることから、将来の地域運営に不安を感じています。

以前は「向こう三軒両隣」と言われるほど、隣近所とのつながりを大切にしていました。が住民のライフスタイルの変化に伴い、地域のつながりが希薄になっています。

さまざまな地域活動を通して、住民のコミュニケーションの醸成を図ることによって、万年に若い世代が留まり、さらに、若者が外から戻ってくるような魅力あるまちづくりを進めていかなければなりません。

## 1 健康・福祉

【めざす姿】

### お年寄りが一人でも元気で安心して暮らせるまち

困ったこと	できることから始めよう
若い人の外部への流出が多く、住民の高齢化が進んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での交流の場を増やして、老若男女を問わず、多くの人のつながりを強くしていきます。</li> <li>・地域活動に若い人の意見を取り込むなど、万年に若い人が留まり、また、戻ってくるような魅力あるまちづくりに努めていきます。</li> </ul>
一人暮らしの高齢者の方がどのように生活しているのか、不安に感じます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの高齢者を地域で見守り、声かけをしていく取り組みを行っていきます。</li> <li>・個人情報保護法の壁があり、名簿等の作成は難しいですが、様々なイベントに高齢者の方々にも参加していただき、隣近所の顔が見えるような地域となるよう努めていきます。</li> <li>・高齢者の安否確認として、元気であれば赤い旗を玄関先に立てるなどの方法を検討していきます。</li> </ul>
地域の中に、お年寄りが集まることのできる場所がありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康なお年寄りが外に出て、いろいろな人と会話を楽しむことのできる場所を探していきます。</li> <li>・土と縁台があって楽しめる場所を地域で造っていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

### 子どもたちが地域に見守られて明るく育つまち

困ったこと	できることから始めよう
核家族化が進み、子どもの数が減少しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校入学時にお祝い会を開催するなど、地域で子どもを育てる意識を醸成していきます。</li> <li>・子どもから高齢者までが互いに交流できる心の温かいバランスのとれた地域になるよう努めていきます。</li> <li>・子どもの数の減少により、将来の地域運営に不安を感じますが、現在、実施しているもちつきや世代間交流などの年間行事を子どもが引き継ぎ、運営していけるような環境づくりに取り組みます。</li> <li>・各種団体が子どもたちを見守る活動を充実させ、安全で安心して子どもを育てることができる地域になるよう努めていきます。</li> </ul>

## 2 防災・防犯

【めざす姿】

### 防災対策が万全で、誰もが安心して住めるまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>毎年、万年では防災訓練を実施していますが、住宅が密集していて、火事や天災等の災害時の対応に不安を感じています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会単位で隣近所の方々と連携して、有事に役に立つような有意義な防災訓練を行っていきます。</li> <li>・例えば、炊き出し訓練、AEDの扱い方、一人暮らしの高齢者の方の誘導訓練などのほか、災害時に実際にボランティア活動に携わった方々を招いて話を聴くなど、工夫した訓練を行っていきます。</li> <li>・各地区の自主防災組織の防災計画を見直すとともに、防災用資機材の確保を行うほか、それぞれの役割に応じた細かな訓練を実施していきます。</li> </ul>
<p>一人暮らしの高齢者が多く、いつ災害が起きるかと不安な日々を送っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の方々が見守りの活動をしていますが、これからも隣近所での声かけや見守りを続けるなかで、コミュニケーションを密にすることによって、住民が一体となった防災対策に取り組んでいきます。</li> <li>・緊急連絡先として、自治会長や防災リーダーの連絡先が記載されたステッカーなどを作成して配布するなどの対策を考えていきます。</li> </ul>
<p>住民の防災意識が低下し、防災訓練などへの参加者が減少するとともに、固定化されてしまっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時は地域での助け合いが必要となりますので、日ごろから横のつながり、助け合いを大切にする意識を高めていきます。</li> <li>・各組内の連携を密にし、声かけをすることによって、多くの人の防災訓練への参加を促していきます。</li> <li>・若い人に積極的に参加してもらえよう、コミュニケーションを図っていきます。</li> <li>・訓練内容を工夫し、充実していくことにより、参加者増をめざしていきます。</li> </ul>
<p>海が近いため、津波対策は万全なのかと不安を感じています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練は震災と火災を主とした訓練を実施していますが、万年は海岸に面しており、震災時に津波が想定されることから、津波による浸水の被害を想定した訓練等を盛り込むよう検討していきます。</li> <li>・津波対策として高い建物への避難経路を確保しておく必要がありますので、マンションなどの所有者へ要請をしていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

## 犯罪のない、安全で、明るいまち

誇れるもの	できることから始めよう
遅くなくても街灯がついていて明るいので、犯罪が少なく、安心して生活ができます。	<ul style="list-style-type: none"><li>・隣近所のつながりを大切にしている地域なので、防犯などに役立っています。</li><li>・各地区で協力して、月に1回、防犯パトロールを行い、住民がより一層安心して生活ができるように努めています。</li><li>・また、あいさつ運動の回数を増やすことによって、お年寄りから子どもまでが気軽にあいさつをかわすことができる明るい地域をめざしていきます。</li></ul>

### 3 生活・環境

【めざす姿】

## ゆったりとした、文化が薫る、風情のあるまち

誇れるもの	できることから始めよう
随所に昔ながらの建物が残っていて、散歩していても落ち着きます。	<ul style="list-style-type: none"><li>・これからも引き続き、落ち着いたまちなみを守っていくために、各家庭に呼びかけを行い、景観の維持に努めていきます。</li></ul>
海・山に囲まれ、自然豊かで、気候が温暖な地域です。	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎年7月に、海岸一斉清掃を行っていますが、これからも継続し、海岸の美化活動に努めていきます。</li><li>・海岸清掃をしていると、犬の糞が目立ちます。釣りや散歩をしている人が不愉快にならないよう、まずは、住民のマナー意識の向上に努めます。</li></ul>

【めざす姿】

## だれもが住みやすい環境づくり

困ったこと	できることから始めよう
自治会によっては、子どもの集まる公園、幼児の遊び場がありません。	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在、空いている土地の有効利用を考えていきます。</li><li>・15区や16区では、公園があっても子どもが遊んでいないという現状がありますが、芝生を植えるなど、住民の憩いの場となるよう、利用について検討していきます。</li></ul>
草花がとても好きな方々が多く、花も植えてありますが、樹木が少ない地域です。	<ul style="list-style-type: none"><li>・住民の協力を得ながら、各家庭の玄関先に草花のプランターを置くなど、心が和む環境づくりに取り組んでいきます。</li><li>・地域のフラワーサークルなどと協力し、万年を花いっぱいに彩っていきます。</li></ul>

## 4 文化・教育

【めざす姿】

### 地域の歴史を掘り起こし、伝えていくまち

誇れるもの	できることから始めよう
<p>小田原城などの歴史的建造物が近くにあり、地域にも旧東海道のなごりを感じさせる風情やまちなみなどが残っているところが特色です。</p> <p>また、北條稻荷神社、古新宿龍宮神社、袖ヶ浦地蔵尊、北條稻荷神社蛙石などがあります。</p> <p>さらに、川崎長太郎や北村透谷の生誕地であり、記念碑が建立されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、一人ひとりが万年の歴史について知り、後世に伝えていくよう努めていきます。</li> <li>・お年寄りから、地域の歴史について話を聞くことによって、埋もれている資産を掘り起こし、広く住民に知らせていきます。</li> <li>・地域にある歴史資産のマップを作成するなど、広報に努めていきます。</li> <li>・自治会で祭礼や掃除などを行っていますが、さらに多くの住民に声かけをして、大切な資産を守っていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

### 子どもの交流が広がるまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>子どもの数がだんだん減少している中で、子ども会の存続が困難になってくるのではないかと懸念しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会をいくつか統合するなど子ども会の組織のあり方や行事の見直しなどを検討していきます。</li> </ul>

## 5 特色ある地域づくり

【めざす姿】

### 人とのつながり・ふれあいを大切にするまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>互助の精神が旺盛で、隣近所のつきあいを大切にする風土が根付いています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣近所のつながりがより一層密になり、お互いに助け合える地域にするために、自治会・老人会・青年会・子ども会・婦人部など各種団体の横のつながりができ、一体感が持てるよう活動の情報の共有に努めています。</li> <li>・高齢者が多い地域なので、まずは老人会などを中心にした行事を多くし、それに子ども会、青年会、商店会が携わることによって、地域のつながりをさらに強化していきます。</li> <li>・あいさつ運動などを通じて、みなが気軽に声をかけ合える明るい地域づくりに取り組んでいきます。</li> </ul>
<p>年間を通して、いろいろな行事を自治会が中心となり、老人会、婦人会、子ども会が協力して進めています。</p> <p>一方で、既居住者の行事への参加が減ったり、新入居者の参加が少ない現状もあります。</p> <p>また、防災訓練や海岸清掃でさえも参加者が固定化されてしまっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、壮年、青年が集まり、意見交換の場を作ることによって、地域のつながりを密にし、行事に参加しやすい雰囲気を作っています。</li> <li>・隣近所で声かけを行い、地域活動への参加を促す努力をしています。</li> <li>・餅つき大会やどんど焼きなど、世代を超えたイベント等を開催することにより、活発な世代間交流を進めています。</li> <li>・行事の担当は当番制とするなど、自治会の役員以外の住民が参加するような仕組みを考えていきます。</li> </ul>
<p>商店街では、店を閉める人が多くなり、人通りも少なく、活気がなくなっています。</p> <p>また、近所にスーパーもなく、日用品も買うことができなくなっています。</p> <p>若者は車でまとめ買いができますが、お年寄りにとっては買物が不便です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの高齢者に対しては、月に1～2回程度、民生委員が家庭訪問を行っています。買い物などに困っている方に声かけを行うなど、民生委員や自治会が協力して、地域の中でできる対策を考えていきます。</li> <li>・また、住民のつながりが密接であれば、通信販売や買い物代行などの便利なサービスなどの情報を高齢者に伝えることができるので、声かけができ、助け合いができる地域をめざしていきます。</li> <li>・買い物によって、地域の輪が広がっていくので、市（いち）を定期的開催するなどの検討をしています。</li> </ul>

【めざす姿】

## 伝統行事を大切に守って、引き継いでいくまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>1月の新年交賀会、2月の初午祭、3月のおしんこ祭り、5月の松原神社祭礼、8月の夏祭り、9月の敬老会や運動会など多くの伝統行事があります。</p> <p>しかし、最近では盛り上がりには欠けると感じています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初午祭、神社の祭礼、夏祭りなど、にぎやかな行事を行うと地域全体が盛り上がるので、盆踊りなどを復活するなどを検討していきます。</li> <li>・地域活動が活発になればなるほど、推進する役員が大変になることが予想されるため、役員等の負担が大きくなるように、既存の活動を充実させていくなど、行事を見直していきます。</li> </ul>
<p>城下町でお祭りが好きな地域であり、特に氏神様のお祭りが盛大に開催されます。</p> <p>松原神社の祭礼においては、多くの住民が参加して、祭りを盛り上げています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松原神社祭礼は非常ににぎやかですが、神輿の担ぎ手が減少している傾向にありますので、住民に対して、これまで以上に祭りをPRすることにより、若い参加者を募っていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

## 地区活動を活発にする組織づくりができるまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>地区によっては若者が減少しているので、行事の際の負担が大きくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が積極的に活動に参加できるような仕組みを考えていきます。</li> <li>・若者に頼ろうとするのではなく、若い世代を手助けできる年寄りになるよう心がけていきます。</li> </ul>
<p>自治会等の役員選出が年々困難になっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現役世代でも地区の役員が務まるような組織づくりをめざしていきます。</li> <li>・また、高齢者が楽しめる老人クラブになるよう、組織の充実をめざしていきます。</li> </ul>



平成22年3月作成

## 万年地区まちづくり検討委員会

### 委員長

神保 伸夫 (万年地区自治会連合会会長・第17区自治会長)

### 副委員長

高井 哲 (第20区一1自治会長)

石黒 省二 (万年地区社会福祉協議会会長)

### 委員

亀井 宏悦 (第15区自治会長)

石井 好一 (第16区自治会長)

福住 昌久 (第18区自治会長)

小高 伯夫 (第19区自治会長)

佐々木正勝 (第20区一2自治会長)

黒羽根義昭 (民間防犯指導員)

野澤 俊男 (青物町商店会会長)

櫻井 正博 (国際通り一丁田商店会会長)

泰田 幸枝 (小田原市民生委員児童委員協議会役員)

石田 富代 (万年地区ボランティアグループ代表)

加藤 徹 (小田原市老人クラブ連合会役員)

柚木 宮子 (健康おだわら普及員連絡会副会長)

石黒美佐子 (健康おだわら普及員)

桜木 斉 (小田原市公民館連絡協議会役員)

齊藤 陽子 (万年地区青少年育成推進協議会会長・青少年育成推進員)

高橋 一夫 (青少年育成推進員 協議会会長)

松本 幸江 (青少年育成推進員)

高橋 雅美 (小田原地区保護司会相談役)

志村 宗男 (小田原地区保護司会会長)

松本 健一 (小田原市体育指導委員副会長・万年体育振興会会長)

大木 一善 (小田原市体育指導委員)

和田 彰 (小田原市体育指導委員)

芹澤 一郎 (小田原市消防団第1分団副分団長)

菊池 洋一 (第15区民生委員児童委員)

山田 昭子 (主任児童委員)

中島 庸允 (第17区民生委員児童委員)

石田 玲子 (第18区民生委員児童委員)

和田 真理 (主任児童委員)

加藤マツエ (第19区民生委員児童委員)

宮本 純 (第20区一2民生委員児童委員)

# 地域別計画

## ～ 幸地区 ～



幸地区まちづくり検討委員会

## 地域のキャッチフレーズ

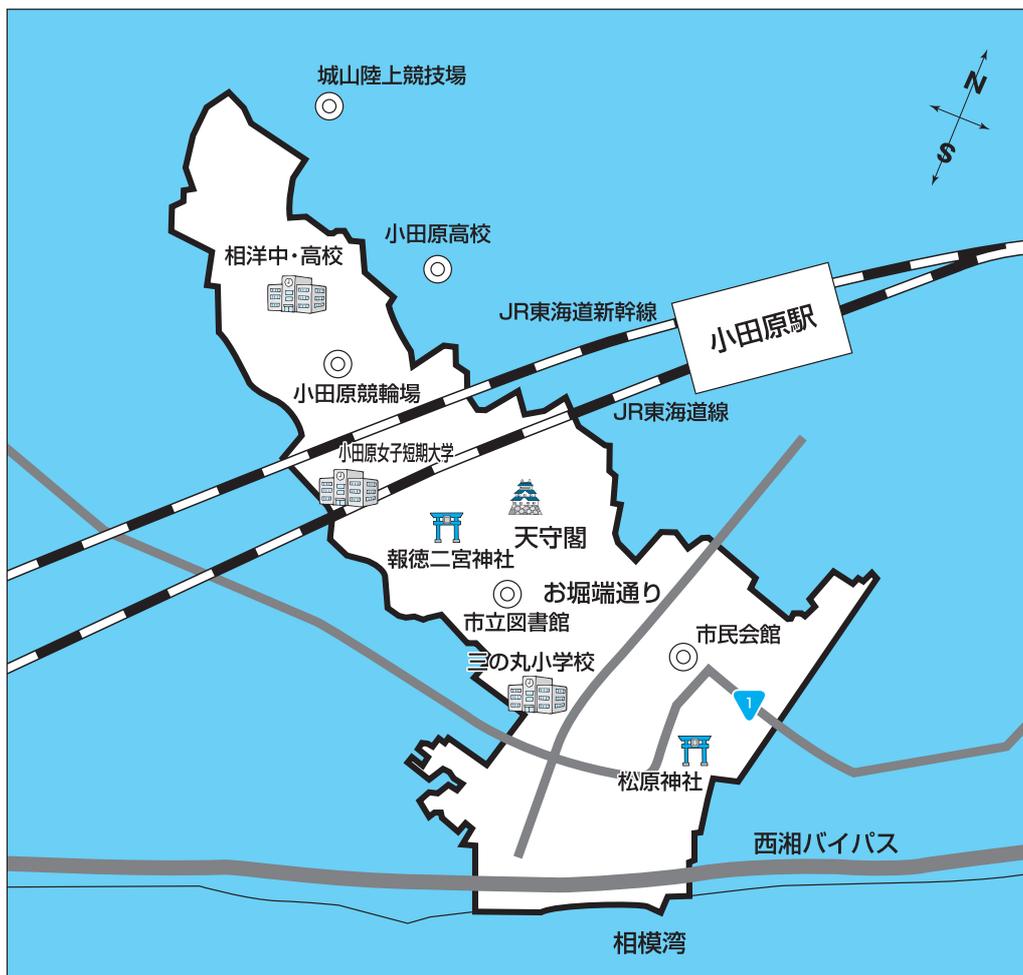
いつまでもこれからも住み続けたい、  
だれもが安心して暮らせる自然と歴史文化が調和したまち

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

### 1 地域の地理状況

幸は、小田原駅の南から北西に細長く位置しており、JR東海道線、JR東海道新幹線が横断し国道1号と255号が通る交通至便の地域です。東は万年と新玉に、西は大窪に、北は緑に、そして南は十字と御幸の浜に接しています。地域内のもっとも北西には城山公園があり、海岸との高低差90m、面積88.3haの地域です。

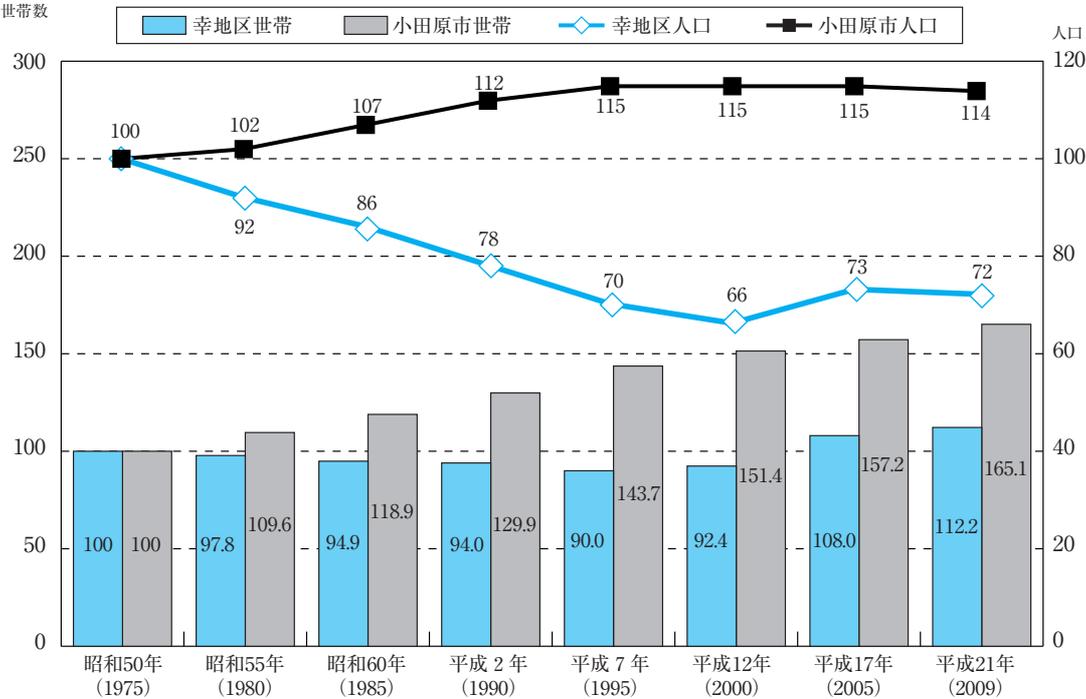
中央には、小田原のシンボルである小田原城天守閣がそびえ、周囲には北条早雲の時代から城の守り神社とされている松原神社など、数多くの史跡・文化財が今もなお残っています。また、三の丸小学校、明德学園相洋中学校及び高等学校、小田原女子短期大学、市立図書館、小田原市民会館などがあり、歴史と文化が調和した、文教地区です。



## 2 地域の人口・世帯

市全域では、人口は昭和50年（1975年）から平成12年（2000年）までの間、増加の傾向にあります。幸ではその25年間、減少を続け、平成12年（2000年）には3分の2まで減少しています。世帯数も同様で、市全域では平成21年（2009年）まで増加を続けていますが、地区では平成12年（2000年）まで減少が続いています。しかし、地区内にマンションが建設されたためか、平成12年以降は人口・世帯数とも微増しています。

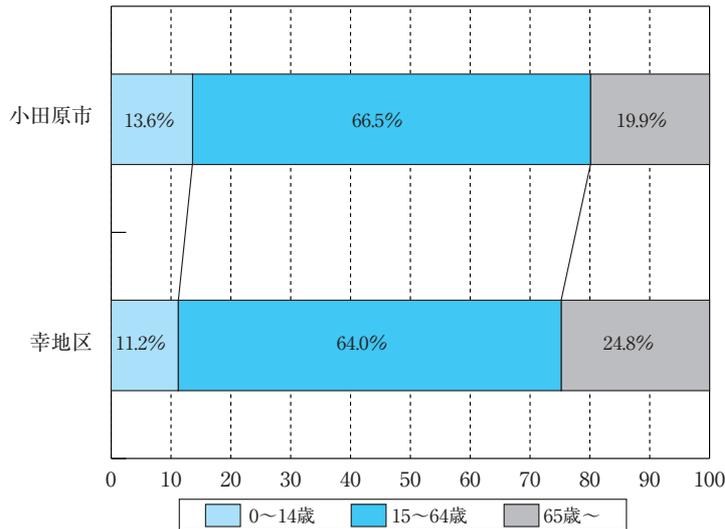
幸地区と市全域の人口・世帯数の推移  
(1975年=100)



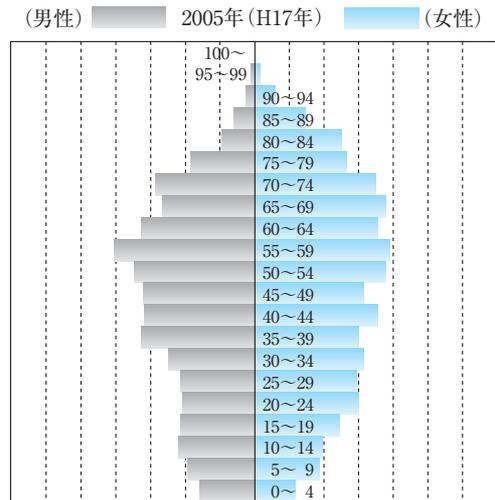
人口の構成としては、団塊世代の人口は多く、第二次ベビーブーム世代の人口がそれほど多くないのが特徴です。30歳以下の人口は少なく、特に乳幼児の数が少ない状況です。

また、年齢3区分人口割合を見ると、市全域と比較した場合、15歳未満人口が少なく、高齢人口（65歳以上）が多くなっており、少子高齢化が進んでいる地域であるということが分かります。

年齢3区分人口割合の比較（平成17年）

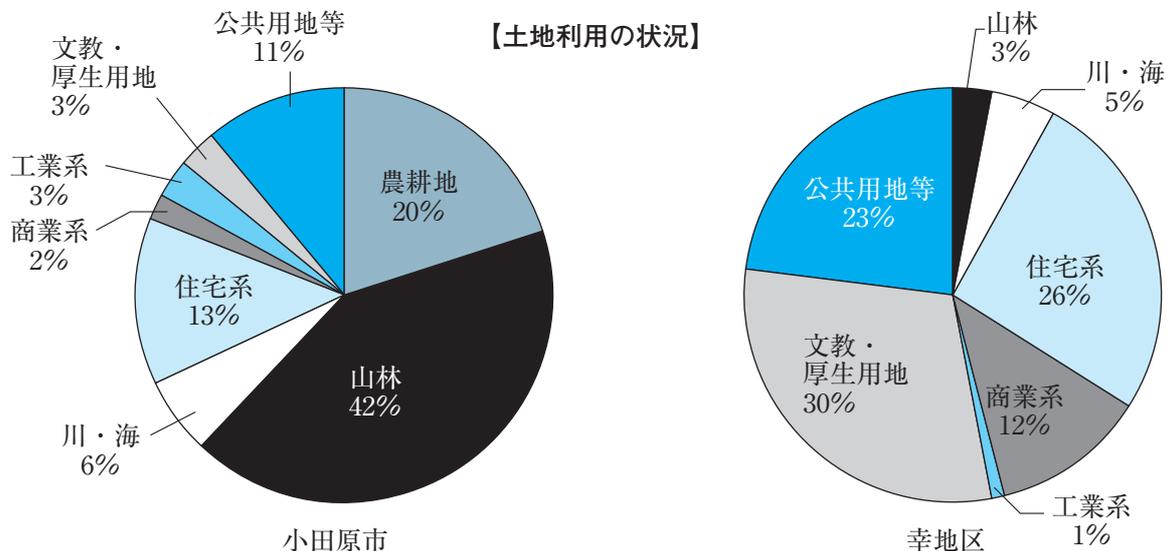


人口ピラミッド



### 3 土地利用の状況

土地の利用状況を見ると、地区内に三の丸小学校、明德学園相洋中学校及び高等学校、小田原女子短期大学などの学校や、図書館、報徳博物館、その他神社も多数あることから、文教・厚生用地が30%と最も面積割合が多くなっています。また、小田原城址公園や市民会館などを有していることから、公共用地等が23%と多くなっているのも特徴です。



## 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

## ■数多くの史跡が残る地域

## &lt;小田原城&gt;

小田原のシンボルである小田原城が初めて築かれたのは、大森氏が小田原地方に進出した15世紀中ごろのことと考えられています。1500年ごろ、小田原北条氏の居城となってから、関東支配の中心拠点として拡張整備され、豊臣秀吉の来攻に備えて城下を囲む総構を構築し、日本最大級の中世城郭に発展しました。江戸時代には近世城郭として生まれ変わり、箱根を控えた関東地方防御の要衝として、幕末まで重要な役割を担ってきましたが、明治3年に廃城となり、建物は解体されました。現在の天守閣は昭和35年に復興されたもので、内部は歴史資料の展示室となっており、多くの観光客を迎えています。

## &lt;小田原城の総構（小峯御鐘ノ台大堀切）&gt;

戦国時代、小田原北条氏が築いた堀の中で、その形を今日まで伝えている非常に貴重な遺構です。幅最大25m、高低差は約12mに及ぶ巨大な空堀跡を散策することができます。

## &lt;城下町のたたずまい・鐘楼&gt;

この鐘は現在、朝夕6時に時を知らせています。時を知らせる「時の鐘」は、いつから撞かれていたのかははっきりしませんが、江戸時代の貞享3年（1686）の記録があることから、300年以上前の古いものであると思われます。初め、浜手御門のところにありましたが、明治29年に裁判所の東北隅に、さらに大正年間に現在の場所（大手門跡近く）に移されました。明治17年には、太平洋戦争の激化により鐘は応召されチャイムに変わりましたが、その後、城下町に似つかわしくないとのことで、昭和になり、小田原寺院団により新しい鐘が作られ、現在に至っています。



小田原城天守閣

小田原  
ふるぎとの  
原風景  
百選

隅櫓とお堀と桜

小田原  
ふるぎとの  
原風景  
百選

小峯御鐘ノ台大堀切

小田原  
ふるぎとの  
原風景  
百選

鐘楼（時の鐘）

小田原  
ふるぎとの  
原風景  
百選

## ■古くからの伝統行事を守る地域

### <松原神社>

旧小田原町の鎮守で、日本武尊（ヤマトタケルノミコト）、素戔鳴尊（スサノオノミコト）、宇迦之御魂神（ウカノミタマノカミ）を祀っています。創建は平安時代の久安年間（1145～1151）といわれる古社で、小田原はこの神社を核として発展してきたともいえます。小田原北条氏の庇護、歴代の小田原藩主にも崇敬が厚い神社でありました。



松原神社

### <松原神社例大祭>

例大祭は、古くから1月14日、15日とされてきましたが、幾多の変遷を経て、現在は5月3日、4日、5日に開催されています。氏子26カ町と千度小路・古新宿の両龍宮神社が参加し、たくさんの山車や神輿が街中を練り歩きます。神輿による巡行は、城主大久保忠隣の頃からと伝えられています。



宮之前（22区）山車

### <地区内の山車>

大手前（21区）、宮之前（22区）、魚がし（23区）、代官町（24区）には古くからの山車があります。市内でも4基の山車があるのは幸地区だけです。松原神社の例大祭に、神輿とともに、山車が巡行していましたが、引き手が少なくなってしまうことから現在は毎年の巡行が難しくなっています。



魚がし（23区）山車

## ■地域活動が活発な地域

### <三の丸小学校>

三の丸小学校は120年の歴史を誇る旧城内小学校と旧本町小学校が平成4年に統合してできた学校です。幸地区においては、健民祭や防災訓練などを実施する地域活動の拠点となっています。また、子どもからお年寄りまでが集い、世代を超えた交流を行う場としての役割を担っています。



代官町（24区）山車

### <防災訓練>

幸地区自治会連合会では、年に1回、三の丸小学校において、十字地区や緑地区等との合同防災訓練を実施し、消火器による消火訓練などを行っています。また、各自治会においても、防災訓練を行うことによって、住民の防火・防災意識の醸成を図るとともに、コミュニケーションの強化に努め、いざというときに備えています。



防災訓練

### <海岸清掃>

御幸の浜では、5月に行われる松原神社例大祭のお浜降りをはじめ、7月の精霊流し、元旦の新春初泳ぎ、正月明けのどんど焼きなど、さまざまな地域行事が行われ、地域住民の交流の舞台となっています。また、古くから海水浴場として知られているこの浜には、毎年夏になると、海水浴客が訪れるため、シーズン前後には、地域をあげて海岸清掃が行われています。



新春初泳ぎ

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

### ○防災・防犯

自治会連合会で実施している防災訓練は、内容がマンネリ化しているうえ、実践的ではありません。また、高齢者人口の増加とともに、若者のサラリーマン化が進み、実際に災害が発生したときに、地域住民が対応できるのかとの不安があります。災害時には地域の助け合いが必要となりますが、防災に関する住民意識の低下と、地域のつながりの希薄化により、今後は、互助の仕組みづくりの検討をしていく必要があります。

数年前、地区内で盗難事件や暴力事件がありましたが、幸地区は一人暮らしの高齢者が増加しているため、防犯面での課題が増えています。

### ○健康・福祉

少子高齢化の進展に伴い、この地区においても、高齢者世帯が増加しています。特に、最近は独居老人が増えてきていることから、自治会長や民生委員をはじめ、地域での見守りなど自助の基盤づくりが求められています。

そのためには、まず、地域で、高齢者や障がい者などの情報を把握しておくことが必要となっていますが、現状では、自治会に未加入であったり、地域活動に参加されない方々の情報を把握することは難しい状況です。

## 1 防災

【めざす姿】

### いざというときに助け合いができるまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>阪神淡路大震災より時が経過し、住民の災害に対する関心が薄れてきています。</p> <p>自治会連合会で防災訓練をしていますが、参加者が多すぎて見ているだけになってしまっています。また、訓練内容はマンネリ化し、実践的ではないため、いざというときに役に立つのかどうか、不安を感じています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に住民が対応できるよう、身につく訓練をするため、いくつかの自治会連合会合同で実施している防災訓練を、幸地区自治会連合会単独で実施するとともに、各単位自治会においても防災訓練の実施を検討していきます。</li> <li>・第25区自治会では災害時の食糧の提供について商店と提携するなどの対策をとっていますが、食糧の備蓄については自治会ごとに対応を検討していきます。</li> <li>・ぐらっときたときの初動対応、最低の備蓄、一時避難場所など、災害時に知っておく必要がある基本的事項を周知するための瓦版を作成し、各家庭に配布していきます。</li> </ul>
<p>災害時には地区でのお互いの助け合いが必要となりますが、その必要性を認識していない人が多く、また、個人情報保護の観点から、各地区で住民の世帯構成等を把握しにくくなっています。</p> <p>また、高齢者が増えるとともに、消防団など若者のサラリーマン化が進み、災害時の対応、特に昼間の対応に疑問を感じています。</p> <p>さらに、自治会未加入者が増え、自治会を通じて周知しているさまざまな情報が地区のすべての世帯に行き渡らなくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろから、さまざまな行事を利用して、災害時の助け合いの必要性について話題を出していますが、防災対策だけでなく、住民が地区の情報を共有する機会を設けるなど、住民間のコミュニケーションの強化を図っていきます。</li> <li>・有事に対応するためには、各地区において、災害弱者やその可能性のある方など世帯構成等の情報を収集しておく必要があります。</li> <li>・民生委員が要援護者の情報を把握していますが、民生委員は災害時には広域避難所に赴く必要があるため、地区では情報がわからない状況になることが予想されます。そこで、個人情報保護を理解しながらも、住民に対して名簿作成の協力をお願いしていきます。</li> </ul>
<p>御幸の浜の砂浜が細くなり、津波・高潮の被害が心配です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状を理解して初めて地区での対策を検討することができるので、定期的に、専門家を招いて勉強会を開催するなど、津波について住民の理解を深めていきます。</li> </ul>

## 2 防犯

【めざす姿】

### 向こう3軒両隣 声掛け合って 安全で安心して住める明るいまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>以前、地区内で盗難事件や暴力事件がありました。そのため、住民一人ひとりが防犯に関する意識を持つことが必要です。</p> <p>特に、幸では、一人暮らしの高齢者が多くなっているため、防犯面での課題が増えています。</p> <p>平成19年度までは、毎月、7自治会内でパトロールを実施していましたが、効果が期待できないことから取りやめた経緯があります。</p>	<p>・幸の中でも地域差があるため、自治会ごとに防犯対策を行っています。これからも引き続き、それぞれの実情に沿った方法で、効果的な防犯対策を続けていきます。</p> <p>・また、育成会では、夏祭りや板橋地蔵尊などイベントの際にパトロールを実施したり、交通部では、夜間の交差点の安全確保を行ったりしています。今後も引き続き、各自治会や各種団体において、実情に即した防犯対策を続けることにより、住民一人ひとりの防犯に対する意識の醸成を図っていきます。</p>
<p>消防団第2分団では、歳末特別警戒と火災予防運動（春と秋の2回）において夜警を行っています。</p> <p>しかし、夜警は、夜遅くに音を鳴らすため、住民から苦情が出ており、現在は午後9時に終了することとしています。</p>	<p>・夜警は音を鳴らしながら実施するほうが効果的であるので、消防団第2分団の夜警は、自治会の協力と理解を得ながら、夜10時ごろまでは実施できるようにしていきます。</p>
<p>通学路の途中に、路上生活者がいるため、子どもたちが安心して通学することができません。</p> <p>また、路上生活者対策は、地区住民だけでは対応することができません。</p>	<p>・毎月1日に、地区において実施している子どもを見守る運動・あいさつ運動を、今後も引き続き、実施していきます。</p> <p>・路上生活者対策については、地域、警察、行政が協力して行っていく必要があります。</p>



消防団第2分団の夜警



地域の防犯パトロール

### 3 健康・福祉

【めざす姿】

## 両隣が顔見知りで、お互い助け合いながら、 地域でお年寄りを見守るまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>全国的な傾向ですが、高齢者世帯が多く、特に最近では独居老人が増えています。</p> <p>体調が急に悪くなった時のために通報システムを設置する世帯もありますが、年数の経過とともに、設置した場所などを忘れてしまうことがあるようです。</p> <p>また、独居の場合には、体調が急変した時に近所の人が見つかることが難しく、時間がかかる場合があります。</p> <p>民生委員が75歳以上の高齢者については戸別訪問をしていますが、75歳以下の人については訪問していません。体調の急変は75歳以上の人に限ったことではないので、独居の人の体調の変化を知ることはさらに難しい状況です。</p> <p>地区内の若者の減少に伴い、民生委員の担い手が減っているため、地域として高齢者を見守る仕組みを検討する必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、幸には10人の民生委員がいますが、それぞれが各担当地区の状況しか把握していません。自助の基盤をつくっていくためにも、今後は担当地区だけでなく、他の担当者の地区も把握するように努め、いずれは地区全体を10人が把握し、弱者を見守っていくように努めます。</li> <li>・ 隣近所、両隣で声掛けを行うことにより、地域住民が顔見知りになり、地域の人々が隣近所を気にかける意識を芽生えさせ、新聞がたまっているなど隣近所の変化を気にしながら生活するように努めます。</li> </ul>
<p>被災時に災害弱者になるであろう、高齢者や障がい者の住まいを地区で全て把握していないのが実情です。</p> <p>個人情報保護のため、行政から地区に対して高齢者や障がい者の住まいの情報が伝えられません。</p> <p>老人会等の行事を通じて、把握に努めようとしていますが、参加者が増えず、地区全体を把握することができません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以前、組長に協力してもらい、60歳以上の名簿を作成したことがあります。今後も組長と民生委員が協力して、高齢者や障がい者の住まいの把握に努めていきます。</li> <li>・ 災害時には、民生委員も無事がどうかわかりません。10人いる民生委員が情報を共有することで、誰かに何かあった場合でも、災害弱者への対応ができるように努めていきます。</li> </ul>

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>子ども会などの地域活動は、退会や最初から入会しない家庭が増えています。さらに、少子化の影響もあり、子ども会などの運営に支障をきたしています。</p> <p>その反面、中学生の子ども会を運営している地区もあります。</p> <p>自治会や子ども会に入会していない家庭の子どもを把握することは難しいのが実情です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1日に行っているあいさつ運動は、地域の大人と子どものつながりになっているので、今後も活動を継続していきます。</li> <li>・また、子ども会の行事に興味を沸くものになるよう工夫しながら、参加を促していきます。</li> <li>・子ども会活動だけでなく、子どもたちが地域活動に参加するよう声かけを行うことによって、地域の大人と子どもが顔見知りになり、子どもを見守る雰囲気づくりをしていきます。</li> </ul>

## 4 生活・環境

【めざす姿】

### 清掃活動を通して地域資産を守っていこう

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域の誇れるものである海岸が不法投棄、バーベキュー後のごみ、また、海の家廃材がそのままにされるなど、海岸の美化が損なわれています。</p> <p>海岸の環境美化保全のため、各種団体が一体となって年4回の清掃活動を行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で海岸の環境を保全することを心がけ、今後も清掃活動を続けていきます。</li> <li>・また、海岸清掃への参加者を増やすように、隣近所で声掛けを行っています。</li> </ul>

## 5 文化・教育

【めざす姿】

### 伝統行事を守るまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>幸には、旧小田原市の総鎮守である松原神社があり、毎年5月には大祭が開催されています。</p> <p>21区、22区、23区、24区には山車があります。4基も山車があるのは、市内でも幸だけです。大祭のときには、山車と神輿が地域内を練り歩きます。以前、山車4基がお堀端通りに勢ぞろいしたことがあります。現在は、組み立てに費用がかかることもあり、すべての山車を毎年、動かすことはできません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4基の山車はこの地域の資産であるので、住民の力で、今後も維持管理に努めていきます。</li> <li>・北條五代祭りや夏祭りなどのイベントの際に、これらの山車を一斉にお堀端通りに並べて、多くの方に披露できるように、その方法を考えていきます。</li> <li>・また、山車を披露することによって、市のイベントなどの後押しをするとともに、盛り上げの一助となるよう、協力体制を整えていきます。</li> </ul>
<p>5月のお祭りの時期になると、地域にはお囃子の音が響きます。子どもたちは、この時期になると、地域の人からお囃子を教えてもらっています。しかし、子どもの数も、教える人もだんだん少なくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お囃子の練習は、地域と子どもたちとのコミュニケーションの醸成と文化の伝承に寄与しているので、これからも続けていきます。</li> <li>・そのためには、減少している教え手を増やしていく必要があります。若い世代の後継者育成に力を注いでいきます。</li> </ul>

【めざす姿】

### 地域が学校の行事に協力するまち

誇れるもの	できることから始めよう
<p>三の丸小学校では、PTA主催により、わくわくフェスタ（バザー）を開催しています。</p> <p>毎年10月に行われる「わくわくフェスタ」では、子どもたちは老人クラブ連合会の方々から、竹とんぼづくりや昔の遊びを教えてもらったり、電車を走らせてもらったりしています。</p> <p>小学生だけでなく、保育園や幼稚園にも声をかけることによって、地域の未就学児も参加し、楽しいひとときを過ごしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化が進み、地域のコミュニケーションが希薄になっているなかで、地域で子どもを守り育てていくことはこれまで以上に必要です。</li> <li>・子どもの見守り運動やあいさつ運動を継続することにより、子どもとのつながりがさらに密になるように努めていきます。</li> <li>・また、三の丸小学校の「わくわくフェスタ」は、世代を超えた行事として、引き続き、老人クラブ連合会ほか地域の方々の協力を得て続けることにより、竹とんぼづくりや昔の遊びを子どもたちに伝承していきます。</li> <li>・バザーは地域に回覧し周知を図るとともに、地域住民に協力をいただき開催をしていきます。</li> </ul>

## 幸地区まちづくり検討委員会

平成22年3月作成

瀬戸 充	(幸地区自治会連合会会長・第27区自治会長)
桑原 義樹	(第21区自治会長)
内山 宏	(第22区自治会長)
加藤 條一	(第23区自治会長)
山口 芳司	(第24区自治会長)
藤田 幹夫	(第25区自治会長)
瀬戸 裕一	(第26区自治会長)
山田 彰夫	(宮の前高梨町商店会長)
田近 公榮	(第21区民生委員児童委員・幸民児協会会長)
藤間 敬子	(第22区民生委員児童委員・幸地区社会福祉協議会会長)
尾上 弘美	(第23区民生委員児童委員)
鈴木美知子	(第24区民生委員児童委員)
鏑木 秀子	(第25区民生委員児童委員)
瀬戸 節子	(第26区民生委員児童委員)
塩坂チョウ子	(第27区-1民生委員児童委員)
深水美枝子	(第27区-2民生委員児童委員)
石川 啓子	(主任児童委員)
相田 春子	(主任児童委員)
岡部 正治	(第24区自治会副会長)
奥津 雅次	(消防団第2分団長)
金井 俊典	(元消防団第2分団長)
清水 栄司	(幸老人クラブ連合会会長)
秋山 朋子	(三の丸小学校PTA副会長)
三輪 佳子	(小田原市体育指導委員)

# 地域別計画

## ～ 十字地区 ～



【花と文化の香る西海子小路】

十字地区まちづくり検討委員会

## 地域のキャッチフレーズ

# 歴史と文化のいぶきの中で みんなで創ろう豊かなまちを

## 地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

### 1 地域の地理状況

十字は、小田原市街地の南西部に位置し、北東部は幸に、南西部は大窪並びに早川の下流、相模湾に接しています。

地区の中心には、旧東海道を拡幅利用した国道1号が東西を走り箱根方面へアクセスしており、また、南側の海岸沿いには、西湘バイパス（国道1号バイパス）が設けられています。さらに、小田原市早川口から熱海方面へ国道135号が通じています。

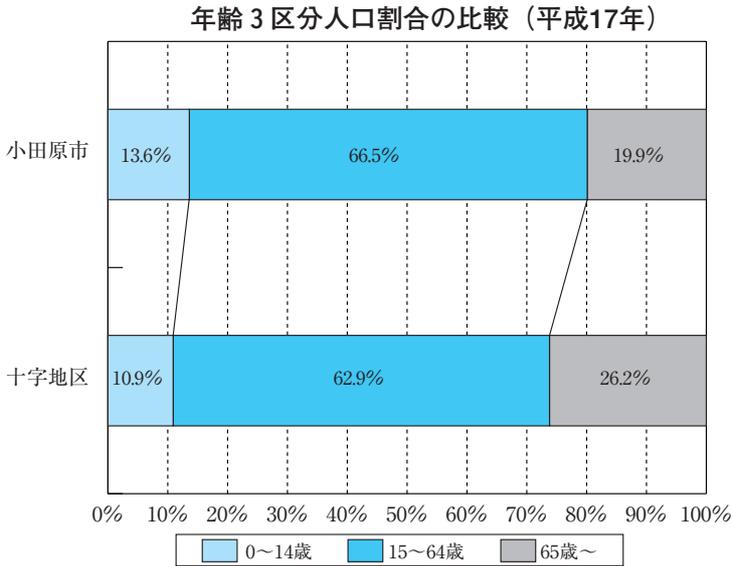
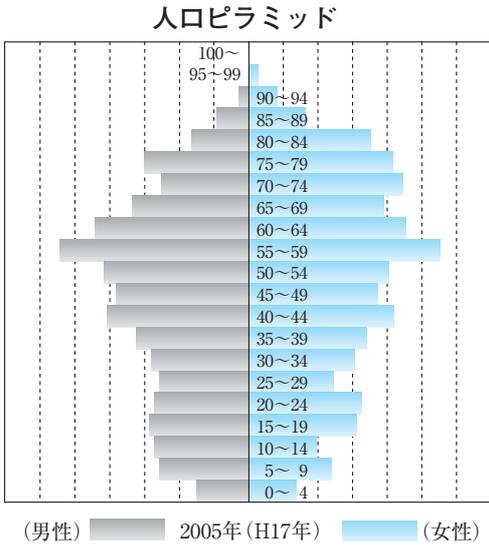
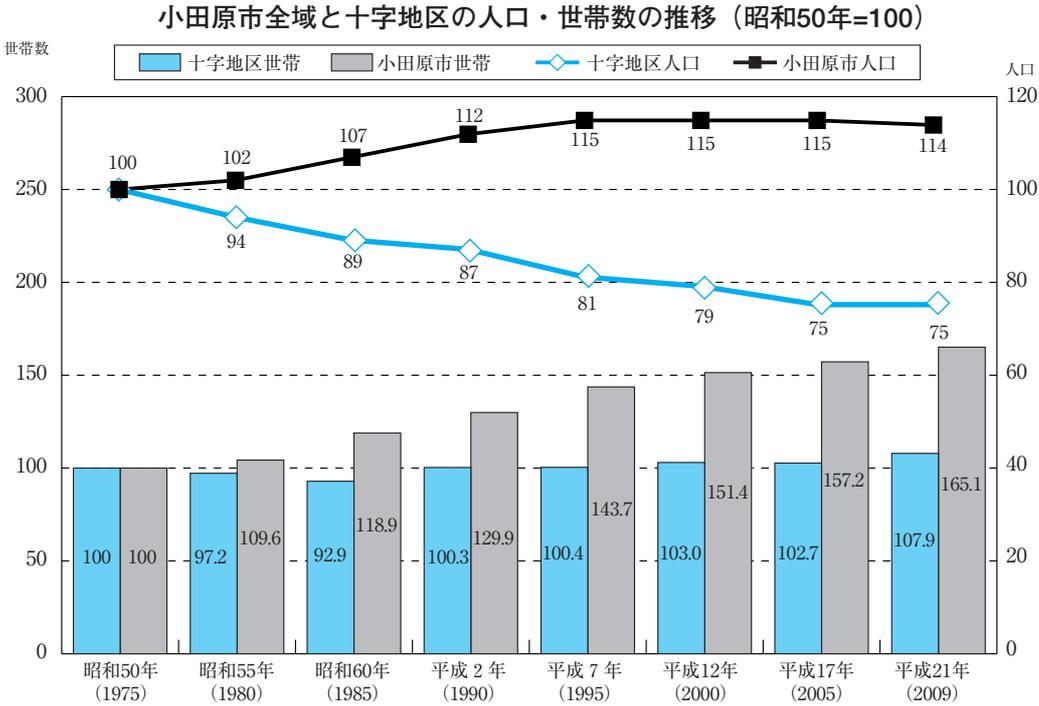


## 2 地域の人口・世帯

昭和50（1975）年と比較すると、平成21（2009）年における人口は、約3/4に減少しています。

一方、世帯数はゆるやかに増加しています。

また、年齢3区分人口の割合を小田原市全体と比較すると、65歳以上の割合が多くなっており、15歳未満の割合は少なくなっています。



## 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

明治8年に小田原府内は5町に編成され、その町名の一つが十字町です。

十字町は、江戸期の町人町の欄干橋町・筋違橋町・山角町と武家町の安斎小路・狩野殿小路・西海子小路・御花畑等の南町一帯です。

安斎小路は、北条氏政・氏照の自決した田村安斎の屋敷があった所といわれています。また、その近くには、大蓮寺（蛇姫様の墓所）や正恩寺（吉川英治の祖父の墓所）があります。

欄干橋町という町名は、この町から城内にかけられていた橋の名前よりついたといわれています。また、山角町は、後北条時代の重臣・山角氏の屋敷があったという説があります。

山角町から一つ山際に入った通りの山側を天神下といって天神様があります。ここには狂歌師紀軽人や松尾芭蕉の句碑があります。西隣りの通称瓜生坂には、明治時代の海軍大将の屋敷があった所で瓜生大将の胸像があります。

国道1号の南西部にある御花畑は稲葉正則の頃の山里曲輪（別荘）で、御浜御殿は客の接待屋敷として後北条時代頃から使用された施設の名が地名としてそのまま残ったものといわれています。

御花畑の荒久海岸近くには古寺の報身寺や「建武の中興」に連座した公家の平成輔卿の墓があります。荒久は1850年代に砲台の台場が造られたところでもあります。



養生館 出典「一枚の写真」

また、明治36年に建てられた御幸の浜の塩水の温泉旅館養生館跡がありますが、ここには、明治23年建造の伊藤博文の別荘、滄浪閣が建てられていました。

このあたりの海岸は明治38年小田原で初めての防波堤が築かれた所です。

後北条時代の小田原は町と小路からなっていて十字町には、「〇〇小路」という通りの名

称が地域の名になっている場合が多いのです。

先にあげたものの他に東から南北に諸白小路（英国式建築を取り入れた聖十字教会がある）・天神小路・御廐小路が通っています。江戸時代にも武家町に町名がなく通りの名を代用していたようです。

小田原が城下町、宿場町として整備されたのは稲葉正則の頃といわれていますが、隣接した板橋は、後北条時代板橋口（上方口）とよばれ、その後も木戸が設けられ、見付けが置かれて小田原城にとって戦略上の重要地点でした。

※筋違橋町（すじかいばしちょう）、山角町（やまかくちょう）、西海子小路（さいかちこうじ）、御花畑（おはなばた）、御廐小路（おうまやこうじ）



西海子小路

小田原  
ふるさとの  
原風景  
百選

東海道線のガードを潜った井神の森には、南側に藩主の菩提寺大久寺があり、反対側に居神神社があります。ここは北条氏に滅ぼされた三浦荒次郎の首が大きな松の木にかぶりつき3年間生首のまま通行人をにらみ据えていたが、久野総世寺の忠室和尚の読経で成仏したという言い伝えが「北条五代記」等の書物に残っている神社です。その西隣には、春日局開基の光円寺があり、さらに、その近くには玉伝寺、伝肇寺があります。



居神神社

国道1号の南側、バス停留所早川口付近には、人車・軽便鉄道の小田原駅跡があります。また、小田原城大外郭の西側平地の代表的遺構である早川口遺構があります。



早川口遺構

桜並木で市民によく知られる西海子小路には、小田原文学館・静山荘（上府中村の民家を移築し別荘とした）があります。

十字は明治から昭和の初期には別荘地として、文豪、政治家、経済人、皇室関係者に愛された地域でありました。

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

高齢者の増加は今後も益々顕著に現れる状況にあることから、いきいきとした元気な高齢者を増やすための健康づくりが求められています。また、子どもや高齢者との交流の機会が減少し、地域住民のふれあいが少なくなっています。

特に中学生や高校生の地域における縦、横のつながりが希薄になっており、生活実態の把握や青少年の健全育成のための基盤が必要になっています。

さらに、自治会の役員のなり手が少なくなっているため、組織や活動の見直しが必要になっています。

災害は、実際に起こって初めてその重大さに驚きます。普段からの備えとして、住民相互のコミュニケーションと危機意識の共有が必要です。地域の防災訓練への参加者が少なく、住民の防災意識が必ずしも高くないため、地震や津波への備えは十分とはいえません。

また、他人、他家への関心が薄く、地域の安全への気遣いが希薄になっており、空き巣被害がこの地区でも散発しています。

一方、十字は、海岸と早川河口に接しており、豊かな海の幸に恵まれた地域ですが、海岸侵食や砂浜の減少により、美しい海岸線が見られなくなっています。ごみの散乱と不法占住者の増加が美観を損ない、海という大きな自然の宝庫が活かされていません。

## 1 健康・福祉

【めざす姿】

### 子どもとお年寄りがふれあうまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>高齢者の増加は今後益々顕著に現れる状況にあることから、高齢者の健康づくりを進めていく必要があります。</p> <p>健康づくりの推進のためには、行事に参加しやすい環境をつくるのが大切であり、楽しく運動ができる軽度のスポーツを広めていく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者を含め健康で楽しく参加できる体制づくりを進め、自宅に引きこもるのではなく、楽しく気軽に参加できるよう、ゲートボール、ペタンク、グランドゴルフ等の軽度のスポーツを導入し広めていきます。</li> <li>・ 各自治会で様々な健康づくりの活動を行っていますが、地域全体で支えあう意識を高めるため、十字全体で行えるよう検討していきます。</li> <li>・ また、高齢者の方が何を望んでいるかを調査し、参加者が増加するようにしていきます。</li> <li>・ 「高齢者筋力向上トレーニング事業」を今後も継続していきます。</li> </ul>
<p>大人の子どもに対する認知度は高い地域ですが、少子高齢化が進む中、老人会や子ども会活動の参加が減少しており、高齢者・子どもとの交流の機会など地域住民のふれあいが少なくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敬老会に子ども会が参加し、手紙やプレゼントを交換したり、舞台上で歌などを披露しています。</li> <li>・ 健民祭の種目に高齢者が参加しやすいものを取り入れるほか、十字全体で子どもと高齢者のふれあう行事を検討していきます。</li> <li>・ 毎年恒例の餅つきでは、子どもと高齢者がふれあっており今後も継続していきます。</li> <li>・ 一人暮らしの高齢者へ、つきたての餅を子どもたちと一緒に配るなど交流の機会を増やしていきます。</li> <li>・ 小田原小唄を知らない子どもが多いので、歌や踊りを高齢者が子どもへ教える機会をつくり、子どもたちへの伝承を通じ、高齢者とのふれあいを促進します。</li> </ul>

## 2 防災

【めざす姿】

### お年寄りから子どもまでのコミュニケーションが地域の連携を強くし災害に強いまちづくりをめざす

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>災害は実際に起こって初めて、その重大さに驚きます。</p> <p>地域防災訓練への参加者数からも防災意識が高いとは言えず、地震や津波への備えは実際のところ不十分と思われる。</p> <p>まずは、防災訓練等に参加することにより危機意識を共有することが必要です。</p> <p>また、防災訓練に高齢者、一人暮らしの方々の参加が少ないため、場所、規模及び実施回数を検討する必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災への意識向上や防災訓練など、災害への普段の備えを充実させるため、自治会によるきめ細かい活動を実施していきます。</li> <li>・他地区との合同訓練等大規模訓練は現状通り継続していきますが、今後は、自治会ごとなどで小規模・少人数での訓練を実施していきます。</li> <li>・防災訓練の内容は、段階を踏んで訓練難易度を上げるなど工夫をしていきます。</li> <li>・防災訓練に地域全員の参加を求めるため、輪番制も採用していくよう検討します。参加者は、組長だけでなく、各組2名程度の参加をするよう心がけていきます。</li> <li>・高齢者に対し、家具転倒防止の必要性について理解を求めるための啓発を行い、補助的ボランティアを行っていきます。</li> </ul>
<p>自治会によっては住民台帳を作成していますが、個人情報保護により管理が行き届いていないため、大規模災害時における住民の安否確認が困難になる可能性が高くなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の近隣住民の安否確認のためには、隣近所の状況の把握が必要であることから、日頃から隣近所（組内）のコミュニケーションを図っていきます。</li> </ul>

### 3 防犯

【めざす姿】

#### 近隣住民相互のコミュニケーションを図ることで、 犯罪のないまちづくり

困ったこと	できることから始めよう
<p>他人、他家への関心が薄く、地域の安全への気遣いが希薄になっています。</p> <p>空き巣被害がこの地区でも散発していることから、防犯に対する住民の意識向上を図るための情報連絡を密にする必要があります。</p> <p>また、年に数件小学生や中学生に不審者からの声かけがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・近隣住民との関係をより密にし、日ごろからの情報交換を図っていきます。</li><li>・小学生の登下校時に合わせ、犬の散歩や掃除など屋外活動を行い、子どもの安全を見守っていきます。併せてあいさつを交わすことにより、地域での交流を図っていきます。</li><li>・犯罪抑止として、各家庭の玄関灯をつけるよう呼びかけていきます。</li><li>・子ども110番や商店街の駆け込み避難場所を継続していきます。</li></ul>

### 4 交通安全

【めざす姿】

#### みんなで見守る安全なまちづくりを目指す

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>毎月初めに国道1号交差点をはじめ通学路での挨拶運動を実施しています。</p> <p>国道1号と国道135号の交差点や箱根口交差点は、交通量が多く、横断歩道を渡るのに不安や恐怖を感じるため、交通安全の確保が必要になっています。</p> <p>また、子どもの通学途中の事故を防止するため住民参加も必要となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・国道1号交差点をはじめ通学路での挨拶運動を継続するとともに、危険箇所を見直し他の場所での実施について検討していきます。</li><li>・地域児童の遊び場である公園が人目につきにくい場所もあり、また、通学時の児童の安全を確保する必要があることから、地域住民による拠点監視員の配置について検討していきます。</li></ul>

## 5 生活・環境

【めざす姿】

### 花と緑の十字まち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>道路、公園等公共の場の美化活動を自治会の役員や組長、老人会等が行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民による美化活動を継続するとともに、マンションの住人や転入者にも声をかけ、参加者を増やし、良好な住環境を保っていきます。</li> <li>・地区全体で清掃活動を行う清掃の日を設けることを検討し、地域ぐるみで取り組む意識を高めていきます。</li> </ul>
<p>ペット（犬）の飼い主のマナーが悪く、排泄物の路上への放置が見受けられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の回覧により啓発を行い、飼い主のマナー意識の向上を図ります。</li> <li>・市から啓発のための看板を貸与してもらい、地区内に設置し注意喚起を行います。</li> </ul>
<p>ごみの散乱と不法占住者の増加が美観を損ない、海という大きな自然の宝庫が活かされていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい海岸線を取り戻し、豊かな海の自然に接するまちとなるため、海岸清掃の実施回数を増やし、ごみのない海岸を目指します。</li> </ul>

## 6 文化・教育

【めざす姿】

### 地域にねざした交流の場と青少年の育成

困ったこと	できることから始めよう
<p>中学生や高校生の地域との縦、横のつながりが希薄になっています。</p> <p>中高生の豊かな心を育むため、家庭・地域・学校が連携し、学校生活を含む生活実態を把握するとともに、青少年育成のための基盤をつくる必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・中学生、高校生を含めた地域でのふれあいを深めるため、健民祭、バスケット大会、ボウリング大会、ハイキング、防災訓練などの地域行事に中高生も参加するよう、学校に協力を求めるなど、多方面、広域的に呼びかけていきます。特に、ボウリング大会の参加が多いので、このような気軽に楽しめる行事も取り入れていきます。</li><li>・地域行事の実施結果を回覧するなど、行事のPRにも努めていきます。</li><li>・居神社、松原神社の例大祭、小田原囃子の継承等の伝統行事にも参加を呼びかけていきます。</li><li>・松原神社の木遣り指導は、中高生が中心に行っており、今後も各世代に受け継いでいき、世代間交流を図ります。</li></ul>
<p>中高生を取り巻く環境は年々悪化しています。</p> <p>海岸で、中高生が深夜に及ぶ花火遊びや大声で騒いだりしていることがあり、海岸付近住民とのトラブルが心配になっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・青少年健全育成会によるパトロール（毎月1回）を引き続き実施し、青少年の健全育成と非行防止の啓発に努めます。</li><li>・特に学校の文化祭のあとに集まることが多いので、学校と協力してトラブルにならないよう啓発していきます。</li></ul>

【めざす姿】

## 見て・聞いて・話して育てる文化のまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>居神社、山角天神社、我が国の水道施設の中では初期頃の水道といわれる小田原用水など多くの歴史的・文化的資産及び人車・軽便鉄道の小田原駅跡や個人が所有する静山荘、由緒ある茶室、養生館跡、滄浪閣跡など大正～昭和初期の歴史的に誇れる資産が数多く存在しています。</p> <p>地域に誇りと愛着を持つために、これら資産を認識することが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域には、歴史的・文化的資産が多数存在しており、これらの財産を地域住民が知ることが必要であるため、歴史的建造物や史跡等をテーマとした「ウォーキングマップ」を作成します。</li> <li>・ウォーキングコースは、テーマや年齢等を考慮に入れて設定していきます。</li> <li>・大正～昭和初期の時代の建造物、洋風な建物をリストアップし、「ウォーキングマップ」に取り入れ周知していきます。</li> <li>・地域住民により、西海子小路の落葉ひろいを実施していますが、今後は、早川口遺構の掃除（草刈等）を行政と協力して実施していくよう検討します。</li> <li>・こうした取り組みを通じ、歴史的・文化的資産や街並みを大切に守り・保存し、活用していく意識を高めていきます。</li> </ul>

## 7 特色ある地域づくり

【めざす姿】

### みんなが参加して活気あるまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域全体（連合）で実施する行事が少なくなっています。</p> <p>各自治会では、納涼祭や餅つき大会等老若男女のコミュニケーションづくりを行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域全体で実施している、健民祭、あかりの祭典（自治会神輿パレード）を今後も継続していきます。</li><li>・納涼祭やどんど焼きを地域全体で実施するよう検討し、地域内のコミュニケーションを図っていきます。</li><li>・子どもたちには、大人が規範を示すことが必要であるため、地域全体で実施できる子ども会のスポーツイベントなど魅力ある行事を開催し、大人と子どものつながりを深めていくよう検討していきます。</li></ul>
<p>穏やかな気風で近所、町内づきあいできていますが、自治会役員等の担い手がいなくなり、ボランティアも限界が生じています。</p> <p>また、老人会、婦人会、青年（中・高校生）会などの組織が消滅している地区もあります。</p> <p>現在、団塊の世代が地域の役職を担っており、今後担い手が不足することが予想されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・老人会、婦人会、青年会などの地域活動は横のつながりをもつことが必要です。地域の人たちが集まり、連携をとって活動できる場について検討していきます。</li><li>・若い人たちにも地域活動に参加してもらう必要があります。自治会の持ち回りでスポーツ大会等を開催するなど世代間交流の推進について検討していきます。</li></ul>

十字地区まちづくり検討委員会の検討経過

- 平成21年 7月 8日 地域別計画説明会
- 8月 6日 十字地区まちづくり検討委員会設立準備会  
 ・委員会委員（案）について  
 ・事務局（案）について  
 ・今後の進め方とスケジュール（案）について
- 9月 4日 十字地区まちづくり検討委員会設立準備会  
 ・委員会委員の選出について  
 ・事務局の選出について  
 ・今後の進め方とスケジュールについて
- 9月 各自治会において地域の現況、誇り（特色）及び課題の整理
- 10月 9日 第1回まちづくり検討委員会  
 ・地域の今（現況）について  
 ・地域の誇り（特色）の把握  
 ・地域の課題の分析
- 10月 地域の誇り（特色）及び課題等についての意見募集（回覧）
- 11月10日 第2回まちづくり検討委員会  
 ・課題解決に向けた取り組みの検討  
 ・特色を活かした取り組みの検討  
 ・めざす姿について検討
- 12月11日 第3回まちづくり検討委員会  
 ・課題解決に向けた取り組みの検討  
 ・特色を活かした取り組みの検討  
 ・めざす姿について検討
- 平成22年 1月12日 第4回まちづくり検討委員会  
 ・地域別計画のとりまとめ
- 2月 1日 正副委員長会議  
 ・地域別計画のとりまとめ
- 2月10日 第5回まちづくり検討委員会  
 ・（素案）地域別計画の承認



## 十字地区まちづくり検討委員会

### 委員長

福田 光好 (十字地区自治会連合会長・29区自治会長)

### 副委員長

安藤 啓一 (28区自治会長)

神永 四郎 (30区自治会長)

荒川 優 (31区自治会長)

谷川 公治 (32区自治会長)

### 委員

岡田 恵子 (28区自治会副会長)

五十嵐 博 (28区民生委員児童委員)

松山 榮 (28区自治会監事)

小野美代子 (29区民生委員児童委員)

小西 道子 (29区主任児童委員)

堀内 貞治 (十字地区青少年健全育成会会長)

高瀬 邦啓 (30区公民館長)

目良 幸子 (30区民生委員児童委員)

杉崎 成夫 (十字地区体育振興会会長)

神永 勉 (消防第2分団)

満谷 裕公 (31区自治会副会長)

本多 孝 (31区民生委員児童委員)

高橋 章 (31区新誠クラブ会長)

大久保貞吉 (31区公民館長)

梅村 正美 (32区西海子クラブ会長)

佐野こずえ (32区子ども会会長)

風間 和子 (32区民生委員児童委員)

勝俣 景子 (十字地区体育指導員)

俵 二郎 (32区公民館長)

### 事務局

小西 絢子 (29区自治会)

# 地域別計画

～ 足柄地区 ～



足柄地区まちづくり検討委員会

## 住んでみたい 住んでよかった 足柄

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

### 1 地域の地理状況

足柄は、小田原駅の北東に位置し、地域の北側にはJR東海道本線、東海道新幹線が走っています。

また、南には国道1号、西には国道255号が通っていて、東には酒匂川、西には山王川が流れており、酒匂川には小田原大橋がかかっている、川東地区に通ずる交通の結節点となっています。

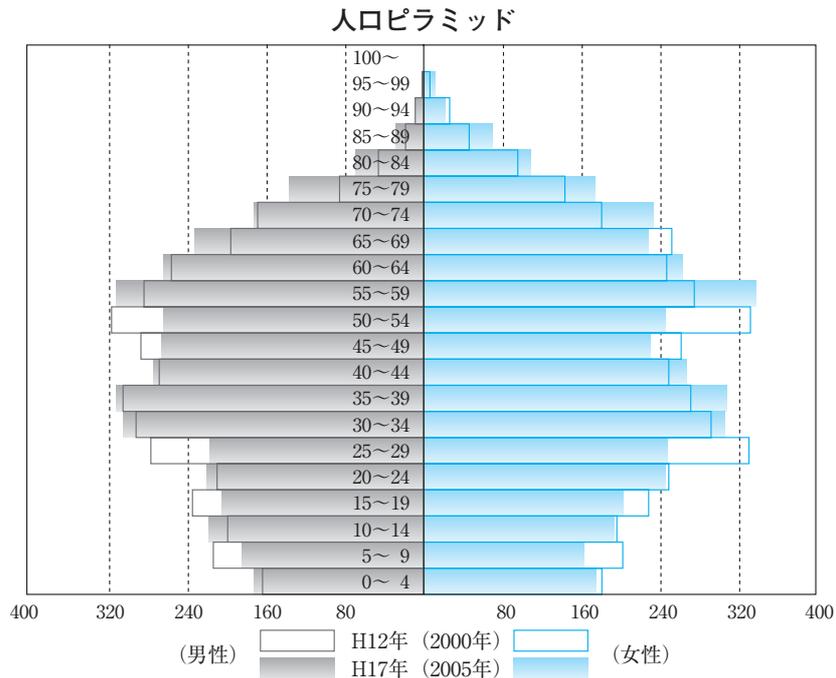
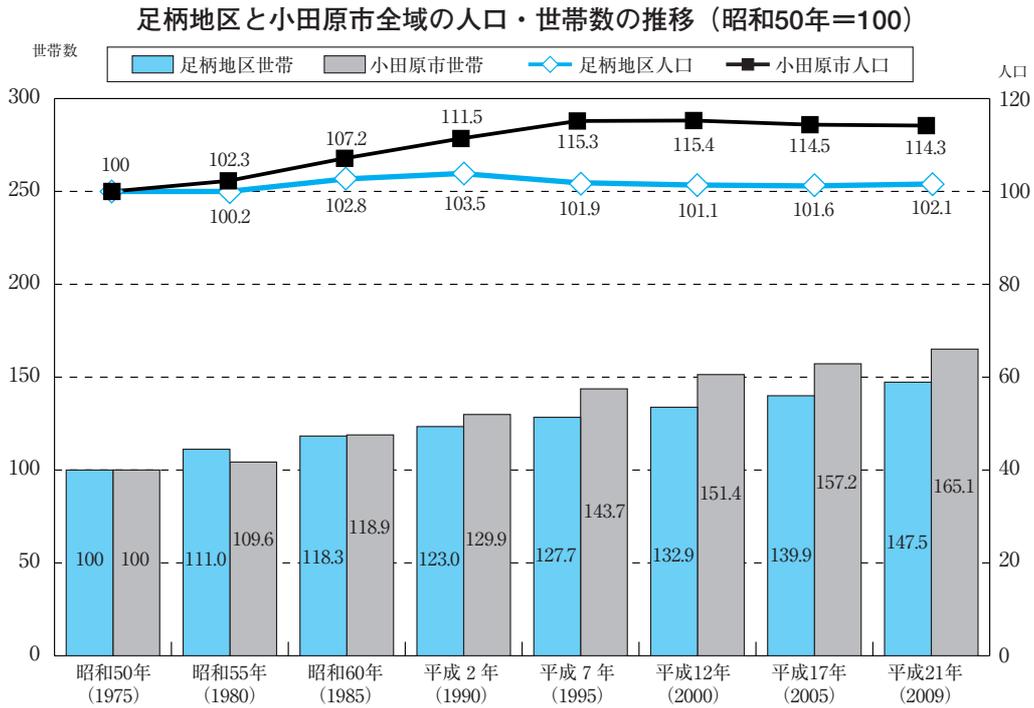
そして、小田原駅へも徒歩でいける距離にあり、生活に便利な閑静な住宅街がひろがっています。



## 2 地域の人口・世帯

市全域では、人口は昭和50年（1975年）から平成12年（2000年）までの間増加し、その後緩やかな減少傾向にあります。足柄地区はほぼ横ばいになっています。世帯数は、市全域も足柄地区も増加が続いています。

人口の構成としては、団塊の世代と第二次ベビーブーム世代の人口が多く、子どもが少ないことが特徴です。

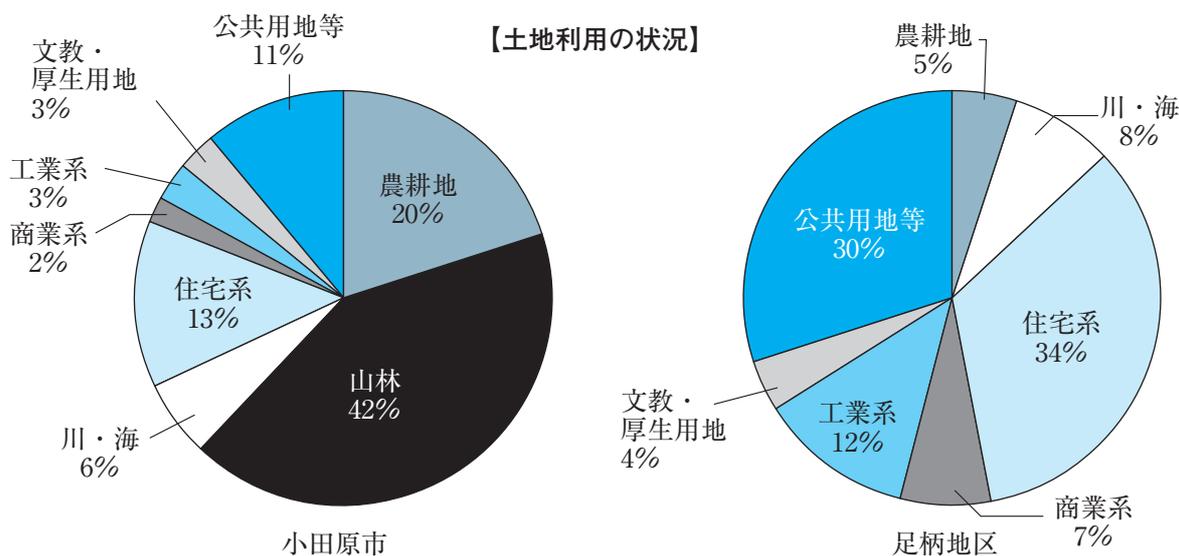


### 3 土地の利用状況

小田原市全域と比較すると農耕地や山林が少ない地域です。用途地域は工業地域、準工業地域に指定されており、工業系が約12%を占めています。

しかし、地域内では住宅系が約34%と最も多く、次いで公共用地等が約30%となっており、住宅と工業が混在した地域となっています。

そして、川が約8%を占めています。地域の東側には酒匂川が、西側には山王川が流れ、用水路がいたるところに見ることが出来る水が豊富な地域です。



### 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

#### <酒匂川と山王川>

地域内には酒匂川と山王川が流れ、住民の心を癒しています。毎年5月に行われるクリーンさかわや6月に行われる山王川清掃には自治会をはじめ、周辺の企業や多くの住民が協力し河川清掃を行い、豊かな自然環境を守っています。

山王川の護岸には桜や椿など美しい花々が咲き、通る人の目を楽しませています。



山王川の桜

### <酒匂川河川敷>

酒匂川河川敷にあるスポーツ広場では、地域の内外を問わず、子どもから大人まで野球やサッカーなどでいい汗を流し、交流が図られています。

8月の第1土曜日には河川敷で約5,000発の色とりどりの花火が打ち上げられます。小田原大橋に沿って約300メートルのナイアガラ大滝が現れ、夏の夜空を華やかに彩ります。市外からも多くの観光客が訪れ、賑わっています。



酒匂川花火大会

小田原市HPより

### <ふれあい広場>

酒匂川終末処理場の屋上には寿町ふれあい広場があり、子どもがのびのびと遊んでいます。また、自治会の夏祭りや子ども会の行事が行われ、住民の交流の場となっています。



37区夏祭り

ふれあい広場

### <熊野神社>

「風土記稿」「県神社誌」では、中島村の鎮守で速玉男之命（ハヤタマオノミコト）が祀られています。

境内にはかつて観行松と呼ばれた松があり、万年町の漁民が舟で帰る時の目標にしていたとも伝えられています。今もカヤ、ケヤキの大木が境内を覆っています。



熊野神社

### <徳川家康陣地跡>

1590年小田原合戦で徳川軍約3万人は、当時今井に住んでいた柳川和泉守泰久の宅地を本陣とし、北条氏が降伏して開城するまでの100余日間に亘って本陣を構えたといわれています。陣地跡は市の指定文化財になっています。

～「身近にある小田原の史跡 川西版」

小田原市教育委員会発行～から引用



徳川家康陣地跡

### <桜祭り>

足柄では毎年4月の最初の週に、桜祭りを開催し、地域のコミュニティの向上に努めています。

高齢者から若い人まで、多くの人に参加して大変に賑わいます。



桜祭りの写真

### <用水路>

現在は、蓋などが架けられ道路の下に隠れているため気づきませんが、地域内には多くの用水路が流れています。

いまは地域内の土地利用は工場や住宅地が多くなっていますが、昔は農耕作が盛んだったことが思い出されます。

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

住民の生活スタイルや意識の変化に伴い、地域のつながりが希薄になっています。

自治会や子ども会の未加入世帯が増加しており、また、自治会をはじめ、各種団体の役員の世代交代ができていないため、担い手が不足しています。

自治会を通じて、健民祭や健康教室など様々な行事への声かけを行っていますが、参加者が年々減少するとともに、固定化しており地域活動が形骸化しています。

さらに、ごみステーションに分別出来ていないごみや収集日でないごみを捨てている人がいるなど環境美化に対するモラルの低い人が見受けられます。

一方、酒匂川や山王川があり、河川の氾濫や津波などが心配な地域ですが、日頃からの防災に関する情報に接する機会が少ないため、住民の災害に対する意識が低下しています。

また、地域の中でコミュニケーションが十分とはいえないため、発災したときにお互いが助け合うことができるか不安です。

痴漢や空き巣、詐欺などの犯罪が発生しており、犯罪に対する不安もあります。

## はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～ できることから始めよう ～

## 1 地域振興等

【めざす姿】

## 気軽に声かけ合える、安心して住みやすいまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>&lt;住民の交流&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤自治会連合会の中でも、山王川を境に、住民の生活環境が異なっています。古くからの住宅地においても、住民の生活スタイルや意識の変化に伴い、地域のつながりが希薄になっています。</li> <li>➤新たに転入してきた住民や若い世代は、隣近所や地域の高齢者とのつながりや交流があまりないようです。</li> <li>➤自治会を通じて、健民祭などさまざまな行事への声かけを行っていますが、年々、参加者が減少するとともに、固定化されてしまっており、地域活動が形骸化しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの声かけは非常に大切なことです。自治会連合会では、年1回のあいさつ運動を実施していますので、これからも続けていきます。</li> <li>・あいさつは顔見知りになるきっかけになります。まず、一人ひとりが、組内や隣近所などの小さい単位で、顔を合わせたらあいさつをするよう心がけていきます。そして、子どもたちにもあいさつの大切さを教えていきます。</li> <li>・毎年、実施している健民祭や神社のお祭りなどには、隣近所で声かけを行い、参加者を増やすよう努めていきます。</li> <li>・高齢者と若者の交流を図るために、地域活動へ若者が参加するような仕掛けづくりに取り組んでいきます。</li> </ul>
<p>&lt;自治会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤数年で転居することが多い住民は、自治会活動に関心のないことが多く、足柄地区に限ったことではありませんが、自治会未加入世帯が増加しています。</li> <li>➤自治会や各種団体の役員は精一杯活動しており、これ以上の負担は難しくなっています。</li> <li>➤地区には若い世代も住んでいますが、生活のリズムが高齢者と合わないことも多く、地域活動へ参加することができません。</li> <li>➤自治会だけでなく、各種団体においても、役員の世代交代ができていないため、担い手が不足しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のつながりを深めていくために、住民が顔を合わせる機会を増やすよう努めていきます。</li> <li>・お祭りや各種行事の参加を呼びかける声かけは、今後も継続していきます。そのほか、月に1回でも集まることができるよう、きっかけづくりを検討していきます。</li> <li>・子どもや高齢者のさまざまな発表の場を作ったり、世代を超えて楽しむことができる花見やまち歩き（ウォーキング）を実施したりすることで、お互いのコミュニケーションを深めるよう努めていきます。</li> <li>・若い人たちが地域を盛り上げるような仕掛けづくりに取り組み、少しずつ世代交代を図っていきます。</li> </ul>

<p>&lt;子ども会&gt;</p> <p>▶子ども会活動が活発な地区もありますが、自治会と子ども会の関係がうまく機能していない地区もあります。</p> <p>▶親が役員を受けたくないために、子ども会をやめてしまう家庭もあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区において、子ども会と自治会は密接な関係にあるため、双方で無理なく、活動が続けていくことができるような環境を整えていきます。</li> <li>・役割を分担し、一人ひとりの負担を軽くすることによって、加入率を上げるよう努めていきます。</li> </ul>
--	---

**【めざす姿】**

**子どもから高齢者まで 元気で 交流が盛んなまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎年7月の最終週に、各地区一斉に、夏祭りが開催されます。</li> <li>○夏祭りのときには、外から子どもや孫が戻ってきて、地域はとても賑やかになります。また、子どもたちはあちこちの会場を駆けもちして遊ぶことができ、地域の交流も生まれています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭りの開催によって、小さな単位での交流が促進され、結束が強くなることから、今後も続け、更なる住民交流を図っていきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○34区では、町田小学校で、グラウンドゴルフを実施しており、最近是他地区からの参加者も少しずつですが増えています。</li> <li>○また、34区では、お祭りやバーベキュー、夜警など、青年部での活動が活発で、男性の交流が盛んです。</li> <li>▶しかし、地区全体のイベントは、健民祭や防災訓練くらいしかなく、大人同士の結びつきが少ない地域です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、34区において実施しているグランドゴルフは、子どもから高齢者までが楽しむことができるスポーツなので、実施回数を増やすことによって、地区全体のイベントとして実施することを検討していきます。</li> <li>・これまでと同様に、社協だよりを活用して、様々な行事の広報に努めていきます。前年の結果などについて写真を増やしたり、見やすい紙面でお知らせすることにより、住民が各行事に興味を持ち、参加意欲を持つことができるよう、努めていきます。</li> <li>・34区の青年部を見習い、男性の交流を増やすことができるよう、声かけを行っていきます。</li> <li>・行事のあと、間を置かずに状況や結果を広報して行きます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○町田小学校の花をいっぱいにする運動で、まちがきれいになったと感じています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花を植えることは、防犯に役立ち、また、更なる地域住民の交流にもつながることから、花をいっぱいにする活動を地域に広げていきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○36区は公民館活動が、セントラルハイツはサークル活動が盛んです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、実施している公民館活動やサークル活動の情報を、地区住民に広く提供することにより、地域のつながりを密にしていきます。</li> </ul>

<p>○地域内には、神社や寺、史跡がたくさんありますが、住民の中には知らない人もいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会内に文化部のようなものを作って、さまざまな文化活動を実施することを検討していきます。</li> <li>・地域の資産を広く広報することに努めるとともに、ウォーキングなどを開催することにより、人の交流を活発にしていきます。</li> </ul>
<p>➤子育て中の若いお母さんは隣人とのつきあいがあまりありません。</p> <p>○現在、にこにこ広場（子育て支援のボランティア）を通じて、若いお母さんの交流も図ることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協だよりを活用するだけでなく、スーパーへのポスター掲示などにより、引き続き、参加者を増やしていき、子ども同士、母親同士の交流を深めていきます。</li> </ul>

## 2 生活環境等

【めざす姿】

### 地域の人々の環境意識が昔の酒匂川・山王川の清流を呼びもどす

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>○山王川や酒匂川の清掃に地区の住民が積極的に参加しています。</p> <p>➤山王川の清掃については、以前は神奈川県が6月、9月の年2回草刈を行っていたので、6月の山王川の清掃の時には草木が刈られた状態で清掃活動が出来、ごみを探して収集する事が出来ましたが、今は9月の年1回だけの草刈なので、6月の清掃活動時には草木が生い茂りごみを探すことが難しく、また、清掃活動の邪魔になり十分な清掃活動ができません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンさかわや山王川の清掃活動は今後も続けながら、参加者を増やす工夫をしていきます。</li> <li>・山王川の草木を刈るためには道具を使うことから、怪我することや樹液による肌荒れなどの心配もありますが、出来る範囲での草刈を行うことも検討し、清掃活動の充実に努めます。</li> </ul>

【めざす姿】

### ごみが落ちていない地域を目指して活動するまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>➤ごみステーションに捨てられているごみの中に、分別が出来ていないものや収集日でないごみを捨てている人がいて、モラルの低い人が見受けられます。</p> <p>➤子どもに手本をしめす親に環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会連合会全体で行っている活動で出るごみの分別を参考にしながら、皆でごみの分別などを行いながら、ルールについて勉強し、ごみ出しのルールを守ることなどモラルの向上に努めます。</li> <li>・ごみステーションへ捨てられるごみのルールが守られていない時にはお互いに注意し合うように心</li> </ul>

<p>美化に対するモラルが低下している人もいますので、子どもに悪影響を与えることもありそうです。</p> <p>➤自治会環境部や青壮年会などの地区各種団体が清掃活動を行っていますが、自治会連合会区域の境や単位自治会の境は清掃活動が行き届かないことや地区の目が届かないためか、ごみが散在している箇所があり、特に34区、35区の境にごみが散在しています。</p> <p>➤また清掃活動の実施時期や場所の情報共有が十分でないためか、近い時期に同じ場所の清掃を行っていることがあります。</p>	<p>がけていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは連合として地区の環境美化活動に取り組み、単位自治会で目の届かないところに目を届かせるように心がけていきます。</li> <li>・地区の各種団体が行っている清掃活動の維持や活動時期、場所の情報共有に心がけ、また地区内一斉清掃日を設けるなど年間を通して、地区内の環境美化の維持に努めます。</li> <li>・清掃活動は子どもから高齢者まで参加できる活動なので、参加者を増やし、環境美化の意識の向上とコミュニティの形成を図っていくように努めます。</li> <li>・ごみ出しルールや、ポイ捨て禁止について幼稚園児や小学生へ教え伝えるように心がけ、小さいころから環境美化に対する意識を芽生えさせていきます。</li> <li>・36区で毎月第1日曜日に一斉放送して、朝8時から9時まで家の前の清掃を実施しています。こうした活動を足柄地区全体として取り組んでいけるよう検討していきます。</li> </ul>
---	---

**【めざす姿】**

**高齢者が地域の子どもとふれあう元気なまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>○高齢者の健康管理は老人会で指定医を設けることやウォーキング、毎週水曜日に町田公民館で体操を行うなど、健康維持・増進に気をつけています。</p> <p>➤ウォーキング大会などは高齢者のコミュニケーションの形成にもつながっていますが、高齢者は軽い運動でも負担になるのか継続して参加する人は少数です。コミュニケーション形成の場として、老人会が開催している行事への参加者が多く、必要不可欠なものとなっています。</p> <p>○町田小学校はペットボトルのキャップを集め車椅子を寄付する活動や老人ホームへの訪問などの活動を行なっています。車椅子</p>	<p>できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無理に新しいことを覚えたりするのではなく、昔から親しまれているラジオ体操などを活用しながら、日頃から軽い体操を行う環境づくりに努め、コミュニケーション形成の場の創出にも取り組んでいきます。</li> <li>・老人会の活動に限らず、行事の内容によって、参加者が増えたりします。例えば、日帰り旅行などは定員を超えることもありますので、行事の内容を工夫しながら活動の継続と充実に努めます。</li> <li>・老人ホーム訪問などの世代間交流を継続するように努めていながら、高齢者と子どもが接する機会を増やすため、小学生に竹とんぼやコマなどの昔遊びを教え、中学生には昔の経験を話す機会を設けるように努めます。</li> <li>・指定医を設けることで未病の段階で予防できるよう心がけて行きます。また毎月第1日曜日にラジオ体操を行うことを検討していきます。</li> <li>・町田小学校に通う児童がいない家庭はペットボト</li> </ul>

子の寄付時などに老人ホームを訪問してくれることは、お年寄りが喜ぶので継続していただきたい活動です。

ルのキャップの回収に協力することが難しい状況です。児童の通学時間帯に家の前で渡し学校にもっていってもらうなど地域のコミュニケーションを利用して回収できるよう検討していきます。

### 【めざす姿】

## お互いの健康状態を知っているまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>○健康維持・増進を考えるきっかけになるように、健民祭を開催し、それにあわせて会場で健康教室等を行っています。</p> <p>➤しかし、健民祭に参加する人が減ってきているので、寂しくなり、また、せっかく行っている健康教室を利用しない人がいます。</p> <p>➤健民祭が地区対抗で優勝することが目的になっていて、レクリエーションとしての目的が薄く運動の苦手な人が参加しづらい状況です。</p> <p>○そのほか健康や体力増進のためグラウンドゴルフ、ソフトボール大会、ウォーキング大会などのスポーツイベントを開催しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健民祭への参加者を増やすため、行事の意義や目的を伝えながら、お互いに参加を呼びかける声かけを行い、新旧住民のつながりもつくっていきます。</li> <li>・子どもや孫が健民祭の種目に出場すれば、親や高齢者が観戦に来ます。そこで世代間交流が生まれるので、子どもが参加しやすい工夫を行っています。</li> <li>・健民祭の会場で行っている健康教室をPRし、利用してもらえよう努めます。</li> <li>・健民祭の種目の変更等は負担になりますが、もう少し参加しやすい種目に変更することなどを検討していきます。</li> </ul>

### 【めざす姿】

## 地域に子どもの声がかこだまするまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>➤外で遊ぶ場所が無いことや塾、習い事で子どもたちが忙しいためか、最近子どもたちの遊び声が聞こえてこない。</p> <p>友達同士で外で遊ぶことは、将来、人と人のコミュニケーションを取る方法を学ぶ良い機会なので、子どもたちが外で遊べる環境づくりが必要です。</p> <p>また、少子化の影響もありますが、地区の活動に参加する子どもが減っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健民祭など、子どもが参加する地区の行事で、外遊びを紹介して、子どもたちが普段から外で遊ぶ環境づくりに努めます。</li> <li>・老人ホームなどを訪問するボランティア活動に子どもが参加しやすい環境づくりやコミュニティの形成に努めつつ、子どもたちに思いやりの心を芽生えさせていきます。</li> </ul>

### 3 防災防犯等

【めざす姿】

#### 地域で支えあい築く安心

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>➤地域内には、酒匂川や山王川があり、地震や台風、集中豪雨などによる河川の氾濫、津波などが心配です。</p> <p>➤日頃から防災に関する情報に接する機会も少なく、住民の災害に対する意識が低下しています。</p> <p>➤自治会を中心に、消防士の協力も得て、町田小学校で3つの班に分かれ防災訓練を行っています。しかし、防災訓練は、回覧板で周知し、参加を募っていますが、毎年同じ人が参加することが多く、人数も減ってきています。</p> <p>➤地域の中のコミュニケーションが十分とはいえず、発災したときに、お互いが助け合うことができるか不安です。</p> <p>➤小学校の学区と自治会の区域が違うため、親子で広域避難所が違ったり発災時に避難しづらいことなどの問題があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧や社協だよりなどを利用して、災害への備えを周知したり、各单位自治会で防災マップの作成を通じて危険箇所の認識を深めたり、講演会の実施や行政の出前講座を活用するなど、防災情報に触れる機会を増やし、一人ひとりの防災意識の向上に努めていきます。</li> <li>・平時から小さな単位で住民が話し合う場を設け、避難方法や声かけなどについて確認していくことを検討します。</li> <li>・防災訓練の内容を見直し、更なる充実を図ることで、災害時に対応できる訓練にしていきます。また、単位自治会ごと、あるいは組単位での防災訓練を行うなど、自治会の役員以外にも多くの人に参加することができる方法を検討し、訓練への参加を回覧板だけでなく直接呼びかけ参加しやすい雰囲気を作っていきます。</li> <li>・地域での活動を通じて声をかけ、あいさつを交わし、自治会未加入者へコミュニケーションの必要性や自治会で行っている活動を伝え、お互いが助け合える関係を作っていきます。</li> <li>・発災時には、中学生が大きな力になります。中学生に協力してもらえるように、日頃からコミュニケーションをとり、「互助」に対する意識の向上を図っていきます。</li> <li>・小学校単位での防災訓練を継続していきます。また、小学校の学区と自治会の区域を統一した場合のメリット、デメリットを検証し、必要があれば統一に向けた検討を進めていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

## 声かけあって明るいまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤自治会で防犯灯の整備を行っていますが、地域内には暗いところがあり、整備が十分でない所もあります。また、自治会で防犯灯を整備していることを知らない人もいます。</li> <li>➤痴漢や空き巣、詐欺などの犯罪が発生しており、犯罪に対する不安もあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会で防犯灯の整備を行っていることを住民に周知し、防犯灯が不足している箇所について情報を提供してもらい、整備を充実させていきます。</li> <li>・地域で起きた犯罪を回覧で素早く周知するとともに、不審者情報などがあれば自治会長や防犯部長に情報提供してもらえよう協力を呼びかけていきます。犯罪が発生している箇所をマップにまとめ情報提供を行い各自で注意していただき、育成会や自治会で防犯パトロールを継続していきます。また、回覧等で協力を呼びかけ担い手を増やしていきます。</li> <li>・子どもが安心して通学できるよう、町田小学校スクールボランティアやPTA校外委員、交通安全母の会の登下校時の見守り活動を継続し、学校と連携しながら活動の充実を図っていきます。</li> <li>・見守り活動の時にあいさつ運動も合わせて行い、地域の絆を強めます。また、子ども110番に協力していただける方を増やし、年数が経過したステッカーは新たなものに交換し、犯罪が発生しにくいまちづくりを行っていきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤地域内で交通事故が発生し、住民が被害者となるケースがあります。</li> <li>➤自転車の乗り方など交通ルールを守らない人がいます。</li> <li>➤夜間に見えづらい服装でウォーキングをしている人が増えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室などを通じて、正しい交通ルールとマナーを身につけ、交通事故の被害にあう人が減るよう活動を継続していきます。</li> <li>・子どもが交通事故の被害にあわないよう、町田小学校スクールボランティアやPTA校外委員、交通安全母の会の登下校時の見守り活動を継続していきます。</li> <li>・交通事故が発生している箇所を回覧などで周知して注意を促していきます。</li> <li>・夜間ウォーキングする際には、反射板などを身に付けて歩くよう呼びかけていきます。</li> </ul>

## 足柄地区まちづくり検討委員会

平成22年4月作成

### 委員名簿

秋山 浩樹	篠田 康光
石井 俊子	須藤 勲
石川 進	関野美恵子
伊藤 義次	瀬戸 昌子
井端 幸浩	鳥居 進
岩根 美起	中村 博樹
上田 純子	早野 一男
大川 和美	原 信行
落合 千博	原 博文
小野 意雄	廣川 宏美
川口 秀一	藤田 恭子
川田 康弘	穂谷野克己
木原 智子	益田麻衣子
栗山 起子	望月 守一
小石川智恵	山下 教子
斎藤 順治	山田 浩
佐藤 豊	吉田 誠
澤地 宏	米山 淳子
沢田 実	渡辺 ますえ

敬称略、アイウエオ順

# 地域別計画

～ 芦子地区 ～



芦子地区自治会連合会

# 人と伝統と発展が融和するまち 芦子

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

## 1 地域の位置と地勢

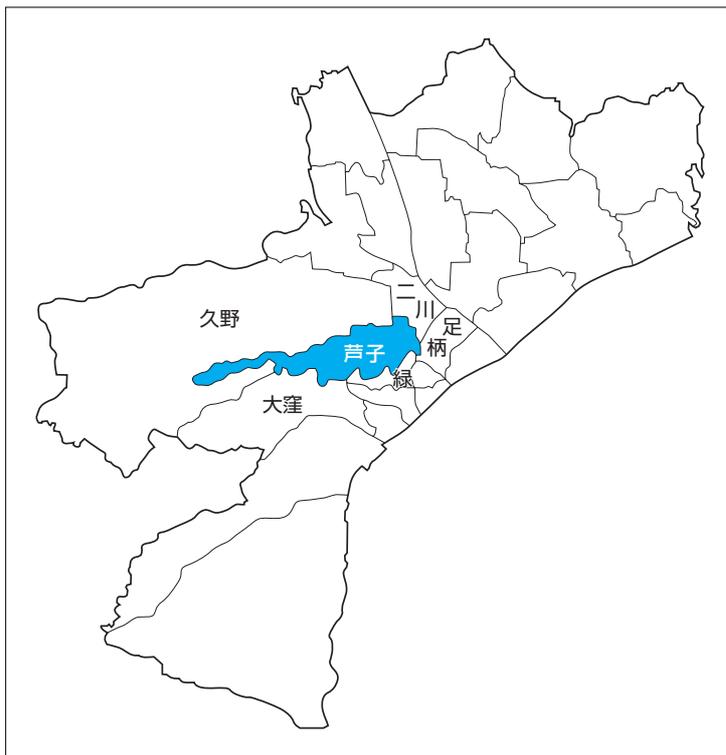
芦子は、小田原市の中央部に位置し、面積は約3km<sup>2</sup>の地域です。周囲を久野、二川、足柄、緑、大窪に囲まれています。

西部は、箱根連山に連なる山地で、地域の北側部分を小田原厚木道路が通り、出入口として荻窪インターチェンジが設けられています。

また、官庁街として、小田原市役所、小田原合同庁舎、小田原税務署が集まっているほか、5つの鉄道会社が乗り入れて、県西最大の乗降客数を誇る小田原駅に隣接し、交通の便も良く、生活には便利な地域です。



小田原市役所と前庭



けやき通りの落ち葉拾い



旧小田原競馬場

## 【1】寺町

寺町は、東海道新幹線を挟んで小田原駅側の中町1丁目と旧井細田側の扇町1丁目とで構成されている地域で、荻窪村から芦子村、足柄村そして小田原町へと合併し、現在に至っています。その名のとおり、寺院が6寺（かつては11寺）もあります。市役所や警察署をはじめ、市立病院などに隣接し、また、小田原駅から徒歩で約15分圏内に位置しているだけでなく、大雄山線の緑町駅も近く便利な地域です。

史跡として大聖院の裏側に北条時代の土塁が残されており（現在は、石垣になっています）。また、寺町にはかつて「桐座の舞台を踏まなくては千両役者にはなれない」といういい伝えがあるほど有名な「桐座」という芝居小屋がありました。

## 【2】荻窪

荻窪は、西側が箱根山系の端に位置し、沢を中心にした地形となっています。川口広蔵氏を中心に進めた荻窪用水の開削によって、水田耕地が広がり、農業が栄えました。その後、小田原市役所や小田原税務署、県政地区行政センターなどの官庁が集積してきました。

さらに、関東学院大学や小田原こどもの森公園わんぱくらんど、辻村植物公園などの公共施設も建設され、小田原厚木道路のインターチェンジも出来ました。

荻窪地区でコミュニティの中心としているのが荻窪公民館です。また、そこから近くには荻窪公園があり、盆踊りの会場にしています。

## 【3】谷津

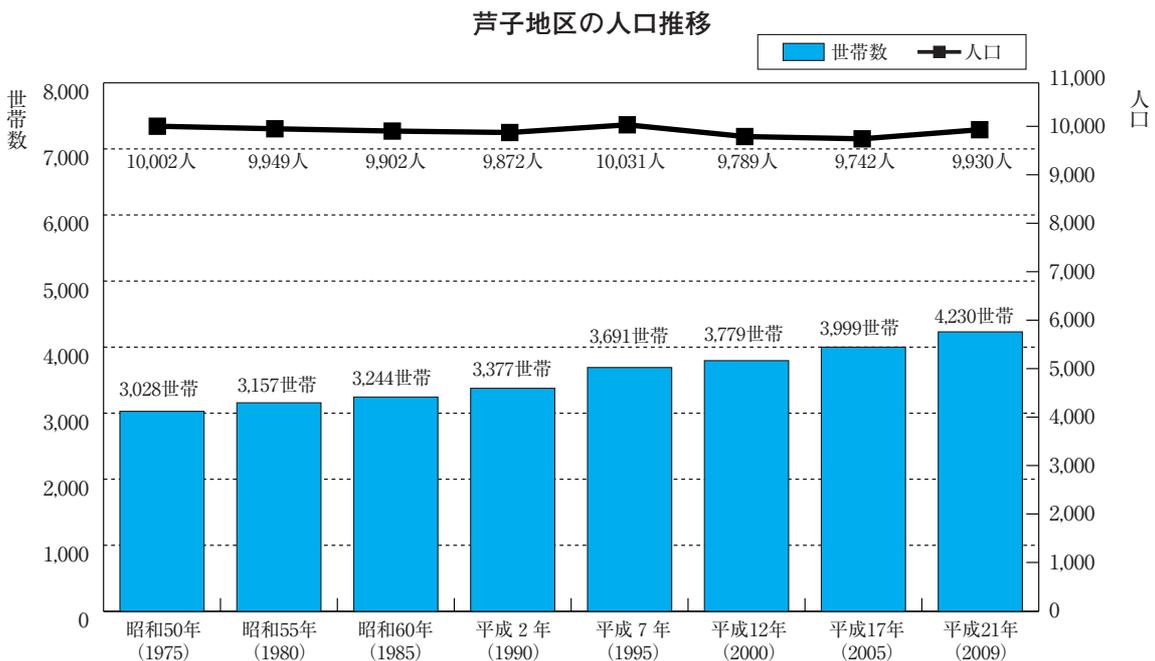
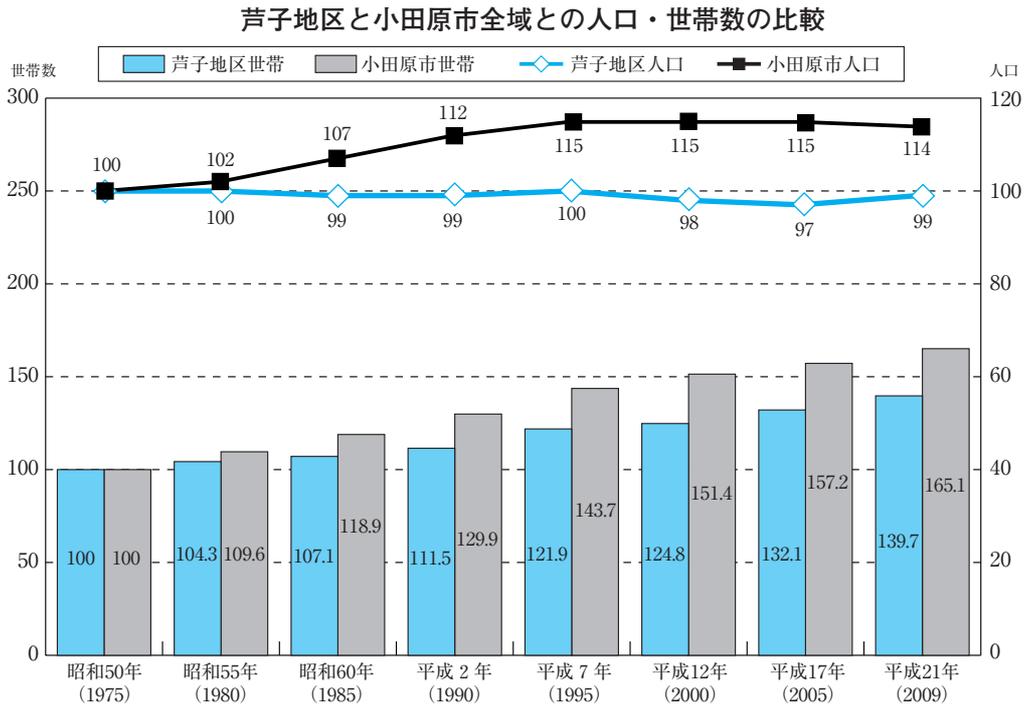
谷津は、箱根山地の東端で、八幡山の東北部に位置します。谷津とは谷の湿地をさしての名称とされています。北条氏の総構が通り、谷津遺跡や大稲荷神社などがあります。また、かつて関東大震災の復興策として、小田原の谷津に花岳競馬場が開催されました。大正14年（1925）10月の第1回開催では、3日間で6万人もの観客が小田原の競馬に沸きました。小田原競馬場は、昭和5年にその幕を閉じ、クレー射撃場や海軍航空技術研究所などに姿を変え、現在は住宅地となっています。そして、平成11年4月に谷津は、人口増加から、入谷津、上谷津、中谷津、下谷津の4つの自治会に分かれ、現在に至っています。

## 【4】池上

池上は、かつて大きな池があり、その上の手に発達した村であることから、この地名がついたとされており。しかし、昔から土地が狭く、水利権から山王川・久野川の水を水田に引き込むことができず、水不足に悩んでいました。そこで、池上村名主の宮内太治兵衛が中心となって、穴部堰の水を池上地区へ引水する池上用水が引かれました。これにより水田耕作ができ、発展してきました。また、地区内には芦子小学校があり、子どもたちの声が響きわたります。

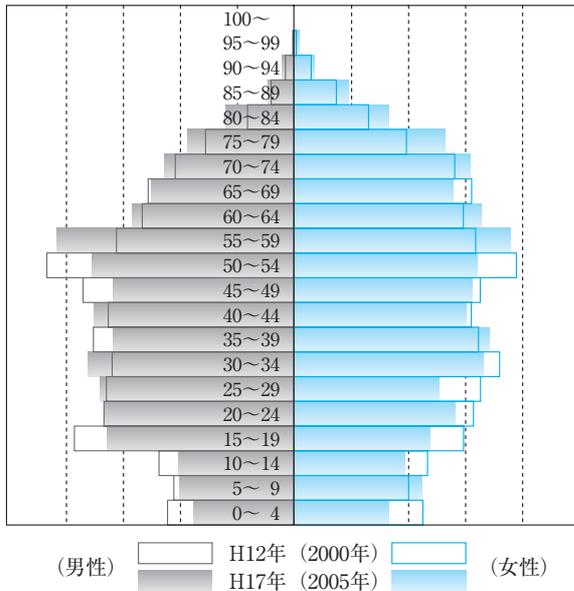
## 2 地域の人口・世帯・土地の利用状況等

人口は、ほぼ横ばいに推移していますが、世帯数が増加しているのが特徴です。高齢者世代が多いのではなく、15歳から60歳までの各世代とも居住しています。また、土地の利用は、農耕地と山林が半分近くを占めている割に、農業者が少ないことも特徴です。

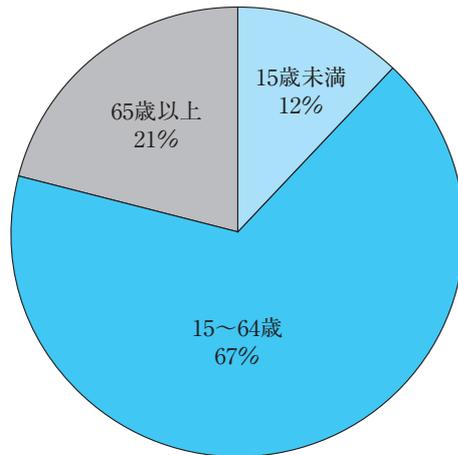


平成12・17年度芦子地区の人口ピラミッド

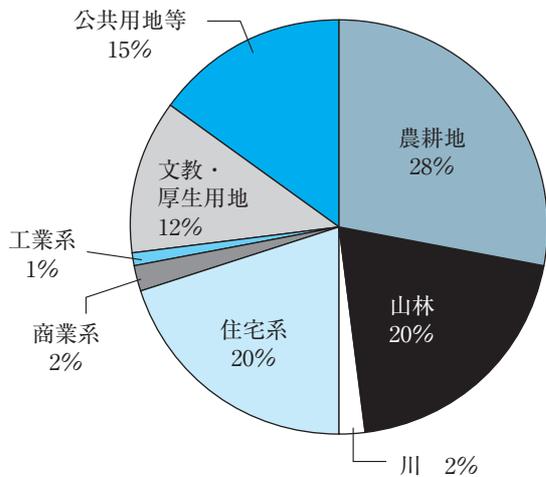
※ 目盛は100人



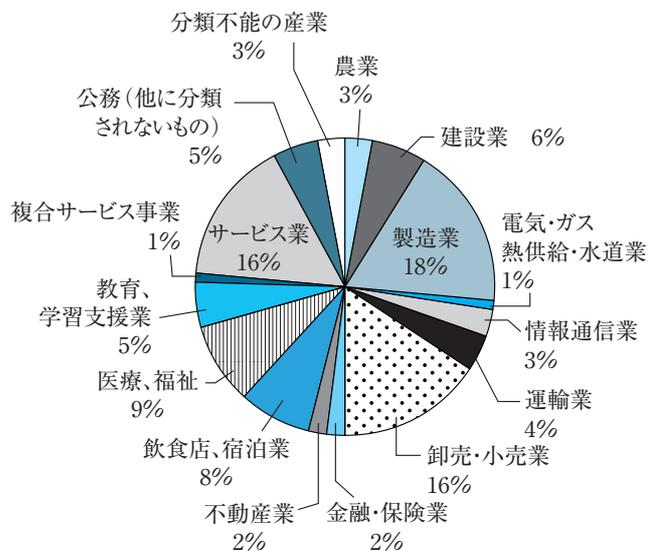
人口の3年齢区分比 (平成17年)



土地の利用状況



産業別就業者 (15歳以上) 数の割合 [平成17年]



地域の誇り (特色) ~ これからも大切にしよう ~

芦子地区は、寺院仏閣が非常に多い地域です。また、北条氏の時代に、造られた総構の一部が地域内を通っていて、その名残として、見張台としての城下張出などもあります。また、関東大震災の復興支援のために、一時的に競馬が開催された場所があるなど、歴史の中で様々な遺跡が残っています。

最近では、市役所をはじめとした官庁街となり、また駅にも近接している地区もあることからマンションやアパートなどが増えています。

地域資産



1 芦子小学校

明治24年に、萩窪柚の木に校舎を新築して尋常芦子小学校と称しました。その後、校名の変更により尋常高等足柄小学校の分校となります。昭和13年には、分校独立して足柄第二尋常小学校と、昭和22年芦子小学校となりました。



2 仙狐稲荷神社

神社は、寺町公民館の隣にあり、仙狐神社の額を掲げています。神社行事としては、新年の祈願祭・初午祭・10月の第2土・日曜日に行います祭礼が主なものとなっています。



3 大聖院のイチヨウ

大聖院は、天文7年(1538)創建しました。ここにあるイチヨウは、美観風致のための市の保存樹の指定を受けています。また、門前には、かつて村立芦子尋常小学校がありました。



4 土塁

小田原少年院北側には、総構の土塁と空堀があったところで、現在は石垣が組まれています。



5 大稲荷神社

風土記稿によると昔は谷津東村東の田の中にあり、田中稲荷と称されていました。その由来は武田氏の臣曲淵吉景の屋敷にあったものを武田氏滅亡後に谷津に移したとも言われています。



6 香沼姫の墓

香沼姫は、北条氏綱公の姫君で、特に和歌に秀でており、北条氏直公の夫人であった督姫と親しかったとのこと。生涯独身を通した人でした。姫の屋敷跡には現在も御霊屋があり、そこに墓があります。



7 関東学院大学

明治27年(1884)横浜山手に創立された横浜バプテスト神学校です。現在では金沢八景キャンパスを中心に、金沢文庫、小田原の3つのキャンパスに5学部5研究科を持つ総合大学です。



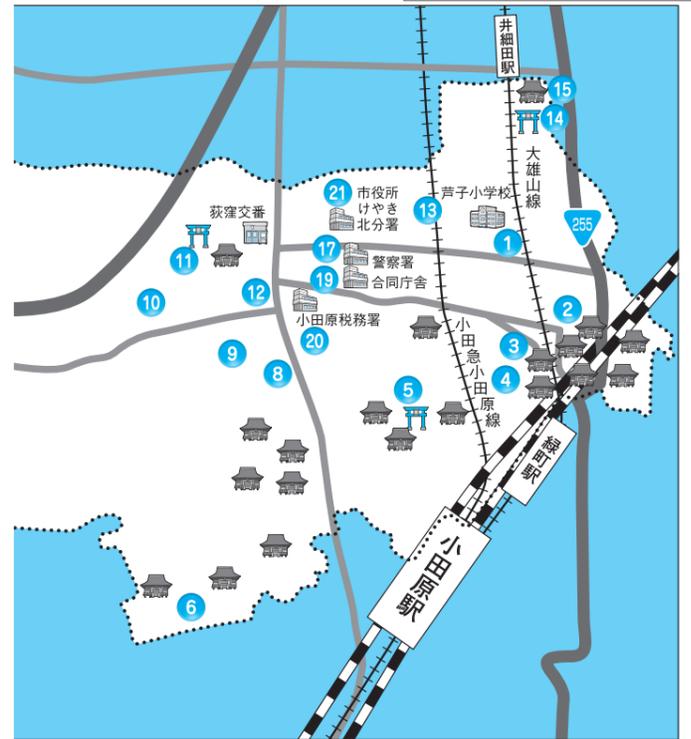
8 旧小田原競馬

大正12年に起こった関東大震災により、小田原も大きな被害を受けました。交通は寸断され、倒壊した家屋が並ぶ衰滅の危機に陥ちいました。しかし、小田原の人々は震災に負けず、復興に向けて立ち上がります。復興策の一つ、多くの人の夢を載せて建設されたのが、「小田原競馬場」です。昭和5年には廃止され、今は住宅地となっています。



9 城下張出

小田原城は、後北条時代に関東の覇府となってから拡張を重ね、大外郭が構築されました。これらは総構、総曲輪などと呼ばれ、その周囲は9kmにも及ぶとされています。「城下張出」は、総構の見張り台が置かれました(櫓台)。



14 池上稲荷神社

天正の末に村民の次郎右衛門が勧請しました。例祭は2月と10月に行われています。境内にあるタブノキ、カヤ、イチヨウの大本は、美観風致のための市の指定保存樹に指定されています。



15 眼蔵寺

正法山と号する曹洞宗の寺で、北条時代の大永7年(1527)に創建されました。開基は北条氏の重臣の石巻氏です。池上名主の宮内太治兵衛の墓があります。彼は久野堰、池上堰などの郷土発展の礎をなした人でもあります。また、公立小学校「成美館」が創始されています。



18 辻村植物公園



19 県政総合センター



16 わんぱくらんど



17 小田原警察署



20 小田原税務署



21 小田原市役所



10 萩窪用水

萩窪用水は、江戸時代に川口広蔵氏が約20年かけて塔ノ沢の早川から萩窪に水を引き込んだ用水路です。



11 市方神社

萩窪公民館の隣の森の中にあります。市方大権現の額を掲げています。建立は正徳5年です。境内には萩窪用水ゆかりの川口広蔵翁頌徳碑があります。美観風致のための市の保存樹の指定を受けているシラカシがあります。



12 めだかの学校

「めだかの学校」は、童話作家の茶木滋さんが作詞されました。昭和25年、NHKより依頼を受けた茶木さんは、終戦当時の萩窪用水のこの周辺で、息子の義夫さんと買い出しの途中で交わした会話を基にして作られたそうです。



13 池上の庚申塔

台座石を含む総高195cmで左側面が銘文で埋まる立派な塔です。台座には「見ザル・聞カザル・言ワザル」の像が彫ってあります。庚申塔があるあたりは、今は住宅地となっていますが、かつては三の森と呼ばれていました。

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

マンションや一人暮らし用のアパートが増えており、町内の一体感を醸成していくことが難しくなっています。また、他の地域から転居してきた人も増えてきていて、誰が住んでいるのかわからないことも多く、近所付き合いが薄れてきています。こうした中で、自治会の加入者数も年々減少してきており、自治会独自の取組に支障をきたすようになってきています。

関東大震災級の災害時には、道路が狭く避難や救助への影響や高台にある住宅の崩落が心配されていますが、住民の防災意識が低下しているからか、芦子地区全体の防災訓練は、参加者が少ないことが課題となっています。さらに過去の大災害を経験した人がほとんど居なくなってしまったので、災害の状況を掘り起こして次につなげる必要があります。

## はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～できることから始めよう

### 1 特色あるまちづくり

【めざす姿】

#### 住民の力で地域の特色を活かすまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大稲荷神社、仙狐稲荷神社をはじめ、神社や寺院が多くあります。また、北条時代に築かれた総構の一部としての空堀や城下張出（国指定史跡）などもあります。</li> <li>・市役所や合同庁舎などの官庁街であるとともに、神奈川県西のみならず、富士箱根伊豆広域交流圏の玄関口としての小田原駅西口に隣接しています。</li> </ul>	<p><b>【総括的事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会や地区社会福祉協議会、老人会、児童育成協議会などにより、各種団体ごとあるいは、各地区が連携し、神社やけやき通り、公民館のみならず、小田原駅前広場などの清掃活動を行っています。こうした活動を続けることで、子どもから老人まで、そこに住む人たちの地域資産への愛着が深まるだけでなく、世代を越えたつながりができていきます。また、小田原駅西口、駅前広場などの清掃や植栽をすることで、駅を利用する人へ潤いを与えています。</li> </ul> <p><b>【地域連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寺町、荻窪、池上の自治会、子ども会、老人会、体育部が連携して、けやき通りの落ち葉拾いをしています。この落ち葉は学校で腐葉土にされて、肥料として畑に施されています。</li> </ul> <p><b>【地区別取組】</b></p> <p>—寺 町—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館、三角公園、国道255号沿道のプランターにベコニア、パンジーの植栽をしています。また、併せて</li> </ul>

	<p>公民館周辺の河川清掃も行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、老人会や体育部が公民館の清掃を行っています。</li> </ul> <p>一萩 窪一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会は、毎月市方神社などの清掃をしています。また、自治会は萩窪川などの清掃をしています。</li> </ul> <p>一谷 津一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・谷津では、合同で大稲荷神社の境内の清掃活動を行っています。また、世代間交流事業として年2回、あるいは自治会と老人会が中心となって、毎月、小田原駅西口駅前の清掃や植栽などを行っています。</li> </ul> <p>一池 上一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会は、池上の稲荷神社の清掃を行っています。また、自治会が中心となって、山王川・久野川一斉清掃に参加しています。</li> </ul>
--	---

## 2 伝統や絆のあるまちづくり

【めざす姿】

### 世代を超えた交流と融和のあるまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>【特 色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大稲荷神社は毎年5月に、仙狐稲荷神社や市方神社、池上稲荷神社は、毎年秋に祭礼が行われており、山車や神輿が出ます。</li> <li>・行事や祭事などに協力し合い、地域の交流は良好です。</li> <li>・川口広蔵が進めて造られた萩窪用水で、萩窪をはじめとした農業の集落が栄えました。今でもその功績をちなんで春秋の墓参と戦没者の慰霊祭を行っています。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【総括的事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんど焼きや納涼祭、盆踊り大会などは、地域のコミュニケーションの場として大切なので、関係団体と協力して、続けていきます。</li> <li>・神社、寺院、公民館等を中心とした祭典、イベント等により新旧問わず、地域住民全体の交流を深めています。</li> <li>・声かけなどのほか、マンション等の経営者を通じて、自治会加入を進めています。</li> <li>・用水の支流は、萩窪用水がある限り、地域の生活水路網として保全していくよう努めます。</li> <li>・行事は年々充実してきていますが、自治会を中心に住民に働きかけをして、各種行事への参加意識を高めていきます。また、公民館を活用し、地域のコミュニケーションを図ることを自治会が中心となって、検討をしていきます。</li> <li>・陶芸教室を通じて、子どもたちのふれあいとコミュニケーションの醸成を図っています。</li> </ul>

【課 題】	【地区別取組】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションや一人暮らし用のアパートが増えており、町内の一体感が醸成し難しくなっています。また、誰が住んでいるのかわからないようになっています。</li> <li>・他の地域から移住してきた人が多く、近所付き合いが薄れてきました。</li> <li>・自治会の加入者数が減少してきており、自治会独自の取組ができないようになってきています。</li> </ul>	<p>一寺 町一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会は、祭礼用の万灯絵を製作し、祭りの賑わいに花を添えるとともに、製作を通じて地域行事への愛着を育みます。</li> <li>・初午、盆踊り大会、区民祭、祭礼を通じて、子どもと住民との融和を図っています。</li> <li>・体育部は、家族バーベキュー大会を行って、親睦と絆を深めています。</li> </ul> <p>一荻 窪一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盆踊りなどのほか、自治会の組内で集会をしてコミュニケーションの充実を図っています。また、声かけなど、定期的に自治会未加入者への加入促進を行っています。</li> <li>・荻窪体育部では、家族レクレーションを行って、親睦と絆を深めています。</li> </ul> <p>一谷 津一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の方々が中心的な役割を担い、行事を通して、地域住民との融和が図られています。</li> <li>・自治会便りを発行し、自治会の情報を伝えることで、会員に対する活動への理解を図っています。谷津では、新規住宅、アパートなどへの入会勧誘を行っています。</li> <li>・理化学教室などの公民館活動を通して、子どもたちのコミュニケーションを図っていきます。</li> </ul> <p>一池 上一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・池上体育部と子ども会は、バーベキュー大会を行い、会員相互の親睦だけでなく、子どもたちに活動の楽しさを伝えています。</li> <li>・稲荷神社の初午祭や道祖神のどんど焼きが、伝統行事として、自治会も支援し盛大に行われています。</li> </ul>

### 3 “和”がある福祉のまちづくり

【めざす姿】

## 住民の和による支えあいでもが安心して住めるまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>【課 題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が急増し、高齢者や一人暮らしの人が多くなっています。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【総括的事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき健康教室や敬老会、寝たきり老人訪問、シルバースポーツ大会、ふれあい健康フェスティバル、世代間交流ウォーキングを行っています。こうした活動を通して、地域のつながりを高めながら、市と連携し、高齢者も安心して暮らすことができるまちづくりに取り組んでいきます。</li> <li>・寝たきり老人訪問や昼食会などにより、一人暮らし高齢者の安否を確認し、高齢者を地域で支えています。</li> <li>・区民体育祭やグラウンドゴルフ大会、子ども駅伝大会などを行っています。こうした活動を続けることで、住民の各世代における健康増進とコミュニティの育成を図っていきます。</li> <li>・老人会は、芦子小学校で子どもたちに昔遊びを教えています。子どもたちと交流することで、高齢者に生きがいを持ってもらうだけでなく、高齢者と子どもとのコミュニケーションの醸成や子どもが身近な遊びの楽しさを伝えていきます。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【地域連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会では、8月にラジオ体操を行っています。こうした活動を継続し、参加する子どもたちの健康づくりだけでなく、子ども同士のコミュニケーションの醸成に努めています。</li> <li>・区民体育祭には、芦子地区の子ども会だけでなく、久野地区の宮本子ども会も参加し、芦子小学校を通じたつながりを大切に、地域を越えた連携を図っています。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【地区別取組】</b></p> <p>一寺 町一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間交流ウォーキングやけやき通りの清掃活動を通じて、交流を図っています。</li> <li>・寺町桐寿会では、芦子小学校の運動会に参加し、民謡を子どもたちと一緒にやるなど、高齢者と学校や子どもとの交流を大切にしています。</li> </ul>

	<p>一荻 窪一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者をもてなすイベントである敬老会を行うために準備委員会を組織し、地域をあげて検討しています。また、民生委員による見回り活動のほか、子ども会と長生会が協力してけやき通りの清掃を行うなど、高齢者との交流を図っています。</li> </ul> <p>一谷 津一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の交流の場として、福社会館、公民館を利用して定期的な催しを行っています。また、お誕生日会や入湯会などにより、会員相互の親睦と高齢者同士のつながりを深めています。</li> </ul> <p>一池 上一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が気軽にあいさつできるような地域づくりをめざして、あいさつ運動を行っています。</li> <li>・自治会が中心となってグラウンドゴルフを、公民館が中心となってバーベキュー大会やボウリング大会を開催しており、会員相互の親睦のみならず老若男女に活動の楽しさを伝えています。</li> </ul>
--	---

## 4 絆による安住のまちづくり

【めざす姿】

### 住民の助け合いのある地域防災力の高いまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>【課 題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦子地区自治会連合会で実施する防災訓練は、参加者が少ないことが課題となっています。</li> <li>・過去の大災害を経験した人がほとんど居なくなってしまったので、災害の状況を掘り起こして次につなげる必要があります。</li> <li>・関東大震災級の災害時には、道路が狭く避難や救助への影響や高台にある住宅の崩落が心配されています。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【総括的事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害が起きたときに、お互いが助け合うことができるように、敬老会等の交流の場を提供しながら、隣近所でのコミュニケーションを充実していきます。</li> <li>・引き続き、自治会連合会単位での防災訓練をはじめ、消防団による火災予防運動や日常の訓練などを通して、住民の防災への意識と地域防災力を高め、いざというときに助け合うことができる地域づくりに取り組んでいきます。</li> <li>・防災訓練への参加者を増やすために、各種団体等に呼びかけと回覧等で連絡をしたり、自治会役員を中心に口こみで参加を呼びかけるだけでなく、消防職員の参加による防煙対策や震動体験など、今までにない訓練を行ったり、お知らせを各戸配布するなどの工夫をし</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に耳の遠い高齢者への伝達方法がなく、心配です。</li> <li>・高齢者が増加している中で個人情報保護等の問題もあるが、情報の共有化が必要です。</li> <li>・官公庁に近く、道幅が狭く、一方通行道路等による交通渋滞が多いので、交通の安全が確保されていません。</li> <li>・谷津では、上谷津自治会と入谷津自治会、下谷津自治会と中谷津自治会が2年ごとに交替で防災訓練を行い、炊き出しや消火訓練を行っています。下谷津自治会と中谷津自治会は、集まる場所がなく、公民館を使って実施しています。</li> </ul>	<p>て住民の参加意識の向上に努めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区ボランティアが交通指導や見守り活動を行っています。</li> <li>・子どもの安全研修会を実施しており、正しい交通ルールとマナーを覚え、交通事故のない地域づくりに努めていきます。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【地区別取組】</b></p> <p>一寺 町一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に対する意識の向上を図るために今後、盆踊り大会等の行事を利用して防災器具の展示を行うことを検討していきます。</li> <li>・事故多発地帯について、地域に注意を促すとともに、改善を図るように行政へ働きかけを行っています。</li> </ul> <p>一荻 窪一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対策の推進を検討していきます。</li> <li>・通学路の見直しを行いながら、カラー舗装（グリーン）などによる子どもの安全を守るための活動を行います。</li> </ul> <p>一谷 津一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの自治会が合同の防災訓練の実施を検討していきます。</li> <li>・発災時に直ちに使用できるように、防災倉庫内の点検をしています。</li> </ul> <p>一池 上一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対策の推進のため、防災倉庫の充実を図ります。また、防災訓練では、自治会、公民館関係者の努力により、芦子一の参加者がいます。</li> </ul>
---	---

## 5 子どもを守るまちづくり

【めざす姿】

### 住民の見守りで、子どもを安心して育めるまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>【課 題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが犯罪に巻き込まれないように、地域で見守る目を強化する必要があります。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【総括的事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会ごとの防犯パトロールや青少年育成協議会の地区パトロールを実施しています。こうした活動を継続し、子どもを見守る目によって、犯罪を未然に防ぎ、子どもたちを地域で守っていきます</li> <li>・青少年健全育成協議会では、地域特別街頭指導を行って、子どもたちの健全な育成を見守っています。</li> <li>・自治会は、夜間の安全を確保するため、防犯灯の保守・点検を行っています。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【地区別取組】</b></p> <p>一寺 町一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・偶数月に、足柄・小田原大橋交番の警察官、防犯指導員、自治会役員が協力して、防犯パトロールを行い、地域安全の向上を推進しています。</li> </ul> <p>一荻 窪一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦子小学校区となる久野の宮本地区の人と共同で、子どもたちの見守り活動を行っています。</li> </ul> <p>一谷 津一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・谷津では、組長全員と自治会長が見守り活動を行ったり、危険箇所の点検を行ったり、子ども会と一緒に防犯パトロールを実施するなど、子どもの安全を守っています。</li> </ul> <p>一池 上一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会を通じて、地域の様々な行事に参加するように呼びかけを強化しています。</li> </ul>

芦子地区地域活動





## 芦子地区に係る地域別計画の検討会議

芦子地区自治会連合会長・池上自治会長

市川 勇

同副会長・会計・入谷津自治会長

山田 義衛

自治会長

山口 真一 (寺町自治会長)

田嶋 邦典 (荻窪自治会長)

高橋 一郎 (上谷津自治会長)

村野 芳一 (中谷津自治会長)

平井亀之助 (下谷津自治会長)

協力団体

寺町老人会桐寿会、荻窪老人会長生会、上谷津喜楽会、中谷津喜楽会、下谷津喜楽会、入谷津喜楽会、池上老人会池寿会、小田原市消防団第10分団、谷津公民館、寺町子ども会、荻窪子ども会、谷津子ども会、池上子ども会、芦子地区児童育成協議会、寺町体育部、荻窪体育部、池上体育部、芦子体育振興会、民生委員児童委員協議会、芦子小学校PTA

# 地域別計画

## ～ 二川地区 ～



多古白山神社の小田原囃子（県指定 無形民俗文化財）

二川地区まちづくり検討委員会

## 伝統が息づき、交流と活力のあるまち 二川

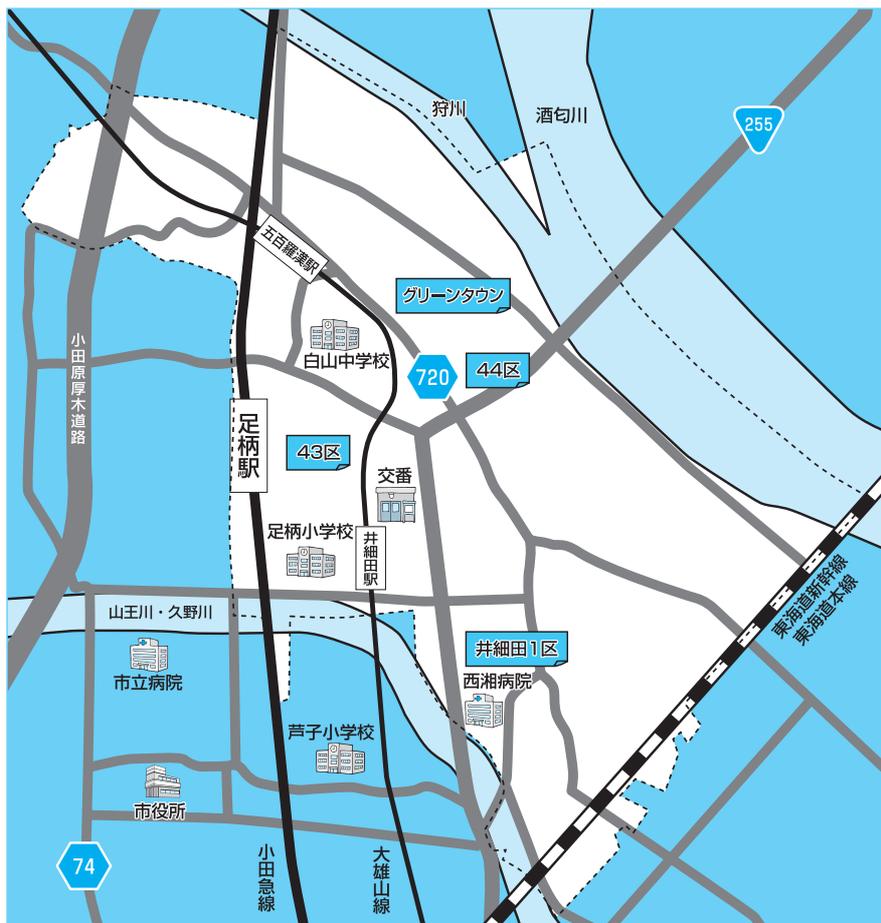
地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

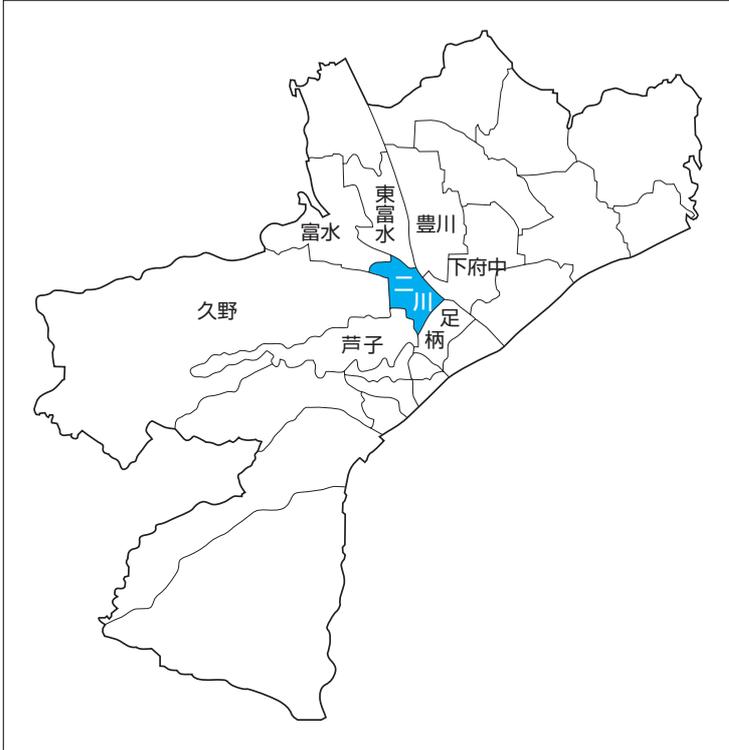
### 1 地域の位置と地勢

二川は、小田原市のほぼ中央に位置し、酒匂川（狩川）と山王川・久野川に挟まれた、久野、富水、東富水、足柄、芦子、豊川、下府中の7つの地域に囲まれた面積が約1.5km<sup>2</sup>の地域です。自治会としては、井細田1区自治会、43区自治会、44区自治会、グリーンタウン自治会で構成されており、地域の子どもは足柄小学校や白山中学校へ通っています。

交通では、JR東海道本線・JR東海道新幹線が近くを走り、西には小田急小田原線と伊豆箱根鉄道大雄山線が通り、足柄駅・井細田駅・五百羅漢駅の3つの駅を有しています。また、中央を国道255号が走り、酒匂川に架かる飯泉橋から、川東地区にも通ずる交通の結節点となっているなど、交通の利便性の高い地域です。

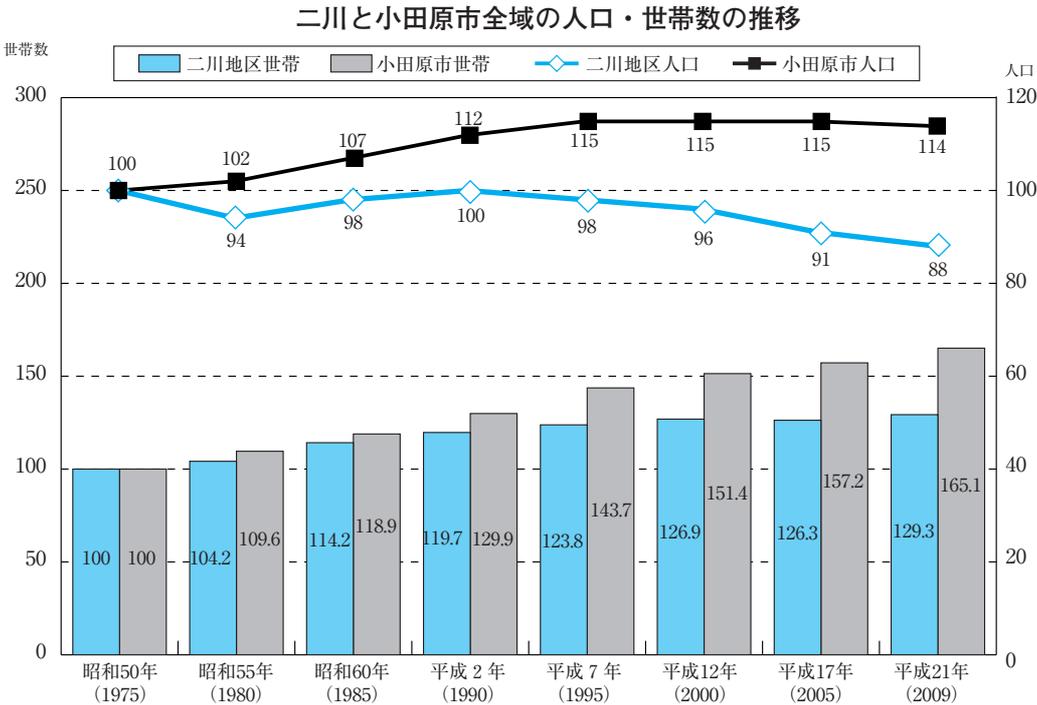
そして、工業地として富士フィルムなどの工場が集積しているほか、古くからの商業地としての商店街が形成されています。



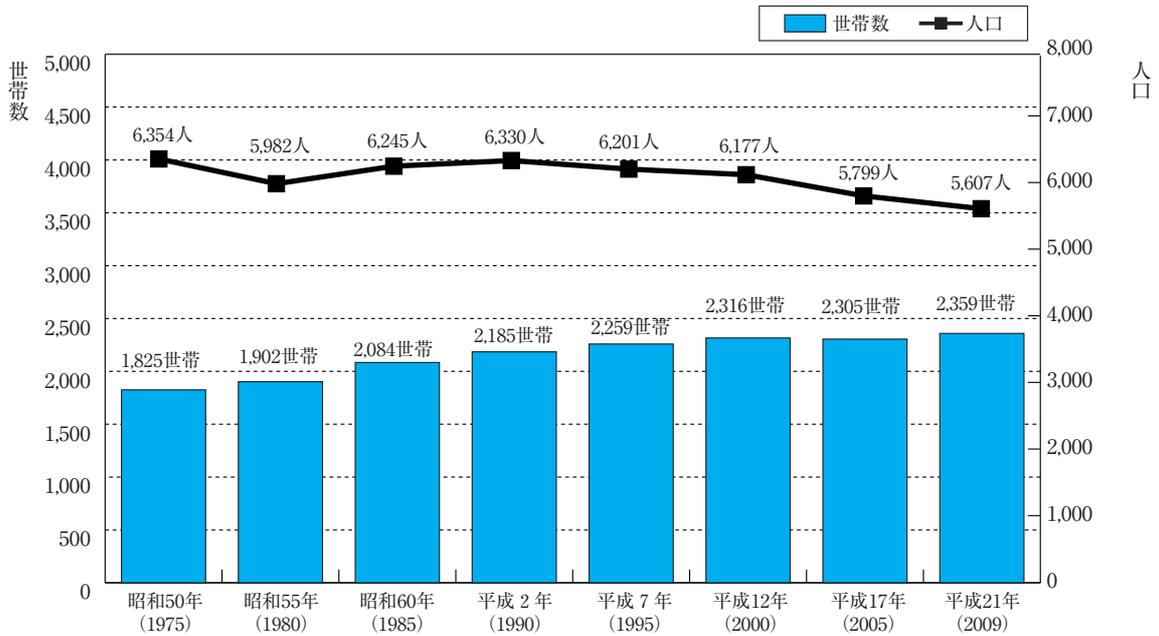


## 2 地域の人口・世帯

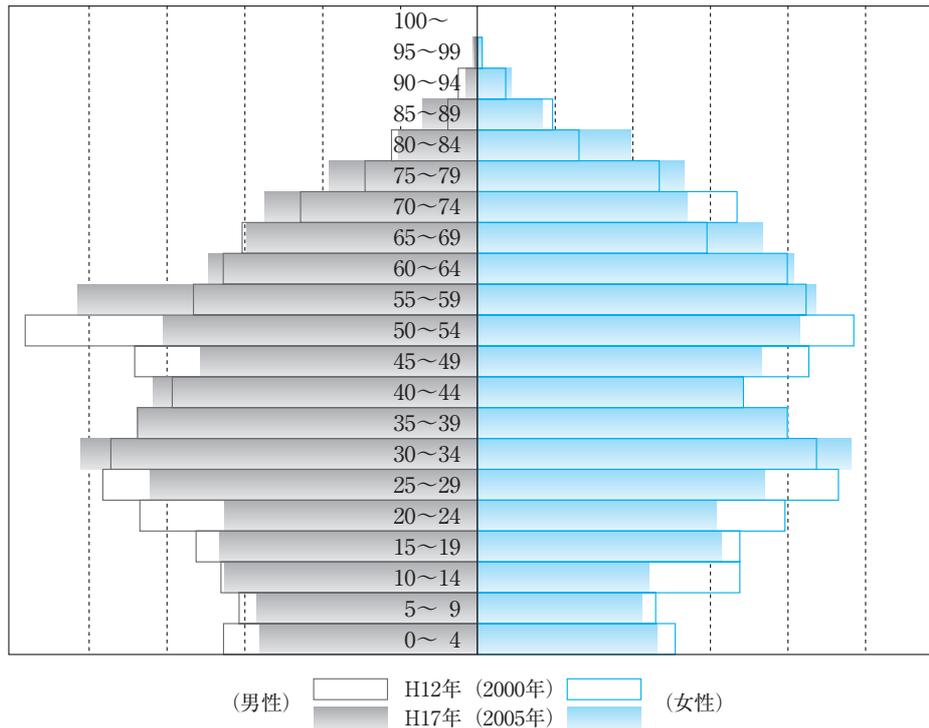
昭和50年（1975年）と比較すると、人口が緩やかに減少していますが、世帯数は緩やかに増加し続けており、また市全域の平均値よりも高齢者の占める割合が高くなっています。また、地帯としては、工業地と商業地化が進み、産業別の就業者数を見ても製造業や卸売・小売業、サービス業に多いのが特徴です。



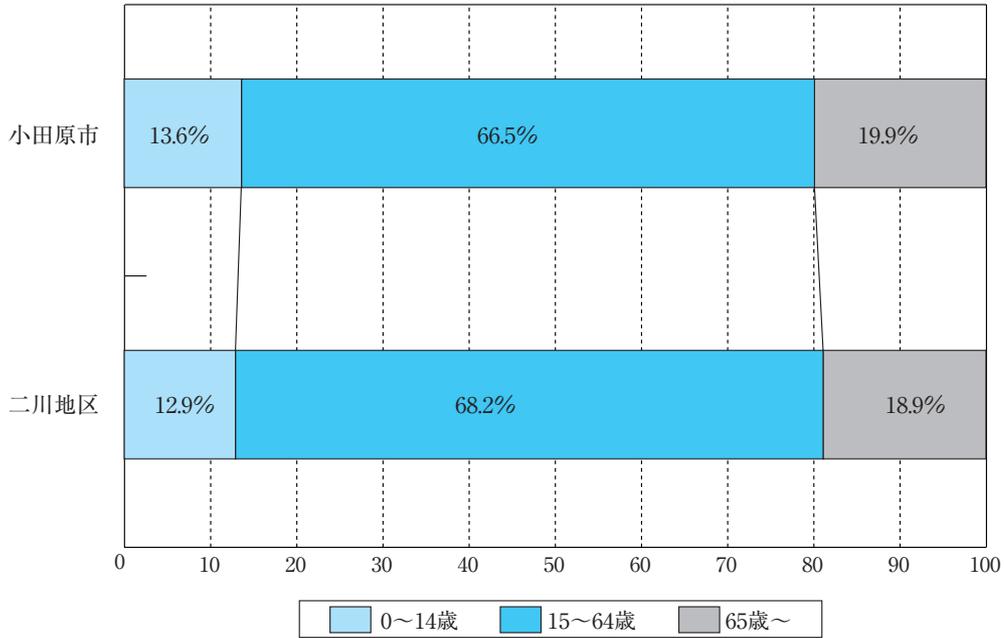
### 二川地区の人口・世帯数の推移



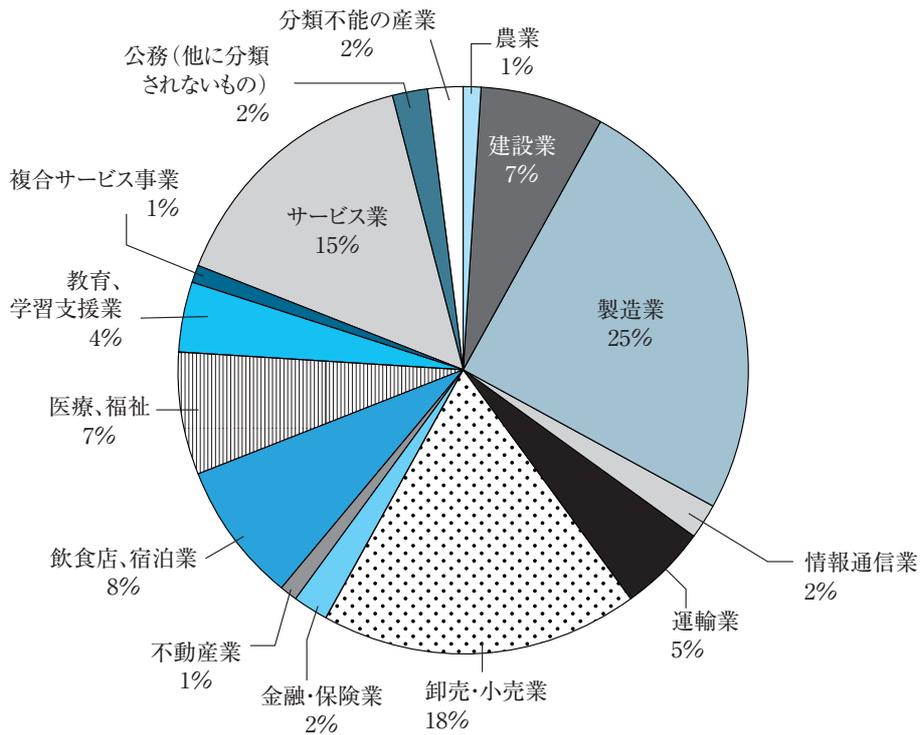
### 平成12・17年の二川の人口ピラミッド



二川と小田原市全域の三世代人口比（平成17年）



産業別就業者数（15歳以上）の割合 [平成17年]

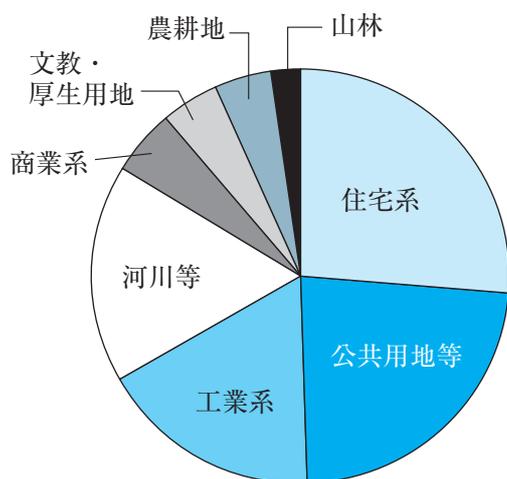


### 3 土地の利用状況

住宅系が約26%と最も多く、次いで公共用地等が約23%となっており、大雄山線五百羅漢駅、井細田駅、小田急線足柄駅の3つの駅があり、小田原駅へも近く、住みやすい住環境が整った地域です。

また、小田原紡績をはじめとして近代工業を誘致し、工業化、都市化を進め、現在は工業系が約17%を占めています。

土地の利用状況



区分	割合
住宅系	26.3%
公共用地等	23.2%
工業系	17.2%
河川等	17.0%
商業系	5.1%
文教・厚生用地	4.5%
農耕地	4.4%
山林	2.3%

#### 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

二川は酒匂川（狩川）と山王川・久野川の間位置し、地名もこの二河川に由来するといわれます。

祭りが盛んな地域で、白山神社祭礼では小田原囃子が奉納されます。小田原囃子は江戸時代中期に江戸から伝えられたといわれ、小田原囃子多古保存会を中心に住民の愛情と熱意で今日まで受け継がれています。県指定無形民俗文化財、かながわ民俗芸能50選にも選ばれており、国内最大の文化イベントである国民文化祭しずおか2009にも出場しています。お囃子の中心は笛で、そのほか大太鼓、小太鼓、すりかねを用います。音曲は変化に富んでいて、独特の風格を持っています。



小田原囃子多古保存会

井細田八幡神社の広い境内には土俵が常設されていて、宵宮に子ども相撲が奉納され、世代を超えて大勢の人々で盛り上がります。大きな樹木に囲まれた境内は地域住民の憩いの場にもなっています。

足下地蔵尊のお祭りは1月と8月に行われ、地域の商店会が屋台を出し盛り上げています。境内の井戸水は延命水と名づけられて多くの人々が汲んでいきます。昔の地蔵尊前は用水路で、橋を渡って参詣していました。街道脇の各家の入り口も橋となっており、豊かな水を背景とした独特の景観を持つ地域でした。

五百羅漢玉宝寺は、釈迦の弟子500人の羅漢像及び十六羅漢が祀られるため五百羅漢と呼ばれ、寺の近くを通る大雄山線の駅名にもなっています。像高24cmから60cmの羅漢像500体あまりが、本堂内に所狭しと並列するさまは誠に壮観で、神奈川県でも数少ないものであり、市の有形民俗文化財に指定されています。また、あだ討ちをした浅田兄弟の兄の実家や下田隼人の嘆願地でもあります。

地域活動では、各種祭典のほか、健民祭や敬老会、公民館活動など世代を超えて地域住民が協力し、活動を支えています。



子ども相撲奉納



足下地蔵尊



玉宝寺五百羅漢像

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

酒匂川（狩川）や山王川も流れているなど、川に囲まれた地域なので、地震による災害のほか、台風や集中豪雨などによる水害の発生とその備えが心配です。また、夜間に暗いと思われる場所もあり、子どもをはじめとする住民が犯罪に巻き込まれないか心配です。

福祉では、少子高齢化の進行で、一人暮らしの高齢者も増えており、地域でどのように支えていくかが課題となっています。また、あいさつのできない若者が増え、子ども会がない地区があり、公園等で子どもが遊ぶ姿も少なく、住民同士のつながりが薄まる中、地域で安心して子育てができるのか不安を持つ人が増えています。

## 1 防災

【めざす姿】

### 防災への意識の高いまち

困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 大災害が発生したときに、各種備えに不足がないか心配です。また、山王川・久野川があり、狩川、酒匂川の合流地点も近く、氾濫などの水害が不安です。</li> <li>➤ 災害時における一人暮らし高齢者や障がい者をどのように助けて避難をさせるのが心配です。</li> <li>➤ 住民の防災意識が低下し、防災訓練の参加者が少なくなっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 災害が発生したときには、多くの人が支えあいしながら、被害を軽減することができるように、防災訓練への参加者を増やしていきます。そのために、声かけや回覧等による広報活動に努め、住民の災害への意識を高めていきます。</li> <li>* また、防災訓練の内容を毎年同じような内容とするのではなく、実際の災害時に役立つような訓練方法を取り入れるなど、参加したくなるような訓練にするとともに、そのための雰囲気づくりに努めてまいります。</li> <li>* 災害時要援護者をどのように避難をさせていくのかを平時に地域の中で話し合い、その方向性を検討していきます。</li> </ul>

## 2 防犯・交通安全

【めざす姿】

### 住民の見守りと支えで安全なまち

困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 足柄駅や白山中学校周辺に外灯が少なく、夜間、地域内の道路が暗くて犯罪に巻き込まれないか心配です。</li> <li>➤ 空き巣や窃盗、自転車の盗難などの犯罪が増えています。</li> <li>➤ 踏み切りが多く、また道路が狭い中で、慢性的な交通渋滞のため、子どもや老人が安全に通行できません。</li> <li>➤ 登下校時の安全パトロールの参加者が少なくなっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 自治会で防犯灯の設置をしているので、必要な場所から順に整備をしていきます。</li> <li>* 青少年の非行防止や犯罪を未然に防ぐために、夜間や夏期、年末の防犯パトロールを行っていますが、二川の住民の安全な生活を守り、健全な子どもを育てるため、こうした活動は継続していきます。</li> <li>* 子どもが交通事故や犯罪に巻き込まれないために、退職した高齢者などを中心に呼びかけをして、安全パトロールの充実を図っていきます。</li> </ul>

### 3 高齢者・健康・福祉・子育て

【めざす姿】

#### 地域の支えで安心して暮らせるまち

困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 高齢化が進み、一人暮らしの高齢者が増えており、地域で支えていく必要があります。</li> <li>➢ 健康づくりのための活動やスポーツの祭典が少なく、住民が身体を動かす場や機会が少なくなっています。</li> <li>➢ 公園は人目も少なく、空き缶やたばこの吸殻などが落ちていたりなど、子どもが安心して遊ぶ場所も少なく、今後地域の中で子育てができるのか不安です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 民生委員のふれあい訪問など、一人暮らしの高齢者への訪問を継続し、隣近所の交流を深めるなど、支えあいと高齢者全体の見守り活動を充実していきます。</li> <li>* 高齢者同士でふれあいができるように、二川地区が一体となって、老人会の活動を盛り上げていきます。</li> <li>* 地域活動の拠点となる公民館で健康体操や歌を歌うなど、体を動かす機会を増やし、住民の交流を図ります。</li> <li>* 健康おだわら普及員だよりを通じて健康に対する関心を高めていきます。</li> <li>* キリンさんの会による子育て支援活動など、育児に関する悩みを気軽に相談できる機会と子育て中の保護者同士の交流を図る機会を地域で確保できるように今後も継続していきます。</li> <li>* きれいな場所は溜まり場として利用し難く、また、人が集まることで、子どもたちの見守る目も増えます。公園に捨てられている空き缶やたばこの吸殻などのごみを清掃し、花などを植栽し、子どもが安心して気持ちよく遊ぶことが出来る公園にしていきます。</li> </ul>

### 4 身近な環境

【めざす姿】

#### みんながルールを守りきれいなまち

困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ごみの分別のルールが守られていません。</li> <li>➢ たばこやごみのポイ捨てによって、地域の自然環境が悪くなっています。</li> <li>➢ 犬の糞が放置されたままになっているなど、飼い主のマナーが悪くなっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ごみの収集日は、ごみと資源の収集日カレンダーが配布され、ごみ分別等のルールを各自で承知しているはずですが、出す日を間違えたり、ルールを守らない人がいるので、自治会の回覧を通じて自己責任の徹底を呼びかけます。</li> <li>* クリーンさかわや、狩川や山王川・久野川の一斉清掃をはじめ、区内の清掃活動や公園美化活動などを通じて、美しい自然環境を守っていきます。</li> <li>* 飼い主のマナーが守られていない箇所に市役所で貸与している犬の糞の持ち帰りを啓発する看板を立て、自治会の回覧でも飼い主のマナーの順守を啓発していきます。</li> </ul>

## 5 伝統・文化

【めざす姿】

### 歴史資産・郷土芸能を継承し、感動を与えられるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>➤白山神社や井細田八幡神社、足下地藏尊のお祭りは、子どもからお年よりまで住民が一堂に集い交流することができる大切な場になっています。</p> <p>➤お祭りで奉納される小田原囃子は県指定無形民俗文化財に指定されており、全国こども民俗芸能大会に関東地区代表として出場しています。</p> <p>➤しかし、祭りの神輿を担ぐ子どもが少なくなり、道祖神や稲荷講の継承も難しくなっています。</p> <p>➤公民館活動は、文化部、ふれあい事業部、子ども会、婦人部、青年部の5つの部門からなり、館長を中心とした地域活動が活発に行われています。</p>	<p>できることから始めよう</p> <p>*神社の祭礼などは、昔からいる人だけが参加するのではなく、若い世代も含めて誰でも気軽に参加できる雰囲気づくりをしていきます。</p> <p>*また、盆踊りを実施し、老人や子どもが集う場を設けるよう検討していきます。</p> <p>*無形民俗文化財に指定されている小田原囃子は、小田原囃子多古保存会などを中心として住民の愛情と熱意によって、地域の誇りとして次世代へと存続していくように若い世代の育成に取り組み、伝統や文化を継承する機会を確保していきます。</p> <p>*地域にある資産をより多くの人に知っていただくため、公民館だよりや回覧などを通じて広報し、地域への愛着を育てていきます。</p> <p>*引き続き公民館活動を通じて、子どもや女性、高齢者など、世代間を超えた交流を促していきます。</p>

## 6 青少年育成

【めざす姿】

### 地域の交流で子どもを育てるまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>➤夜中に子どもたちが喫煙していても大人が見てみぬふりをするなど、昔と比べて他人の子どもを叱れる大人が少なくなっています。</p> <p>➤あいさつのできない若者が増えてきています。</p>	<p>できることから始めよう</p> <p>*児童や生徒の問題を学校の問題だけにせず、地域の問題として捉えるため、足柄小学校、白山中学校の様子がわかる発行物を回覧しています。</p> <p>*あいさつは人と人のつながりの基本であると考え、子どもとあいさつを交わし笑顔でふれ合うことで、子どもの健全な心の育成に努めます。</p> <p>*青少年育成会や青少年指導員などの団体をはじめ地域</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 青少年育成会や青少年育成指導員などの活動が活発ですが、団体間の連携が十分に図れていません。</li> <li>➤ 子ども会の役員の担い手不足のため、子ども会を廃止してしまった地区もあります。</li> </ul>	<p>の各種団体が連携を図り、青少年の健全な育成に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 単位子ども会での活動ではなく、学区連合子ども会としての活動の充実や子どもの親だけが子ども会の役員につくのではなく、住民が役員を担っていくなど、再び子ども会を組織し、多くの子どもたちが集まり、楽しむことが出来るための方策を検討していきます。</li> </ul>
---	--

## 7 地域振興

【めざす姿】

### 顔の見える関係づくりで地域活動が活発なまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 最近では、子どもだけでなく、大人もあいさつを交わすことや顔を合わす機会も減ってきており、地域の住民同士のつながりが薄くなっています。</li> <li>➤ 地域活動がわからず、地域活動に参加することができません。</li> <li>➤ 地域活動の裾野が広がらず、序々に参加者が減少しています。また高齢化や役員の負担増などにより、役員の担い手不足などが課題となっています。</li> <li>➤ 商店が徐々に減少してきており、まちに活気がなくなることが心配です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 二川で行われている活動をPRし、多くの住民に知ってもらおうとともに、参加を促すように働きかけと声かけをしていきます。</li> <li>* 地域活動に、一人ひとりができることから参加できるような雰囲気づくりに心がけていきます。そして、活動への参加を増やすことで、地域活動の担い手を増やしていきます。</li> <li>* また、個々の住民が有する経験や知識を、二川地区の活動のために発揮できるような仕組みづくりを検討していきます。</li> <li>* 歴史ある商店街の活性化に努め、高齢化が進む中でも、高齢者が安心して生活できるような地域づくりをしていきます。</li> </ul>



## 二川地区に係る地域別計画の検討

### 二川地区自治会連合会長

村山 泰久 (第44区自治会長)

### 同副会長

鈴木 實 (第43区自治会長)

上田泰三郎 (小田原グリーンタウン自治会)

### 同会計

石川 辰男 (井細田1区自治会)

### 意見収集の方法

地域別計画の策定に当たっては、全世帯アンケートを実施し、950人を超える住民の皆さんからご回答をいただき、その意見をもとに作成しました。

### 作成日

平成22年3月

# 地域別計画

## ～ 東富水地区 ～



東富水地区まちづくり検討委員会

## 地域のキャッチフレーズ

# 青い空 水と花と みんながあつまるまち 東富水

## 地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

### 1 地域の地理状況

東富水は、小田急線蛸田駅、富水駅を最寄りとし、東に大いなる酒匂川、西南に狩川が流れ、天気の良い日には富士山、箱根外輪山、丹沢山塊を望むことができ、田園風景が残る風光明媚なまちです。

富士見大橋が開通し、近郊の地域への往来も一段と便利になり、その周辺に小田原アリーナ（小田原市総合文化体育館）、小田原テニスガーデンがあり、全国からスポーツ選手が訪れ、開放された活気あるまちです。



小田原アリーナ



富士見大橋

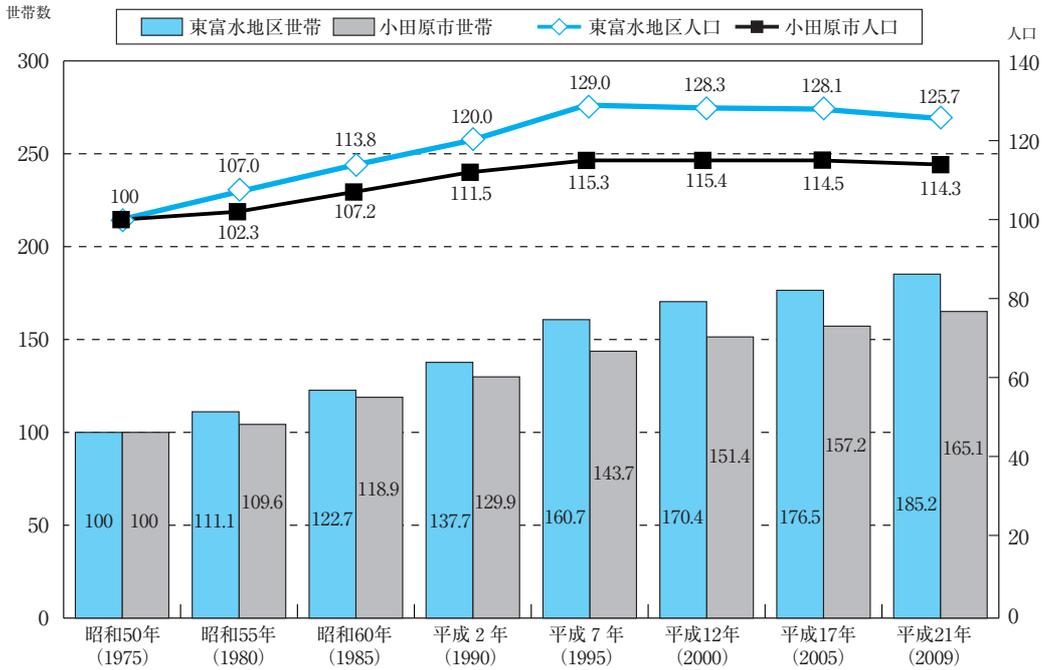


小田原テニスガーデン

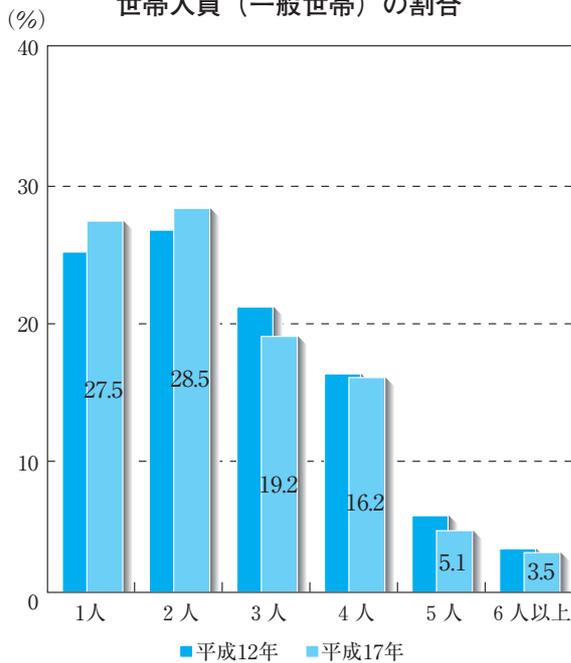
## 2 地域の人口・世帯

平成7年以降、地域の人口は微減傾向に転じていますが、世帯数は増加しており、1人世帯、2人世帯が多く、この2つの世帯構成が全体の56%を占めています。平成12年には65歳以上の占める割合が16.4%でしたが、平成17年には18.8%で、他の地域と同様に高齢者が増加の一途を辿っており、ひとり暮らしの高齢者世帯の増加が懸念されます。また、団塊の世代と30代の働き盛り世代の人口が多い地域です。

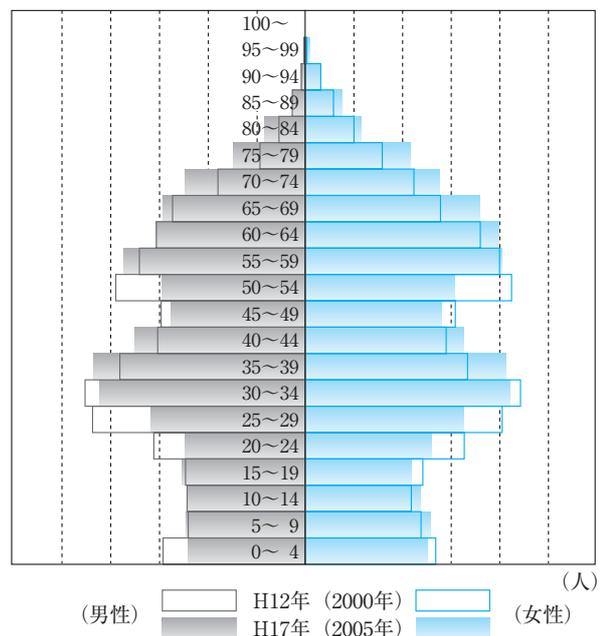
東富水と小田原市全域の人口・世帯数の推移（昭和50年を100とした各年の推移）



世帯人員（一般世帯）の割合



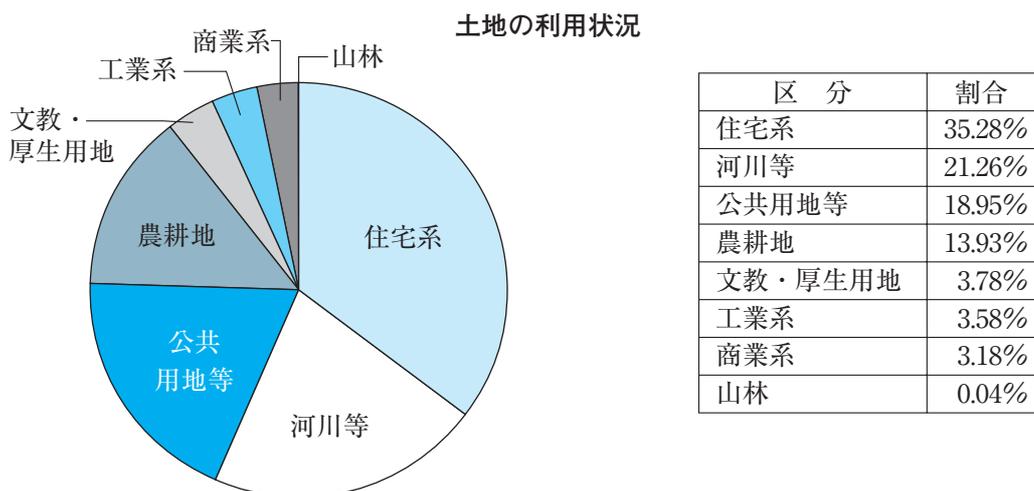
人口ピラミッド



### 3 土地の利用状況

地域の面積は約2.5km<sup>2</sup>で、住宅系が約35%と最も多く、次いで河川等が約21%となっており、この豊かな水の恵みを受けた農耕地が約14%を占めています。

また、小田原アリーナや小田原テニスガーデンなど、公共用地等が約19%を占めています。



### 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

青い空、酒匂川の流れ、富士山、箱根外輪山、丹沢山塊の眺望、心和む田園風景に恵まれたまちです。酒匂川は、鮎つりが盛んで、毎年夏になると全国各地から太公望が訪れます。

また、地下水が豊富で、災害時に対応できる井戸がまだまだ多数あります。

小田原アリーナ、小田原テニスガーデンにスポーツ選手が全国各地から集まる、活気に満ちた明るいまちです。



酒 匂 川

自治会連合会、各種団体の連携が強く、高齢者食事会、敬老行事、区民祭、学童見守り、子育て支援、三世代交流、健康普及活動が盛んに行われています。

また、防災訓練や交通安全総ぐるみ大会など、地域活動に住民が積極的に参加し、地域全体の連携が図れています。



第30回交通安全総ぐるみ大会

### 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

現代社会において人々の価値観やライフスタイルの相違が、地域活動の広がりを妨げてきています。

災害発生時は、まず救出、避難誘導、情報収集活動を実施できるように、地域の自主防災組織の間で連携していかなければなりません。

社会的弱者と言われている高齢者、障がい者、子どもを見守り、意思疎通を深め、地域全体で支え合わなければいけません。

自動車、自転車、歩行者の交通マナーやペットを飼う人のマナーの低下が懸念され、交通事故の増加やペットの糞の不始末でトラブルになるケースが増加しています。これらの問題は、個人のモラルの問題だけではなく、地域全体の課題としてとらえていく必要があります。

元気ある地域にするため、中堅世代が地域活動に積極的に参加してもらえるように自治会、各種団体が上手に継承していかなければなりません。



登下校見守り活動



交通安全教室

## 1 健康・福祉

【めざす姿】

### 地域は皆ひとつ！誰でもできるふれあいのまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>東富水小学校では日常的なスクールボランティア等の活動が活発に行われています。子どものため、孫のために何か役に立ちたいという気持ちのある地域の人々が子育てを支援し、子どもを中心として家庭、地域がつながっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年は子どもの時から交流のある大人とはコミュニケーションがとりやすく、高齢者は若い人と交流するとパワーがもらえる、そうした世代を超えたつながりのある地域にしていきます。</li> <li>・ あいさつ運動や登下校時の見守り活動を通して、地域の人々の顔がつながれば、不審者が地域に入りづらいなど、防犯効果も得られます。</li> <li>・ 地域の公民館が、子育て支援や高齢者等のふれあいの拠点になるようにしていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

### 素晴らしい環境を活かした健康なまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>酒匂川の流れ、富士山、箱根外輪山、丹沢山塊の眺望、心和む田園風景が広がる素晴らしい環境が残されています。</p> <p>美しい環境もまだ十分に活用されておらず、手を加えないと雑草とごみが多くなりがちです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この素晴らしい環境を活かし、ウォーキングやラジオ体操など、誰でも参加できるような活動を行い、健康的な生活を維持し、病気になりにくい体づくりを継続的に実施できるまちにします。</li> <li>・ 休憩して会話のできるベンチがあれば、人の交流にもつながるので、整備に向けて検討していきます。</li> <li>・ まずは自分の家の周りを自分できれいにし、清掃をしている人を見かけたら積極的にねぎらいの声をかけましょう。気持ち良く清掃できる雰囲気をつくることで、歩きたくなる、走りたくなるような環境づくりをしていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

## みんなで支え合うやさしいまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域の中には、一人では解決できない問題を抱えている人がいます。こうした課題は地域全体の課題ととらえ、みんなで支え合う必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代を越えた交流を通し、優しさ、いたわりの気持ちを持ち、モラルのある人間形成ができるまちを目指します。</li> <li>・区民祭なども、高齢者も参加しやすい種目を多く取り入れるなど、内容を見直し、みんなで楽しめる行事の開催を検討します。</li> </ul>



敬老会



高齢者食事会



区民祭



火曜筋トレクラブ

## 2 防災・防犯・教育

【めざす姿】

### みんなが参加しやすい空気づくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>800人規模の大きな防災訓練が実施されています。</p> <p>防災訓練の参加者は高齢者が多くなる傾向にあり、自治会への加入率の低下など、災害時の際に地域内で助け合えるか不安です。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在の防災訓練の規模を維持し、多くの人に参加することで、住民の意識を向上するとともに、災害時に必要となる技術を高めていきます。</li><li>・夏祭りの時に発電機を使用する、公民館の枝切りにチェーンソーを使用するなど、何かのイベントの際に防災器具を使用し、訓練を兼ねるなど、訓練の機会を増やすよう工夫するとともに、こうした工夫を団体間で情報交換できるような場をつくります。</li><li>・災害時に大きな力となる中高生が防災訓練に参加できるよう促していきます。</li><li>・中学生になってから急に地域活動に参加するといっても難しいので、小さな頃から地域との関わりが持てるよう、子どもが参加して楽しいと思えるイベントを検討していきます。</li><li>・イベントに多くの子どもが参加する環境を整え、地域とのつながりをつくとともに、参加した子どもに責任ある役割を与え、リーダーになれる子どもを地域で育てていきます。</li><li>・新たに地域に入ってきた人を地域の人に紹介するなど、地域に受け入れる体制づくりをしていきます。</li></ul>
<p>個人情報保護の関係でひとり暮らし高齢者等の災害弱者に関する情報が地域で共有できていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・災害弱者の人から了解を得て、民生委員以外にも情報を渡せるような体制を検討していきます。</li><li>・組長を中心に隣近所であいさつをするなど、地域との関わりを大切にしていきます。</li></ul>
<p>消防団や防災リーダーで活躍されている人が勤め人であるなど、平日昼間の防災体制に不安があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・現行の防災訓練とは別に初心者向けのメニューをつくり、ひとり暮らし高齢者の安否確認など、できることから始め、いずれは在宅者消防団の設立などを検討します。</li></ul>

【めざす姿】

## 「ながらパトロール」みんなの連携で地域を守る

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域の各種団体がパトロールなどを実施し、地域の安全を守っています。</p> <p>しかし、組織間の連携が十分でないため、情報を共有できず、効果的な活動が出来ていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会、青少年育成会、防犯部、防犯指導員、学校、PTAによるパトロールを今後も継続し、安全に関心がある地域だと印象付け、犯罪の抑止力を高めていきます。</li> <li>・パトロールの方法や場所など、情報交換を行い、より効果的に活動が展開できるよう、関係団体による会議を開催します。</li> <li>・地域内で事件などがあった場合は、近隣住民に情報提供を行うなど、地域の犯罪に関する意識を高めていきます。</li> <li>・多くの人が特別にパトロールを行うのは負担になり、継続が困難になりがちなので、散歩や買い物に行く時に腕章などをつけて歩く「ながらパトロール」を広げ、気づいた点やPTAからの児童、生徒の状況などの情報を団体に吸い上げる仕組みをつくり、更に地域全体で情報共有を進めていきます。</li> </ul>



消火訓練



資機材取扱訓練



高齢者世帯訪問



集団下校

【めざす姿】

## 地域で子どもを育てる

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>スクールボランティアに多数の人が協力し、学校教育への関心が高い地域です。</p> <p>しかし、「教育なんて出来ません」と敷居を高く構えてしまい参加されない人もいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・スクールボランティアや猫の手ボランティアをはじめ、わらじづくりや稲作など、体験学習を通じて、地域の人々の知識や技能を子どもに伝えるとともに、子どもから子どもへと伝え、地域内で教えあう事ができる関係をつくっていきます。</li><li>・多世代に渡る交流活動を通じ、地域の人と子どもだけでなく、親も含めて交流を図り、子育てに関する課題について共に考え、地域全体で子育てが出来る教育力の高い地域を目指します。</li></ul>



わらじづくり



育ちっこ



東富水小学校稲作体験学習

### 3 生活環境・地域振興

【めざす姿】

## きれいな川の流れと恵まれた自然環境を活かして、 訪れる人の心安らぐまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>母なる酒匂川に隣接し、水が豊かで、自然に恵まれ、子どもからお年寄りまでのびのびと憩える環境となっています。</p> <p>酒匂川に二つの橋がかかり、利便性も良く、小田原アリーナや小田原テニスガーデンなどの公共施設もあるため、スポーツ選手などが訪れます。</p> <p>しかし、公共施設の利用者などによるごみのポイ捨てが多く見受けられます。さらに、犬のフンを片付けないことやごみの分別のルールを守らないなど、マナー違反が見られます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士の眺めに、河津桜をはじめ、彼岸花やれんげ草、菜の花など、四季折々の花が咲き誇る環境づくりに努めます。</li> <li>・この環境を活かし、訪れる人との交流を図るため、桜の咲く時期にイベントの開催を検討します。</li> <li>・苗を植え、草刈りをするなど、地域の力で東富水の豊かな自然環境を整え、子や孫に伝えていきます。</li> <li>・行政の出前講座などを活用しながら、ごみのポイ捨てや分別などに関するマナーやルールを学び、地域の環境美化に対する啓発活動を行うとともに、公共施設の美化活動を行政と地域で役割を分けて行います。また、散歩の時にはごみ拾いを行うなど、地道な活動を続け、再び訪れたいくなるまちにしていきます。</li> </ul>



れんげ畑



小田原アリーナの桜

**【めざす姿】**

**地域の団体が手を携え、人と人との絆をつくるまちづくり**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>各地域の特色を活かし、もちつき、竹細工、正月飾りづくり、昔遊び等、多くの活動を通じ、子どもからお年寄りまで多くの人々が集いにぎわっています。</p> <p>しかし、自治会や老人会、子ども会の加入率が低下しているとともに、役員の担い手不足に悩んでいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体の活動を広報し、活動内容や意義を知っていただき、自治会をはじめ、各種団体の加入率向上を図ります。</li> <li>・子どもからお年寄りまで集まれるイベントを開催し、このイベントを通じて交流を深め、地域との関わりを強めていくとともに、各種団体間が力をあわせて一つのイベントを成功させることで、団体間の連携も深めていきます。</li> <li>・こうした活動を通じ、誰でも気軽にあいさつができる、人と人とのつながりを大切にするまちづくりをしていきます。</li> <li>・子ども会の活動や役員の担い手について、地域住民がサポートしながら、円滑な運営を行い、子ども会の加入率の向上と活性化を図っていきます。</li> </ul>



もちつき



竹細工



正月飾りづくり

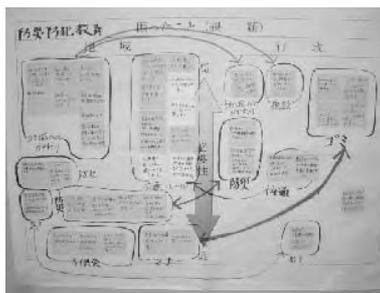


昔遊び

東富水地区まちづくり検討委員会の検討経過

平成21年 6月21日	設立準備会	地域別計画について説明
8月21日	第1回委員会	組織や会議の進め方について検討
9月24日	第2回委員会	地域の特色について検討
10月22日	第3回委員会	地域の課題について検討
11月24日	第4回委員会	地域の取り組む活動・将来像について検討
12月14日	第5回委員会	地域の取り組む活動・将来像について検討
平成22年 1月28日	第6回委員会	計画書のまとめに向けた検討
2月12日	第7回委員会	代表者による計画書のまとめ
2月25日	第8回委員会	(素案) 地域別計画の承認

検討委員会の様子



表紙写真：酒匂川のサイクリングコース ～小田原ふるさとの原風景百選より～

## 東富水地区まちづくり検討委員会

顧問	木村 貞雄	(東富水地区自治会連合会・蓮正寺第一自治会)
委員長	金子 穂積	(中曾根自治会)
副委員長	下澤 禮二	(社会福祉協議会／健康・福祉分科会)
	平井 光代	(交通安全母の会／防災・防犯・教育分科会)
	土屋 皓	(蓮正寺第二自治会／生活環境・地域振興分科会)
事務局員	高橋 東吾	(よし田自治会)
委員		

## 健康・福祉分科会

池谷 勇	(蓮正寺第五自治会)	島田 孝	(霞の瀬自治会)
磯崎 周子	(蛍生会自治会)	森川 巧	(蛍田中央自治会)
齊藤 義博	(民生委員児童委員協議会)	石坂 照子	(子育て支援グループ)
石井 恵子	(子育て支援グループ)	阿部 文子	(ボランティアクラブ)
古澤 敏子	(ボランティアクラブ)	最勝寺久和	(健康おだわら普及員)

## 防災・防犯・教育分科会

加藤 英二	(蓮正寺第三自治会)	村田 三郎	(蛍田駅前自治会)
川瀬かよ恵	(交通安全母の会)	河井 澄	(交通安全協議会)
木下 徹	(交通安全協議会)	亀井 俊一	(防犯部長)
亀井 正彦	(青少年育成会)	田村 洋一	(東富水小学校PTA)
一寸木正直	(東富水小学校PTA)	関田 茂子	(泉中学校PTA)
市川 英子	(泉中学校PTA)	桐山 直人	(小田原養護学校)
遠藤 隆佳	(東富水小学校)	佐野 靖	(泉中学校)

## 生活環境・地域振興分科会

永森 修司	(狩川自治会)	故 津田 優	(飯田岡東自治会)
高橋 克守	(飯田岡東自治会)	平山 芳一	(堀之内自治会)
倉持 三郎	(老人クラブ連合会)	杉山 茂	(老人クラブ連合会)
諏訪部高広	(東富水連合子ども会)	田代 澄夫	(体育振興会)
鈴木 稔	(体育振興会)	岩崎 芳子	(婦人部連絡協議会)
岩崎 良春	(公民館連絡協議会)		

# 地域別計画

～ 富水地区 ～



富水地区まちづくり検討委員会

# 水と緑 みんながふれあうまち 富水

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

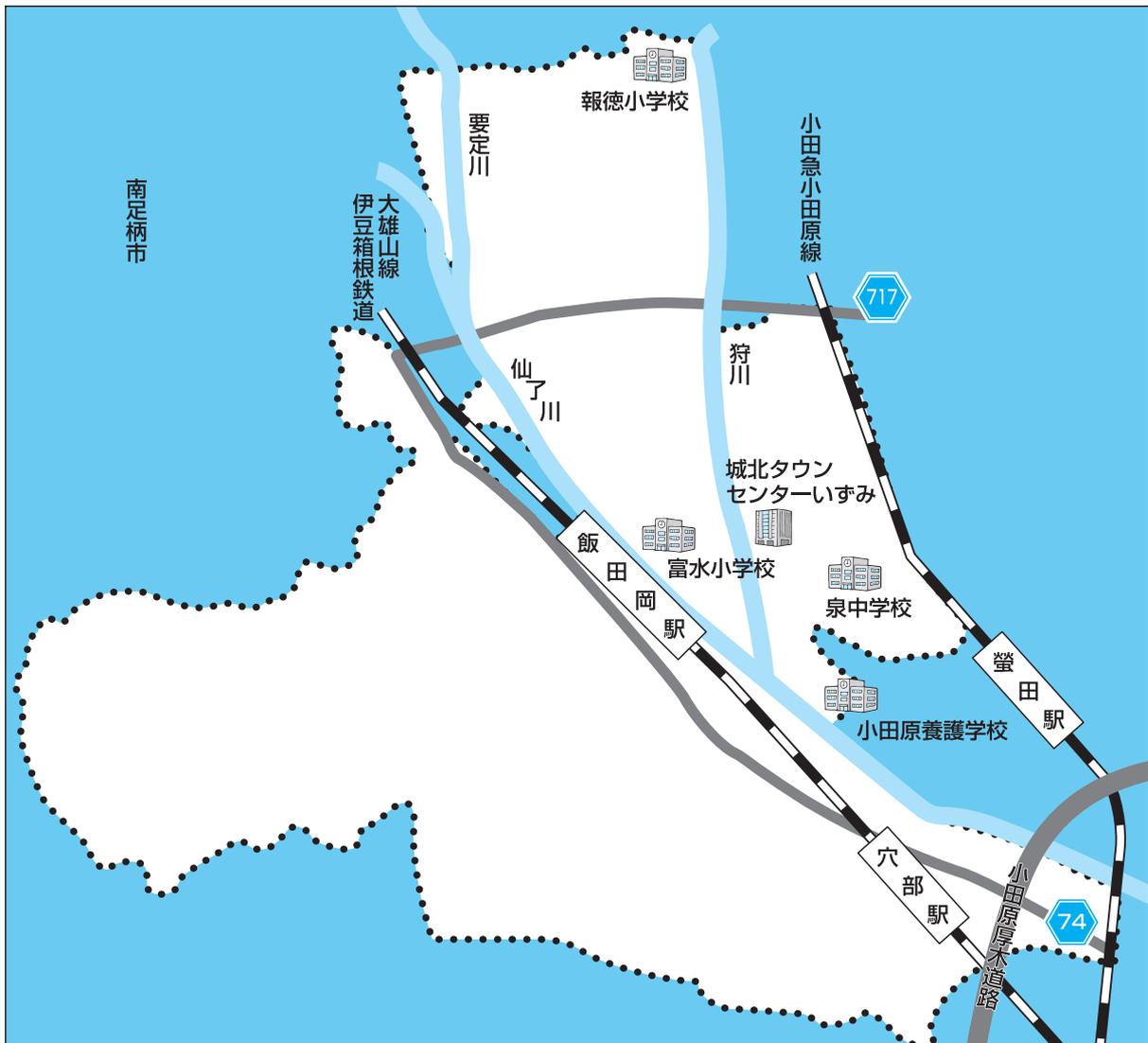
## 1 地域の地理状況

富水は、市内の北部に位置し、西は南足柄市と隣接する地域です。

地域内には狩川、仙了川、要定川などの清流が流れ、美しい田園風景が広がっています。

また、中央には、大雄山線が通り、穴部駅と飯田岡駅の2つの駅があり、東側には小田急線が通っています。

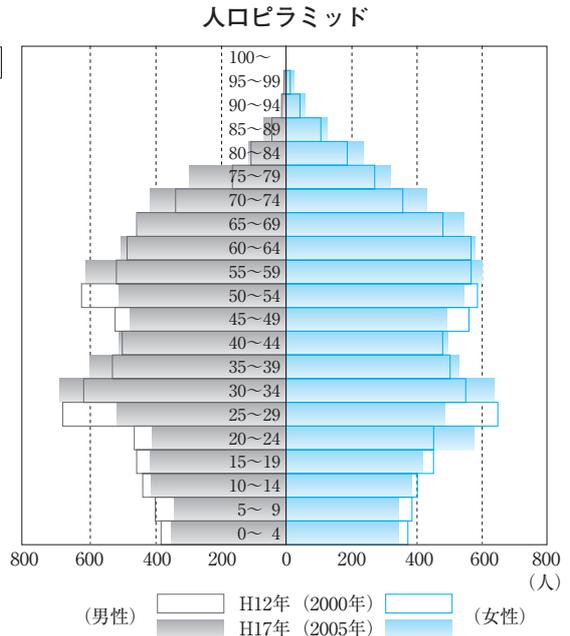
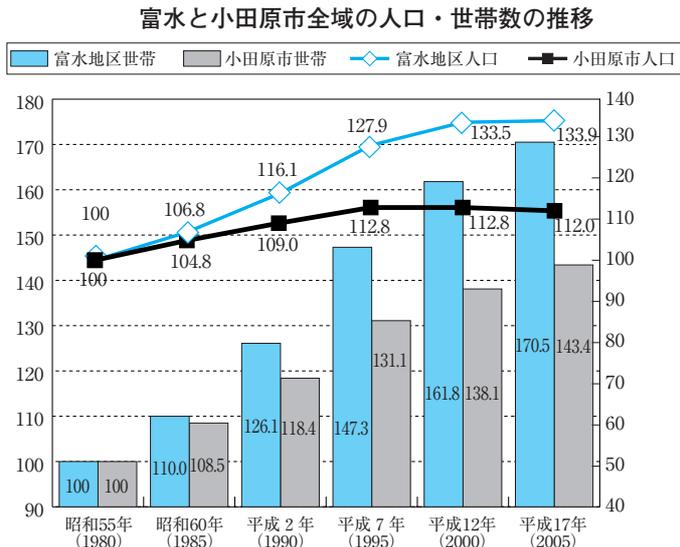
また、県道小田原山北線と沼田国府津線が地域の縦横に整備され、交通の便が良い地域です。



## 2 地域の人口・世帯

昭和55年（1980年）と比較すると、平成17年（2005年）で地域の人口は約1.3倍、世帯数は約1.4倍になっています。人口は平成12年（2000年）からはほぼ横ばいですが、世帯数は伸び続け、1世帯あたりの人数が減ってきています。

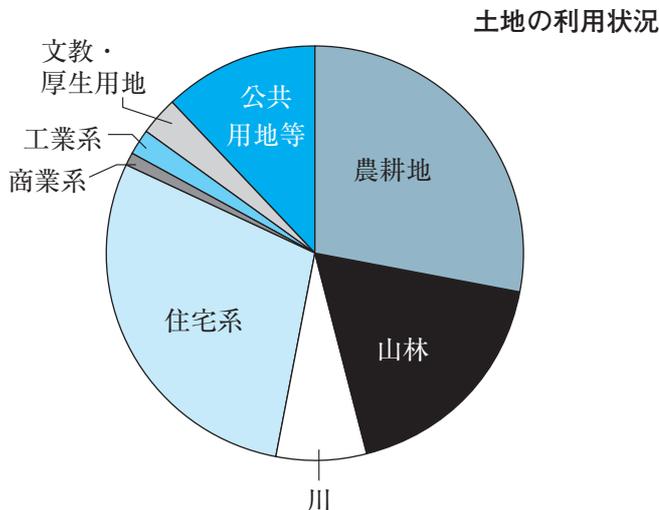
人口の構成は、他地域と同様、団塊の世代と団塊世代ジュニアの人口が多くなっています。



## 3 土地の利用状況

農耕地、山林、河川などの自然環境が約半数を、住宅地が約3割を占めています。自然環境が豊かな住宅地で住みやすい地域です。

逆に、商工業などが少ない地域となっています。



区分	割合
農耕地	28%
山林	18%
川	7%
住宅系	29%
商業系	1%
工業系	2%
文教・厚生用地	3%
公共用地等	12%

## 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～



四季の自然と出会う狩川の土手



「水道発祥の地」の碑

富水という地名が冠するように、仙了川、狩川、要定川のほか、各所で湧き水が自噴し、水が豊かな地域です。こうした川には多くの野鳥が訪れ、河津桜、水仙、彼岸花など花々が咲き、四季折々の自然と出会うことができます。また、富士山、箱根、丹沢を望むことができる絶好のロケーションです。こうした豊かな自然環境の恩恵を受け、農作物が育ち、心和む田園風景が広がっています。

小田原市の上水道は、この地（当時の足柄村清水新田及び飯田岡）に最初の水源地を求め、昭和11年3月に給水を開始しました。創設当時は、ここから小峰配水池に送水し、旧小田原町一円（緑、新玉、幸及び十字）に給水していました。当時のいきさつなどが記された「水道発祥の地」の碑が立っており、関係者の多くの努力と協力があつたことを後世へと伝えています。

一方、地域活動においては、団体間の連携や住民の団結心が強く、様々な活動にも積極的に参加し、協調性もあるので、伝統行事としてお祭りが盛んに行われ、隣近所の顔が見える安心して生活できる地域です。

## 地域の困ったこと（課題） ～ 一人ひとりの気づきから ～

人々の価値観やライフスタイルの多様化、都市化など様々な要因によって人と人とのふれあいが減り、近所づきあいが昔に比べ希薄になっています。

こうした中、お年寄り、障がい者、子ども、子育て中の保護者など、いわゆる社会的弱者と言われている方々を地域住民の活動でどのように支えていくかについて考えなければなりません。

また、大地震等の自然災害はいつ発生するかわかりません。大地震が発生すれば行政だけで対応することはできないので、地域が被災状況（住民の安否）の情報を共有し、連携して対応していくことが求められています。

一方、車社会の進展、歩行者や自転車の交通マナーの低下に伴い、交通事故の増加が懸念されます。また、弱者である子どもたちが犯罪の被害者になるケースもあるなど、犯罪の悪質化が問題となっており、地域の安全は地域で守っていかなければなりません。

## はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～ できることから始めよう ～

## 1 特色ある地域づくり

【めざす姿】

## 人と人のつながりが強いまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>自治会をはじめ地域住民の団結心が強く、様々な活動に積極的に参加し、協調性もあるので、安心して生活できる地域です。</p> <p>しかし、近所付き合いが昔に比べ希薄になってきており、自治会の未加入者や担い手不足などの問題も出てきています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の役割や必要性を明確にして、安心して安全な地域づくりを進めていきます。</li> <li>・自治会からの地域住民への広報（回覧など）については見やすく、読みやすくし、また、興味を持ってもらうように工夫していきます。</li> <li>・地域住民が交流を深めるために、自治会を通じてバス旅行などのレクリエーションを実施し、連携や結束を強めていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

## 豊かな自然環境(水と緑)に恵まれた心なごむまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>富水には川や田園など水や緑が沢山あります。</p> <p>川の土手には犬などのペットの糞が落ちていたり、ごみのポイ捨てや不法投棄などが見られ、富水の自然環境の保全に影響を与えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富水の豊かな水や緑を守るため、地域内の水路清掃、狩川クリーン作戦、せせらぎのこみち・めだかの公園周辺清掃など多くの環境美化活動を継続していきます。</li> <li>・環境美化活動などにより富水の環境の素晴らしさを認識し、自然環境を守っていくことの大切さ、きれいにする事の気持ちよさを伝えていきます。</li> <li>・狩川、仙了川の護岸にアジサイや桜の木を植栽し、より緑豊かな地域にしていきます。</li> <li>・ごみステーションの点検や管理を徹底し、日ごろから環境に対する意識を育てていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

## 公園・広場が整備されたまち

困ったこと	できることから始めよう
住みやすい地域であるが、お年寄りの憩いの場や子どもが遊べる広場が不足しています。	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域のお年よりが公園などの憩いの場で交流を深めたり、子どもが広場で遊びのびのびと遊んだりする場所の整備を目指します。</li><li>・広場などの空き地が確保できれば避難所にもなり、地域の安心安全が守られるため、広場に適した土地を探し、整備を目指します。</li></ul>

【めざす姿】

## 歴史と文化の活用により健康づくりができるまち

誇れるもの	できることから始めよう
多くの文化財があり、お祭りなど地域の文化や伝統が継承されています。	<ul style="list-style-type: none"><li>・お祭りなどの伝統行事を大切にし、後世に伝えていきます。</li><li>・貴重な文化財をめぐることや、自然環境と触れ合うことができる富水ウォーキングマップを作ります。 なお、富水ウォーキングマップは、小学生やお年寄りなど歩く人の体力に合わせたコースにより、多くの人に親しまれるものにしていきます。</li><li>・河川の植栽により、花祭りを開催し、地域の活性化につなげます。</li></ul>

## 2 健康・福祉

【めざす姿】

## 元気で長生き、人生楽しく！

困ったこと	できることから始めよう
地域住民一人ひとりがいつまでも健康を保ち、幸せな生活を送れるようにするため、健康づくりの場が必要になっています。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ストレッチや市民体操などを行う「健康教室」や「健康クラブ」、球技大会、レクリエーション、健康ウォーク、ラジオ体操など健康づくり活動を充実していきます。</li><li>・さらに、アンケートなどでニーズを把握し、ヨガや歌謡など新しいことを取り入れるなど楽しく続けるよう工夫していきます。</li><li>・メタボ予防などの相談ができる「はつらつ健康相談」、健民祭の時に体脂肪や血圧を測定する「ミニミニ健康デー」などで健康に関する悩みを相談できる体制を整え、日ごろから健康に対する意識を高めていきます。</li></ul>

【めざす姿】

## お年寄り、子ども、障がい者にやさしいまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>お年寄りが生きがいを持って暮らせるよう、地域で支えていかなければいけません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会をはじめ、一人暮らし老人昼食会、誕生会、独居老人慰問、寝たきりの人たちのお見舞いなど、子どもと一緒に歌を歌ったり、体操や手遊びをしたり、お年寄りと触れ合う活動を継続していきます。</li> <li>・また、フラダンスを取り入れるなど敬老会の内容を見直したり、単位自治会ごとに敬老会を行うなど実施方法を工夫していきます。</li> <li>・現在でも参加者は年々増加していますが、他地域の先進事例を参考に運営方法を見直し、活動の充実を図っていきます。</li> <li>・個人情報の保護について正しく理解し、案内状を送付するための名簿の整備を行っていきます。</li> <li>・行事案内を郵送し、まず行事を知っていただき、参加者が増えるような環境づくりを進めていきます。</li> <li>・案内状を郵送することで、郵便配達員が訪問し、一人暮らしのお年寄りの安否確認をする回数が増えるという効果も期待できます。</li> </ul>
<p>核家族化によって家庭での子育てをする環境が変化し、育児に不安や悩みを抱えている保護者が増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プーさんの会やミッキーの会など、子ども同士の交流による遊び・体験活動や、子を持つ保護者の悩みを聞いたり、保護者同士の交流を図るための子育て支援活動を継続していきます。</li> <li>・最近では、参加者が増え、場所の確保に苦慮しており、行政と協力しながら場所の確保に努めていきます。</li> </ul>
<p>障がい者が社会的に自立していく環境を整えるため、地域が理解し、支える体制を整えなければなりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小田原養護学校や竹の子学園の文化祭、バザー、夏祭りなど、ともしび会などのボランティア団体による障がい者支援活動を継続していきます。</li> <li>・富水小学校と小田原養護学校で学校間交流を行い、教育の一環として小さいころから障がいに対する理解を深めます。</li> <li>・小田原養護学校に地域住民が学校見学に行くなど地域との交流を図り、障がい者に対する理解を深め、地域で支える体制を整えていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

## 住み良いまちづくりの土台を築く

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>社会福祉協議会をはじめ、様々な団体が活動し、地域の交流が生まれ、地域福祉を支えています。</p> <p>しかし、高齢化が進み、社会福祉協議会をはじめ、団体の役員の担い手不足や若い人の行事の参加が減少するなど、地域福祉を支える基盤が弱体化しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会福祉協議会をはじめ、様々な団体が連携を図り、各種福祉サービス、相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力などを行い、地域福祉を充実していきます。</li><li>・社会福祉協議会の夏祭り、各地区公民館における趣味の活動、自治会による大晦日の甘酒の振る舞いなど、多世代に渡った交流を継続していきます。</li><li>・こうした活動を積極的に広報し、活動に対する理解を深め、担い手を増やしていきます。</li><li>・若い人にも分かりやすい広報づくりを心がけ、多くの人に親しみを持っていただくよう工夫していきます。</li><li>・タウンセンターいずみ、各地区公民館、地域包括支援センターなどの健康や福祉に関する施設を十分に活用し、地域の方が住み慣れたまちで安心して生活することができる福祉のまちづくりを目指します。</li></ul>

### 3 交通安全

【めざす姿】

## 地域の人々の、地域の人々による、地域の人々のための交通安全活動をパワーアップして、みんなが安心して住めるまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>充実した交通安全の組織を継続していくための担い手が少なく、存続が難しくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治会の交通安全部で実施する年始の交通安全祈願に毎年多くの参加者が集まるなど、交通安全に対する意識の高い、まとまりのある組織ができており、こうした組織を中心に交通安全教室、交通安全運動、夜間ホタル作戦（※1）、地域行事での交通誘導など、地域の交通安全を守る活動を継続していきます。</li><li>・学習参観時に交通安全教室を実施してもらうよう働きかけ、親子で参加できるように工夫したり、子ども会や老人会をはじめとした各種団体と連携することにより交通安全活動への参加を促すことで、その必要性を理解してもらい、担い手の発掘と育成を進めます。</li></ul>

※1 春、夏、秋、年末に夜間交差点において行う事故防止の啓発活動。

【めざす姿】

## 地域の子どもやお年寄りが交通事故などの災害に巻き込まれないよう地域が一丸となって見守ることのできるまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>車社会の中で、子どもたちやお年寄りを交通事故から守らなければなりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の交通安全部、PTA、交通安全母の会、富水小学区や報徳小学区のボランティアの方々による小学生の登下校時の交通指導を継続し、子どもたちの安全を守ります。</li> <li>・お年寄りの世帯の方を訪問し、交通安全のリーフレットを渡しながらマナーを伝えるなど、啓発活動を通じて交通安全に対する意識を高めていきます。</li> <li>・富水小学校や報徳小学校では、ボランティアの方を招いて、子どもたちのお礼の言葉をつづった色紙を渡し、感謝の意を伝えています。子どもたちからの温かい言葉は、ボランティアの方の活動の力になっており、今後も継続していきます。</li> </ul>

【めざす姿】

## 交通マナーが守られて事故のない安全安心なまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>交通マナーは比較的良いものの、一部では自転車の乗り方のルールが守られていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全協会や交通安全母の会が小学校や幼稚園と協力し、新入生への啓発物を配布したり、市と協力して交通安全教室を開くなど、交通ルールの普及・啓発活動を継続し、交通事故防止の徹底を図ります。</li> <li>・学科による知識の会得や自転車の乗り方などの実地訓練を取り入れたり、学校の夏休みや冬休みの前に交通安全教室を実施するなど実施時期を検討し、より効果的に行えるよう工夫します。</li> <li>・お年寄り向けの交通安全教室の実施に向け、警察、市役所、老人会の協力も得ながら検討します。</li> </ul>
<p>連合境と学区境が一致していないため、報徳小学校への交通安全教室開催に向けた働きかけが弱かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、報徳学区の3自治会連合会（富水・東富水・桜井）、交通安全協会、交通安全母の会が連携し、報徳小学校での交通安全教室の開催について検討します。</li> </ul>

## 4 防災

【めざす姿】

### 共助・自助で地域を守る

困ったこと	できることから始めよう
阪神・淡路大震災の際に救助された人の90%は、自力で脱出又は家族、近隣の人々によって救助されました。災害が発生した場合、行政だけでは対応できないので、地域の防災組織が必要です。	<ul style="list-style-type: none"><li>・災害による被害を防ぎ、軽減していくために、消防団、防災リーダー会、自主防災組織、防災の会などの組織・活動を充実し、地域住民同士支え合っています。</li><li>・消防団員募集のポスターを掲示するなど、各防災組織で担い手を発掘し、充実した組織を維持していきます。</li></ul>

【めざす姿】

### 有事の際に防災機材を誰でも安全確実に使用でき、助け合えるまち

困ったこと	できることから始めよう
いつ災害が発生するかわかりません。しかしながら地域住民の備えが万全とは言えません。	<ul style="list-style-type: none"><li>・単位自治会ごとに防災機材の点検や操作方法の訓練を行い、災害時に自ら防災機材を使用し、救助活動できるよう日ごろから備えています。</li><li>・各防災組織での訓練（水防訓練、操法訓練、防災訓練）、県・市で実施する大規模の防災訓練、連合自治会で実施する中規模の防災訓練、単位自治会で実施する身近な訓練、各家庭における防災点検の日の実施により、組織としての防災力と個人としての防災力を向上させ、防災意識を高めるとともに、近隣の人とコミュニケーションを深められます。</li><li>・火災予防のポスター掲示や小学生を対象とした消防の話などを通じて、地域住民の防災に対する意識の向上を図ります。</li></ul>

## 5 防犯

【めざす姿】

### 明るいまちづくり

困ったこと	できることから始めよう
全国的に多発する犯罪に対し、地域住民の生活が守られるのかという不安があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の安全は地域で守るとの観点から、防犯組織を充実し、様々な活動を通じて、犯罪の発生しにくい環境づくりを進めていきます。</li> </ul>
防犯組織の高齢化が進み、担い手不足が進行しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日ごろから各組織で人材発掘を進めるとともに、「安心安全まちづくり研修会」などを通じて、人材育成に取り組めます。</li> </ul>

【めざす姿】

### 犯罪を未然に防ぐまちづくり

困ったこと	できることから始めよう
地域のことについて無関心な地域は犯罪が多発し、地域住民の生活を脅かすので、自分たちの力で地域を守る意識を高める必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各家庭の玄関灯をつけるよう呼びかけたり、行政の防犯灯補助金などを活用し、地域の危険箇所には防犯灯を増設したり、防犯灯の整備不良箇所がないか点検パトロールを継続していきます。</li> <li>自治会掲示板に期限切れのポスターが張っていないよう注意して見回ったり、放置自転車、ごみのポイ捨て、建物や壁の落書きをなくすなど、犯罪者に対し、地域の目が行き届いていることを示し、犯罪が起こりにくい環境づくりを進めていきます。</li> <li>自治会による交通安全・防犯教室、防犯推進協議会による講演会や研修会などを通じ、地域住民の防犯に対する意識を高めます。</li> </ul>

【めざす姿】

### 犯罪のない地域を目指す

困ったこと	できることから始めよう
学校や子どもたちが犠牲となる事件が発生し、子どもたちの安全を脅かしているので、地域が一丸となり子どもたちを見守る必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業や個人の協力を仰ぎ、いつでも子どもたちがかけこむことができる「SOSこども110番かけこみ所」を充実し、子どもたちを犯罪から守ります。</li> <li>児童の登下校パトロール、地域の夜間パトロール、小・中学校の見守り隊、泉中サポートチームによる学校行事の際の周辺パトロール、健民祭などのイベント時のパトロールなど、地域の見守る目があるということを示し、子どもたちや地域住民が犯罪に巻き込まれない環境づくりを進めます。</li> </ul>

## 6 文化・教育

【めざす姿】

### 情報の共有と豊かなふれあい活動を通して地域教育力の向上を目指す

困ったこと	できることから始めよう
<p>P T A、自治会、ボランティア、地域の方が学校教育に非常に協力的であるが、学校活動に関する情報や地域の方がどのような技能をもっているのかという情報が共有されていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体で年間計画を作成し、活動を行っているが、各団体の年間計画など情報提供をしあう場を作り、地域の協力体制を確立します。</li> <li>地域にどのような技能を持った人がいるのか、富水人材バンクをつくり、地域とP T A、学校が一体となって活動を行えることで、より豊かな教育活動が推進できます。</li> </ul>
<p>子どもの規範意識が低下しています。地域の方と子どもとのふれあいが少なく、子どもたちに声をかける機会があまりありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0歳児から幼少期における保護者への支援を行います。(おだわらっ子の約束の浸透)</li> <li>小学校単独での清掃活動を実施したり、自治会単独で清掃活動を実施するなど、それぞれが環境美化活動を行っています。自分たちのまちの清掃活動を地域の方と一緒に取り組むことによって、地域の環境に目を向けると共に、地域の方にほめられたり、諭されたりする中から豊かで温かな関係を生み出すことができます。</li> </ul>

【めざす姿】

### 幼・保・小・中・養護学校・家庭・地域との一体教育の推進により児童生徒の健全な育成を目指す

困ったこと	できることから始めよう
<p>不登校やいじめ、家庭における基本的学習習慣が身につかない子がいるなど今日的な課題が発生しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「これまでの育ち・学び」と「これからの育ち・学び」について共有し、子どもの背景にあるものを理解しながら指導にあたり、不登校を早期発見し、対応することで、子どもの健全な育成に努めます。</li> <li>地域の民生委員児童委員、主任児童委員などとも連携し子どもたちの指導にあたり、学校が抱えている課題について、P T Aや自治会などに情報提供し、共に考えていく体制を整えます。</li> <li>いじめをなくし思いやりの心を育てるため、学校だけでなく、P T Aや地域と連携して、あいさつ運動を推進していきます。また、青少年育成会が主催するミニ集会へP T Aや子ども会の役員を行っている親以外の方も積極的に参加していただけるような環境づくりを</li> </ul>

	<p>学校、P T A、地域が連携して行います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・泉中学区では、子どもがいきいきと輝く学校教育の実現をめざして、平成21年度（2009年）から、学年×10分間家庭学習といった新たな取り組みを実施しています。今後もこのような小中一貫した学習環境の整備を進めていきます。</li></ul>
--	--

## 富水地区まちづくり検討委員会

**委員長** 木村 秀昭（富水地区自治会連合会・上清水自治会）

**副委員長** 古宮 良男（交通指導員連絡部）  
 中野 家孝（地区社会福祉協議会）  
 寺澤 晃（青少年育成会）  
 本木 忠一（防犯推進協議会）  
 鶴井 正幸（富水小学校PTA）

**委員**

草柳 寛（飯田岡本村自治会）	尾崎 壽一（飯田岡若宮自治会）
岩本 武雄（飯田岡飯中自治会）	長崎 春松（飯田岡楠自治会）
松田 悦一（柳新田自治会）	井上 勝美（小台自治会）
中野 武（池田自治会）	杉崎 久夫（新屋自治会）
加藤 紀元（府川自治会）	窪田 正昭（久所自治会）
長谷川廣行（仲沢自治会）	内田 孝夫（北ノ窪自治会）
平野 嗣和（穴部自治会）	植木 國治（穴部新田自治会）
鈴木 孝次（下清水自治会）	稲子 和子（交通安全母の会）
三宅 哲夫（防犯ボランティア）	市川昭維子（民生委員児童委員協議会）
小林 財子（健康おだわら普及員）	木村 陽子（ともしび会）
菅原知栄子（富水婦人部連合会）	福澤 裕（体育振興会）
吉澤 武（老人クラブ連合会）	及川 寿（地域住民）
榎本 博（防災リーダー）	綾部 武夫（消防団）
深山 光治（飯田岡駐在所）	加藤 陽子（富水小学校）
音淵 洋子（報徳小学校）	佐野 靖（泉中学校）
佐藤 憲司（小田原養護学校）	椎野 智子（泉中PTA）
谷口 三貴（富水学区連合子ども会）	

**事務局員** 磯崎 知里

# 地域別計画

～ 久野地区 ～



久野地区まちづくり検討委員会

## 子育てにやさしい久野

地域の今（現況） ～ わたしたちの地域はこんな地域 ～

### 1 地域の位置と地勢

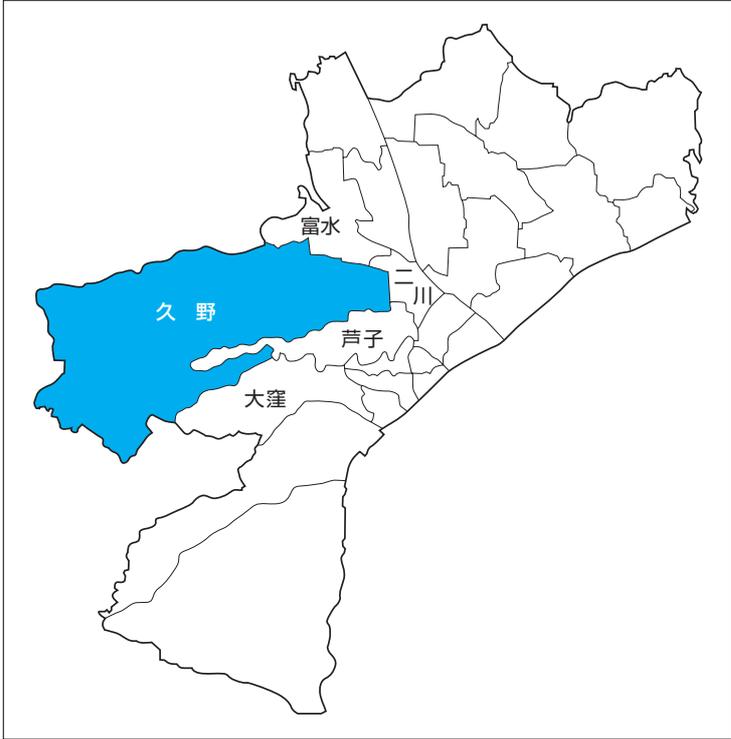
久野は、小田原市の西部に位置し、面積は約28km<sup>2</sup>の地域です。北部は南足柄市と、西部から南部にかけては箱根町との行政境を有し、市域では、北東部から南東部にかけて、それぞれ富水、二川、芦子、大窪と接しています。

西部は、箱根連山に連なる山地で、明星ヶ岳、塔の峰の東斜面となっており、明神ヶ岳への登山ルートもあります。地域の西から東にかけて久野川が流れ、東側には、小田原厚木道路があります。

豊かな里地里山をもつ、自然環境に恵まれた地域です。また、小田原市立病院があるほか、小田原市役所や小田原警察署、神奈川県合同庁舎などの官庁街が近くにありま



久野地区



わんぱくらんど



久野の里山



## 2 地域の人口・世帯・土地の利用状況

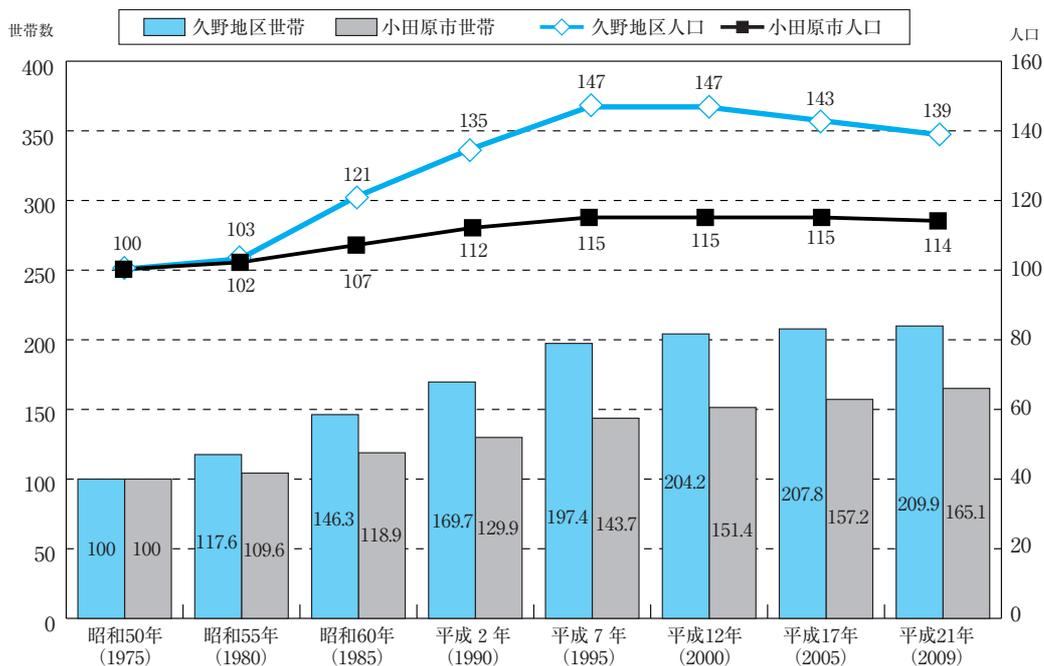
昭和50（1975）年と比較すると、平成7（1995）年までは、人口が急増していますが、そこからなだらかに減少しています。市全体としては、人口は横ばいで、世帯数は増加していますが、久野地区は、人口が減少していても世帯数が微増しているところが特徴です。また、人口は、いわゆる団塊の世代と第2次ベビーブームの頃の世代が多くはなっているものの、生産年齢層の各層に渡り住民が居住しています。

久野は、8割近くを山林が占めていることが特徴です。次に多いのが農耕地となっており、人と自然との関わりが多い地域と考えられます。

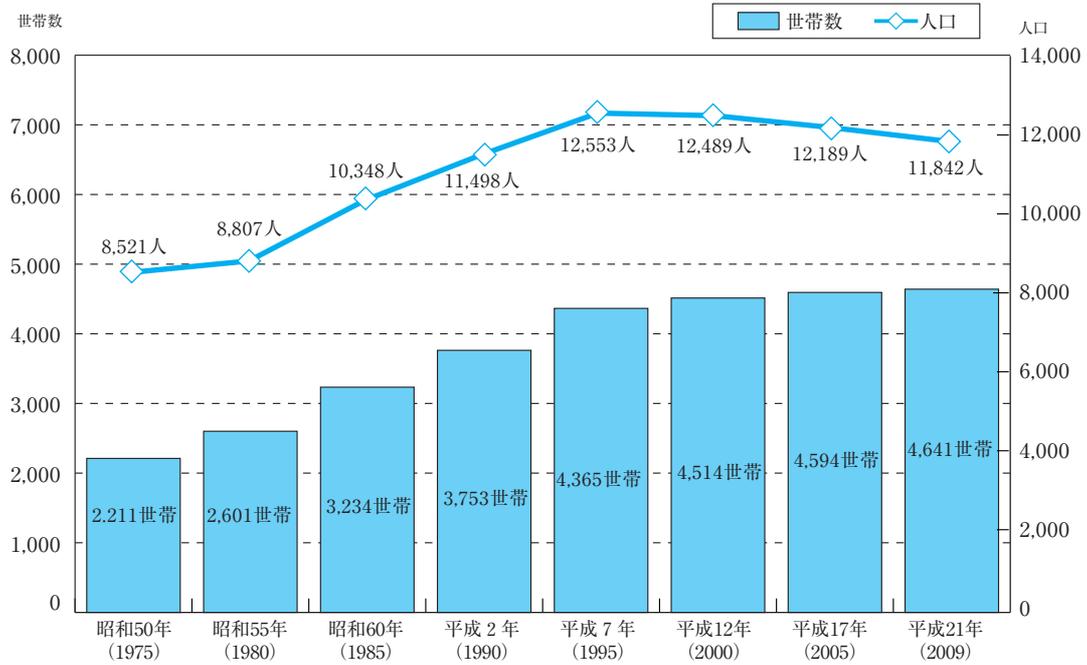
久野地区と小田原市全域との人口・世帯数の比較

区 分		昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年
久野	人 口	8,521	8,807	10,348	11,498
	世帯数	2,211	2,601	3,234	3,753
小田原市	人 口	173,519	177,467	185,941	193,417
	世帯数	47,253	51,809	56,193	61,360

区 分		平成7年	平成12年	平成17年	平成21年
久野	人 口	12,553	12,489	12,189	11,842
	世帯数	4,365	4,514	4,594	4,641
小田原市	人 口	200,103	200,178	198,741	198,341
	世帯数	67,916	71,532	74,291	78,013

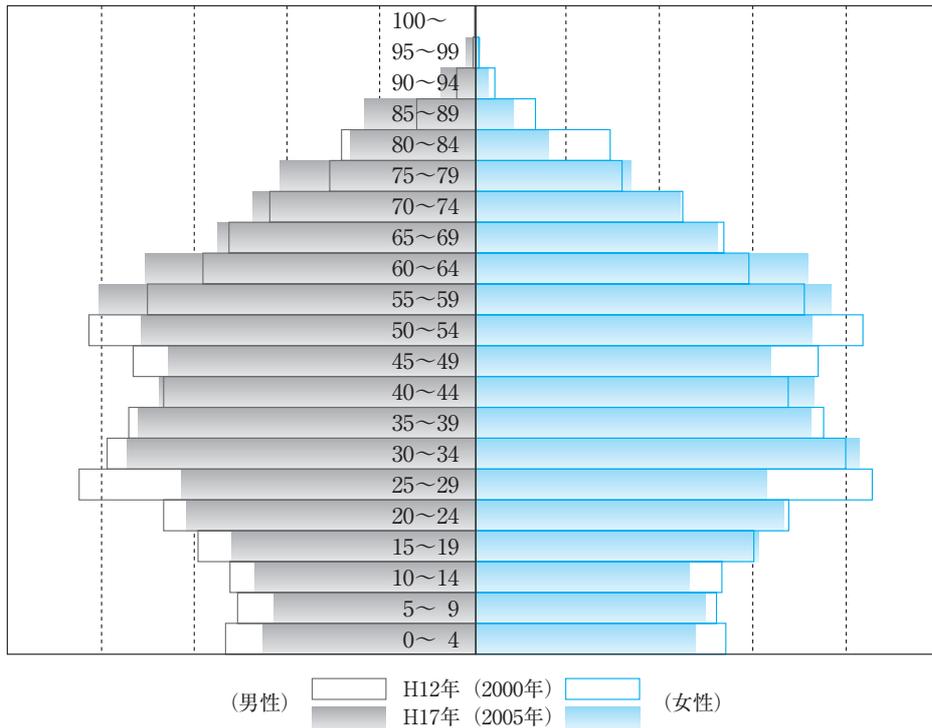


久野地区の人口・世帯数の推移

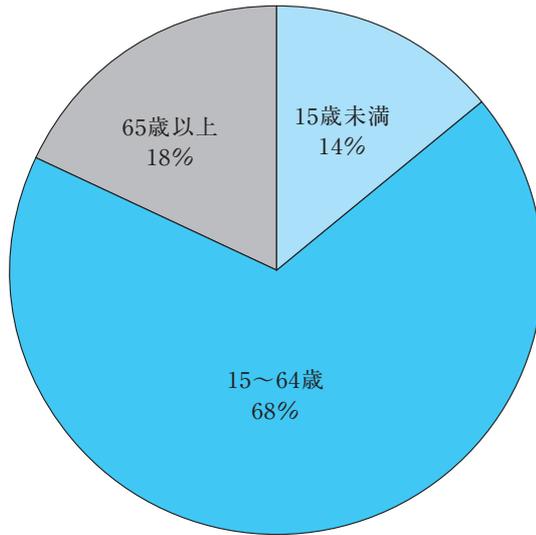


平成12・17年の久野地区の人口ピラミッド

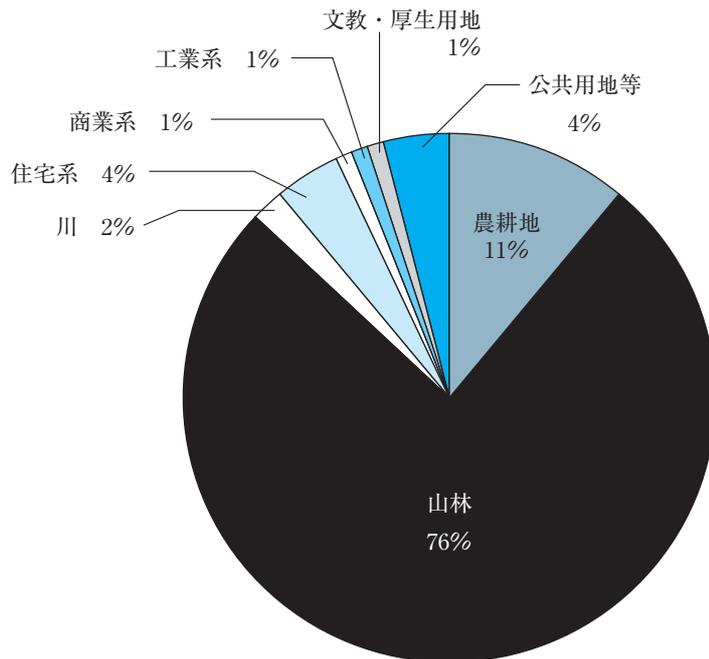
※ 目盛線は、150人単位です。



平成17年の久野地区の三世代人口比



土地の利用状況



## 地域の誇り（特色） ～これからも大切にしよう～

久野の歴史は、古墳時代後期（推定）に遡ります。久野川流域で栄えた有力者の墓として小田原地方で最大の円墳群をはじめとした古墳群が残されているなど、古（いにしえ）から人々が住んでいたまちとなっています。また、今も残る豊かな自然の産物として、新編相模国風土記稿（1841年）には、当時の小田原地方の産物として、久野の柿実、梨子、蕨があったことが記されています。

そして、北条早雲の三男であり、後北条氏随一の文化人である北条幻庵の屋敷があった地域でもあり、自然だけでなく、文化の薫る多くの歴史的資産が遺されています。

### 地域活動



#### 活発な地域活動

久野では、奉仕会やおやじの会などのグループがあり、天候に拘わらず登下校指導をしたり、ふれあいまつりに参加するなど、地域活動が活発に行われています。また、防犯のために各種団体を網羅した防犯活動協議会もあります。



#### 神山神社祭典

例年10月第2週の日曜日に例大祭がとり行われ、神社の神輿は久野全域を車上にて渡御します。例年2地区にて車を降りた神輿は地域の方々によって自地区を渡御し、大祭を盛り上げます。夕刻からは多数の担ぎ手が集まりライトアップされた神輿は久野のメインストリート（バス通り）を渡御し神社に向います。神山神社には屋台も多数出店され大勢の地域の方々が集まる中、神輿は宮入となり最高潮に達します。



#### 区民体育祭と福祉バザー

久野地区体育振興会が運営し区民の健康の増進を目的に久野の方々が一同に集まり、地区ごとの対抗戦を繰り広げます。各地区とも一丸となって応援を繰り広げ、地域の団結も強まり、また地区間のふれあいの場にもなっています。また、福祉バザーも併催しており、参加者が最も多い地域の一大行事です。



#### 世代間交流事業

久野地区社会福祉協議会等による事業で、子ども会、自治会、老人会、地区関連団体（消防団など）が参加し、グラウンドゴルフ、ペタンクなどを競技します。

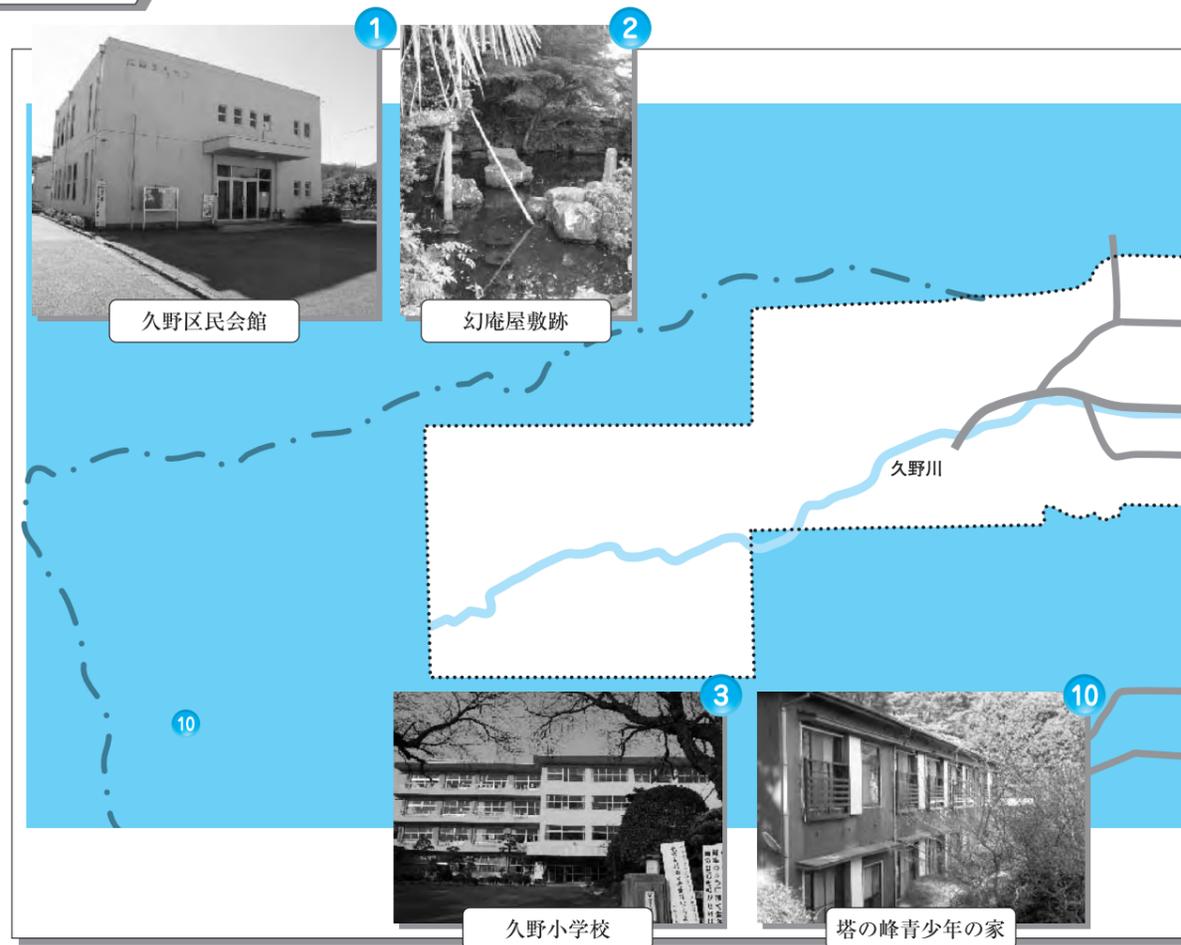
その名の通り世代を越えた参加者が同じ競技を行い、優勝を目指し、自然とふれあい生まれる事業です。休憩時間に出るトン汁は絶品です。



#### ふれあいまつり

久野小学校PTA主催の行事で例年11月の初旬の土曜日に開催されます。PTA会員のみならず、スクールボランティア、老人会、おやじの会、OB等が参加し運営されるのが特徴でバザーや模擬店、ゲーム等で皆の笑顔の中、児童とのふれあいが深まります。

地域資産



※ 灰色数字 (17~19) は地域外に設置されているものの、久野の子どもが通学する学校



## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

核家族化が進み、生活の単位が小さくなっている中、他人とのコミュニケーションが苦手になりつつあり、近所つき合いも希薄になっています。その結果、自治会、地域活動、行事に参加する人が増えず、活動の輪が全体に広がりません。また、諸行事の目的も地域全体として達成感が乏しく、文化芸能の後継者も育たない現状があります。

## はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～できることから始めよう～

### 1 安全・安心なまちづくり

【めざす姿】

### 遠くの親戚より近くの他人 普段のお付き合いが 災害時に威力を発揮するまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>－ 特 色 －</p> <p>久野は、自治会連合会単位だけでなく、自治会ごとの防災訓練も実施されるなど、防災活動に対して地域住民が協力的です。また、安否確認の活動や月1回消火栓の位置等の確認を行っているなど、防災への意識が高い地域です。</p> <p>多くの自治会では、防災訓練の際、隣3軒が声をかけ、まとまって集合する独自の取組みを行っています。</p> <p>－ 課 題 －</p> <p>自主防災組織（自治会）ごとに防災計画書はあるものの、住民が、広くその内容を認識していないことが課題となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各自治会単位で行っている防災訓練を継続しつつ、訓練内容の見直しと更なる充実を図ることで、各家庭の防災意識の向上を図っていきます。</li><li>・防災意識啓発のため、引き続き消防分団による火災予防運動や民生委員児童委員協議会による火災防止チラシの配布を行っていきます。</li><li>・子どもを守るため、学校と協力して防災訓練の実施に向けた協議を行っていきます。</li><li>・防災リーダーは、現在、自主防災組織に一人ずつしか置かれていません。発災時には、小さい単位での活動も重要なので、組単位での防災リーダーの担い手づくりを検討していきます。</li><li>・更なる防災意識の向上のため、防災に対するアンケートを行うとともに、参加者増を目指して防災訓練と他のイベントとの併催を検討していきます。</li></ul>

## 【めざす姿】

## 昔ながらの近所付き合いを思い出して、 御近所を気にかける安心なまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>－ 特 色 －</b></p> <p>地域の深いつながりで、近所付き合いが自然に防犯につながっています。また、登下校時の防犯パトロールを行うなど、防犯活動は充実しています。</p> <p style="text-align: center;"><b>－ 課 題 －</b></p> <p>地区内に街灯が少なく、また人通りの少ない道や不審者などがいることもあり、子どもが事件に巻き込まれることが心配されます。</p> <p>犯罪を未然に防ぐために、子どもや高齢者は地域で守るという住民一人ひとりの防犯意識を高める必要があります。</p>	<p style="text-align: center;">できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯罪を未然に防ぐために行われている、白山中学校PTAのあいさつ運動を継続していきます。また、久野地区全体としての声かけ、あいさつ運動を励行するとともに、地域コミュニティの強化に取り組み、防犯力の向上に努めていきます。</li> <li>・ 民生委員児童委員協議会では、振り込め詐欺防止チラシの作成と配布を行っています。こうした活動を継続することで、振り込め詐欺による高齢者への被害防止に努めていきます。</li> <li>・ 各種祭典、運動会などのイベントが開催される際には、愛のパトロールや運動会パトロールなどの見守り活動を行っています。また、自治会連合防犯協議会パトロールや交通安全協会久野支部の街頭監視パトロール、夜間監視パトロールが実施されています。こうした活動を継続することで、小さな犯罪の芽を摘み、犯罪防止に努めていきます。</li> </ul>

## 【めざす姿】

## 歩行者、自転車・自動車の運転者が、お互いの立場を理解し、 交通マナーを守るまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>－ 特 色 －</b></p> <p>交通安全協会久野支部があり、久野の主な行事が開催される際には、交通整理を行うなど、交通安全活動が充実しています。また、交通安全キャンペーンや久野地区内の道路交通標識点検を行っているなど、交通安全に対する意識を高く持っています。</p> <p style="text-align: center;"><b>－ 課 題 －</b></p> <p>路上駐車が多く、ルールを守ら</p>	<p style="text-align: center;">できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通安全母の会による毎月1日の学童通学の見守り活動や交通安全部会による夜間ホタル作戦を行うなど、交通事故から子どもを守るための活動を行っています。こうした活動を今後も継続するとともに、交通安全意識の向上を図るための新たなイベントを検討していきます。</li> <li>・ 歩行者、自転車・自動車の運転手がお互いの立場を理解して、交通マナーを守るように、交通安全協会久野支部と交通安全母の会が協力して、合同の交通安全教室の開催を検討していきます。</li> <li>・ 交通安全母の会と交通安全協会久野支部は、交</li> </ul>

<p>ない運転が見受けられるなど、交通マナーが低下しています。</p>	<p>通安全運動についての情報交換や協力体制を整えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全の更なる向上のため、交通安全母の会と交通部会会員の意識と知識の向上を図ります。</li> </ul>
-------------------------------------	---

## 2 地域で子どもを育むまちづくり

【めざす姿】

### 子ども同士のふれあいが豊かなまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>－ 特 色 －</b></p> <p>久野は、小田原こどもの森公園わんぱくランドやおだわら諏訪の原公園を有し、子どもたちが遊び、ふれあう環境が整っています。また、地域のつながりが強く、親と子のつどいや久野っ子ハイキング、ふれあいまつりなどへの住民の積極的な参加や協力もあり、人と人とのふれあいを通して、優しくて素直な久野っ子が育まれています。</p> <p>子ども会のない地区では、祭典の際に自治会が主体となって、子ども神輿の巡行をしています。</p> <p style="text-align: center;"><b>－ 課 題 －</b></p> <p>少子化や教育・スポーツ環境の変化、価値観の多様化などによって、子ども会の加入率が低下しています。また、自治会内に学区が混在し、複数の子ども会があるため、子どもが行事に参加しづらくなっています。</p> <p>高校生や大学生が参加できるイベントが少なくなっています。</p>	<p style="text-align: center;">できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世代間や世代を越えた交流を促すため、世代間交流事業や久野っ子ハイキング、久野っ子フェスティバル、ふれあい祭りを行っています。こうした活動を続けることで、子ども同士のふれあいを豊かにしていきます。</li> <li>子どもを対象にした事業については、子ども自らが企画や準備をする取組みや、組織にとられない仕組みなど、多くの子どもたちが集まり、楽しむことができるようなイベントとなるように工夫をしていきます。</li> <li>子ども会同士が合同でイベントを行うなど、子どもや保護者に負担感なく参加することができるような仕組みを検討していきます。</li> <li>ジュニアリーダーを活用しながら、いろいろな世代の人が参加できるイベントの開催を検討していきます。</li> </ul>

【めざす姿】

## 地域で子どもを見守るまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>－ 特 色 －</b></p> <p>子どもの登下校のときに、地域の多くの人子どもたちを見守ってくれています。また、学校から子どもたちの下校時間のお知らせがあるなど、学校と連携して、子どもたちの見守り活動を行っています。</p> <p style="text-align: center;"><b>－ 課 題 －</b></p> <p>見守り活動や防犯パトロールについては、毎回同じ人が参加をしていて、子どもたちを見守る活動の輪に広がりがありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちを見守る活動については、学校と連携しながら、住民による登下校時の見守り活動やパトロールなどを継続することで、子どもたちを見守るだけでなく、子どもと交わす会話を通してマナー等の生活指導を行っていきます。</li> <li>・見守る目を増やすため、自分の空いた時間にパトロールをするなど、気軽に参加することができる雰囲気づくりに努めます。</li> </ul>

【めざす姿】

## 心身ともに健康な子どもを地域で育てよう

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>－ 特 色 －</b></p> <p>地域の企業が、グラウンドや食堂の地域開放をして、子どもの育成活動を支援しています。</p> <p style="text-align: center;"><b>－ 課 題 －</b></p> <p>子どもの心の健康が心配です。また、子育てに関する窓口が多すぎて、情報が混乱してしまうことがあります。</p> <p>核家族化が進み、身近な人に子育て相談をし難い環境になっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般開放をしているミクニ工業の施設を利用して、地域活動を充実していきます。</li> <li>・ものづくりや果物狩を行うぞうさんの会の活動やクリスマス会でのとん汁づくりなどの子育てを支援する活動を継続して、心身ともに健康な子どもを育てていきます。</li> <li>・あいさつは、人と人とのつながりの基本であると考えて、見守り活動において、子どもへのあいさつを励行し、子どもの心の健康を守っていきます。</li> <li>・子育て支援事業に、多くの人参加してくれるように、回覧方法を検討するなど、自分に直接関係ない行事等についても関心を持ってもらうような取組みを検討していきます。</li> <li>・母親同士で子育てに関する悩みを相談できる機会を設けることなどを検討し、子育て中の親を地域で支える環境づくりに努めます。</li> </ul>

【めざす姿】

## 自然環境と文化・歴史の中で子どもが健やかに成長するまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>－ 特 色 －</b></p> <p>山や川などの豊かな自然を有し、また行政機能が集積する地区にも隣接しており、生活環境が優れています。</p> <p>神社の祭典、夏祭りや秋祭り、区民体育祭などの地域行事が盛んに行われ、また参加者も多く、地域の絆が築かれています。</p> <p>観音堂や太子神社、久野古墳群、山車など歴史遺産が数多くあります。</p> <p style="text-align: center;"><b>－ 課 題 －</b></p> <p>子どもが独立して、親だけの家族構成が増えています。</p> <p>地域活動やお祭りへの参加者が減少してきており、地域の活気が失われてくるおそれがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域コミュニティの原点でもある各種祭典や区民体育祭など、魅力あるイベントを行いながら、地域活動の活性化を図り、地域の絆を守っていきます。</li><li>・ 豊かな自然や歴史遺産、伝統芸能を大切にし、次世代を担う子どもが、こうした環境の中で健やかに成長していくとともに、大人になっても住みたいと思う地域となるようなまちづくりをしていきます。</li></ul>

### 3 健やかで安心して暮らせるまちづくり

【めざす姿】

#### 健康で長生きできるお年寄りが多いまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>－ 特 色 －</b></p> <p>自然が豊かで空気も良く、小田原フラワーガーデンやおだわら諏訪の原公園のみならず、里山ハイキングコース、天子台遊歩道などもあり、心身共に健康に良い環境が整っています。</p> <p>ラジオ体操や健康教室、グラウンドゴルフ大会など、健康づくりのための活動が盛んに行われています。</p> <p style="text-align: center;"><b>－ 課 題 －</b></p> <p>健康づくり活動には、いつも同じ人が参加しており、活動の輪がなかなか地域全体には広がっていきません。</p>	<p style="text-align: center;">できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進に向け、社会福祉協議会による筋力アップ教室や健康づくり教室、健康おだわら普及員によるヨガ教室、老人会のミニハイキングなどを行っています。こうした活動を継続することで、健康で長生きをする高齢者を増やしていきます。</li> <li>・老人会に加入していない人も気軽に参加することができる仕組みを検討し、多くの人に活動内容を知ってもらうことで、老人会の加入者の輪を広げていきます。</li> <li>・筋力アップ教室は、年齢条件の撤廃や年齢に合わせたトレーニング内容への変更などで、より多くの高齢者に参加してもらうよう活動内容の見直しを検討していきます。</li> </ul>

【めざす姿】

#### 家族間の連携でこれからの生き方を話し合おう

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>－ 特 色 －</b></p> <p>高齢者ミニハイキングや高齢者のための交通安全教室をはじめ、一人暮らしの高齢者への食事の配達や寝たきりの方への見守りをするなど、地域の社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会、ボランティア会、老人クラブの活動が盛んで、日頃から高齢者や障がい者とのふれあいや支えがあり、高齢者や障がい者に対する優しさに溢れています。</p>	<p style="text-align: center;">できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅介護見守り活動や独居老人配食活動など、高齢者を支える活動だけでなく、お茶飲み会や敬老会、世代間交流事業などを通じ、高齢者同士、あるいは高齢者とのふれあいの機会を確保していきます。</li> <li>・社協便りは、全戸配布や紙面を読みやすくする工夫をするなど、多くの人を読み、活動への理解を深めることができるように工夫していきます。また、社協便りなどを通じて、各世帯の高齢者が積極的に老人会の活動に参加できるように、若い人が老人会の活動への理解を深めることができるように進めていきます。</li> </ul>

<p>福祉バザーを開催し、各種活動を支援しています。また、さくら会による芋煮会や料理の講習など、地域で障がい者を支える活動を行っています。福祉活動については、社協便りを年3回発行し、回覧することで、広く地域に情報提供をしています。</p> <p style="text-align: center;"><b>－ 課 題 －</b></p> <p>高齢化が進み、高齢者単身や高齢者世帯などが増加しており、地域の支えを必要とする人が増えてきています。</p> <p>家族間の連携ができず、老人会に参加できない場合があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が集い、参加して楽しかったと肌で感じてもらい、それを広く伝えていくことで、あるいは「老人」という語を含まない名称への変更や会員以外の高齢者も参加できるような仕組みづくりなどを検討することで、老人会の加入者数の増加に努め、高齢者のふれあいを推進するとともに、老人会の活性化を図っていきます。</li> </ul>
--	--

## 4 美しく、伝統ある久野を次代に繋ぐまちづくり

【めざす姿】

### 今ある自然を守り、訪れる人が感動できるまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>－ 特 色 －</b></p> <p>久野は、森林などの緑地が多く、自然豊かで、空気が良い地域です。また、久野古墳群や北条幻庵屋敷跡地をはじめとした歴史的環境にも恵まれています。</p> <p>山王川・久野川清掃をはじめ、久野小学校ふれあい清掃活動など、地域の環境美化活動が盛んに行われています。</p> <p style="text-align: center;"><b>－ 課 題 －</b></p> <p>久野小学校に設置された郷土資料室が活用されていません。また、地域の歴史的資産が広く知られていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の協力のもと、山王川・久野川の清掃やPTAによる美化作業、親子ふれあい清掃などの活動を継続し訪れる人が美しいと思うことができる久野の自然環境にしていきます。</li> <li>・久野小学校にある郷土資料室については、子どもや地域の人に気軽に利用してもらえるような仕組みを検討し、郷土の歴史を伝えていきます。</li> <li>・公民館では、久野の史跡を巡る会を開催し、郷土の歴史に詳しい人とともに、久野の歴史的資産を歩いて巡る事業を行っています。今後も回数を増やすなどで、より多くの人々に、地域にある歴史的資産を知ってもらい、久野への誇りと愛着を育てていきます。</li> </ul>

## 【めざす姿】

## 美しい久野をつくるため、自然や里地里山を守り育てるまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>－ 特 色 －</b></p> <p>久野が有する山林地は、人との関わりの深い森林として里地里山づくりを進めています。そこで、美しい久野里地里山協議会を結成し、里地里山づくりの活動として、明神ヶ岳に続く登山道の整備をはじめとした幅広い活動を展開しています。</p> <p>久野は、農地と住宅地が共存していて、農との共生をしている地域です。</p> <p>荒廃農地を減らすために、そばを植えて、育て、そばづくり体験教室などを行っています。</p> <p style="text-align: center;"><b>－ 課 題 －</b></p> <p>農業後継者が減少し、農地や山林の荒廃が進んでいます。</p> <p>山林への不法投棄が増えているとともに、自治会が管理しているごみステーションへのごみの出し方のルールが守られていません。また、飼い犬の糞の放置が目立ってきています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化に向けた里地里山づくりを続けていくため、美しい久野里地里山協議会を中心に、多くの人の活動への参加を促していきます。</li> <li>・明神ヶ岳に続く登山道は、登山者の増加が見込まれるので、ハイキングコースに適した里山づくりを行っていくとともに、久野川沿いに桜並木があった歴史的な環境も考慮して、散策コースの整備や桜並木の植栽、森林を育てるために、広葉樹を増やし、広葉樹の販売ルートの確保など、久野の自然を活かした取組みを検討していきます。</li> <li>・学校が所有し、未使用の農地を活用して、子どもに農業体験授業をするなど、子どもの頃から農業に接する機会と環境づくりを図っていきます。</li> <li>・地域の清掃活動のみならず、里地里山づくりを推進しながら、自然環境と人に関わりのある森林を守り育て、地域力を発揮して美しい久野をつくっていきます。</li> </ul>

## 【めざす姿】

## お祭り、囃子太鼓など、地域文化を絶やさず継続できるまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;"><b>－ 特 色 －</b></p> <p>地域の伝統行事として、神山神社等の祭典が開催され、地域の活気とコミュニティの醸成に寄与しています。また、神輿保存会や囃子太鼓保存会があり、こうした活動が、お祭りの開催と伝統芸能継</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもだけが参加しているお囃子に、子どもの保護者も参加できるようにするなどの取組みによって、参加者を増やすことで多くの人に地域の文化や伝統芸能の大切さを伝え、その中から後継者を育成しながら、これからも地域固有の文化や伝統芸能を絶やさず次代に引き継いでいきます。</li> </ul>

承の支えとなっています。	
<p>－ 課 題 －</p> <p>お囃子を指導するための後継者育成が課題となっています。</p>	

## 5 地域のきずなを活かしたまちづくり

【めざす姿】

### 人の心のあり方やつながりを大切にすまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>自治会活動が盛んに行われており、地域のコミュニケーションが図られています。</p> <p>地区ごとにおいても、清掃や防犯パトロールなどをはじめとするボランティア活動が盛んに行われており、ボランティアに対する意識を高く持っています。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>地域の間人関係が希薄化しつつあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節ごとの行事や自治会活動を通して住民のつながりを広げていきます。</li> <li>・各団体間や住民の横の連携を図り、ネットワークづくりを進め、地域のつながりを大切にしていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

### 久野地区全世帯を対象とした地域づくりをめざす

#### (1) 自治会加入への取組み

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>自治会に加入することの必要性や自治会費の用途への理解が不足しているなどの理由から、自治会に加入するという意識が低下してきており、年々自治会未加入者が増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート等を実施しながら、自治会への意識と未加入者の実情を把握しつつ、住民が自治会に加入するように自治会紹介パンフレットを作成し広報と活動のPRを行っていきます。</li> <li>・会計の透明化や諸活動の必要性の説明など、自治会に加入することへの利点がわかるような自治会運営を図ってまいります。</li> <li>・会員自らが自治会加入への声かけをしていくよう、回覧などにより意識向上を図るとともに、</li> </ul>

	<p>地域内や隣近所でのコミュニケーションを形成し、声かけをしながら加入を促していきます。また、加入を断った人にも、機会を捉えて声かけをしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会未加入世帯の人を各種イベントに招待したり、新規転入者に対する歓迎会などを開催し、地域に溶け込みやすい環境づくりに努めていきます。</li> </ul>
--	---

## (2) 役員の負担軽減と担い手育成

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>－ 課題 －</p> <p>自治会長や各種団体長が担う仕事が多いなどの理由から、自治会等の役員の負担が重いと感じられており、役員の担い手がおらず、同じ人が役員を受けています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員数が多いことも担い手が少なくなる原因であり、また、一人に複数の業務が重なることも負担増となる原因です。自治会長などを補佐する立場の役員を複数人として、役を分散させたり、事務作業を分担するなど、もう一度役職のあり方を検討していきます。</li> </ul>

## (3) 地域活動の参加者を増やす取組み

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>－ 課題 －</p> <p>自治会などが行う地域活動には、自治会長や組長などの役員が参加することが多く、一般住民の新たな参加者が増えません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生までは、親などとともに地域活動に参加することが多いですが、中学生以上になると参加しなくなってしまいます。中学生になっても、地域とのつながりが続くような仕組みを検討していきます。</li> <li>子ども会の役員を保護者に限らず有志が行うことを検討するとともに、子ども会から青年部、自治会へと人の輪をつなげていきます。</li> <li>地域活動は、新規転入者にとって久野地域を知るチャンスなので、その良さを伝えるイベントを検討していきます。また65歳以上の人を地域活動に参加してもらうための仕組みづくりを検討していきます。</li> </ul>



## 資料

## 検討経過

久野地区に係る地域別計画の策定は、平成16年から設置されている久野地区各種団体代表者会議の構成メンバーを中心として、久野地区まちづくり検討委員会が組織され、毎月1回のペースで会議を開催し検討を進めました。説明会を含めると10箇月にも及ぶ検討期間を経て作成されました。

会議の進め方は、まず、自治会役員や各種団体のほか、小学校5、6年生とその保護者に対してアンケートを実施し、その結果を加味しながら検討委員会の委員それぞれが課題や特色などを出し、地域の現状を把握しました。その内容をもとに、現在取り組んでいる活動と照らし合わせながら、自ら取り組む活動を考えてまいりました。検討の方法は、検討委員会を各団体の専門分野ごとに5つの分科会に分け、それぞれが付箋と模造紙を利用するKJ法によって議論を進めました。

最終的には、2月に行われました検討委員会の場で承認を受け素案を完成いたしました。その後、地域内回覧により周知を図っています。

月	会議数	内 容
5月	事前及び第1回	地域別計画説明会（各種団体代表者会議）及び地域まちづくり検討委員会の設置
		アンケートの実施
6月	第2回	分科会長の選任、事務局の紹介、地域の特色の検討等
7月	第3回	地域の特色の発表（全体会）及び課題の検討（分科会）
9月	第4回	地域の課題の発表（全体会）、取り組む活動及びめざす姿の検討（分科会）
10月	第5回	地域に取り組む活動とめざす姿の検討（分科会）
11月	第6回	自治会への加入率向上と地域活動への参加者増加についての検討（分科会）
12月	第7回	めざす姿と取り組む活動の精査及び地域からの意見の検討
1月		自治会長及び事務局員を中心に地域別計画の編纂
2月	第8回	地域別計画の承認
3月		（素案）地域別計画の地域内での回覧



※ 5月～12月は平成21年で、1月～3月は平成22年です。



## 久野地区まちづくり検討委員会

### 委員長

星野 清治 (久野地区自治会連合会長・坊所自治会長)

### 副委員長

駿河 寛 (同副会長・留場自治会長)

早野 竹雄 (同副会長・久野中宿自治会長)

倉石喜七郎 (同副会長・坂下自治会長)

### 委員

<p style="text-align: center;"><b>【総務分科会】</b></p> <p>委員長 副委員長 中津川福蔵 (同会計・宮本自治会長)</p>	<p style="text-align: center;"><b>【文化・教育分科会】</b></p> <p>岸本 勝彦 (京福台自治会長・分科会長) 杉本 重吉 (諏訪原自治会長) 上間 正則 (公民館久野ブロック長) 廣川 智彦 (体育振興会長) 星野 次男 (青少年育成協議会長) 河野 幸代 (子ども会連絡協議会長) 原田 高雄 (少年補導員) 皆木 輝昭 (青少年育成推進員代表) 二宮 正隆 (久野小学校長) 高橋 幸弘 (久野小学校PTA会長) 野村 和弘 (白山中学校PTA久野地区代表)</p>
<p style="text-align: center;"><b>【防災・防犯分科会】</b></p> <p>奥津不二男 (下宿自治会長・分科会長) 出野 重富 (中久野自治会長) 津島 三郎 (防災リーダー会代表) 青井 秀幸 (消防団副分団長) 浦野 敏章 (小田原市交通安全協会久野支部長) 小宅トシ子 (交通安全母の会長) 遠藤 富雄 (民間防犯指導員)</p>	<p style="text-align: center;"><b>【環境・地域振興分科会】</b></p> <p>近藤 増男 (美しい久野里地里山協議会・分科会長) 釣巻 栄助 (和留沢自治会長) 石内 正行 (星山自治会長) 山川 健二 (北久保自治会長) 山口 留夫 (欠ノ上自治会長) 斉藤 利男 (神山神社責任役員)</p>
<p style="text-align: center;"><b>【健康・福祉分科会】</b></p> <p>多田 幸雄 (民生委員児童委員協議会長・分科会長) 北川 佳紀 (三国自治会長) 一寸木高男 (舟原自治会長) 北村 時夫 (老人クラブ連合会副会長) 白石 京子 (ボランティア会長) 大嶋 弘子 (日赤奉仕団久野分団長) 北村 智子 (健康おだわら普及員代表) 近藤 正浩 (久野保育園長)</p>	

### 事務局

天野 達哉

# 地域別計画

## ～ 大窪地区 ～



大窪地区まちづくり検討委員会

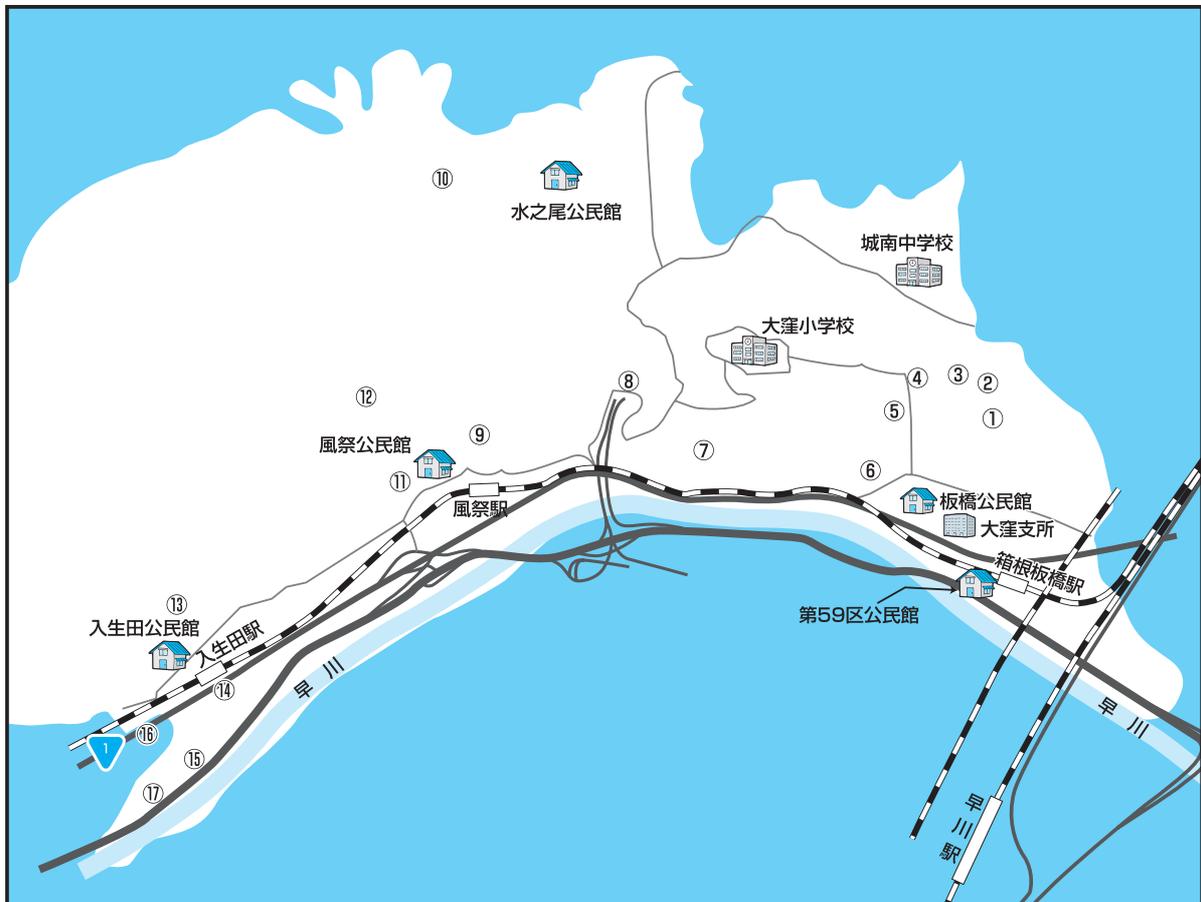
## 地域のキャッチフレーズ

# 歴史と文化遺産が薫り、自然と環境に恵まれたまち 大窪

## 地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

### 1 地域の地理状況

大窪は小田原市西部に位置し、西側を箱根町に接しています。南側を地域に沿って早川が流れ、早川と並走するように国道1号が通っています。また、箱根板橋駅、風祭駅、入生田駅と箱根登山鉄道の駅が3つあり、これらの駅には小田急小田原線も乗り入れています。



①	古稀庵跡	②	皆春荘	③	山月
④	香林寺	⑤	松永記念館	⑥	板橋地藏尊（宗福院）
⑦	富士山の砦	⑧	妙貞院尼墓	⑨	旧箱根国立療養所
⑩	水之尾毘沙門天	⑪	一里塚	⑫	萬松院
⑬	長興山紹太寺	⑭	カゴノキ	⑮	生命の星・地球博物館
⑯	駒留橋跡	⑰	温泉地学研究所		

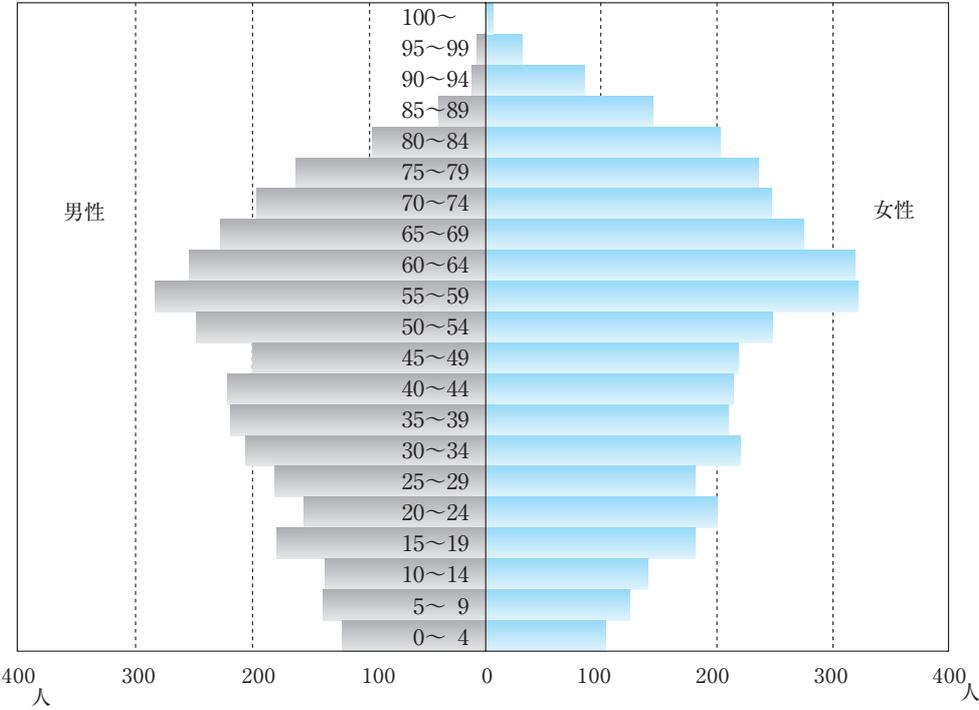
## 2 地域の人口・世帯

人口ピラミッドをみますと、男女共に団塊の世代が多く、若い年齢層にいくほど人数が減少している傾向が見られます。

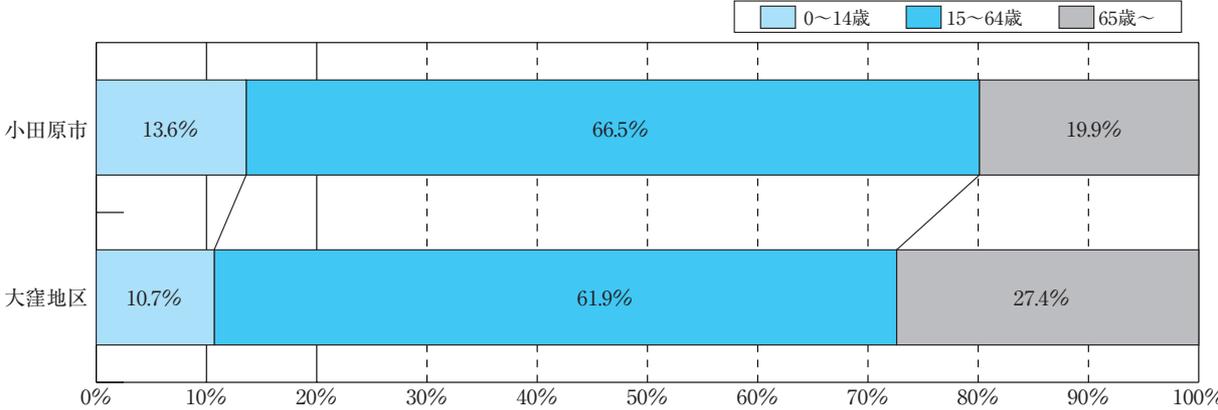
次に、年齢3区分人口割合の老齢人口（65歳以上）の割合を小田原市全体と比較いたしますと、小田原市全体が19.9%に対して大窪地区は27.4%と8ポイント近く上回っており、高齢化が進んでいることが見てとれます。

また、人口・世帯の推移を見ますと、1980年（昭和55年）を100とした場合、2009年（平成21年）では世帯数が126.7、人口が99.7と世帯は増加し、人口は微減となっています。1980年（昭和55年）から2009年（平成21年）を通して見ますと、世帯は一貫して増加傾向であるのに対して、人口は1990年（平成2年）にピークを迎えた後、減少傾向が続いています。

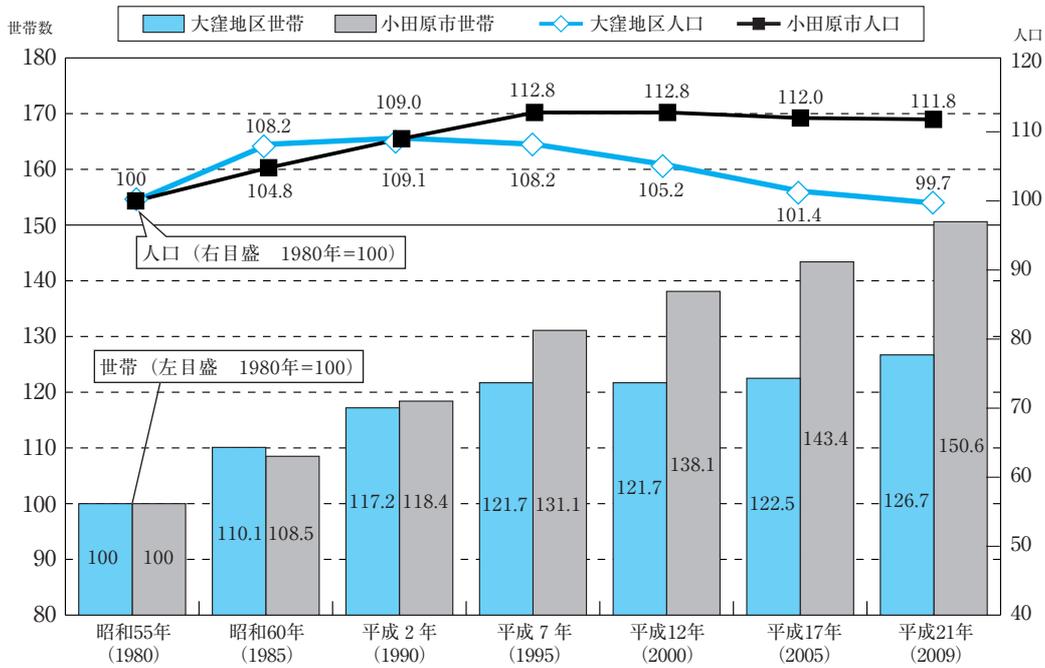
大窪地区の人口ピラミッド（平成17年）



大窪地区と小田原市の年齢3区分人口割合の比較（平成17年）



### 小田原市と大窪地区の人口・世帯の推移

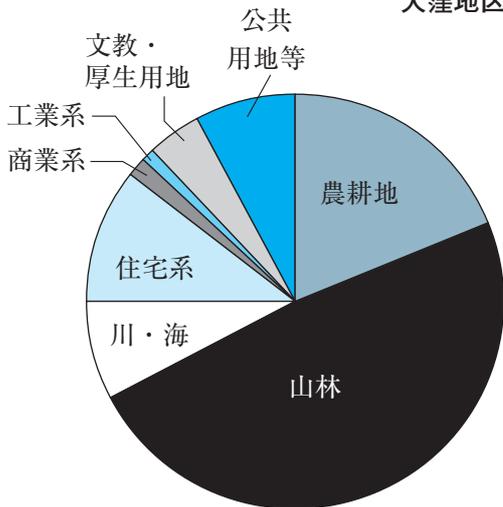


### 3 土地の利用状況

大窪の土地利用状況の割合をみると、農耕地、山林、川・海の合計で75%と小田原市の同合計68.4%に比べて高く、自然が豊かな地域です。反面、商業系、工業系の割合は小田原市に比べて少ないです。

そして、学校、幼稚園、寺院、神社や博物館などの文教・厚生施設が多くなっているのが、大窪の特徴であります。

大窪地区の土地利用状況



区分	大窪地区	小田原市
農耕地	18.8%	20.4%
山林	48.5%	42.0%
川・海	7.7%	6.0%
住宅系	10.5%	13.3%
商業系	1.5%	2.1%
工業系	1.0%	2.9%
文教・厚生用地	4.2%	2.7%
公共用地等	7.8%	10.6%
合計	100%	100%

## 地域の誇り（特色） ～これからも大切にしよう～

大窪村は、小田原城下から箱根への街道沿いにある板橋村・風祭村・入生田村・水之尾村が明治22年（1889）に合併してできました。昭和15年（1940）には、小田原町と合併し小田原市になっています。

板橋は明治から大正・昭和にかけ、政治家の山縣有朋・経済界の松永安左エ門・益田孝・大倉喜八郎など著名人が居を構え、その遺構は現在でも落ち着いた佇まいを残しています。風祭は、廻国雑記（室町時代）にも記されている古くからある地名で、東海道より古い鎌倉古道の遺跡があり、入生田には、春日局ゆかりの紹太寺や樹齢300年余のしだれ桜が、水之尾には、小田原城の鬼門を塞ぐ毘沙門天があります。

大窪地区は、これら文化遺産の見学や東海道・小田原用水沿いの町並み散策、山間部のウォーキングコースなど観光資源に恵まれ、市内外から多くの方が訪れています。歴史・文化・自然を守るとともに、住民が快適・安全に暮らせるよう住民同士のコミュニケーションを大切に、各団体が活動をしています。

## ・・・各地区の文化遺産・・・

## 【板橋】

- 古稀庵・皆春荘…明治の元老山縣有朋の別荘
- 山月…大倉財閥大倉喜八郎の別荘
- 地藏尊…年2回（8/23・1/23）の大祭
- 秋葉山火防祭…山伏による祈祷と火渡り
- 松永記念館…松永安左エ門が古美術を一般公開するために昭和34年建設
- 大窪支所…大窪村時代（昭和3年）建築の村役場
- 富士山の砦…天正18年（1590）秀吉の小田原攻めで細川忠興に攻め落とされた後北条氏の出城跡
- 八寺院…香林寺ほか 小田原城が攻められたときの武士の詰所
- 小田原用水…北条氏康時代にできた日本最古の公共水道



松永記念館



大窪支所



小田原用水

### 【風祭】

- 萬松院…寛政11年（1799）に再建された茅葺の庫裏が現存
- 鎌倉古道…宝泉寺から妙貞院尼墓への細道
- 妙貞院尼墓…新田義貞の妻の墓
- 荻窪用水…江戸時代の土木技術の高さと苦勞を示す水を流すための手彫りの丸塚隧道
- 旧箱根国立療養所…昭和11年東京から移転建築された洋館
- 一里塚…江戸から21里の位置にある



風祭一里塚・道祖神

### 【入生田】

- 長興山紹太寺…小田原城主稲葉氏の菩提寺
- しだれ桜（市天然記念物）…表紙写真
- 駒留橋跡…源頼朝の馬のヒズメの痕
- カゴノキ（市天然記念物）…神奈川の名木100選

### 【水之尾】

- 荻窪用水…江戸時代（1782～1802）山北の川口広蔵が塔之沢から荻窪に水を引くために作った用水
- 山縣水道…山縣有朋が別荘（古稀庵）の庭園のために荻窪用水から分水して引いた私設水道
- 毘沙門天…毘沙門天堂建立は天正年間（1573～）に遡る



水之尾毘沙門天

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

社会、経済の変動に伴い地域住民の生活に対する価値基準がまちまちになり、ややもすると地域や近隣との連携感や協調意識が薄れてきています。

少子高齢化が進む中で世帯構成も2世代、3世代家族から核家族化し、また、住宅地の開発等により転入された世帯やマンション等の居住者と従来から地域に居住している人との接点が少ないと思われますので、あいさつなどのふれあいを持ち、地域の行事に自発的に参加出来るような環境づくりをしていく必要を感じています。

地域内の各団体は住民の福祉、健康、地域の活性化などのために努力していますが組織間の日程調整等で協力体制が十分とは言えません。

独居の高齢者等弱者に対しては福祉関係者に任せるのではなく、近隣をはじめ地域が見守り援助の手を差し伸べていき、地域住民が安心して安全な生活をするためには、行政や各団体の役員に依存せず、一人ひとりが役割を自覚し、相互の協力と信頼関係を構築・維持していく必要があります。

## はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～ できることから始めよう ～

## 生活・環境

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>●大窪地区は季節になると各所でホタルを見ることができ、このホタルを地域全体で保護していきたいです。地域住民とホタルが共存できる豊かな環境づくりを目指します。</p> <p>◆河川や用水路をはじめ、公園や公共施設など、地域の生活環境を汚さないようにする必要があります。</p>	<p>➤川掃除のときに、ホタルの生息地の部分は土を残すなど、皆でホタルを守ろうという共通の意識が大窪地区全体に芽生えるよう、また、場所を特定して保護したらどうかなどホタルの保護の方法などを話し合う場を作っていきます。</p> <p>➤育成会と各自治会では、小中学生も参加し、クリーン作戦を実施しています。</p> <p>➤地域の美化清掃を各区老人会が定期的に行っています。</p> <p>➤今後も継続し地域が一体となって環境保全に努めていきます。</p>

## 教育・文化

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>●大窪地区では、育成会や自治会、城南中PTAであいさつ運動をしているので、日常生活の中でも、気軽にあいさつができる地域にしていきたいです。</p> <p>◆大窪地区は、誇れる歴史や文化人にゆかりのある地域ですので、住民に広く伝える必要があります。</p>	<p>➤今後ともあいさつ運動を続け、気軽にあいさつができる環境づくりに努めていきます。</p> <p>➤学校と地域が相互に協力して、子どもだけでなく大人にも地域の歴史やゆかりの文化人のことについて伝えていき、郷土愛を育てていきます。</p>

## 健康・福祉

誇れるもの	できることから始めよう
<p>●社会福祉協議会や体育振興会などでは、高齢の夫婦、独居者、障がい者、転入者の見守り不足の解消や引きこもり防止、交流を促すための活動を数多く行っています。</p>	<p>➤隣組との付き合い方を考え、福祉関係者のみならず、見守りできる体制を整えていきます。</p> <p>➤大窪地区社会福祉協議会と体育振興会が実施している年3回のグランドゴルフには、90人以上の参加者があるので、今後も高齢者が参加できる活動を続けていきます。</p> <p>➤筋力トレーニング、頭の体操、サロン活動（囲碁、将棋）、栄養教室等、現在も定期的に行っているが、より参加者が増えるように広報活動にも力を入れていきます。</p>

## 文化・特色ある地域づくり

誇れるもの	できることから始めよう
<p>●大窪地区には各所に歴史と文化、自然があり、四季を通じて、市内外から多数の来訪者があります。</p> <p>●自治会、老人会など地域の方々や学校が協力し、児童、保護者、地域の方と触れ合う「ふれあい広場IN大窪」を小学校で開催し、地域交流の場になっています。</p> <p>●秋の交流会が行われていますが、地域全体の文化祭として、地域の連携を深めてさらに盛り上げています。</p>	<p>➤道標の案内を設置し、お寺のスタンプラリールートを設定すれば、元気な高齢者の訪問が期待されます。</p> <p>➤「ふれあい広場IN大窪」は更に充実させ、地域交流の場として定着させていきます。</p> <p>➤秋の交流会を地域全体の文化祭として行うには、大掛かりになり、何をするかなど解決すべき問題があります。地域が連携する1つの手段として、大窪地区全体でどう関わっていったらよいかを今後の検討課題として、地域で話し合いを行います。</p>

## 防犯・防災・交通安全

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
◆防災訓練は会場の都合で参加者数が限られてしまいます。	➤総合防災訓練のみでなく、三角巾の使い方・救命講習などを含めて、単位自治会ごとに防災訓練を行って、多くの人に参加してもらい、地域防災の力を高めていきます。
◆地域住民の安心、安全、特に災害時要援護者への対策が求められています。	➤中学生及び若者による支援活動も検討・実施していきます。 ➤救命講習を地区住民に広く伝える様な仕組みをつくっていきます。
●スクールボランティアコーディネーター及び自治会が保護者及び地域の方に呼び掛け、児童の登下校の際に多くの方々の見守りがあります。	➤児童の登下校時の安全、防犯のため特定の人に限らず地域の人に見守りの参加を呼びかけ、見守りへの参加者を増やすことや、学校安全委員会で児童の登下校時の安全について年2回検討をしていますが、今後も活動を継続していきます。
◆高齢者や弱者の防犯対策が求められています。	➤児童や高齢者等を対象に詐欺や犯罪防止の講習会を継続します。 ➤育成会では防犯のための地域パトロールを諸団体協力のもと、毎月行っていますが、今後も活動を継続します。 ➤防犯灯の増設と器具の点検等を継続します。 ➤地域の行事や犯罪発生時にはパトロールを強化します。
◆児童が通学に電車を使用する地区については、電車を降りた後の見守りが足りていない状況もあります。	➤電車を降りた後の見守りについては、子ども側の受け入れ態勢を整えた後、ボランティアを募集し、地域で見守りを行っていくことを検討していきます。また、風祭地区では、地域の人により「子どもが帰りますから地域で見守ってください」という呼びかけの放送を流しています。

## 資 料

### 大窪地区まちづくり検討委員会及び編集委員会の検討経過

大窪地区地域別計画 策定説明会及び まちづくり検討委員会 設立協議	開 催 日	平成21年7月12日（日）
	開 催 場 所	板橋公民館
	内 容	企画政策課職員から地区内各種団体の代表者へ、新総合計画及び地域別計画の策定趣旨、検討委員会の組織と今後の進め方について説明した後、出席者の互選により委員長及び副委員長2名を選出。
第1回 大窪地区 まちづくり検討委員会	開 催 日	平成21年8月26日（水）
	開 催 場 所	板橋公民館
	内 容	大窪地区の現状と課題について出席委員を2つのグループに分けて検討を行った。また、事務局員1名を選出した。
第2回 大窪地区 まちづくり検討委員会	開 催 日	平成21年9月30日（水）
	開 催 場 所	板橋公民館
	内 容	第1回検討委員会で2つのグループに分けて検討した結果を整理、区分ごとに取りまとめをした。また、事務局員1名を追加選出した。
第3回 大窪地区 まちづくり検討委員会	開 催 日	平成21年10月20日（火）
	開 催 場 所	板橋公民館
	内 容	行政に対する要望事項について、取りまとめを行った。
第4回 大窪地区 まちづくり検討委員会	開 催 日	平成21年11月26日（木）
	開 催 場 所	板橋公民館
	内 容	第3回の議事録を基に、自分たちに出来ることについて今までの検討結果を踏まえて再検討すると共に、計画素案提出のため、検討委員の中から10名の委員と2名の事務局員を編集委員として互選した。

編集委員会	開催日	平成21年12月1日（火） 平成21年12月23日（水） 平成22年1月15日（金）
	開催場所	板橋公民館
	内容	資料として、小田原市内で一番早く提出した富水地区の計画素案を参考配布し、今までの議論を踏まえた取りまとめを検討協議し、計画書としてまとめていった。
第5回 大窪地区 まちづくり検討委員会	開催日	平成22年1月29日（金）
	開催場所	板橋公民館
	内容	検討委員全員に、編集委員で取りまとめた計画素案を配布、内容確認後、市へ大窪地区の地域別計画素案を提出する。

## 大窪地区まちづくり検討委員会

### 委員長

萩野 暁男（第60区自治会長）

### 副委員長

八木下園江（大窪地区民生委員・児童委員協議会長）

服部 茂（大窪地区体育振興会長）

### 委員

津田 好一（第58区自治会長）

野崎 忠（第59区自治会長）

石川 信雄（第61区自治会長）

秋山 勉（第62区自治会長）

木村 勲（第63区自治会長）

安藤 保之（第64区自治会長）

小泉 茂（大窪地区社会福祉協議会長）

根本 正（大窪地区老人クラブ会長）

大木 秀夫（板橋商店会長）

望月 さつき（大窪小学校長）

戸谷 行孝（大窪小学校PTA会長）

若林 秀行（大窪学区連合こども会長）

秋山 精宏（消防第6分団長）

青木 信浩（消防第7分団長）

三宅 俊郎（大窪地区防犯指導員）

福士 善己（大窪地区防犯部長会長）

秋山 道江（健康おだわら普及員代表）

### 事務局員

津田 朝子（大窪地区青少年健全育成連絡協議会副会長）

清水 裕子

（順不同）

# 地域別計画

## ～ 早川地区 ～



早川地区まちづくり検討委員会

## 地域のキャッチフレーズ

海・山・川

# 自然の恵みを大切に！！

# 笑顔で広げる人の 和 はやかわ

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

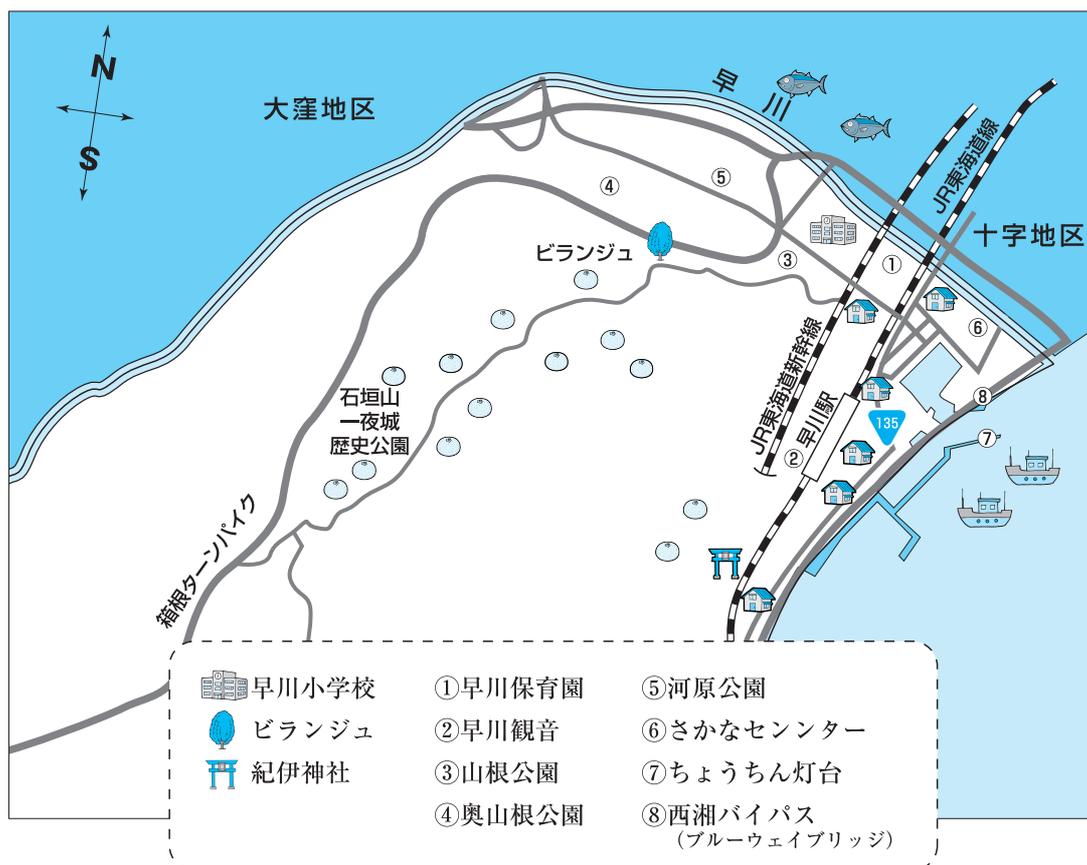
## 1 地域の地理状況

早川地区は、小田原市の西部に位置し、海・山・川に囲まれた面積およそ9.7km<sup>2</sup>の地域です。南部を片浦、北部を大窪、北東部を十字に接しています。

西には箱根山が連なり、北には早川が流れ、南には一夜城・みかん山が広がり、東は海に面し、晴れた日には大島、遠くは房総半島を見ることができます。一夜城からは、小田原市内や相模湾が一望でき素晴らしい景色を楽しむことができます。

海岸沿いをJR東海道新幹線、JR東海道線、国道135号が平行に通っており、JRの駅の中で港に一番近い駅の早川駅があり、国道135号には、日本一背の低い信号機があります。また、小田原厚木道路や西湘バイパスのインターに隣接し、箱根ターンパイクのインターもあり交通の利便性の良いところです。

小学校3，4年生の社会科の教科書にも取り上げられるほどの、環境に恵まれた地域です。



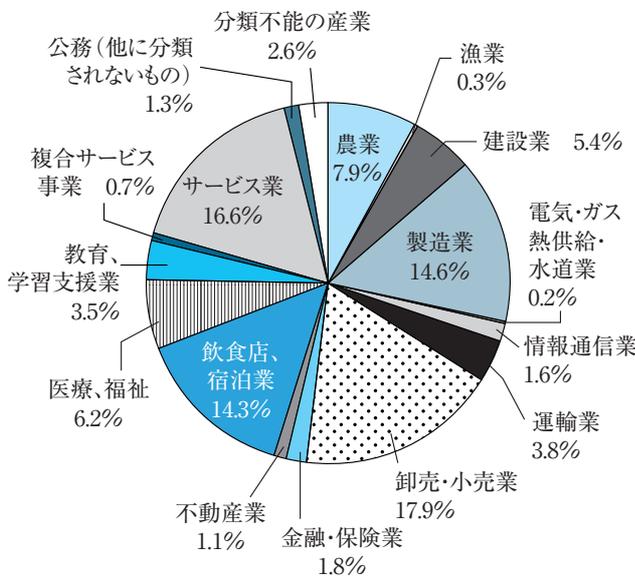
## 2 地域の人口・世帯

人口構成は、団塊の世代及び団塊ジュニア世代が多くなっています。小田原市と早川地区の年齢3区分人口割合に目を移しますと、65歳以上の割合が、小田原市全体の19.9%に対し、早川地区は24.5%と約4.5ポイント高く、高齢化が進んでいます。人口及び世帯数の推移では、1980年～2009年において、人口の減少が続いています。一方、世帯数は2000年にピークを迎えた後、若干減少しています。

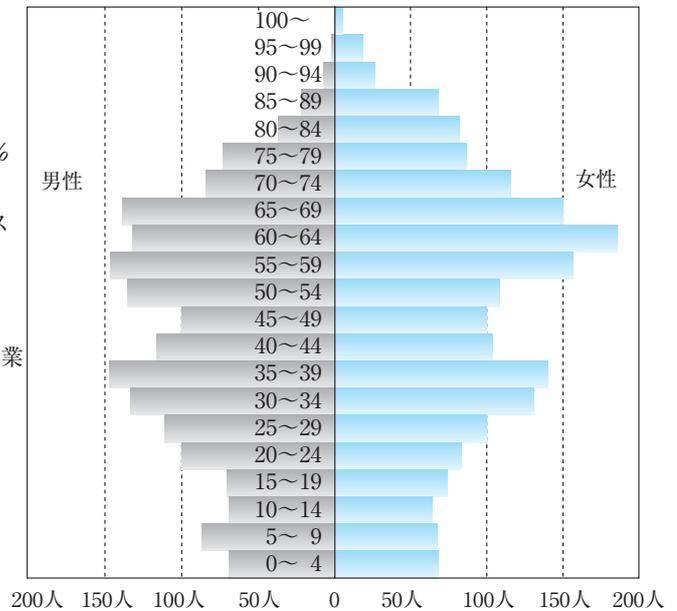
(平成17年)

	世帯数	人口	年齢区分		
			0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上
小田原市	74,291世帯	198,741人	27,117人	132,060人	39,564人
早川地区	1,473世帯	3,719人	427人	2,380人	912人

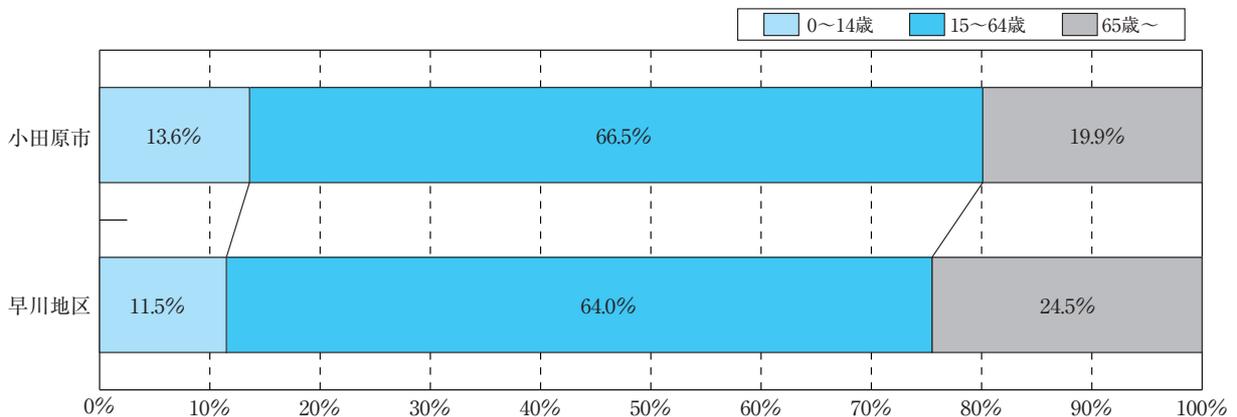
産業別就業者数の割合



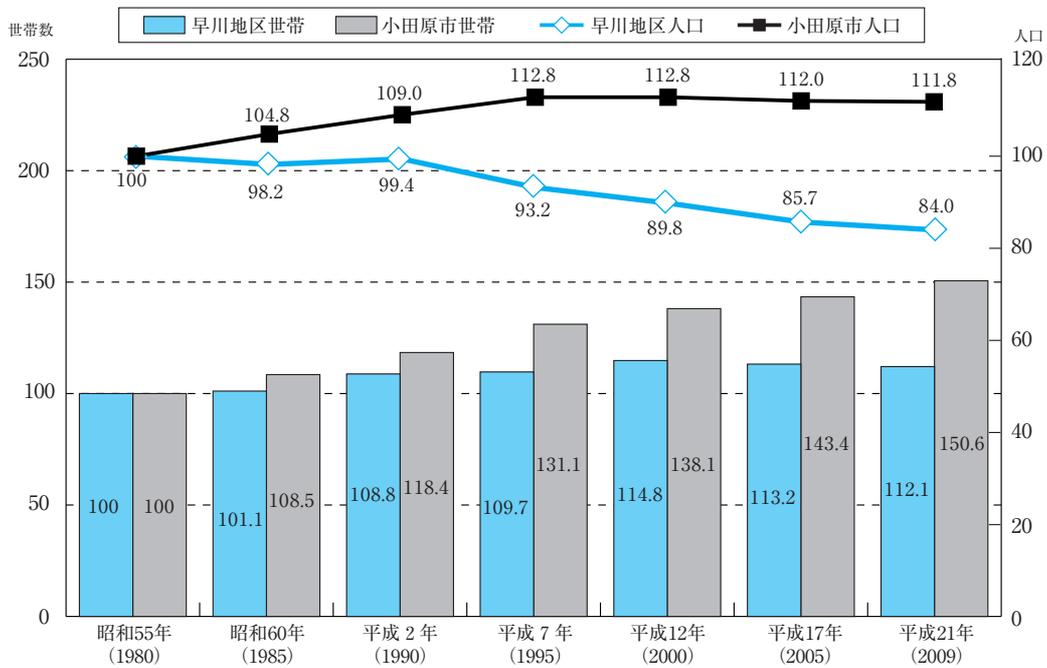
人口ピラミッド (平成17年)



小田原市と早川地区の年齢3区分人口割合の比較 (平成17年)

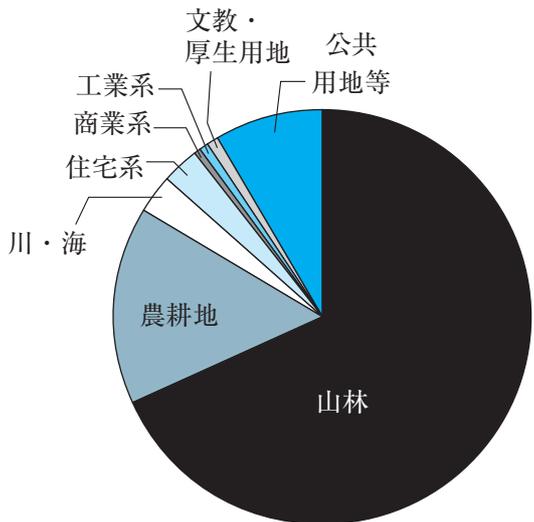


小田原市と早川地区の世帯数及び人口の推移（1980年＝100）



### 3 土地の利用状況

土地の利用状況は、山林、農耕地及び川・海で全体の85%以上占めており、自然に恵まれた地域環境です。早川地区には、小田原漁港があるため公共用地等が8.4%と高い割合になっています。



区分	割合
山林	68.2%
農耕地	15.4%
川・海	3.0%
住宅系	2.9%
商業系	0.5%
工業系	0.7%
文教・厚生用地	0.9%
公共用地等	8.4%
合計	100%

## 地域の誇り（特色） ～これからも大切にしよう～

早川地区は木地挽・早稲田・向口・西組・中組・東組の6つの自治会と社会福祉協議会、民生委員、育成会、老人会、子ども会、おやじの会、PTAなどいろいろな団体があり、それぞれの団体が特徴ある活動を企画し、他の団体と連携を図りながら素晴らしい活動を繰り広げています。

## 箱根連山より流れる早川が相模の海と出会うまち！

## ～早川小学校～



早川小学校は、小田原市内で唯一PTA  
学校林を所有しています。

放課後・休日の校庭開放をしているので、  
子どもたちが安心して遊んでいます。

多目的ホールなど学校の施設の開放もさ  
れているので、地域の方にも幅広く利用さ  
れています。

～山根公園～  
どんど焼き

山根公園は子どもたちが遊  
ぶほか、近所のお年寄りの集  
いの場としても利用されてい  
ます。毎年1月には、木地挽  
地区のどんど焼きも行われて  
います。



早川小の春の校外学習  
では毎年、1年生～6年  
生の縦割り班でオリエン  
テーリングをしながら登  
っています。

～石垣山一夜城跡～  
大茶会 花摘み  
一夜城まつり

## ～小田原漁港～

### 港の朝市 みなとまつり

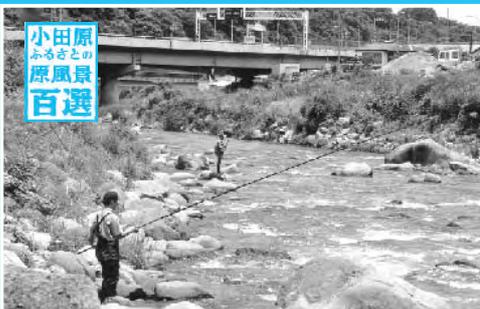


小田原漁港では、毎週土曜日  
に開催されている朝市や夏祭り  
など、たくさんの人で賑わいま  
す。釣りを楽しむ子どもたちの  
姿も…。

## ～早川～

大窪地区と早川地区の境に流  
れ、6月には鮎釣りを楽しむお  
客さんで賑わいます。

早川小の5年生はこの早川で  
採取した生き物を「早川ミニ水  
族館」と称し、学校で観察・飼  
育しています。



夏には磯遊びを楽しむ人たちでとても賑わい  
ます。

早川小の1, 2年生はこの海岸で、海の生き  
物について学習しています。

ヒライソガニ・イワガニ・アメフラシ・ヤツ  
デヒトデ・ムラサキクルマナマコ・ムラサキウニ・  
ヒザラガイ・ヨメガガサ・タマキビ等たたく  
さんの生き物が生息しています。

1月には、西組・中組・東組・早稲田・向口  
のどんど焼きが行われます。

## ～早川海岸～

## ～早川ビランジュ～ 天然記念物

ビランジュは早川が生息の最北限とされます。この木は生長すると樹皮がはがれるのが特徴でその赤肌の幹から「ハダカの木」とも、呼ばれています。



J R 東海道線早川駅からもよく見えるこの大観音像は、東善院の本尊である薬師如来の脇仏として、昭和57年（1982）に建立されました。

海上安全・大漁満足・魚介類への報恩感謝などを祈念したものです。

高さは約10mあります。

## ～早川魚藍大観音～

## ～紀伊神社～



早川の氏神である紀伊神社は地元では親しみをこめて「木の宮」と呼ばれています。

木地挽業者が、祖神の惟喬親王を奉祭した神社で、室町時代の木地椀が御神宝として伝えられています。

境内にあるクスノキは歴史を物語る、市内でも有数の老木です。

毎年4月の末には大祭が行われ、この時、神社の御神輿を中心に各地区の山車が早川駅前に集合する様子は、とても見応えがあります。





宝珠山海蔵寺は、嘉吉元年（1441）小田原城主大森氏によって建立された曹洞宗のお寺です。

開山は大森氏の一族、安叟宗楞（あんそうそうりょう）禅師で曹洞宗小田原三山の一つに数えられる名刹です。

寺内の墓地には、天正18年（1590）秀吉の小田原攻めに参戦した豊臣方の武将、堀秀政の墓があります。

## ～真福寺～ (早川観音)

真言宗真福寺は観音さんと呼ばれ、早川の人々にもっとも親しまれているお寺です。毎月17日の縁日は参拝客でたいへん賑わいます。

春には境内のしだれ桜がとってもきれいに咲き、多くの人を訪れます。



## ～海蔵寺～



松嶽山久翁寺は曹洞宗のお寺で曹洞宗真芳寺の末になります。

寺内の墓地には、小田原出身の民衆派詩人福田正夫の墓があります。

明治6年にこの久翁寺を仮校舎として、現在の早川小学校が創立されました。

## ～久翁寺～

## ～正蔵寺～

木宮山西之院と号し、古義真言宗国府津村宝金剛寺の末派であり、正長元年（1428）戌甲に開山。しばしば興廃があったと伝わるが、火災により旧記録を失ったため詳しくは不明である。

郷土出身力士、「君が浜」の記念碑と墓がある。



## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

自治会加入率が低下しているため、自治会を通しての情報提供を行っても、住民へ周知することが難しくなっており、また、防災訓練や区民体育祭などの地域行事への参加者も少ないです。今後は、自治会加入率を向上させ、地域行事への参加者を増やしていく必要が感じられます。

また、早川地区の周りには観光地へ繋がる幹線道路が通っているため、地域外の車も多く入ってくるため、交通安全だけでなく防犯の面からも、地域で子ども・高齢者の安全を確保していく必要があります。

## はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～できることから始めよう～

凡例 ★誇れるもの ◆困ったこと \*取り組む活動

## — 安心・安全分科会 —

【めざす姿】

## みんなで作る町づくり

誇れるもの	できることから始めよう
<p>★早川では、消防かわら版の発刊や、市内では早川のみが実践し、子どもが“火の用心！心で用心！目で用心！”を合言葉に地域内を巡回する「子どもたちによるカチカチ巡回」などの防災活動を実践しています。</p>	<p>*消防かわら版は年数回発刊していますが、今後も、住民に地域の防災活動の内容を知ってもらい、地域防災に関心を持ち続けてもらうため、発刊を継続していきます。</p> <p>*「子どもたちによるカチカチ巡回」は歳末警戒時に消防団・自治会・子ども会が協力して行っています。巡回している子どもたちが自分の家の前にきたら、家の前を出て、ひと声掛けるなどして、子どもたちとコミュニケーションをとる事により、地域全体で地域を守っている雰囲気づくりをしていきます。</p>

【めざす姿】

## 防災マニュアルの見直しと作成をし、周知・徹底をします

困ったこと	できることから始めよう
<p>◆地域防災マニュアルが整備されていますが、発災時に活用でき、しっかり対応が出来るか心配です。また、地域の防災訓練等には地区役員以外の出席が非常に少ないので、地域防災マニュアルが地域住民へ周知・徹底されているかが心配です。</p>	<p>*各自治会で地域防災マニュアルについて議論し、意見の集約を行った後、単位自治会同士で整合性を図り、作り込みを行っていくことで、実態に沿った地域防災マニュアルの見直し、作成を行っていきます。</p> <p>*ハザードマップを作成して各地区の掲示板に貼るなどして地域住民の防災意識を高め、また、地域防災マニュアルの周知徹底を行う方法として、地域防災マニュアルをパウチで保護して、回覧板の裏に貼ることを検討していきます。</p>

【めざす姿】

## 防犯活動の組織化

困ったこと	できることから始めよう
<p>◆防犯に関しては安心な早川ですが、昔と比べると近所付き合いや人間関係が薄くなりつつあります。</p> <p>◆各組織が熱心に活動していますが、同じような活動を各組織で個々に行っています。</p>	<p>*防犯活動を個々にやるのではなく、組織化して効果的・効率的に行うとともに、道で会った人にあいさつ、声掛けをする「あいさつ、声掛け運動」をすることで、犯罪等の発生しにくい雰囲気づくりを行っていきます。また、市の広報版などに「あいさつ、声掛け運動」のポスターを貼り、活動を広く知らしめていきます。</p>

## 一地域交流・身近な環境分科会 一

【めざす姿】

## 住民の環境意識の高いまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>◆燃せるごみにプラスチックやペットボトル、衣類などが混入してしまっており、市の燃せるごみ分別調査でCランクなど、ごみの分別状況が悪いのが実情です。</p> <p>◆自治会で、注意を促すために回覧などで呼びかけていますが、自治会へ加入していない世帯には、注意の回覧も届きません。</p>	<p>*住民一人ひとりにごみ出しについて、責任を自覚してもらうため、ごみステーションを使用する人を登録制にして、ごみステーションの利用者が分かるようにするとともに、ごみステーション毎に管理者を決め、定期的にごみ出し状況をチェックし、必要なら、注意喚起をすることを検討いたします。</p> <p>*環境美化推進員で、早川河川敷、海岸、道路などの環境パトロールをし、早川地区の生活環境の向上に努めていきます。</p> <p>*ごみ出しのルールの徹底を図るため、自治会未加入世帯へのごみカレンダーの配布を行っていきます。さらに、自治会への加入を呼びかけていきます。</p>

【めざす姿】

## 地域全体が家族のようなまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>◆アパートやマンション世帯の自治会への加入者が少なく、自治会へ加入していても住人との接点が少なく、あいさつなども行われず、コミュニケーションが不足しています。また、区民体育祭など地域行事への参加者が少なく、役員の方が選手集めに苦勞しています。</p>	<p>*あいさつなどの声掛けを日常的に行うことで、住民一人ひとりに地域の一員という意識が芽生えるように努めます。</p> <p>*区民体育祭など地域行事では、競争性の高い種目を減らして、参加者が誰でも楽しめる種目の検討や、種目についての地域の方の意見を聞くため、アンケートの検討を行います。</p> <p>*行事について日程調整を行い、地域行事と学校・クラブ・行政などの行事が重ならないようにしていきます。</p>

**【めざす姿】**

**みんなが郷土を誇れるまち**

誇れるもの	できることから始めよう
<p>★早川には海や山、漁業・農業・加工業、工芸など多彩な自然環境及び社会環境で小学校の教科書にも取り上げられ、NHK教育番組の舞台になるなど恵まれた自然環境があります。</p> <p>★また、天然記念物の早川ビランジュや石垣山一夜城（国指定史跡）、早川石丁場などの歴史的資産も豊富にあります。</p> <p>★老人会やボランティアクラブによる美化活動が活発です。</p>	<p>*地域の方に地域の自然などを理解・体験してもらうために、地域の自然を生かしたウォーキングコースの設定などのツアーの企画を検討していきます。</p> <p>*歴史的資産などに簡単な説明を書いたものを掲示することで、訪れる人がより楽しめるような工夫を検討していきます。</p> <p>*地域の歴史に詳しい方に講師になっていただき、地域教育の推進をし、地域に対する愛着を育みます。</p> <p>*国道沿いや駅前の花壇に季節の花々を植えるなどの美化活動を、今後も絶やさず続けていきます。</p>

**－ 子育て・福祉分科会 －**

**【めざす姿】**

**めざせ！世代間交流・もとう！高齢者との関わり**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>★老人会とPTAが連携し、自ら学校林に植えた木を切り、早川小学校でベンチ等を作成するなど、地域と学校のつながりがあります。</p> <p>◆一人暮らしの老人が増えていますが老人会への加入は減ってきています。</p> <p>◆早川は観光地へつながる道路があり、交通量も多く、地域外の人が通過をするため、交通だけでなく、防犯の面からも地域の</p>	<p>*地域の世代間交流と子どもの安全確保の両面から、早川地区で学校の登下校時の見守り活動を行っています。</p> <p>*見守り活動を一過性のものではなく、定着化するために各種団体に協力を依頼するとともに、世代間交流の面から、地域のお年寄りに参加を呼びかけるなど、負担感のないような形で進めていきます。</p> <p>*活動を円滑に進めるため、コーディネーターの養成など、中心となる人を育てていきます。</p> <p>*20代から30代までと50代から60代までの年齢層</p>

凡例 ★誇れるもの ◆困ったこと \*取り組む活動

<p>子どもの安全を確保する必要があります。</p> <p>◆区民体育祭への参加者が減っています。</p> <p>◆生活困窮者に係るケアが必要となっています。</p> <p>◆地域のネットワークづくりが必要となっております。</p>	<p>が地域活動へ参加していないので、参加するように働きかける必要があります。</p> <p>*見守り活動に参加している人は子どもにあいさつなどの声かけをし、子どもや保護者も活動の協力者にお礼などのあいさつを励行し、世代間交流を図っていきます。</p> <p>*小学校の運動会に「ふれあいテント」を設けるなどして、地域のお年寄りが参加できるように、学校へ働きかけをしていきます。</p> <p>*こうした活動を通じて、世代を超えたつながりを促進し、地域の一体感を持つことで、区民体育祭などの地域活動への参加者を増やしていきます。</p> <p>*地域が抱える課題解決に向けては、広くネットワークを利用して解決すべき地域の課題に対して地域の複数の団体等が連携、協力をして取り組んでいき、個人や家庭ごとの個別具体的な課題に対してそれぞれの目的に応じて権限を与えられた団体や委員、事業者等が連携しながら、その解決に努めるなど、課題の種類に応じて異なるネットワークを形成する地域連携の仕組みづくりを検討していきます。</p>
--	--

**【めざす姿】**

**集まれ！！早川キ(来)っス日曜日は校庭へ！！**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>★ぽっかぽか会、あゆっこルーム、陽だまりサロンの3つの子育てサークルがあり、学校や保育園と連携しながら、運営しています。</p> <p>★夏のキャンプやボウリング大会などの行事が盛んに行われ、子</p>	<p>*ぽっかぽか会は、片浦と一緒の子育てサークルとなっています。あゆっこルームは早川保育園で月4回ほど行っていて、多くの人に利用されています。また、陽だまりサロンは、小田原女子短期大学の学生とともに、早川小学校の多目的ホールで行っております。こうした子育てサークルには、地域外の人でも利用できるようになり、こうした活動を継続しながら、地域への周知を</p>

<p>ども会の活動が充実しています。</p> <p>★早川小学校には、多目的ホールやコミュニティルームがあり、子育てグループやおやじの会の会合に利用されているほか、放課後、校庭が開放されており、子どもが遊ぶことができるなど、地域と密着した学校となっています。</p> <p>◆子育てサークルを利用する子どもの数が減ってきています。</p> <p>◆子どもの数が減少してきて、子ども会の運営について、考えなくてははいけません。</p> <p>◆早川にはファミリーサポートセンターがありませんが、設置を望む声があります。</p>	<p>行い、より多くの人に利用してもらうとともに、子育て支援の充実を図っていきます。</p> <p>*子どもと老人の世代間交流を促すため、月1回程度、子どもとお年寄りが一緒になって遊ぶことを行うことを検討します。併せて、「早川いきいきフェスティバル」のときに「昔遊び」を教えていますので、今度は子どもがお年寄りに「今の遊び」を教える事業なども検討していきます。</p> <p>*早川小多目的ホールに「本」を置くなどすることで、子どもが集える場所をつくります。</p> <p>*子どもが小さい頃から声かけや子ども会のPRをしていき、保護者とその子どもに子ども会のことを良く知ってもらうとともに、子ども会という組織にこだわらず、子どもが広く参加できるような活動を検討していきます。</p> <p>*日曜日は、「地域・家族の日」として、部活動などを行わないように働きかけていき、地域活動や家庭同士がふれあう日となり、早川小学校の校庭に集まって、遊びやイベントを行うことで、中学生や小学生との交流を促し、保護者とその子どもの絆の醸成や地域への愛着を深めるとともに、地域活動へ参加する意識を高めていきます。</p> <p>*子育て中の親を支援するため、早川にファミリーサポートセンターの開設を検討していきます。この場合には、50歳から60歳くらいまでの人の協力を得た早川独自のサポート体制も視野に入れながら考えていきます。</p>
--	--



## 検討委員会の経緯

- 11月 7日（土） 早川地区まちづくり検討委員会設立準備会
- 11月21日（土） 第1回早川地区まちづくり検討委員会  
➢分科会の設置  
➢早川地区の特色、課題の抽出
- 12月 4日（金） 第2回早川地区まちづくり検討委員会  
➢早川地区の特色、課題の掘り下げ及びまとめ
- 12月21日（月） 第3回早川地区まちづくり検討委員会  
➢自ら取り組む活動及びめざす姿
- 1月18日（月） 第4回早川地区まちづくり検討委員会  
➢取り組む活動の続き及び文章の確認・修正  
➢行政へ意見書について  
➢グループ同士の発表
- 2月12日（金） 編集会議  
➢（試案）地域別計画～早川地区～について  
➢「地域からの意見書」について
- 2月20日（土） 第5回早川地区まちづくり検討委員会  
➢（試案）地域別計画～早川地区～の承認について  
➢「地域からの意見書」の承認について

早川にある  
すごいぞ！日本一！



日本一！  
↑  
背の低い信号

日本一！  
↓  
港に近い駅（JR）



みかん山から見たフルースカイ早川





## 早川地区まちづくり検討委員会

### 委員長

木村 正達（早川地区自治会連合会、木地挽自治会）

### 副委員長

下田 勝也（早川地区社会福祉協議会）

### 委員

田坂 進（早稲田自治会）	山口 芳郎（向口自治会）
青木 捷夫（西組自治会）	竹井 幹治（中組自治会）
大津 俊一（東組自治会）	大坪 孝壽（民間防犯指導員）
青木 祐伸（小田原市民生委員）	小野 利枝（小田原市民生委員）
相原 久花（小田原市主任児童委員）	佐藤 直美（小田原市主任児童委員）
橋本ヒサエ（早川地区ボランティアクラブ）	鈴木 千治（小田原市老人クラブ連合会）
西島 光朗（早川老友会）	秋山よし子（健康おだわら普及員）
青木真理子（健康おだわら普及員）	山口 裕士（早川小学校PTA）
富樫 栄広（城南中学校PTA）	鈴木健一郎（早川学区連合子ども会）
加藤 孝之（早川青少年健全育成連絡協議会）	相原 淳男（青少年育成推進員）
鈴木 規子（青少年育成推進員）	鈴木 裕（小田原市消防団第4分団）
山口 稔（早川地区体育振興会）	小倉 一己（早川おやじの会）

### 事務局員

井上 典子  
幸本 亜紀

# 地域別計画

## ～ 山王網一色地区 ～



山王網一色地区まちづくり検討委員会

# 潮騒の香る地域づくり

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

## 1. 地域の地理状況

私たちの山王網一色は、小田原市の中央地域に位置し小田原駅から約1.5km～2kmのところにある。

西側に山王川が、東側に酒匂川が流れ「まち」の中央に国道1号が通っている。

国道の南側は相模湾に接し、北側からは丹沢、箱根の連山、その間に富士山を見ることができる風光明媚な「まち」である。

かつては松林がいたるところにあり、白砂青松の地で漁業の盛んな半農半漁のまちであった。今は自動車産業の隆盛と共に、トヨタ、日産、ホンダ等の営業所やガソリンスタンドが営業をしている。

また、わずかな地域に「小」「中」「高」の学校があり（山王小学校、白鷗中学校、小田原総合ビジネス高等学校）、文教の「まち」になっている。

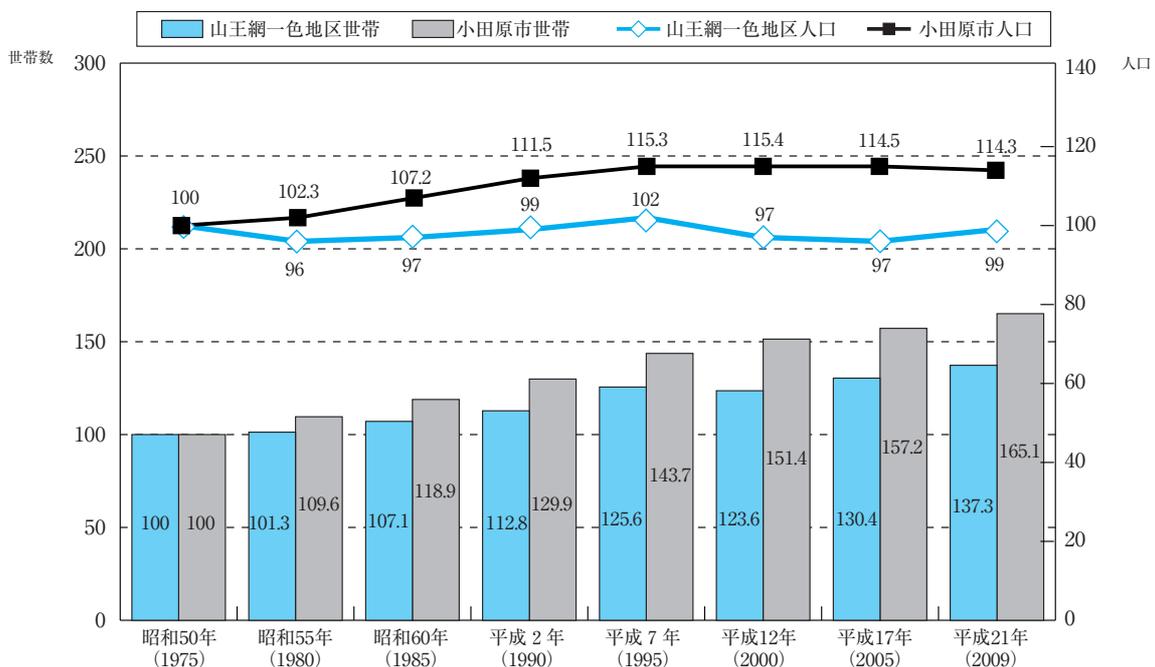
## 2. 地域の人口・世帯

地区内の世帯数は1,881世帯（2000年より13.7%増加）

人口は4,695人（2000年より2.0%増加）

少子高齢化が進んでいる。自治会加入は約1,600世帯

小田原市全域と山王網一色地区の人口・世帯数の推移（1975年=100）



## 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

1. 四季を通じて海のレジャーを楽しむ釣り人やサーフィンの人たちが賑わっている。
2. ボランティア活動が盛んである。  
福祉、環境（清掃・ごみ分別）、防犯などのボランティアが盛んである。
3. 地域には、自治会・公民館・青年会・婦人会・子ども会・老人会・氏子会・体育振興会など、沢山の各種団体が存在しそれぞれ連携し、協力しあって活動している。
4. 伝統行事の継承と後継者の育成が図られている。
  - ①山王原大漁木遣唄が無形民族文化財に指定された（平成18年12月27日）  
毎年1回「けやき」での後継者育成発表会に参加している。
  - ②小田原ばやし育成会
  - ③道祖神とどんど焼き（毎年1月）
  - ④祭典と浜降り祭
5. 史跡が豊富である。
  - ①山王神社
  - ②網一色八幡神社
  - ③新田神社と新田義貞公の首塚（網一色）
  - ④二宮金次郎表彰の地（酒匂川土手沿い）
  - ⑤上杉龍若丸の墓（山王小学校入口）
  - ⑥戎神社大友皇子を祀る（山王小学校入口）
6. 神社（8）・寺（7）が多い。  
地区内には神社8（山王・網一色八幡・白山・<sup>ハチマン</sup>戎・<sup>エビス</sup>新田・<sup>ヤンバラ</sup>薮原・<sup>リュウグウ</sup>竜宮）寺院7（宗福寺・道場院・心光寺・昌福院・弘経寺・呑海寺・常顕寺）がある。このお寺の中には保育園（1）・幼稚園（1）を営んでいるところもある。
7. 公園・児童遊園地がたくさんある。  
（山王原公園・東町第1公園・東町第2公園・東町児童遊園地・白山児童遊園地・八幡神社児童遊園地・網一色児童遊園地）

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

1. 社会の仕組みの変化“特にIT機器の普及”と共に隣組の絆が弱まってきている。
2. 少子高齢化が各種イベントに影響を投げかけている。
  - (1) 行事の企画がむずかしい。
  - (2) イベントの参加者が少ない。
3. 自治会に加入しない人が増えてきた。  
特にマンション・アパートで顕著に表れている。
4. 役員になり手が少ない。  
選出に毎回苦労している。
5. 会員が減少している。  
老人会・婦人会・子ども会など。

## はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～できることから始めよう～

### 《基本目標》

1. ごみや街灯（防犯灯）、道路など環境がしっかりと整備された「まち」  
犯罪ゼロの安全・安心の「まち」、地域の人達が交流を深めふれあい活気に満ちた明るい地域社会づくりを協同して創っていく。
2. 地区内マップの作成と全戸配布⇒史跡探訪教室
3. 地域の年間行事予定をカレンダーにして全戸配布  
(全体のイベント案内・各区単位の活動紹介)

### 《具体的活動》

#### 1. 環境

- 〈清掃活動〉山王川、久野川の清掃  
クリーンさかわ  
山王海岸の清掃  
酒匂川河口の清掃  
公園・児童遊園地・神社の清掃
- 〈ごみの減量化と再利用の推進〉  
分別回収の徹底と生ごみの減量化

## 2. 防災

〈合同訓練〉 1回/年 山王小学校運動場で各種訓練の実施

〈広域避難所〉 1回/年 運営委員会を開催し体制チェックと確認実施

〈防災マップの作成〉 洪水（山王川・酒匂川）、津波の危険区域である。避難経路を含めたマップを作成する。

## 3. 防犯（犯罪ゼロ目指す）

〈防犯パトロール〉

①山王「小」児童の登下校時の見廻り

②地域内の見廻り

③夜警

④青少年の非行防止・健全育成

〈あいさつ運動〉

子どもたちの登下校時の挨拶の習慣化

〈防犯灯の整備〉

暗い場所への増設計画と不良器具改修の徹底

〈東町交番との連携〉

警察官の区内巡視と非行発見時の連絡の徹底

## 4. 敬老会

自治会単位で敬老祝賀会とアトラクション開催

## 5. 祭礼

自治会単位で祭典委員会を中心に行うが、少子化と高齢化による祭典行事の継続に  
対策検討

## 6. 健康・福祉

○地域選出健康普及員と連携し健康相談・健康祭り・ミニミニ健康デー等を開催し、  
区民の健康増進を図る。

○引きこもり防止を目的にサロン活動（お茶を飲みながら交流）

体を動かす（筋力アップトレーニング・地域元気アップ）

素案の企画推進（継続）

○独居老人宅配弁当のお届け活動（継続）

○助け合い募金など積極的に参加（日赤社資、共同募金など）

○健民祭

毎年1回開催し、区民の健康づくりと区民交流の機会にする。

○地域包括支援センターとの連携

センターの職員を招いて学習し、福祉についての理解を深め活動の充実を図る。

（民生委員）

## 7. 文化・教育・子ども

- 地区内の史跡・公園・公民館などを掲載したマップを作成し、全戸配布する。探訪教室を開催し、地域への誇りを持ち認識を深める一助にする。
- セピア色の写真展（仮称）の開催など昔の郷土の風景、なつかしい行事などの展示（地域全体で古写真の収集をする）
- 各団体の年間行事をカレンダーにし、各団体の行事を知り参加しやすくする。（全戸配布）
- 学校へのサポートは登下校時のパトロール、スクールボランティア（学習・環境施設の整備・行事への付き添いなど）等を実施し地域、学校、保護者が一体になって子どもを見守っていく。
- 児童遊園地は地域での子どもの身近かな遊び場になっている。  
見守り、遊具の点検・増設に心がけ、子どもの安全・成長に役立てる。
- 小・中・高の各学校と連携を密にし、絆を深め、地域と学校が一体となっていく。
- 地区社協より地区内の情報・行事等を「社協だより」として年2～3回発行する。（全戸配布）

### 《特色ある地域づくり》

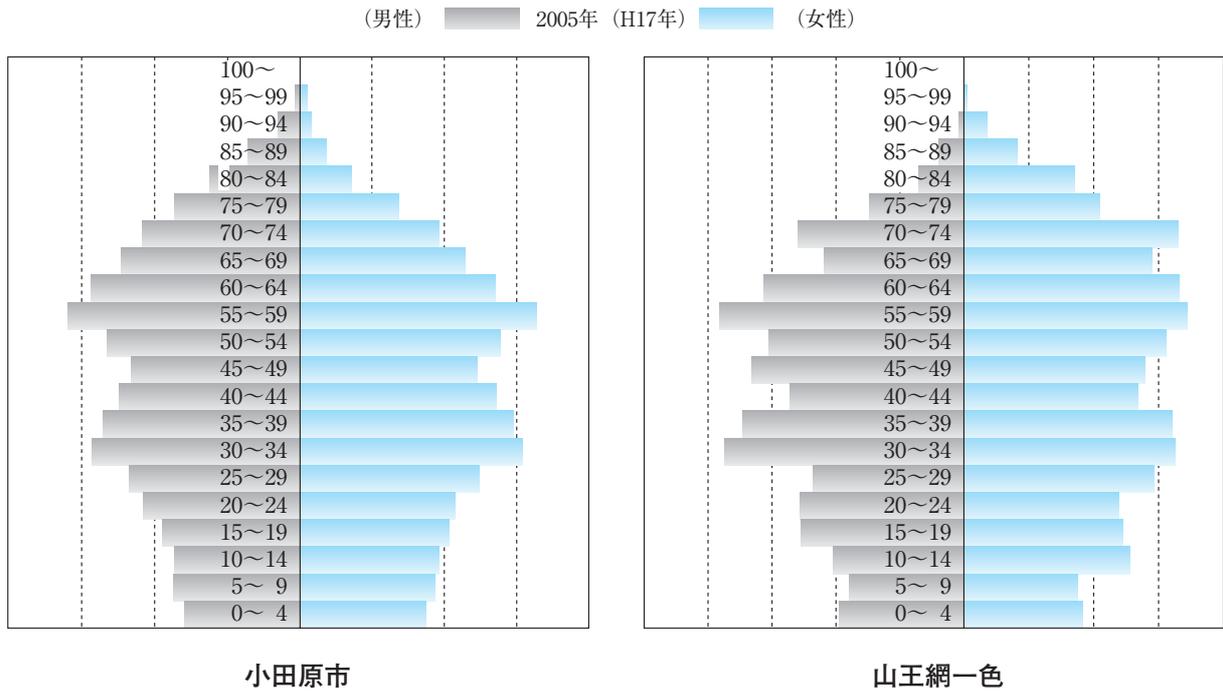
- (1) 酒匂川河口から山王川河口の海岸にかけて、ハマヒルガオの群生地にしていく。
- (2) 酒匂川河口から小田原アリーナまでのサイクリングコースの充実に協力していく。
- (3) 野鳥観察の場の充実に協力していく。

### 《おわりに》

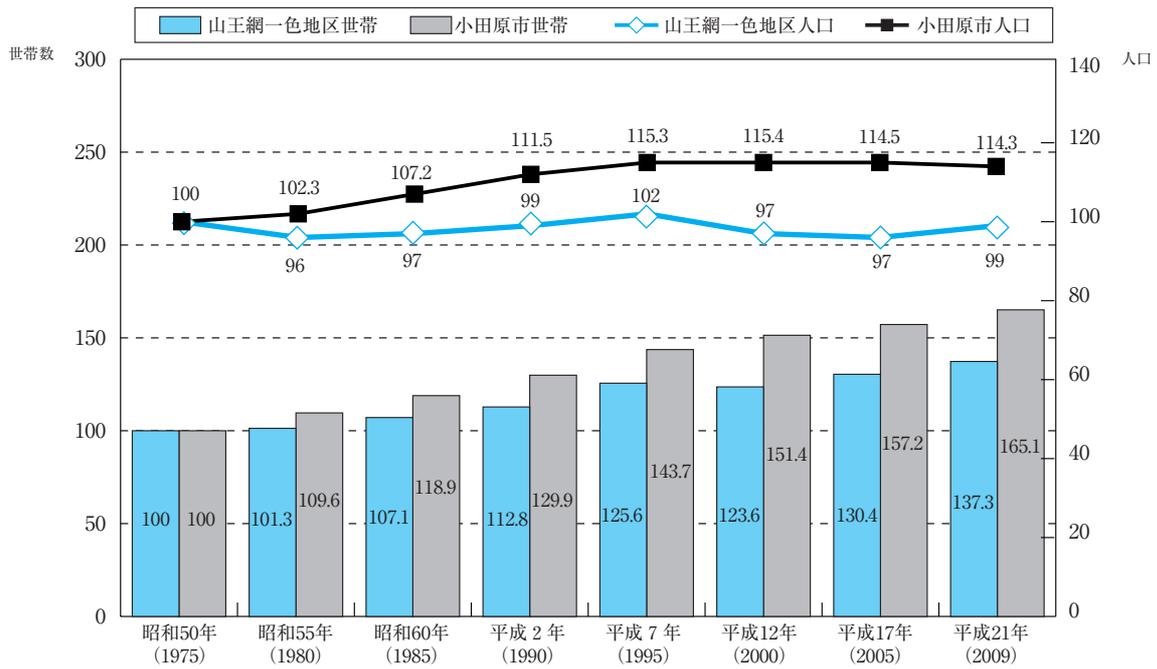
- その地域の特色、区民のニーズにあった企画、垣根を取払った交流で生き生きとした地域社会を作り出す。
- サーフィン・釣り人・野鳥観察・史跡探訪・ツーデーマーチ参加者（コースになっている）などで多くの人を訪れる我が「まち」である。  
海岸清掃・河口清掃などしっかりとやって「おもてなし」の心をもって迎えていきたい。

山王網一色地区の人口・世帯数・面積・土地利用の状況

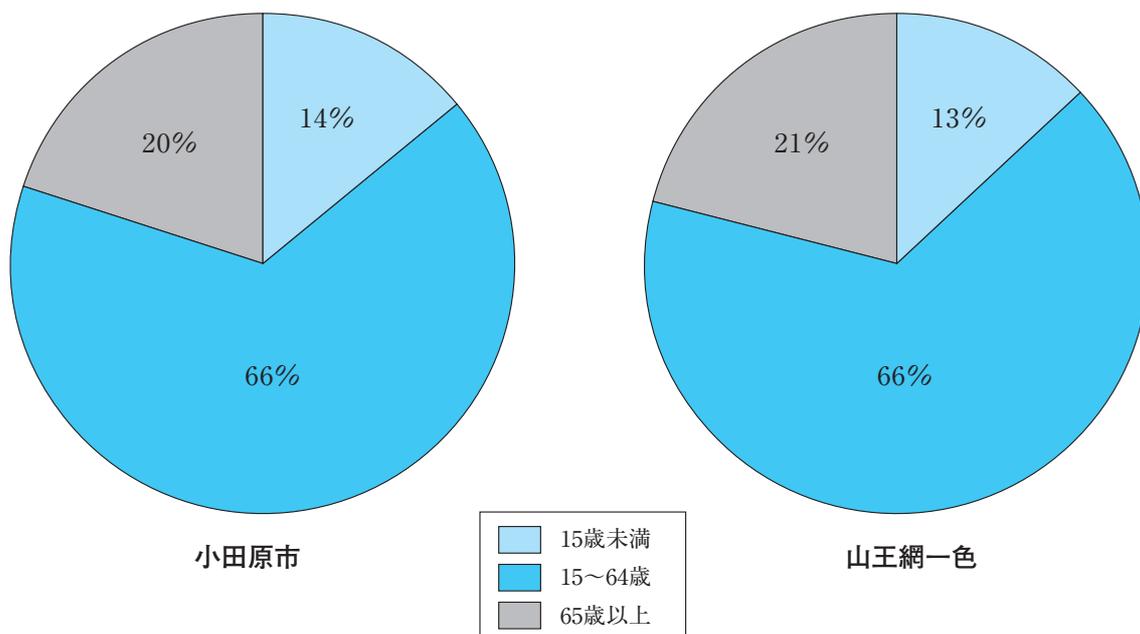
1. 人口ピラミッド



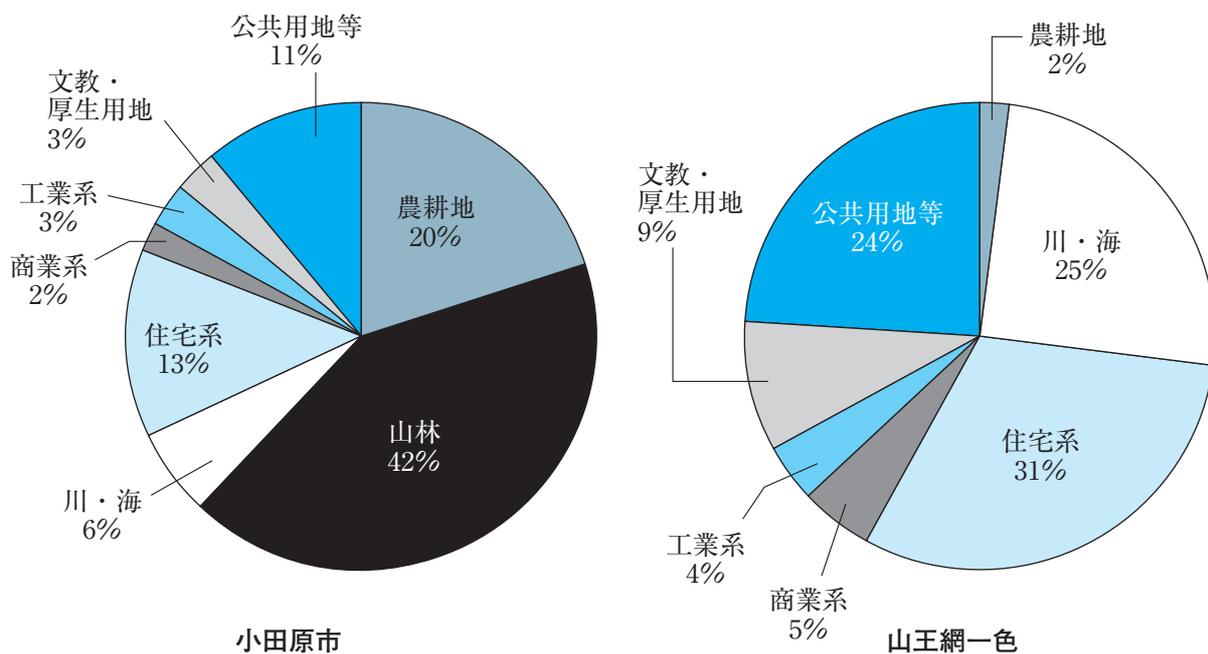
2. 人口の推移



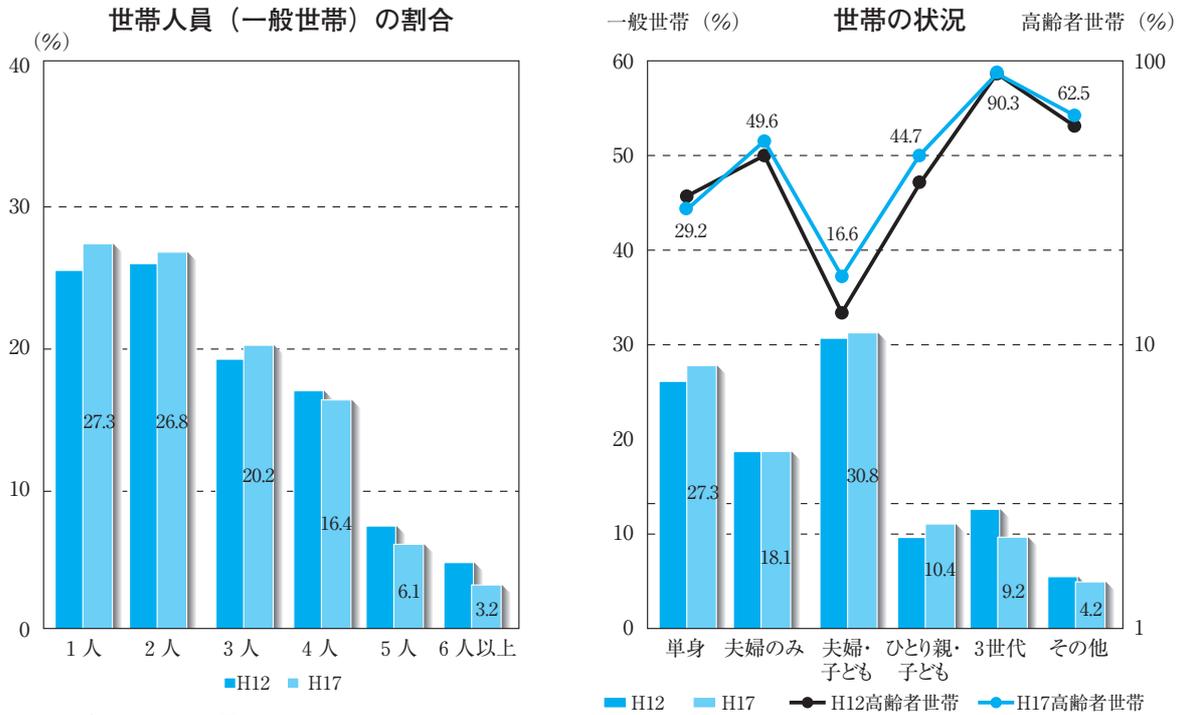
### 3. 年齢3区分人口の割合の比較



### 4. 土地利用の状況

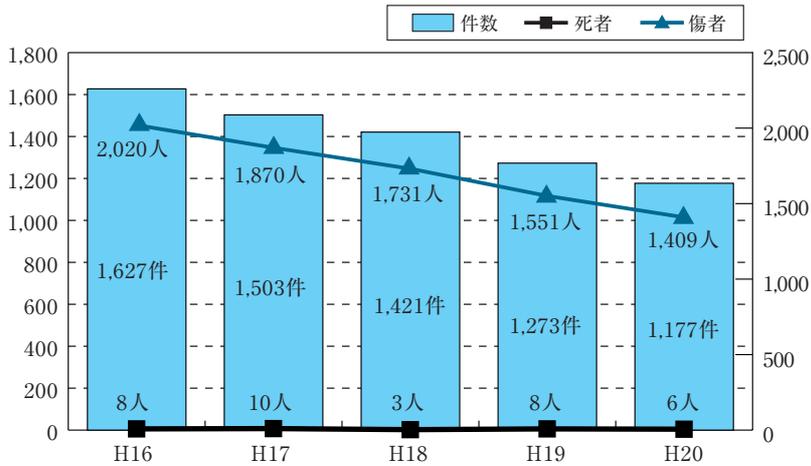


5. 山王網一色地区の世帯の状況

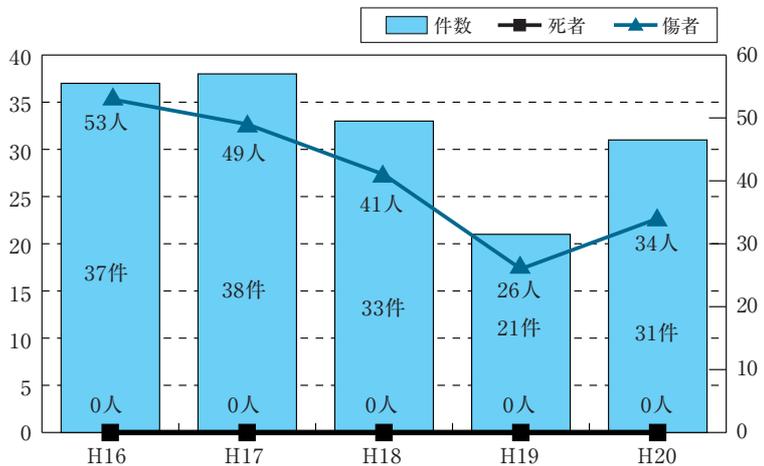


6. 交通事故発生状況

小田原市全域交通事故発生状況の推移



山王網一色地区交通事故発生状況の推移

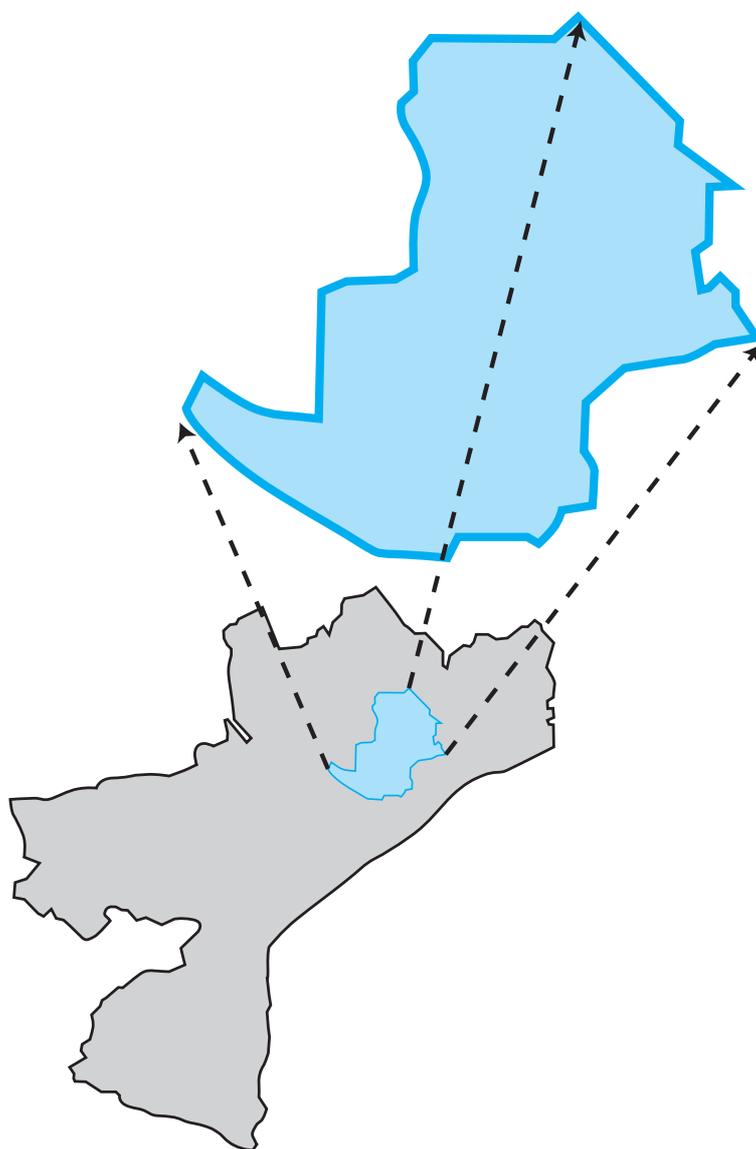


## 山王網一色地域まちづくり検討委員会メンバー

	氏名	グループ・団体
委員長	山田 寛	連合自治会会長
副委員長	山口 繁	連合自治会副会長
委員	柳下 達蔵	山王松原自治会会長
	常盤 秀一	山王西自治会会長
	古谷 登	山王東自治会会長
	小林 利行	山王松原自治会会計
	鳥居 清	山王東自治会副会長
	宝子山 等	山王東自治会会計
	譲原 平海	山王70区自治会副会長
	湯川 一男	山王70区自治会副会長
	石井 一雄	地区社協会長
	石井 久恵	地区社協副会長
	日比野 正治	地区社協会計
	島田 久恵	山王東民生委員
	岩田 隆一	山王70区民生委員
	榎本 和子	山王70区民生委員
	金親 喜学	網一色民生委員
	花田 勉	山王松原公民館館長
	西山 輝宮生	山王松原公民館副館長
	山崎 洋司	山王70区公民館館長
	湯川 和昭	地区連合老人会会長
	前田 勇三	山王東老人会会長
	山口 忍	山王70区老人会会長
	小澤 正宣	山王70区老人会副会長
	二見 忠義	網一色老人会会長
	小島 多津子	地区連合婦人会会長
	岡本 晴江	山王東婦人会会長
	持田 廣	山王松原青壮年部部長
	松下 静江	地区ボランティア会長
中村 スズ	地区ボランティア代表	
藤枝 多津子	地区消費者の会	
手塚 満	「山王小」PTA会長	
野沢 順子	「白鷗中」PTA会長	
平松 正吾	山王松原祭典委員長	
鈴木 喜久高	山王東祭典委員長	
末広 勝	山王原大漁木遺唄保存会会長	
栗木 良和	小田原ばやし保存会	
佐宗 雅幸	地区青少年育成推進員	
西村 進	地区青少年育成推進員	
勝俣 淳一郎	学識経験者	

# 地域別計画

～ 下府中地区 ～



下府中地区まちづくり検討委員会

## 下府中地域の沿革

下府中は、明治2年（1869年）藩籍奉還によって小田原藩知事の所管となり、明治4年（1871年）小田原県に、次いで足柄県に属し、明治9年（1876年）神奈川県の下管下に入りました。

明治22年（1889年）町村制が施行されると、下堀、中里、矢作、鴨宮、下新田、中新田、上新田の7カ村を合併して下府中村が誕生しました。

その後、昭和23年（1948年）4月1日小田原市と合併しました。合併時の世帯は632戸、人口は3,226人です。

小田原市は、町村合併により広い土地を有したことから工場誘致を積極的に図り、下府中は交通至便と酒匂川左岸低地で清澄な空気や良質な水資源を有することから、工場誘致計画で昭和27年（1952年）に中里地区農地16.7haに繊維工場、翌28年（1953年）には中新田地区3.07haに化粧品工場が、また、コンクリート工場や製菓工場なども建設され、住宅地域としても脚光を浴び始めました。

合併12年後の昭和35年（1960年）の国勢調査では、1,448世帯、人口は7,070人と2.2倍の伸びを示しました。

昭和42年（1967年）6月には鴨宮駅南部区画整理事業が始まり、昭和54年（1979年）には南口広場が完成し優良住宅として供用が開始されました。

その後、社会環境の変化や商業施設の郊外化から工場用地が大型商業施設や住宅地へと変貌し、現在の下府中地域の人口は約22,000人で全市の11%を占めています。

## 地区別紹介と明治当時の状況等

### 1 下堀地区（明治当時の状況：下堀村、単位自治会：下堀）

下堀地区は、JR鴨宮駅から約2kmの下府中の北端に位置します。

中世に作られたと言われる方形居館（南北に約150m、東西に約120mの長方形の土地に土塁と堀を廻らせ、その内側に住民が居住したと言われ旧家屋には屋号も残る。）を中心に明治時代から昭和23年（1948年）の小田原市への合併までは20戸（内18戸が志村姓）、面積22.7haの小さな農村でありました。

地区内では現在でも「米」を始め五穀豊穡を願う慣習を引き継いだ祭りやどんど焼き、稲荷講なども行われています。しかしながら、近年宅地化が進み川東地区はますます商業化が進むにつれ人口が急激に増加し、現在約550世帯、約1,600人が住む住宅地に様相が一変しています。

数年後には地区を二分する穴部国府津線の開通を控え一層都市化が進むと予想され、まちづくり対策が喫緊の課題となっています。

### 2 中里地区（明治当時の状況：中里村、単位自治会：中里1区-1、中里1区-2、中里2区）

中里地区は、巡礼街道と交差する酒匂堰を西境に巡礼街道を挟んで南北に位置し、昔は田畑の広がるのどかな田園風景の地区でありました。

小田原市合併後の昭和27年に工場誘致された企業が進出してから、地区周辺は工業団地化し、そのため昭和32年（1953年）川東地区の工業地帯幹線道路として巡礼街道の拡幅工事が始まり昭和42年に現在の道路が完成しました。

その後、工場の閉鎖等が続き跡地には大型商業施設等が進出し、休日や祝祭日には生活道路まで買い物客の車で混雑し、交通問題と治安対策が課題となっています。

現在の人口は約4,700人で大型商業施設等と融合した住宅地であります。

### 3 矢作地区（明治当時の状況：矢作村、単位自治会：矢作）

矢作地区は、巡礼街道の北側へ約1.3km、酒匂堰と下菊川とに挟まれた地区で、人口約2,200人の住宅地として近隣には大型商業施設等があり日常生活には便利な地区であります。

村の鎮守は、元和3年（1617年）大宮富士浅間神社の分霊を奉遷した浅間神社で、4月第一日曜日に神社神輿と子ども神輿が町内を練り歩きます。また、道祖神は小田原市指定有形民俗文化財で、建立は享和3年（1803年）江戸幕府第11代将軍家斉の頃と言われています。道祖神は外部からの疫病や悪霊などを防ぐことから、子どもの神様として毎年1月中旬に山車を飾り太鼓を叩き、ダンゴを焼く「どんど焼き」を自治会の年間の恒例行事として開催しています。

### 4 鴨宮地区（明治当時の状況：鴨宮村・上新田村・中新田村・下新田村の一部、単位自治会：鴨宮2区・鴨宮3区・鴨宮4区-1・鴨宮4区-2・鴨宮5区）

鴨宮地区は、下府中の真ん中を東西に走るJR東海道線から北側で、鴨宮駅前商店街を中心として人口は約6,800人、地元商店や飲食店、巡礼街道沿いのチェーンストア等新旧の店舗が連なり日常生活は至極便利な地区です。また、健康管理面では医療施設が身近にあり、高齢者や乳幼児を持つ家庭には心強いかぎりです。

小学校は、県道鴨宮停車場矢作線を境に矢作地区の矢作小学校と中里地区の下府中小学校に分かれますが、中学校はJR東海道線北側全体が鴨宮中学校の学区となっています。

地区の鎮守である賀茂神社は、建久3年（1192年）8月源頼朝の妻北條政子が安産祈願のため神馬を奉納された相模国12社の中の1つであり、当時の集落規模や立派な御社が想像されます。

なお、近年生活環境の良さから3～4階建ての賃貸マンションが増え、安全安心のまちづくりの基本となる近所の連携が不足がちなため、現在自治会で呼び掛けを強化しています。

### 5 南鴨宮地区（明治当時の状況：上新田村・中新田村・下新田村・鴨宮村の一部、単位自治会：南鴨宮1区、南鴨宮2区、南鴨宮3区、南鴨宮4区、南鴨宮5区）

南鴨宮地区はJR東海道線の南側に位置し、栄町小八幡線の道路が西は小田原大橋へ東は国立印刷局小田原工場へ通じています。

昭和60年（1985年）の5月には鴨宮駅南部区画整理事業が完了し、南鴨宮1～3丁目に地番変更され、現在の人口は約5,800人です。

区画整理事業の結果、地区内は縦横に生活道路が整備され、大型公園4箇所（新田公園、みずき公園、駅前公園、富士見公園）や新田公民館、コミュニティーホールかるがも、かもめ図書館などの文化施設や西湘地区体育センター等々、住環境に恵まれています。

子どもたちは、酒匂地区の一部の児童とともに市内最大規模の富士見小学校に通い、その後、酒匂中学校へ通います。

地区の恒例行事としては、1月道祖神山車曳き、4月神明神社大祭、8月夏祭り、11月公民館文化祭など南鴨宮1区～5区自治会が一体となり、地区住民が参加して盛大に行っています。

**6 大道地区**（明治当時の状況：酒匂村、単位自治会：大道）

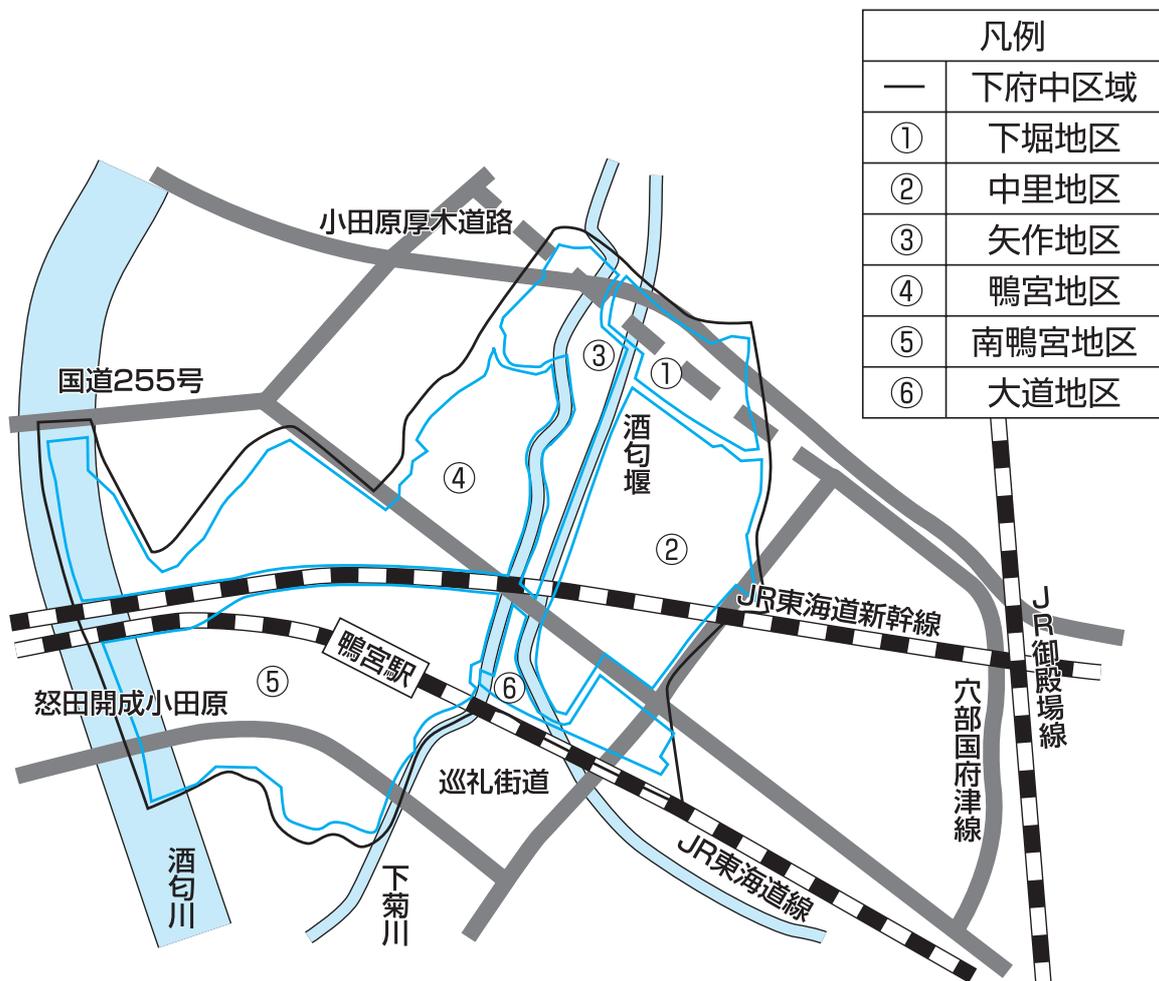
大道自治会は、大字酒匂のうちJR東海道線の北側に位置する地区で、歴史は下府中の地区と異なりJR東海道線南側の酒匂地区とともに、明治22年（1885年）町村制により酒匂村として発足し、昭和17年（1942年）酒匂町となり昭和29年（1954年）小田原市と合併しました。

したがって、当初は小中学校の学区も酒匂小学校、酒匂中学校でありましたが、昭和40年代に希望者から適時に現在の下府中小学校、鴨宮中学校へと替わっていきました。

大道の由来は、地区の真ん中を南北に走る道路が「大道」と称されていたことから来ています。当地区は、鴨宮駅とショッピング地域との中間点に位置するため交通の便も良く、日常の買い物も大変便利で静かな住宅地であります。

現在地区には、約620人が居住していますが狭い地域に限定されているため、現行のまま推移していくものと思われます。

下府中地区別位置図



## 地域のキャッチフレーズ

## 小田原の中核として発展し、 みんな仲良く生き生きと暮らせる町、下府中

### 下府中の将来像 ～ みんなでめざそう～

#### 自然が豊かで、生活環境が良いまち

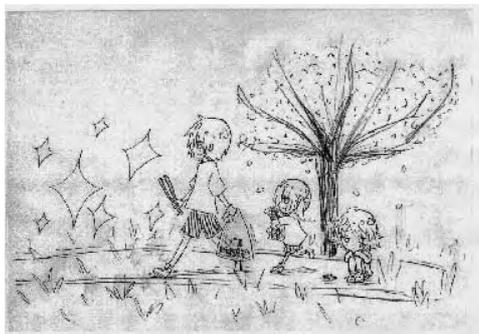
- ・地域が連携し、高齢者・障がい者にやさしく、子どもたちが伸び伸び生活できるまち
- ・清潔感に満ちていて、住み心地が良いまち

#### 安全、安心なまち

- ・防犯意識が高まり安心して暮らせ、事件や事故がないまち
- ・子どもが成長し、また、下府中に住んで子育てしたいと思えるような子育てに優しいまち

#### 賑わうまち

- ・活気のある元気なまち
- ・子どもからお年寄りまでコミュニケーションの場があり、笑顔で挨拶し合えるまち
- ・住宅地と商業地が調和した、賑わいがあり安全で楽しいまち

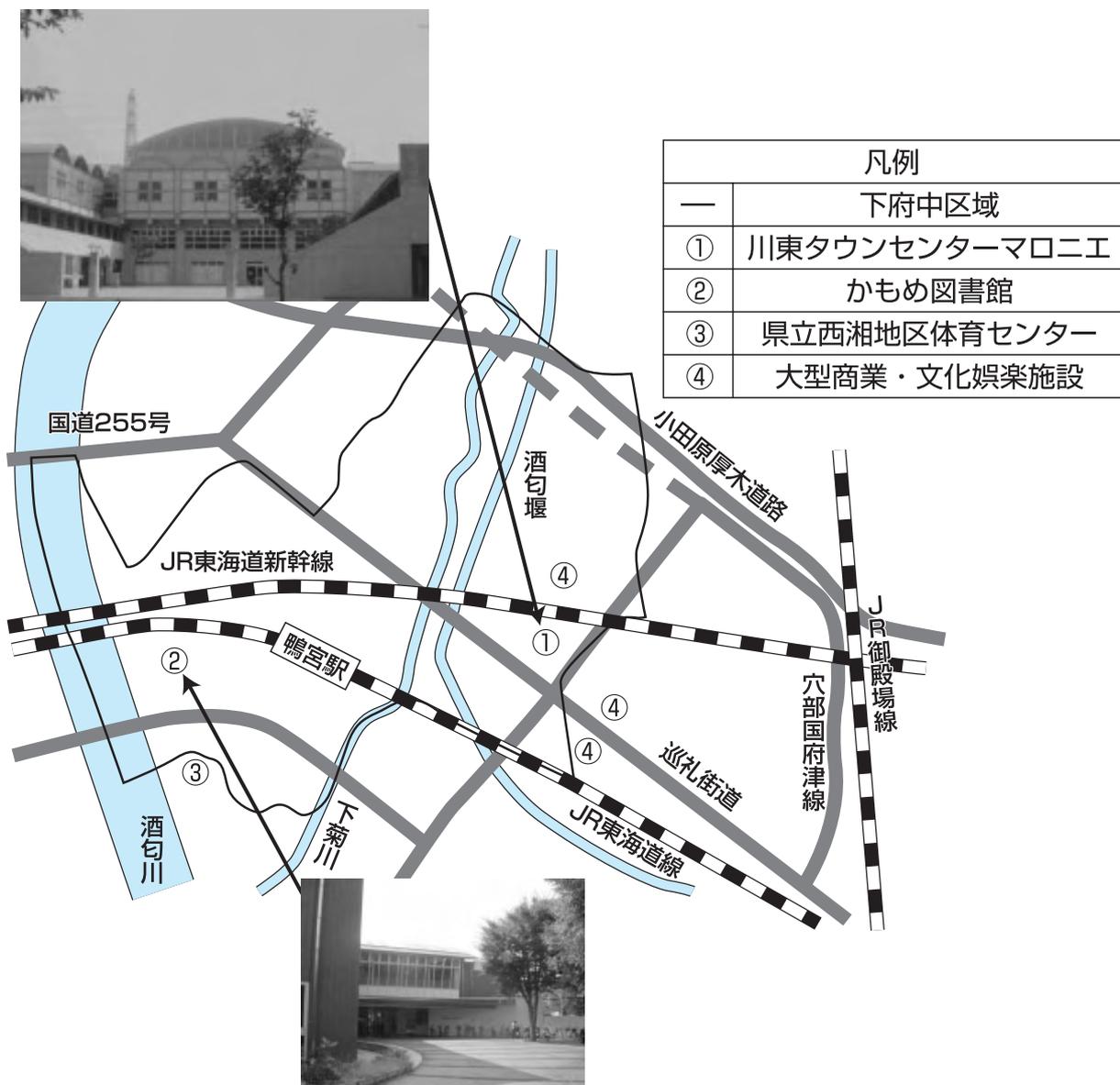


鴨宮中学校3年の生徒

## 1 地域の地理的状况

下府中は東西に走る巡礼街道を中心に北は小田原厚木道路が、南はJR鴨宮駅から海岸に向かい県立西湘地区体育センターを境として、東は酒匂・国府津地区に隣接し、西は酒匂川に面しています。

地域内の主要公共施設は、川東タウンセンターマロニエ、かもめ図書館で、大型商業・文化娯楽施設は、当地域の中里地区と前川（国府津）地区に集中しています。

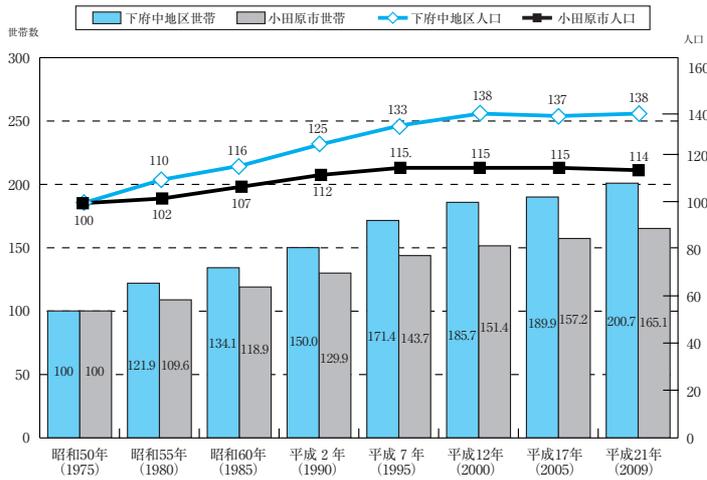


## 2 地域の人口・世帯

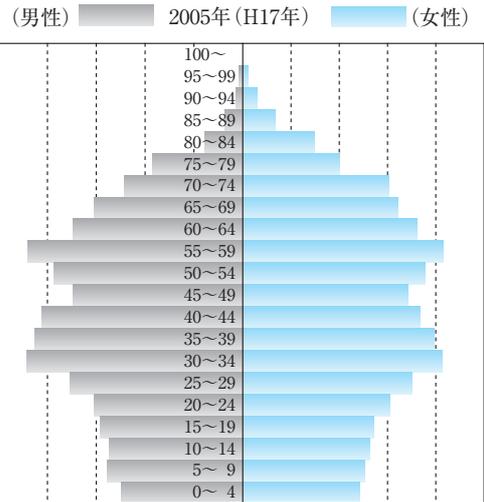
平成12年（2000年）以降、地域の人口は横ばい状態ですが、世帯数は増加しています。

他地域と同様で「団塊の世代」の人口が多いが、子育て世代である30歳～40歳代の占める割合も29%と高く、人口の2段構造が特徴です。

小田原市全域と下府中地区の人口・世帯数の推移  
(1975年=100)



平成17年下府中地区人口ピラミッド



## 3 地域の特徴

### (1) 商業施設の集客

下府中の商業施設を統計結果から見ると、全市の商店数2,460店のうち278店、11.3%の割合であります。売り場面積は、29.3%と大型店の多さが目立っています。なお、統計数値には表れませんが、一店舗当たりの駐車可能台数も高いと推測できます。ちなみに、中里地区の大型2店舗の駐車可能台数は約4,000台であります。

商業統計調査結果

H19. 6. 1 現在

地域	商店数(店)	従業員数(人)	売り場面積(m <sup>2</sup> )	年間販売額(万円)
小田原市計	2,460	18,455	245,769	42,887,354
下府中地域	278	3,025	71,941	6,628,795
割合	11.3%	16.4%	29.3%	15.5%

### (2) 居住環境の良さ

交通の便が良く、暮らしに必要な公共施設が整い、衣食等生活関連の店舗は駅前商店街等、地区ごとに存在しますが、必要に応じ中里・前川地区の大型商業施設、文化・娯楽施設に徒歩や自転車圏内で行き帰り出来ます。

また、住宅地は緑が多く田畑も各地区に見られますが、特に南鴨宮地区は、区画整理されて街区公園が点在する良好な住宅地であります。

医療環境は、保健センターに近く、地域内には、18の病院各科診療所と17の歯科診療所があり住民の健康管理面も充実しています。

## 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

下府中は、各種団体の活動が活発で、安心安全に暮らせるまちづくりを目指して多くの住民が各種団体に参加し、ボランティア精神のもと地域に根ざした地道な活動に取り組んでいます。



具体的な活動例を挙げますと、天候に関わらず黄色い旗を持って子どもたちの登下校の安全を確保するための見守り活動のほか、最近では警察官の目の届かない場所が増えており治安の悪化が懸念されていることから防犯パトロール等も行っています。このような活動は地域住民にとっては心強く安心安全のまちづくりの基礎となっています。

次にお祭り等のイベントが多彩なことも下府中の自慢といえます。4月の賀茂神社、神明神社、浅間神社の大祭では、お神輿が町内を巡行し、7・8月の夏祭りは、自治会や子ども会が主体になって公園、学校などを舞台に各所で賑わい、巡礼サマーフェスタで夏季のイベントを締めくくります。10月には、新幹線発祥の地を記念し「川東ひかり祭り」が開催され、1月には各所で道祖神祭やどんど焼きが行われます。特に「川東ひかり祭り」は鴨宮駅北口会場を中心に2日間にわたり開催され、弘前ねふた曳きや大抽選会が評判です。こうしたお祭り等のイベントを通じて住民の繋がりを深めています。



生活環境に目を移しますと、鉄道網はJR鴨宮駅から東は横浜、東京へ、西は小田原駅を經由し東海、関西方面へアクセスし、道路網は国道1号で箱根方面へ、小田原厚木道路・小田原東インター経由で県央地域、東名高速道路へ、また、西湘バイパス国府津インターにも近く、巡礼街道の渋滞を考慮しても交通アクセスの良さは地域の特色といえます。



生涯学習、公的手続き、医療等の面では公共施設として「かもめ図書館」、「コミュニティホールかるがも」、「川東タウンセンターマロニエ」及び「小田原東郵便局」が地域内にあり「保健センター」、「西湘地区体育センター」が隣接しています。衣食等の面では地元商店街や映画館等の文化・娯楽機能を併設した大型商業施設などが自転車又は徒歩圏内にあり、医療施設では35の医科、歯科診療所が存在しており、あらゆる世代が安心感をもって生活できる地域であります。さらには、足柄平野から富士、箱根連山が一望でき酒匂川の季節の変化にも趣があり、自然環境と居住環境の良さが同居した地域といえます。

### 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～



住民の多くが不平や不満に思っていることは主要道路の交通渋滞で、特に最近の巡礼街道の渋滞はひどく、接続する生活道路までその影響が出ています。また、最近は自転車の運転マナーが悪くなり歩道でも歩行者が危険な状態になっています。

地域（前川地区を含む。）には、大型商業施設や文化・娯楽施設の深夜型の施設が集中し人の流入が多いためか、隣接する生活道路では夜間暗い場所も多く犯罪の誘発に繋がるとの指摘も出ています。そのため、大型交番設置については、まちづくり検討委員会が地域別計画作成のため実施したアンケート結果でも、住民の関心度は高まっています。

公共交通機関については、利便性が高い地域であるとの意見が多い反面、鴨宮駅に快速列車（ライナー・アクティー）が停車しないこと、バスのアクセスの悪さや小田原行の直通バスが少ないことで不便だと思っている方も多くいます。

全国的に少子高齢化の社会現象が進む中、下府中も例外ではなく、高齢者だけの世帯や一人暮らしの高齢者が増えており、こうした方々を見守る必要が生じています。

特に、神奈川県西部地震の発生が予測されていることから、災害時において弱者になるであろう高齢者等をどのように守っていくのか大きな課題となっています。

こうした意見は、地域別計画作成のため実施したアンケートでも多く出ています。



【めざす姿】

## 住民のコミュニケーションが強いまち

誇れるもの	できることから始めよう
<p><b>新幹線発祥の地をメインに</b></p> <p>新幹線が開業する2年前の1962年、新幹線の試験コースが鴨宮～綾瀬間に設置され、試験車両が鴨宮車庫基地から出発しました。</p> <p>下府中では新幹線発祥の地を川東地区の活性化と捉え、平成3年から「川東ひかり祭り」と銘打って地域の活性化、文化事業の促進、青少年の健全育成及び安心・安全のまちづくりをスローガンにスタートし、平成21年10月には第19回目を開催しました。</p> <p>下府中商工連合会と自治会連合会が中心となり組織する「川東ひかりまつり実行委員会」が主催し、小田原市・小田原箱根商工会議所・小田原市観光協会・小田原市商店街連合会の各団体から後援と支援をいただいております。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線発祥の地であることに端を発したまちおこしの「川東ひかり祭り」を、地域の商工会の皆様や地域住民で更に盛り上げ、地域のコミュニケーションの強化を図ります。</li> <li>・開催経費や人的負担、開催場所の確保など実行委員会の負担は年々増加していますが、地域のご理解とご協力を得ながら開催していきます。</li> </ul>

【めざす姿】

## 安全で安心して暮らせるまち

誇れるもの	できることから始めよう
<p><b>見守り活動</b></p> <p>下府中は県市道が縦横に交差し、住民は道路網の良さを誇りにしていますが、反面、昼夜を問わず交通量が多く、特に児童生徒の登下校時は交通ルールを守らない車等で子どもたちは危険にさらされています。</p> <p>そこで、自治会を中心に地区パトロール隊を組織したり、自治会役員が当番制で担当したり、地区ごとに横断歩道や危険な箇所立ち、子どもたちを交通事故や不審者から守っています。</p> <p>また、住宅地が多い地区では、警察官の</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活動は活発ですが（自治会、ボランティア組織、老人会等）、自発的に参加を希望される方が少ないのが実情です。自治会で行事等の参加者募集があった場合には、積極的に地域活動に参加するように住民の意識向上に努めます。</li> <li>・地域活動に参加しやすい体制作りとして特定の人に負担が大きくなることを避けて、みんなで分け合うことを考慮していきます。</li> <li>・いざという時に力を合わせる共助の組織が今後必要となってきますので、地域活動への参加意識の向上や、特に若年世帯が地域活動に参加しやすい環境づくりを図っていきます。</li> </ul>

目の届かない場所や不審者情報などを基に夜間の通勤通学者の帰宅時や居住者の安全を守るため、定期的に防犯パトロールを実施し、地域の安全・安心を守っています。

- ・隣り近所の挨拶に始まり、情報交換、コミュニケーションを深めると同時に、自己防衛の意識を持つことを徹底していきます。

【めざす姿】

ごみのない清潔なまち

誇れるもの	できることから始めよう
<p><b>清掃活動及び環境美化キャンペーン</b></p>  <p>自治会連合会では、日頃から渋滞の目立つ巡礼街道の植栽などに、車や歩行者によるたばこや缶類のポイ捨てが目立つことから、毎年4月・7月・10月・1月の第3木曜日に「ポイ捨て（防止）キャンペーン」を実施しています。</p> <p>当日は、各種団体の多くの方々が参加し、各人がのぼり旗やごみ袋を持ち鴨宮駅北口前から巡礼街道へポイ捨てされたごみを回収しつつ、「捨てないでデモンストレーション」を行い運転者や通行人に地域美化への協力を呼びかけています。</p> <p>矢作地区は、「小田原をきれいなまちにしよう」を合言葉に、昭和50年から月2回の神社境内や児童公園の清掃と毎年5月、8月には河川の草刈りなど美化清掃に取り組んでいます。こうした長年の地域ぐるみの活動が評価され、平成19年度・地域環境美化功績者として「環境大臣賞」を受賞しています。</p> <p>南鴨宮第1区、第2区、第3区長寿会では、昭和53年頃から地区の美化と緑化のためJR鴨宮駅前花壇の植付け活動や「酒匂きらり広場」などの清掃活動に取り組んでいます。こうした活動が評価され、平成20年に県知事表彰を受けました。</p>	<p>できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市外や地域外から大型商業施設等の来訪者が多く、車からのたばこのポイ捨て等により幹線道路だけでなく、生活道路までもごみが散乱してきているので、「ポイ捨てを無くすよう」声かけ等を行い、啓発活動を進めていきます。</li> <li>・公共施設や道路等の定期的な清掃活動は各地区で実施していますが、特定な住民に限ることなく呼び掛けを強めていきます。</li> </ul>   

## 【めざす姿】

### 犯罪を予防するまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>中里地区と前川（国府津）地区には、大型商業施設と映画館等の文化・娯楽機能を併設した施設や大型文化・娯楽施設などがあり、特に県西地域唯一の映画館は、複数のスクリーンを保有する施設が2館あります。したがって、地域外の多くの方も深夜まで映画鑑賞等に訪れ、また、付近には深夜営業店舗も多く、引ったくりや自転車の盗難などの被害が増加傾向にあります。</p> <p>地域では大型交番設置の要望活動を行い、4万人以上の署名とともに神奈川県及び小田原市に陳情書や請願書が提出されましたが県及び市議会では継続審議となったため、平成21年12月に一旦取り下げ、再度「交番機能強化について」の請願書が提出されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在実施している防犯パトロールや見守り活動を充実します。</li><li>・防犯パトロールは、住民の積極的な協力なくしては継続的な活動は出来ませんので、隣り近所の声かけ等により担い手不足を解消するように努めます。</li><li>・個人個人の防犯意識を向上させます。</li></ul>
<p>幹線道路や商業施設などは夜間でも明るく、人通りや車の通行も多く安心できますが、生活道路に入ると防犯灯が少なく、暗さが目立ち不安を感じる場所があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・暗くて不安や危険な場所については、自治会で調査し、防犯灯の設置を推進し犯罪を抑制することに努めます。</li></ul>

## 【めざす姿】

### 災害時に住民が協力できるまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>神奈川県西部地震が懸念されています。下府中でも自治会単位で自主防災組織が結成され、防災資機材の備蓄や防災訓練等を実施し、住民には一時避難場所や広域避難所の確認と避難路の徹底を図っています。</p> <p>しかし、大型商業施設等に流入する人口は一日5万人といわれており、災害発生時に施設内や付近を通行する人々により混乱に拍車がかかる恐れがあります。</p> <p>下府中16自主防災組織が避難する広域避難場所は3箇所です。</p> <p>南鴨宮地区が富士見小学校で、鴨宮2区・3区・5区・矢作及び下堀地区が矢作小学校です。又、鴨宮4区-1・2、中里1区-1・2、中里2区及び大道地区が下府中小学校となります。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治会自主防災組織は、活動を具体的に住民に伝え、災害時に戸惑うことのないように、先ず自分の身は自分で守ることの徹底を図ります。</li><li>・災害時に自宅や家族の安全が確認された場合には、地域の防災活動に参加する共助の精神を醸成していきます。</li><li>・下府中小学校広域避難場所の運営には大型商業施設管理者も含まれていることから合同訓練等も検討して行きます。</li><li>・現在防災訓練は全地区が1箇所（下府中小学校）に集まり実施していますが、今後は、それぞれの広域避難所において地区の実情に即した訓練を早急に検討します。</li></ul>

## 【めざす姿】

## お年寄りが安心して住み・お年寄りにやさしいまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>少子高齢化の進む中で、介護の負担増に苦しむ家庭が多くなります。</p> <p>特に、一人暮らしの高齢者の受け入れ先の心配や高齢者だけの世帯では高齢者が高齢者を介護しなければならない世帯が増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らしの高齢者や介護が必要な高齢者の見守りを行います。</li> <li>高齢者の見守りにはプライバシーの問題もあり、家庭の状況に応じた対応が必要ですが、民生委員やボランティア会、自治会などが協力し、情報を共有しながら対応方法について検討していきます。</li> </ul>
<p>神奈川県西部地震が懸念されており、災害時に地域の支援が必要な一人暮らしの高齢者や高齢者世帯及び、障がい者を持つ家庭が増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織の活動の一環として小田原市災害弱者名簿を基に災害弱者の把握に努めます。</li> <li>災害弱者の把握や支援は、プライバシーにかかわる問題があり個々の状況に応じた対応が必要となりますので、民生委員や自治会役員等と協力し対応策を検討していきます。</li> </ul>

## 【めざす姿】

## 交通事故のない安全なまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>道路交通網が良く大型商業施設等が点在していることから交通量が多く、登下校時の児童生徒が危険にさらされています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区ボランティアや自治会役員等が、子どもたちの登下校時に合わせた安全確保のための見回り活動を続けていますが、活動の更なる充実を図るため後継者の発掘と育成に努めます。</li> <li>P T A活動の一環として、会員やその家族で安全確保のための見回り活動を進めていきます。</li> </ul>
<p>車道の渋滞が激しいため、自転車が歩行者の間を縫って歩道を走るなど、マナーの悪い運転が目立ちます。特に休日の巡礼街道の歩道は買い物客の自転車などの通行が多く歩道も狭いため危険です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の小中学校や子ども会が児童生徒に対して安全な自転車の乗り方等を指導する交通安全教室を実施していきます。</li> <li>自治会や老人会を通じて地域の交通マナーの向上や交通安全を呼びかけていきます。</li> <li>交通安全協会などと協力して、現場での交通ルールの指導をすることを検討していきます。</li> </ul>

**【めざす姿】**

## 地域活動により、人と人との繋がるまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>少子高齢化が進むと若い人が少なくなり、将来的には、地域活動に支障が出てきます。</p> <p>お互いに無関心な住民が増えてくると防犯や環境美化など、誇りとする居住環境の悪化に繋がります。</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地区のボランティア活動の担い手の発掘・育成に努めていきます。</li><li>・ 地区の運動会や防災訓練など老若男女が集まる機会を通じて、若い人達に地区のボランティア活動の重要性を理解してもらえよう情報提供に努めていきます。</li><li>・ 住民一人ひとりが地域のために自分の時間等を割く努力をしてもらえよう呼びかけていきます。</li><li>・ 地域活動に関心が薄い人が多いので、「誰かがやってくれるでしょう」でなく「自分になにかできないか」という気持ちの醸成を図ります。</li></ul>

**【めざす姿】**

## 生活マナーを守りきれいなまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>ごみの収集日は、年間カレンダーが配布され、ごみ分別等のルールを各自で承知しているはずですが、出す日を間違えたり、出勤途中などで他地区のごみ集積場所に不分別のごみを放置していく不心得な人が目立ちます。</p> <p>犬の糞の始末をせず、散歩をしている人を見かけます。マナーを守ることが飼い主の責任です。</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ポイ捨て防止活動を地域全体に広げていきます。</li><li>・ 地域活動の一環として環境美化マナーの徹底を呼び掛けます。</li><li>・ 自己責任のルールの徹底を呼び掛けます。</li><li>・ 各種団体の活動にあわせて清掃活動を行ないます。</li></ul>

## 下府中まちづくりのためのアンケート

この調査は、下府中地域の将来あるべき姿を地域で活動されている皆様を始め各階層からのご意見を伺い、各種団体で構成されている下府中まちづくり検討委員会が集約させていただくための基本調査です。内容は計画づくりに反映させていただきます。ご協力をお願い申し上げます。

小田原市地域別計画

下府中地域まちづくり検討委員会

委員長 自治会連合会長 鈴木 晴夫

**以下の質問に対し、感じていらっしゃることをお書き下さい**

質問 1 地域に対し、どのような思いを持っていますか

一言でも結構です。

回答欄

質問 2 地域について、他の人に自慢できることはありますか

回答欄

質問 3 地域に住み、何か不便や不満のことは何でしょうか

回答欄

質問 4 地域に住み、便利だと思うことは何でしょうか

回答欄

質問 5 安心して暮らせる地域にするため、できることは何でしょうか

回答欄

質問 6 地域活動が活発な地域にするため、できることは何でしょうか

回答欄

質問 7 下府中の 10 年後、20 年後はどんなまちであったらと考えますか

回答欄

◎ ご回答有難うございました。住所、年齢、性別について該当をまるで囲って下さい。

**7月4日までにご記入下さい。**

回答者 住所（下堀・中里・矢作・鴨宮・南鴨宮・上新田・中新田・下新田・酒匂）

年齢（10 歳代・20、30 歳代・40、50 歳代・60 歳代・70 歳以上） 性別（男・女）

## 下府中地区まちづくり検討委員会

委員長	鈴木 晴夫	(中里2区自治会会長)
副委員長	瀬戸 勇	(鴨宮3区自治会会長)
幹事	浅見 昌宏	(矢作小学校PTA会長)
幹事	伊藤 一彦	(下府中民生委員児童委員協議会副会長)
幹事	唐牛 豊知	(大型店舗(株)ダイナシティ取締役)
幹事	志村 学	(下堀自治会会長)
幹事	早野 格郎	(南鴨宮4区自治会会長)
事務局員	中山恵美子	

## 委員

秋山 和美	(小田原市立矢作幼稚園園長)	羽柴安早子	(鴨宮幼稚園園長)
沖津 芳賢	(小田原市立下府中小学校校長)	長嶋 建次	(小田原市立矢作小学校校長)
仲手川 猛	(小田原市立富士見小学校校長)	遠藤 誠	(小田原市立鴨宮中学校校長)
後藤 治久	(神奈川衛星学園専門学校校長)	瀬戸 美子	(下府中学区連合子ども会会長)
石川 聡之	(矢作学区連合子ども会会長)	小峰 康弘	(富士見学区連合学区子ども会会長)
尾嶋 隆広	(下府中小学校PTA会長)	柏木 英幸	(富士見小学校PTA会長)
高野 修一	(鴨宮中学校PTA会長)	志村 浩	(下堀公民館館長)
原 素行	(中里公民館館長)	星崎 幸雄	(矢作公民館館長)
湯川 菊雄	(新田公民館館長)	石塚 敏朗	(鴨宮公民館館長)
堀井 久栄	(鴨宮5区公民館館長)	田村 幸夫	(白銀公民館館長)
岩瀬 光三	(青少年育成推進委員会会長)	岩城 葉子	(小田原良寛会代表)
宮崎 淳子	(中里文庫連絡先)	辻 久夫	(ボーイスカウト小田原第13団代表)
秋山 洋子	(読み聞かせグループピーターパン代表)	丹巳 津雄	(SKJ.FC代表)
高橋 行雄	(タカハシスポーツクラブ代表)	吉岡 幸	(少林寺拳法小田原東支部代表)
金宮 正雄	(下府中商工連合会会長)	石原 道廣	(環境美化推進委員代表)
遠藤 建二	(自治会交通部代表)	志村 祇人	(下府中財産区議長)
露木登美江	(下府中婦人会会長)	柳川 辰男	(交通安全協会下府中支部)
飯山 武	(加茂神社氏子総代会会長)	加賀 方雄	(神明神社氏子総代会会長)
佐藤 正利	(浅間神社氏子総代会会長)	谷澤 進	(八幡神社氏子総代会会長)
鶴見 秀彦	(老人クラブ連合会会長)	細川 眞良	(保護司代表)
田中 幸子	(遺族会下府中支部支部長)	鈴木 幹二	(民間防犯指導員代表)
高田 佳孝	(少年補導員代表)	尾崎 保司	(小田原市防災リーダー代表)
志村 義則	(消防団第6分団団長)	青木 光雄	(下府中体育振興会会長)
池田ツル子	(下府中保育園園長)	石川 邦雄	(春光保育園園長)
酒匂 守	(下府中社会福祉協議会会長)		
高橋 直美	(市障害者地域作業所「ありんこホーム作業所」代表)		
植田 哲夫	(障がい者団体代表)		
男澤サカエ	(母子寡婦福祉会下府中支部支部長)		
永井 永一	(下府中民生委員児童委員協議会会長)		
伊藤 一彦	(下府中民生委員児童委員協議会副会長)		
細見宏一郎	(下府中民生委員児童委員協議会高齢者部会長)		
秋山 洋子	(下府中民生委員児童委員協議会障害者部会長)		
井ノ口幸子	(主任児童委員代表)	植田 信子	(下府中ボランティア会会長)
大川 雅庸	(下府中サロン企画委員会委員長)	亀山 幸江	(健康おだわら普及員代表)
高砂美代子	(下府中社会福祉協議会広報部委員長)	工藤 澄子	(サポートKAZE代表)
原 拓生	(中里1区-1自治会会長)	高橋 直之	(中里1区-2自治会会長)
村山 行雄	(矢作自治会会長)	小嶋 憲司	(南鴨宮1区自治会会長)
関野 次男	(南鴨宮2区自治会会長)	植田 正	(南鴨宮3区自治会会長)
米澤 政道	(南鴨宮5区自治会会長)	飯山 輝夫	(鴨宮2区自治会会長)
鈴木 章	(鴨宮4区-1自治会会長)	保田 幸雄	(鴨宮4区-2自治会会長)
勝又 国長	(鴨宮5区自治会会長)	古川 毅	(大道自治会会長)

# 地域別計画

## ～ 桜井地区 ～



桜井地区まちづくり検討委員会

## 尊徳の教えが生きているまち

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

### 1 地域の地理状況

市の北部に位置し、地形上は平坦で、西は南足柄市、北は開成町、東は大井町と接しており、開成町では新しい小学校の建設準備が進むなど、近隣の環境が大きく変わろうとしています。

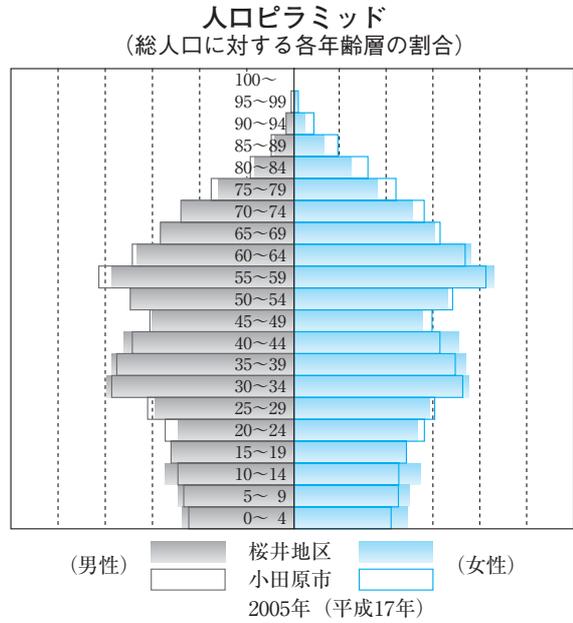
地域の中央には仙了川が、東には酒匂川が流れ、美しい田園風景が今も随所に残っており、また、地域の中央には、小田急線が通り、栢山駅を中心に賑わっています。



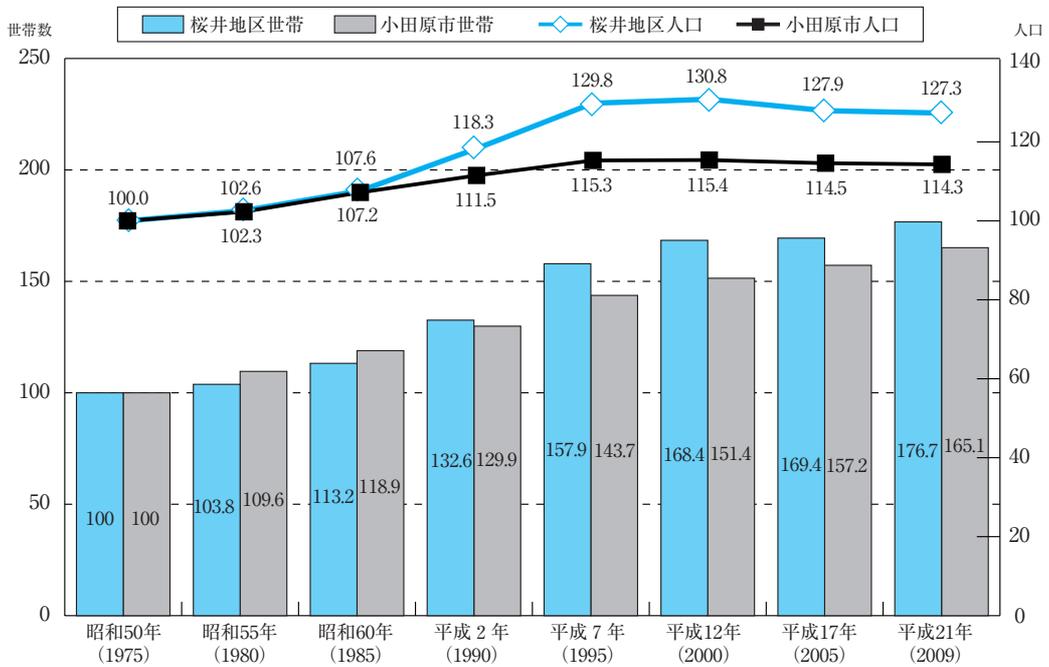
## 2 地域の人口・世帯

1975年（昭和50年）と比較すると、2000年（平成12年）が人口のピークで約1.3倍となっており、以後は微減傾向にあります。一方、世帯数は増え続け、2009年（平成21年）に約1.7倍になり、1世帯あたりの人数が減ってきています。

また、人口ピラミッドを見ると小田原市の平均とほぼ一致していますが、30歳から44歳の層と14歳未満の層は平均を上回っており、若い子育て世代が若干多くなっています。

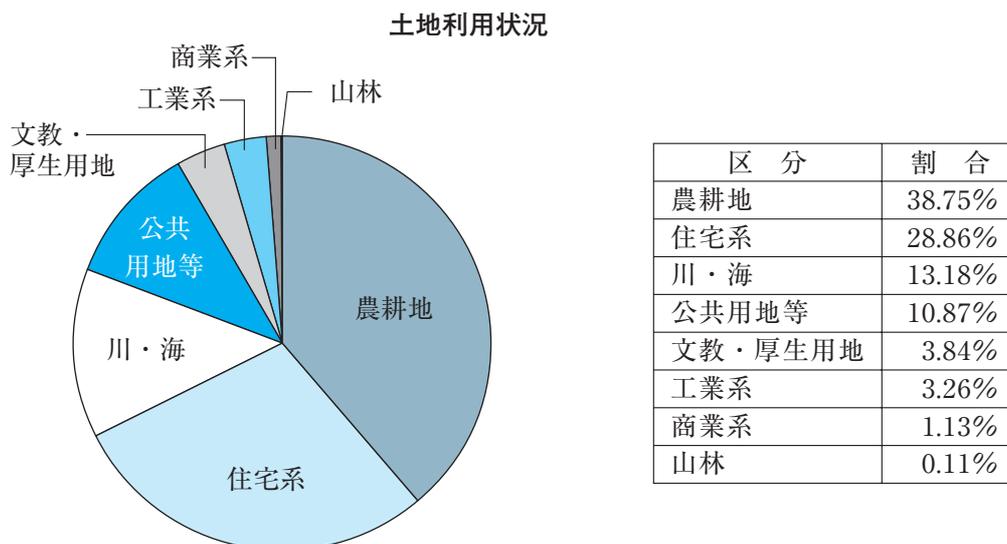


桜井地区と小田原市全域の人口・世帯数の推移



### 3 土地の利用状況

農耕地や河川などの自然環境が約半数を、住宅地が約3割を占めています。湧水に恵まれ、農業が盛んで、住みやすい環境が整った地域です。



### 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

二宮尊徳生誕の地として知られ、生家が復元・保存されています。生家に隣接する尊徳記念館は、尊徳の生涯やその教えを学ぶ展示室のほか、会議室や宿泊室を備え、講座、サークル活動等の場として住民はもとより、地域外の人にも活用されています。また、曾比地区の報徳堀や栢山地区の捨苗・油菜栽培地跡など、今もその功績を見ることができます。地元農家の桜井稲作組合らの指導の下、桜井小学校や報徳小学校の児童が田植えや稲刈りなどの米作り体験を通じて、尊徳の教えを受け継いでいます。

尊徳関連行事も多く、8月には桜井小学校で金次郎桜井まつりが、10月には尊徳記念館で尊徳祭や善栄寺で尊徳先生を偲ぶ集いが催されます。更に校歌や園歌にも尊徳の名が刻まれるなど、様々な場面で住民に親しまれています。

神社を中心とした伝統行事も継承されており、栢山神社で水神祭（7月）、秋祭り



報 徳 堀



小学校米作り体験

(10月)、七五三祝い(11月)が催されるのをはじめ、3月には日枝神社例大祭、8月には西栢山薬師堂での夏祭り、10月には稲荷神社例大祭などが行われ、各神社の初詣にも毎年多くの人々が参加します。

8月の仙了川灯ろう流しは、曾比地区の恒例行事です。仙了川流灯祭保存会を中心に、100人にも及ぶ住民の協力で運営されています。仙了川の清掃や灯籠作りなどの準備は7月から開始され、当日は240そうの灯籠が川面をゆったりと流れて、幽玄な風情を醸し出しています。

4月には東栢山学校前自治会を中心に、仙了川の清掃が行われます。昔は蛍が見られた清流でしたが、最近は汚れが目立ってきました。昔のような姿を取り戻すために、住民が環境美化に取り組んでいます。また、清掃後は、災害に備え、炊き出し訓練もあわせて行い、有事の際に助け合えるよう親睦を深めています。

昔、酒匂川が氾らんした際、住民が挙って復旧工事にあたった歴史から、住民の結束力が比較的強いのもこの地域の特色です。例えば、毎年5月のクリーンさかわには約1,000名の住民が参加します。



栢山神社秋祭り



仙了川清掃



炊き出し訓練

## 地域の困ったこと(課題) ～一人ひとりの気づきから～

近年市街化が進み、地域のつながりが希薄化する傾向にあることから、お互いに助け合うという意識が低下してきています。災害時に要援護者をどう支援していくのか、豊かな自然環境をどう守っていくのか、地域には様々な課題が山積しています。

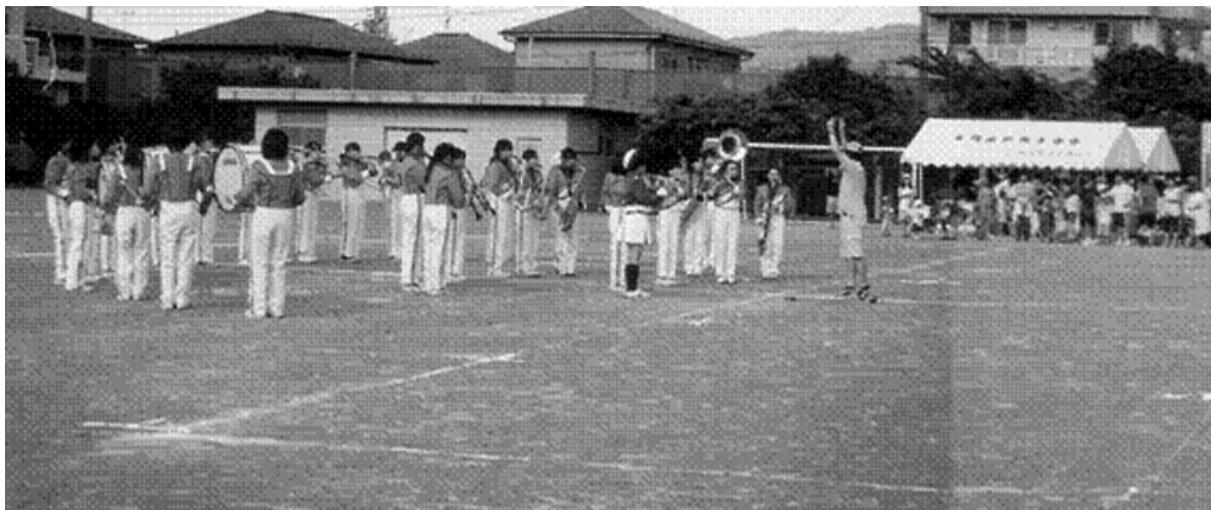
このため、連絡協議会などで各団体間の連携を図るとともに各種イベントを通じて、住民相互の親睦を図っています。また、各団体の活動を通じて、尊徳の教えを見つめ直し、相互扶助の考えを広め、みんなが幸せに暮らせる社会を築いていかなければなりません。誰かがやってくれればよいのではなく、自分達ができることを一步一步着実に積み重ねて、地域の幸せな未来を拓いていきます。

## 1 文化・教育

【めざす姿】

### 地域で尊徳の教えを育てるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>心の豊かさが失われつつあるいま、道徳や郷土愛、コミュニケーションの重要性が高まっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 尊徳の教えを見つめ直し、実現するため、自分の徳を生かして働き、分度をわきまえて生活し、余った分を地域に還元し、まごころを尽くして地域を活性化していくことを実践できる地域にするため、まず一人ひとりの心の育成を何よりも大切にしていきます。</li> <li>・ 学校が地域に溶け込んでおり、様々な活動を通して学校と地域、地域の各種団体間の連携が図られています。こうした盛んな地域活動の中で、尊徳の教えをわかりやすく記述した冊子やカルタ、カレンダーなどを配布して、地域活動やコミュニケーションに生かすよう検討していきます。</li> <li>・ 私たちの命を支える自然の恵みを守り育てていくことは、全ての人が協働し、一体となってはじめて結果ができることを学ぶ場として、休耕地を使った親子で行う米や野菜づくりなどの活動を継続していきます。</li> </ul>



金次郎桜井まつり

## 【めざす姿】

## 体験活動を通して尊徳の心の育成をめざすまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>学校が地域に溶け込んでおり、様々な活動を通して連携が図れています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域には、子どもを大切にする気風があり、土曜クラブや子どもフェスティバル、郷土めぐり、すくすく畑での農業体験など、地域の各種団体が連携し、地域の資産を活かした体験活動を実施しています。こうした体験活動を通じて、尊徳の心の育成を図っていきます。</li> <li>・尊徳に関する活動を実施している団体が連携して活動できるよう、ネットワークを作り、より効果的、効率的に活動ができるよう検討していきます。</li> </ul>
<p>地域には、オーシャンクルーズ経験者や様々な知識、技能を持った人が多くいますが、その人々の経験を地域活動に活かしていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は埋もれてしまっているこうした人々の力を掘り起こしたり、学校と地域の連携を活かして、城北工業高校の生徒が講師やボランティア活動を行う仕組みをつくるなど、各々自分の徳を社会のために役立てることができ場づくりを検討していきます。</li> </ul>
<p>保護者へ子育て情報を提供する活動が盛んに行われていますが、参加者を増やすことが出来ません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成会によるミニ集会やPTA活動、学校保健委員会、成人教育委員会などを通じて、引き続き様々な子育てに関する情報を提供し、地域の教育力の高揚を図っていきます。</li> <li>・参加した人が楽しかった、興味を持てたと言っただけのよう、内容を更に充実させ、参加者を増やすよう工夫していきます。</li> </ul>



金次郎桜井まつり

## 2 健康・福祉

【めざす姿】

### お互いが支え合う仕組みで地域福祉が充実しているまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>自治会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、ボランティア会など、数多くの団体等により、敬老会、一人暮らし高齢者のための食事会やサロン活動、見守り活動などが盛んに行われ、高齢者に対する支援体制が充実しています。</p> <p>しかし、高齢者を支える人も高齢化しており、地域としてどのように高齢者を支え、担い手を確保するのが課題となっています。</p>	<p>・自治会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、ボランティア会などが協力して、高齢者、社会的弱者を支える仕組みを検討していきます。そのために、まずはアンケートの実施などにより課題を抽出することから始めます。</p> <p>・公民館を開放し、近所の高齢者が自然と集まり「お茶飲み」ができるような場づくりを行い、高齢者の健康維持と社会参加の促進、孤独感の解消を図っていきます。</p> <p>・既存の活動団体に所属して活動している人だけでは担い手が不足してしまうので、地域の話し合いの場に新たな人も参加しやすい雰囲気づくりや自治会の組長会議の場で課題の意見交換を行うなどにより、自治会長や組長自らが、積極的に地域活動の普及促進をするような意識づくりを図り、新たな担い手として中学生、高校生等の若い力を増やしていきます。</p>

【めざす姿】

### 地域の支えで障がい者が安心して暮らすことができるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>社会福祉協議会の在宅福祉サービスチームやボランティア会、あしたばの会などの団体を中心に障がい者を支える活動が盛んに行われています。</p> <p>しかし、民生委員は障がい者を含めた見回り活動をしているものの、日常の活動だけでは障がい者の把握が難しくなっています。</p> <p>また、団体に対して障がい者からの支援の求めが減り、支援を要する障がい者が見えにくくなっています。</p>	<p>・これからは、障がい者からの求めで支援を行ったり、民生委員の活動に頼るだけでなく、各自治会の組長が担当地区内の障がい者を把握することで、地域で支え合う意識を高め、障がい者が安心して暮らすことができる体制を整えていきます。また、障がい者自身が出、交流を図ることができる環境づくりのため、障がい者のための食事会の開催や健常者とのふれあい活動の実施を検討していきます。</p> <p>・あしたばの会は、地域の人達が提供してくれるアルミ缶の売却費用が主な活動資金となっています。回覧板などを活用し、アルミ缶の回収量を増やしていくなど、地域で活動を支える意識を更に高めていきます。</p>

## 【めざす姿】

**地域の輪で地域の健康を支えるまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>健民祭だけでなく、健康体操など、健康増進のための地域活動が盛んです。</p> <p>特に、春秋のハイキングは参加者も多く、健康増進のみならず、コミュニティ強化につながっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の輪で地域の健康を支えるため、こうした活動を継続していきます。</li> <li>・地域全体で、子どもだけでなく大人も参加できるラジオ体操の実施や貯筋体操の募集対象者の拡大など、年齢や地区に関係なく、自由に参加できるような健康づくり活動を検討していきます。</li> </ul>

## 【めざす姿】

**子育てのサポートが充実し、安心して子どもを育てることができるまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>主任児童委員を中心とした子育て支援サークルかるがもやびんたっこライブラリーなどの子育て支援活動が盛んです。</p> <p>また、登下校時パトロール、交通安全こども自転車大会、報徳太鼓の指導、こうのとり文庫など、子どもを見守る活動も盛んです。</p> <p>しかし、核家族化などにより、子育てに孤立感や負担感を感じながらも、相談できずに子育てをしている人が増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の活動を継続し、安心して子どもを育てることができる地域をめざしていきます。</li> <li>・生後4箇月までに母子の状況を把握することが、育児ストレス、産後うつ病、育児ノイローゼの予防、虐待防止につながるという報告が厚生労働省からも出されており、子育て経験者等による家庭訪問を実施し、個々の家庭が抱える養育上の諸問題の解決、軽減について検討していきます。</li> </ul>

### 3 防災・防犯

【めざす姿】

#### 隣近所の知り合いが災害時に即対応できるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>災害時には、救援物資の搬入路になり、県外に通じる東名高速道路や国道246号に接続する国道255号が近くを通り、田や畑が多く、用水路が流れているため、災害時に仮設テントを張るスペースや火災、炊き出し時に必要な水が確保しやすい地域です。</p> <p>また、城北分署が地域内に配置されており、地域の安全・安心を支えています。</p> <p>しかし、災害時に自治会・民生委員・防災リーダーなどが、十分に連携して災害時要援護者の支援を行えるか不安です。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・消防団第14分団が実施している春、秋、歳末火災予防運動、自治会連合会が中心となって実施している地区防災訓練、自主防災組織が実施している消火器の取り扱いや初期消火訓練、各地区の防災倉庫の中にある防災器具の点検、使用方法の確認などを継続していくことで、住民の防災に対する意識の向上を図るとともに、災害時に必要となる技能の習得をめざしていきます。</li><li>・個人のプライバシーに配慮しつつ、隣近所の住民のコミュニケーションを強くすることで、災害時要援護者を常に把握し、災害時には隣近所が協力して、助け合える地域にしていきます。</li><li>・災害に対応できるよう自治会で家族構成などを把握しています。災害時に自治会・民生委員・防災リーダーなどを中心に、地域内の災害時要援護者を把握し、どのように連携をとって支援していくか、更に検討を重ねていきます。</li></ul>

【めざす姿】

#### 地域住民参加のパトロールで犯罪を予防するまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>最近、空き巣や自転車盗、車上荒し、引ったくりなどの犯罪が増え、犯罪自体も悪質化しており、生活に不安を感じます。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・青少年育成会が実施している地域パトロールを継続するとともに、一般住民にも呼びかけて、防犯パトロール体制を強化していきます。</li><li>・地域と警察で情報の共有が図れるよう協力体制を見直していきます。</li><li>・自転車や車に防犯パトロールの看板やシールをつけて走り、散歩の際にも防犯パトロールの印が入った腕章や帽子などを身につけてもらうなど、地域全体で防犯意識を高めていきます。看板や腕章などの購入費は、住民や企業などに寄付を募るなど、調達方法を検討していきます。</li><li>・不審者に対する警戒を怠らないよう隣近所の連携を強</li></ul>

	<p>くしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動を推進して地域の連携を強め、不審者が入りづらい地域にしていきます。</li> </ul>
--	--

## 【めざす姿】

**子どもが安全・安心に登下校できるまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>県道怒田開成小田原線は大型車の通行が多く、歩道等の整備がされていないため、歩行者や自転車の通行が危険です。</p> <p>また、通学路を抜け道として通行する車が多く、減速もしないので危険です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通危険箇所を再確認し、周知することで、まずは、住民が運転時に気を付けるよう意識付けをしていきます。</li> <li>・地域と学校が協力して登下校時の見守り活動時の交通安全指導を更に徹底するとともに、見守り活動の人員を増やし、活動を充実していきます。</li> <li>・月2回行っている防犯パトロール時の広報車の出動回数を増やし、交通安全についても啓発していきます。</li> </ul>
<p>平成21年に行われた第40回交通安全こども自転車県大会団体の部で桜井小学校のチームが12連覇を達成するなど、交通安全に関心が高い子どもがいる一方、自転車の二人乗りをはじめ、子どもも大人も自転車の交通マナーの悪い人もいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全こども自転車大会への出場を通じて、交通安全に関心を持ち、自転車の安全な乗り方のリーダーとなって周りの友達の手本となる子どもを育て、交通マナーの向上を図っていきます。</li> <li>・桜井小学校、報徳小学校で行っている交通安全教室に保護者が出席し、保護者自身の交通安全に対する意識を向上していただくとともに、子どもに対する交通安全指導を行っていただき、子どもが安全に、安心して登下校できる環境づくりができるよう検討していきます。</li> <li>・自転車は軽車両で危険な乗り物だという認識を持つとともに、自転車の交通法規や傷害等の補償問題について理解を深めるため、地域で講習会を開き、地域の自転車販売店に自転車保険の加入と交通法規の説明をしていただくよう協力を求めています。</li> </ul>

## 4 生活・環境

【めざす姿】

### まちかどにもみんなの心にも花いっぱいなまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>箱根連山、富士山、丹沢山系の素晴らしい山々が見え、酒匂川の松並木など、景観が良い地域です。</p> <p>報徳桜を守る会が酒匂川堤の桜の消毒や周辺の草刈りを行い、春には大切に育てた桜が咲き誇り、住民の目を楽しませ、心を豊かにしています。</p> <p>こうした素晴らしい自然環境を維持することは大変です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年育成会で実施している花いっぱい運動など、環境を美しくする活動を継続していきます。</li> <li>・ 花いっぱい運動に、100名近い城北中学校の生徒がボランティアで参加しています。こうした活動を通じて、まちを美しくしていくとともに、将来を担う子どもの郷土への愛情を育てていきます。</li> <li>・ 特定の団体のみで環境美化活動を行うのではなく、地域全体でどこに花を植栽したらよいか、どのように管理したらよいか、団体同士が連携を図り、検討していきます。</li> <li>・ みんなで花を植えよう！まちをきれいにしよう！という心を育て、各家庭でも花や植木を植えるように推進していきます。</li> <li>・ 蛍が生息する場所を整備し、昔のように蛍が飛び交う姿を見て、住民が楽しめる環境を作れるよう、資金面も含めて検討していきます。</li> </ul>



菜の花の種まき



報徳桜

## 【めざす姿】

## ごみ出しのルールを守れる地域

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>ごみ集積所に指定袋以外の袋やペットボトル・トレー等を指定日以外に出すなどのルール違反があり、ごみは何日も放置され、子どもの教育上も問題になっています。</p>	<p>・自治会内で環境美化の回覧を行い、意識の向上を図っていきます。</p> <p>・自治会に入っていない世帯には、「ごみと資源の収集カレンダー」の配布や戸別訪問による指導などを行い、ごみの分別や環境美化の意識を高めるとともに、自治会への加入を促進していきます。</p> <p>・常にきれいにしておくことで、ごみを捨てにくい環境にしていきます。</p>

## 【めざす姿】

## 水のきれいなまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地下水が湧き出て、仙了川や用水路など、水が豊富な地域です。</p>	<p>・仙了川沿いにある自治会主催の仙了川清掃や寺下用水路清掃、栢山橋から油菜橋までのごみ拾いなど、様々な清掃活動を継続していくとともに、自治会を中心に地域の各種団体が協力し、きれいな水を守っていきます。</p>



自噴井戸



仙了川流灯祭

## 5 地域振興

【めざす姿】

### 尊徳先生を発信できるまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>尊徳に関するイベントが数多く開催されていますが、分散して実施されているため、宣伝効果が薄く、曾我丘陵の小田原梅まつりのように盛大に出来ていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 尊徳祭をはじめ、尊徳先生を偲ぶ集い、金次郎桜井まつりなどのイベントを別々に行うのではなく、日を揃えたり、主催団体を同一にしたりするなど、イベントに一貫性を持たせ、盛大に行えるように検討するとともに、関係機関へ協力を依頼していきます。</li> <li>・ 桜井以外の下曾我や飯泉など、ゆかりのある地域に、イベントを盛り上げるための協力を依頼していきます。</li> <li>・ 栢山周辺の松並木や尊徳にまつわる遺跡、下曾我や飯泉などのゆかりの地をめぐるようなウォーキングコースや散策マップを作ったり、スタンプラリーを実施したり、ツーデーマーチに尊徳コースを作ることや北條五代祭りの時に尊徳の仮装行列をして出場することが出来ないか関係機関へ要請を行うなど、桜井のみならず、小田原市民、そして全国に、尊徳の名が親しみやすいものになるよう検討していきます。</li> </ul>
<p>農業従事者の高齢化や後継者不足などにより、休耕地が増えてきています。水と緑に恵まれた桜井の土地の活用を図っていかねばなりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報徳の郷いもこじ会による菜の花、コスモス、ひまわりの休耕地への植栽など、住民がいやされる景観づくりの活動を継続していきます。</li> </ul>
<p>尊徳に関する情報を簡単に得ることが出来ますが、情報が氾濫しており、何が重要な情報なのか判断することが難しくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域と行政が協力し、尊徳記念館で様々な情報を網羅、選別し、地域住民がボランティアスタッフとして有効な情報をわかりやすく発信できるように努めていきます。</li> <li>・ 尊徳に関する行事や当時の業績などを記載したカレンダーをつくるなど、誰もが気軽に情報を得ることが出来る方法を検討していきます。</li> <li>・ 栢山駅前に尊徳像を設置するなど、日頃から親しめるような方法を検討していきます。</li> </ul>

## 桜井地区まちづくり検討委員会の検討経過

平成21年 6月26日	地域別計画説明会	
7月 5日	桜井地区自治会連合会の研修会で地域別計画について説明	
7月	自治会回覧にて課題発見カードの提出と委員を募集	
7月31日	第1回委員会	地域の特色について検討
8月28日	第2回委員会	地域の課題について検討
9月25日	第3回委員会	地域の課題について検討
10月30日	第4回委員会	地域の取り組む活動・将来像について検討
11月27日	第5回委員会	地域の取り組む活動・将来像について検討
平成22年 1月29日	第6回委員会	計画書のまとめについて検討

## 検討委員会の様子



表紙写真：二宮尊徳の生家

## 桜井地区まちづくり検討委員会

## 委員長

相川 文雄 (桜井地区自治会連合会・西之庭自治会／健康・福祉分科会)

## 副委員長

奥津 裕 (社会福祉協議会／健康・福祉分科会)

窪田 寛 (学校前自治会／地域振興分科会)

## 事務局員

曾我 常夫 (桜井地区自治会連合会／防災・防犯分科会)

## 委員

## 文化・教育分科会

安藤 誠二 (西栢山自治会)

石黒 智彦 (土曜クラブ)

音淵 洋子 (報徳小学校)

城 啓二 (城北中学校)

瀧本 朝光 (桜井小学校)

長谷川好雄 (保護司)

諸井 暁之 (新屋敷自治会)

山本 伸一 (桜井小学校PTA)

横山けい子 (青少年育成会)

## 健康・福祉分科会

相澤 文子 (あしたばの会)

奥津 美子 (ボランティア会)

小澤 治枝 (民生委員児童委員協議会)

米山 康郎 (社会福祉協議会)

## 防災・防犯分科会

阿達 孝一 (防災リーダー)

小澤 峯雄 (少年補導員)

柏崎 誠一 (道下自治会)

勝俣 正夫 (寺下自治会)

菊池 雅彦 (消防団第14分団)

釵持 政司 (防災リーダー)

高橋 良明 (防災リーダー)

二宮 勉 (道下自治会)

府川 恭憲 (寺下自治会)

米山 治良 (寺下自治会)

## 生活・環境分科会

青木 富雄 (浅原自治会)

岡部 榮治 (環境美化)

小澤 勝 (環境美化)

小澤 芳信 (老人クラブ連合会)

片山 幸男 (河原庭自治会)

北村常三郎 (環境美化)

近藤 明 (環境美化)

西條 博之 (弥生自治会)

二宮 義 (道上自治会)

## 地域振興分科会

大田原文明 (柳町自治会)

釵持 悟 (高河原自治会)

近藤 赳夫 (城北自治会)

杉本 英樹 (曾比公民館)

田原 隆 (中の町自治会)

(敬称略。分科会内でアイウエオ順。)

# 地域別計画

## ～ 豊川地区 ～



豊川地区まちづくり検討委員会

## 豊川の誇り（キャッチフレーズ）

# 友愛のまち 豊川 あいよ あいたす ～相寄り相助け～

（小田原市合併記念号「村を語る」：昭和29年7月1日豊川村発行より）

昭和29年、町村合併促進法に基づき小田原市へ合併した時に発行された「村を語る」の小田原市合併記念号の中で沖津村長が綴った一節に「桑原、成田、飯泉の三部落は友愛を根幹として相寄り相助け、豊川村の発展に協力し…」と記されています。住民が友愛を根幹に育ててきた土壌・風土を守り、円満な地域運営を行ってきたことを表すものです。これからの豊川地区のまちづくりにおいて、あらためてこの言葉をめざすものとし、将来にわたり大事にしていくものです。

## 地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

### 1 豊川とは

豊川は、足柄平野の中央を流れる酒匂川とともに発展してきた地域であり、中流域の左岸から県道及び国道255号を中心に南北に広がり、曾我、上府中、下府中地区と隣接しています。

西に富士山を望み、古くから酒匂川の水を活かした田園を中心とした農村をかたちづくってきました。現在は、田園風景を有する地域と工業団地やいくつかの工場を抱える地域、宅地化が著しく進む地域が混在する比較的穏やかで風光明媚な地域です。

豊かな酒匂川を背景に、酒匂川水系めだかを育む人やほたるの自生を楽しむ人、桜を愛でる人が、自然豊かな生活を楽しんでいます。地域活動としては、自治会や各種団体が連携し、様々な催しを行っています。代表的な行事としては、防災訓練、健民祭、各神社で行う夏祭り、秋祭りなどの伝統行事があります。特に、防災訓練や健民祭は、地域最大の行事として毎年多くの人が参加し、



飯泉観音だるま市

地域の活力を発揮しています。

また、師走に行われる飯泉山勝福寺の飯泉観音だるま市は、家内安全、商売繁盛を願う近隣住民や遠方から来る多数の人々で賑わい、正月を迎えます。これも、地域の交通安全、防犯に関わる人など、地域のボランティア団体が交通整理やパトロールなどを実施し、陰の力となって支えています。

## 2 人口統計

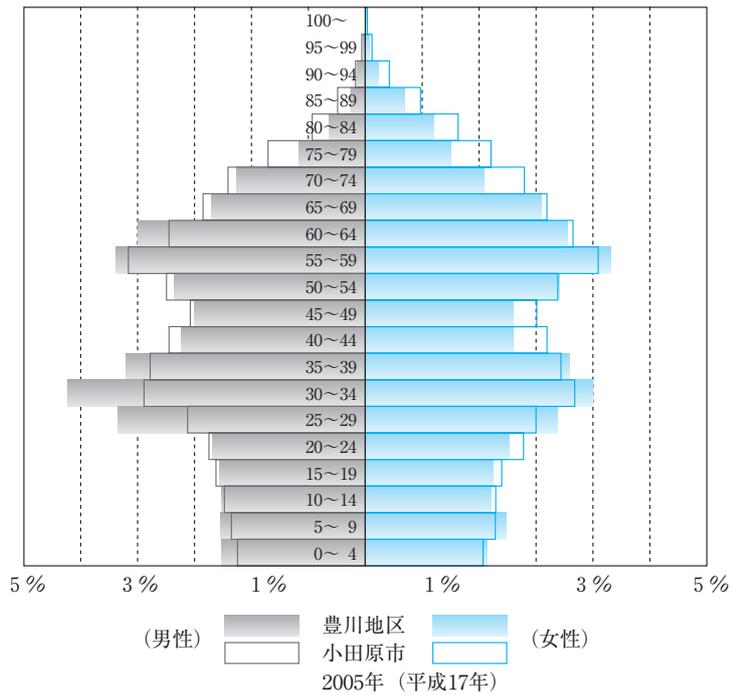
昭和29年（1954年）7月小田原市に編入合併時に2,075人だった人口は、平成17年（2005年）に9,456人と約4.5倍に増加し、住みよい環境が整備され、発展してきていることがわかります。

この20年間の人口統計を見ると、世帯数はやや増加傾向にあるものの、人口は微増傾向であり、核家族化が進んでいることが伺えます。

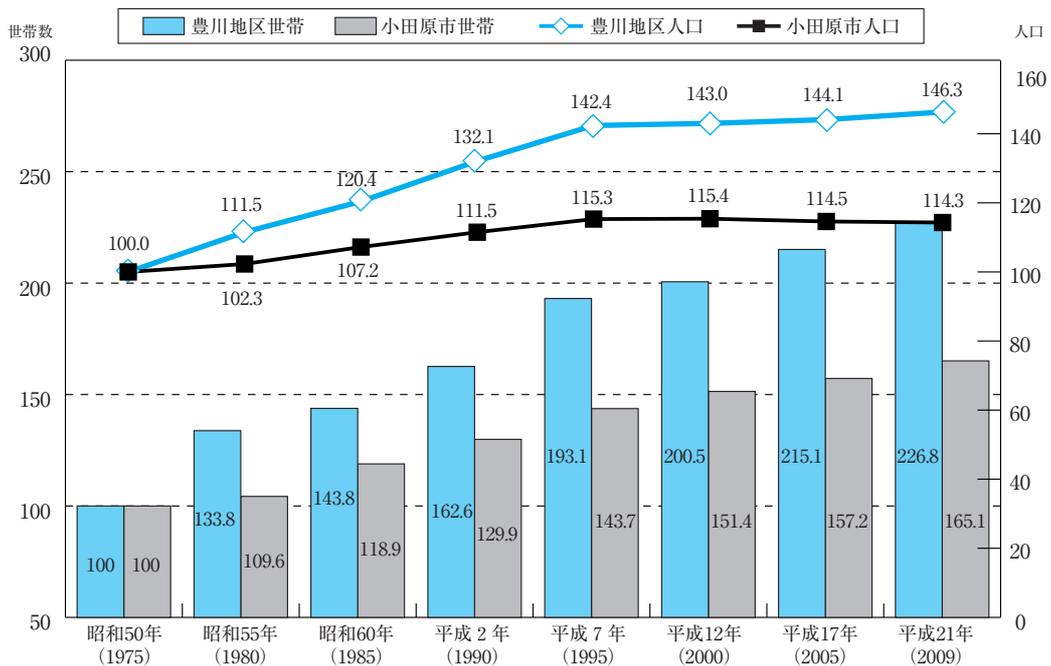
年齢構成を見ると、30歳から35歳を中心とする層が最も多く、小田原市平均よりもバランスの良い年齢構成であると言えます。

敬老対象者は、年々増加する傾向にあるものの、高齢化率は市内では比較的低い状況です。しかし、将来は、高齢化率が著しく高くなると予想されます。

人口ピラミッド  
(総人口に対する各年齢層の割合)



豊川地区と小田原市全域の人口・世帯数の推移



### 3 豊川の町並み

豊川は、自然や静かな生活環境に恵まれ、酒匂川を背景に、桑原、成田、飯泉の三地区で構成されています。各地区の特色は次のとおりです。

#### (1) 桑原地区（桑原、富士見自治会）

桑原地区は、工場や木工団地を抱える一方、農業が盛んな田園やめだかが自生する多くの用水路、堤の桜など、自然あふれる町並みを今も残しています。



花見で有名なふじみの桜



富士道橋から酒匂川下流を望む

#### 桑原（くわはら）の由来

桑の木の葉は、蚕のえさになります。昔、おしらさまのご神体は桑の木で作ったということからも、桑の木も神聖な木とされてきました。桑原は、桑畑があった所であるのと同時に神聖な場所でもあったと言えます。

#### (2) 成田地区（東成田、西成田、成和自治会）

成田地区は、豊川の中央に位置し、豊川小学校や豊川支所をはじめ、複数の大企業が立地し、環状機能を持つ穴部国府津線（富士見大橋）が平成20年度に一部開通したことにより、交通の要所となってきています。

現在も、人口流入が多く、産地直送販売所の建設や宅地などの開発が続いています。



成田地区から工業団地、富士山を望む



子どもたちの学び舎 豊川小学校

### 成田（なるだ）の由来

成田は「田ができた」という意味ではありません。古代語で「なる・なり」は平地を表します。元来、この地が平坦な地であったようです。

### （3）飯泉地区（飯泉1区、2区、3区自治会）

飯泉地区は、豊川のなかで、最も人口・世帯数が多く、近年の宅地開発により、田畑が減少し、市街化の進む地域です。

また、史跡も多く、代表的な建造物として、飯泉山勝福寺があります。坂東三十三観音の五番札所として知られており、多くの人が全国から訪れ、関東地方で一番早く“だるま市”が開かれることでも有名です。



飯泉山 勝福寺山門



田園から住宅街を望む

### 飯泉（いづみ）の由来

飯泉の「いい」はお米のことであり、「ずみ」は「積み」のことで、「いづみ」つまり米倉であったところのようです。

各地区の由来は、村を語る、新編相模国風土記、町名みてある記、わが町の歴史「小田原」を参考。

## 4 豊川の現状と課題

豊川は、豊川の町並みの中で紹介したとおり、自然と景観にあふれた地域です。しかし、現状の暮らしの中で、高齢化に伴う健康福祉の問題、ごみのポイ捨て、酒匂川の堤などへの大型ごみの不法投棄問題、交通事情による交通事故の増加、盗難などの犯罪の顕在化、さらには洪水や地震などの自然災害に対する防災対策の必要性など、課題が山積しています。

これらの現状を踏まえ、地域と行政が一丸となって安心して安全な豊川のまちづくりを目指していく必要があります。

## 1 健康・福祉

【めざす姿】

### 健康で交流とコミュニティのあふれる活気のあるまちに

現状と課題	住民自ら取り組もう
<p>介護予防のための健康体操を実施していますが、指導員を行政に依頼しており、地域での養成が必要です。</p> <p>また、いつまでも健康な体を維持するための元気アップ教室は始めたばかりで、参加希望者が少ない状況です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政に指導員を頼まずに、介護予防のための健康体操を継続して実施できるよう、指導員の養成について、関係団体と話し合いながら養成方法を検討していきます。</li> <li>・働き盛りの年齢層を対象とした元気アップ教室の参加希望者が少ないため、適切な周知方法や臨時託児所の開設など、対象世代が参加しやすい環境整備について、地域で出来ることを検討していきます。</li> </ul>
<p>だるまっ子等の交流とコミュニティの場への参加者が限られ、活気がなくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流を目指した子育て支援事業だるまっ子を実施しています。さらに質の高い内容を企画できるよう、予算を含めた条件を再検討し、充実したふれあいの場に見直していきます。</li> <li>・市子連行事や地域子ども会行事に参加する子どもが年々減少しているため、子ども会入会案内のパンフレットの配布方法等を見直し、会員数、参加者数の増加につなげ、世代間交流や子どもの体験を通じた活動を実施し、地域とのつながりやコミュニティづくりを継続していきます。</li> </ul>
<p>見学研修や広域視察研修などの各種研修会を諸団体が計画、実施していますが、参加者が限られることや近隣施設では各種制約があるため、毎年同じような内容になってしまいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者を増やすためにも、研修会の意義や機会を通じての交流とコミュニティづくりの重要性を広報し、制約事項等について関係部門と調整しながら研修会の充実を目指していきます。</li> </ul>

【めざす姿】

### 寄りそい、支えあい、優しさのあるまちに

現状と課題	住民自ら取り組もう
<p>独居高齢者や敬老対象者など、地域で支えていかなければならない人とのふれあいの</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉じこもりがちな独居高齢者の孤独化防止のため、昼食会や配食サービスによるコミュニケーションの拡大を図り、参加条件の見直しを行います。</li> </ul>

<p>機会が減少しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者などの災害時要援護者と信頼できるコミュニケーションを確立するため、他地域の模範例を紹介し、相互の理解を深めていきます。</li> <li>・敬老対象者の増加と反比例し、敬老会出席者が減少し、ふれあいの機会が減少してきているため、地域一斉行事として存続できるよう参加可能な条件を調査検討する一方、自治会単位開催のメリット、デメリットを整理し、今後の開催のあり方を検討していきます。</li> </ul>
<p>要介護者が増える中、介護保険制度を理解していないため、制度を十分に活用できていない人がいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度の正しい知識を得るため、本人はもとより家族を含めた説明会の実施やパンフレットの配布方法について、行政と協議調整を図るとともに、対象者予備軍世代にも気軽に入手できるような方法を検討していきます。</li> </ul>

## 2 生活・環境

【めざす姿】

### 自然と景観を守るクリーンなまちに

現状と課題	住民自ら取り組もう
<p>指定されたごみの分別を順守しないために違反シールを貼付されたごみ袋や不法投棄、ごみのポイ捨てが見られます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別不足によって行政の手間や経費増も推測されるため、回覧による現状の共有、分別促進やごみ減量化の啓発キャンペーンを地域一斉行事として行うとともに、不法投棄防止対策を実施し、環境や景観を守るクリーンなまちづくりを行うことを検討していきます。</li> </ul>
<p>酒匂川の環境美化や景観保護活動として自治会総連合が主催し、クリーンさかわを実施していますが、雑草が多く、効果が十分に発揮できていません。</p> <p>また、ボランティアが酒匂川左岸堤のごみ回収と草刈りを実施していますが、広範囲のため、絶えず草が生い茂っており、大型ごみや放置自転車が不法投棄されやすい場所となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少数のボランティアでは対応できないため、現在実施しているクリーンさかわや県が実施している草刈り等について、効果的な方法がないか行政側と話し合うとともに、酒匂川の環境保全の向上について、ボランティアへの参加呼びかけを拡大することや地域一斉行事として地域クリーン作戦の実施について検討していきます。</li> </ul>

### 3 防災

【めざす姿】

#### 地域ぐるみで対策を考え、安心して住めるまちに

現状と課題	住民自ら取り組もう
<p>巨大地震への備えが十分とは言えません。また、身の安全を守るのは自分自身であるという地震災害に対する心構えも十分とは言えず、住民の防災への意識が高いとは言えません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震災害については、身の安全を守るのは自分自身であるという心構えを常に持ち、平時から家具の転倒防止、最低3日分程度の飲料水や食料品の備蓄、非常時の家族間の連絡や確認方法等、自らが地震災害に対してできる準備をするように、住民の意識高揚を図っていきます。</li> <li>・阪神淡路大震災では、救助を必要とした人の約8割が家族や隣近所の人に助けられています。災害発生時に被害を小さくするため、日頃から隣近所の良好な人間関係と自治会における共助意識の高揚を図っていきます。</li> </ul>
<p>災害発生時において、広域避難所（豊川小学校）は、家屋が倒壊し、住居を失った人が避難する場所で、広域避難所運営委員会により運営されますが、経験が少ないため、混乱が予測されます。</p> <p>また、避難生活によるストレス対策や高齢者や病人、乳幼児等の弱者対策に考慮が必要となります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域避難所の運営については、実態に即した運営ができるよう、運営委員会の中で対応を検討していきます。</li> <li>・豊川地区自治会が主催する防災訓練に、住民が積極的に参加するよう促していきます。</li> <li>・防災訓練では、自主防災組織の一時避難所の認識や広域避難所での対応、災害弱者の救護対策などを考えた訓練に加え、住民の連携意識の醸成と最低限必要な救急法の習得に努めていきます。</li> <li>・広域避難所に移動するまでの一時的な避難場所として、自治会が定める一時避難所に加え、臨機の対応として自己所有の乗用車の中や自宅近くの安全な場所への避難も念頭に置くよう、回覧等を通じて住民の意識を高めていきます。</li> </ul>
<p>個人情報の保護に対する認識が壁となって、災害時に要援護者となる可能性が高い高齢者の救護のために必要な情報を把握することが難しい状況です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の救護については、民生委員とも連携を密にし、災害時要援護者の把握に努め、平時から家族、隣近所、自治会等で救護対策について検討していきます。</li> </ul>
<p>二級河川である酒匂川を有しており、台風等による災害への対策が求められています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風等による災害については、気象情報の確認のみならず、平時から非常時に対応できるように持出品の整理、強風で飛びそうな箇所への補修、植木鉢等の安全対策を促していきます。また、河川の氾濫等危険な箇所の確認をし、必要に応じ関係機関に対応を要請してい</li> </ul>

	<p>きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最大雨量が100年に1回を想定して作成された「小田原市洪水ハザードマップ」を、水害時の避難対策に活用していきます。</li> </ul>
--	--

## 4 防犯

【めざす姿】

### 犯罪や事件のない、安全なまちに

現状と課題	住民自ら取り組もう
<p>経済情勢の悪化(失業者増、格差拡大等)によって、犯罪リスクが増大しています。特に、振り込め詐欺などの高齢者を狙った犯罪やひったくりなどが急増しています。また、空き巣や車上荒し、痴漢などの犯罪にも対策を必要としています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯対策の取組は、隣近所はもとより、地域間での情報交換を密にし、被害の防止に努めます。</li> <li>・防犯パトロールを継続するとともに、鍵かけの励行やバッグ等は車道と反対側に持つ、自転車の前カゴに防犯ネットを付ける、暗い道や人通りの少ない道では特に警戒が必要であることなど、犯罪を未然に防ぐために自らができる心得を周知していきます。</li> <li>・警察が行っている「巡回連絡カード」は、個人情報保護に対する意識の高まりで、敬遠されがちですが、迷子や高齢者の保護をはじめ、災害、事件等の非常時の家庭への連絡に活用するもので、住民が安全で平穏な生活が送れるよう、このカードの作成に協力していきます。</li> </ul>
<p>青少年の非行が進行しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯パトロールや見回り運動を継続していくとともに、青少年の非行を見つけたら、警察などの関係機関に連絡し、犯罪が起きる前に、その芽を摘んでいきます。</li> </ul>

## 5 交通安全

【めざす姿】

### 交通ルールを守り、事故のないまちに

現状と課題	住民自ら取り組もう
<p>幹線道路である国道255号をはじめ、小田原大井線や穴部国府津線が通り、小田原厚木道路の小田原東インターチェンジもある交通の結節点となっており、交通量が多いため、交通安全を高め、交通事故危険ゾーンへの対策と総合的な交通安全対策に対応する機関が必要となっております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会、交通安全協会、PTA、老人会、交通安全母の会等関係機関とともに、地域の特徴を生かした総合的な交通安全対策の推進を図っていきます。</li> <li>・自治会、交通安全協会、PTA等の協力を得て危険箇所の実態調査を実施し、この結果を回覧等により地域住民に周知徹底を図るとともに、交通事故多発場所に看板を掲出して注意を喚起させ、啓発運動の徹底を図ります。また、子どもの安全を図るため、交通危険箇所において、地域の人が通行を補助する見守り活動の強化を図っていくとともに、交通危険箇所の改善に向けて、関係機関に働きかけを行っていきます。</li> </ul>
<p>事故のない安全なまちづくりに向けた交通安全に対する取組に、豊川にある企業の協力が必要となります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各企業に協力を呼びかけ、掲出する看板、チラシ、広報紙等に「交通安全」の標語を入れてもらい、地域の交通安全の啓発に努めていきます。</li> </ul>
<p>地域内の道路標識、カーブミラー、ガードレール等の一部が汚損し、破損していることがあり、それによる事故の発生が懸念されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内に設置されている道路標識、カーブミラー、ガードレール等の点検を実施し、汚損したり、破損している交通管理、安全施設等を点検整備して視認性確保に努めるよう、引き続き関係機関に働きかけをしていきます。</li> </ul>
<p>飯泉観音のだるま市や初詣は多くの人を訪れ、また、敬老会や健民祭、地域の神社祭典なども、住民が多く参加するため、こうした行事の時には、交通事故が発生する危険性が高まります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭典や各種行事における交通安全を確保するため、引き続き、飯泉観音のだるま市や初詣に伴う参拝客への交通整理や敬老会、健民祭、地域の神社祭典などの地域行事に対する交通整理を行っていきます。</li> </ul>
<p>高齢者の事故が増えていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の交通安全意識の高揚と交通事故防止を図るため、計画的に啓発運動を行っていくとともに、豊川小学校で実施する交通安全教室に、多くの高齢者が参加するよう回覧等で周知を行い、引き続き参加を呼びかけていきます。</li> </ul>

## 6 文化・歴史

【めざす姿】

### 気軽に訪ね、みんなで集える、とよかわ文化・歴史のまちに

現状と課題	住民自ら取り組もう
<p>地域内には、成田上耕地のような古代遺跡もあります。一方では、戦国時代晩期以降の石碑、野仏、道標も数多くあります。しかし、俗信と呼ばれる数軒で支えてきた稲荷講、荒神講、地蔵講、火伏講などが年々衰退し、中には維持管理がなされていない点も見受けられます。</p> <p>桑原、成田、飯泉が単独で村と呼ばれていた時代、さらに小さい集落ごとに道沿いで、誰の土地でもない場所にあったとされている道祖神などの野仏や道標は、戦後の農地開放で、私有地に大半が位置しているという現状にあります。</p> <p>私有地内にある道祖神に代表される野仏は、個人の努力により維持管理がされてきました。そのため、位置が多少ずれたり、面積が少なくなったりするのはいたしかたないことですが、それよりも、永年にわたり維持管理されてこられた個人の努力に感謝と敬意を表する次第です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の文化・歴史遺産、伝統行事等の「維持・管理、保存、継承」に関する問題について、関係者及び地域関係諸団体と連携・協力を得ながら、地域に根づく文化・歴史のまちづくりを再構築していきいます。</li> <li>・文化的・歴史的に重要と思われる地域内の神社、寺院、阿弥陀堂、地蔵堂、塚、野仏、石碑、道標などの由来・所在地・現在の姿を再調査し、「(仮称)とよかわ文化・歴史散策ガイドマップ」づくりを、関係者及び地域関係諸団体、さらには行政の協力を得ながら取り組むよう努めていきます。</li> <li>・住民に対して、「(仮称)とよかわ文化・歴史散策ガイドマップ」の活用を図るため、地域関係諸団体、民間企業及び行政等との連携・協力を得ながら、文化・歴史をめぐる情報提供・広報活動に取り組むよう努めていきます。</li> </ul>
<p>戦前から続く家々の中には、地域から離れる方々もあり、高齢化とともに地域の伝統行事、民俗行事などが衰退しつつあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の各団体が担い手となって実施している夏祭り・納涼祭・盆踊り、神社禮大祭・お神輿、正月どんど焼きなどの年中行事・伝統行事への住民参加をより一層確保すべく、広報・PR活動を積極的に推進するとともに、特に、子どもや高齢者にやさしい魅力ある地域行事の創造を目指して、各自治会・関係団体がさらなる創意・工夫に努めていきます。</li> </ul>

## 7 教育

【めざす姿】

### 地域で支える、守る、育む、とよかわ教育のまちに

現状と課題	住民自ら取り組もう
<p>学校評議員による学校運営支援、地域人材活用による学習支援・体験学習支援、スポーツ活動支援、環境整備支援など多岐にわたり、地域のスクールボランティアが、地域の子どもの教育活動を支えるための活動を日々展開しています。今後は、コミュニティスクールづくりの企画・実践が急務であると考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみで学校の子どもの支援するためにも、学習支援の範囲を広げ、かつ計画的な運営を推進していくとともに、学校・家庭・地域関係者による運営組織づくりを、地域関係団体・学校・行政が一体となって取り組んでいくよう努めていきます。</li> </ul>
<p>とりわけ、自然豊かな豊川地区において、地域の子どもの田植え、稲刈り、餅つき体験や昔の遊び体験などの総合学習分野を支援していただける人材の発掘・登用が肝要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のニーズの把握や講師依頼、広報活動等の任に当たっている地域コーディネーターの存在と役割は、今後ますます重要となります。今後は、地域教育力の活用・活性化を図るための地域コーディネーターの育成はもとより、学校側と地域関係諸団体等との意見交換する機会を設けるよう努めていきます。</li> </ul>
<p>子どもは地域で群がり、遊び、学び・育つという観点から、特にスポーツ等関係団体に所属していない子どもにとっては、公園等での外遊びやスポーツ・運動の機会と場所に制約があり、コミュニケーション能力育成の点からも危惧されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の屋内運動場や運動場の施設開放は進んでいるものの、スポーツ団体に所属している子どもに限定されています。今後は、隣近所の仲良しグループの子どもでも、学校の施設利用が容易に可能となる利用システムの見直しを、学校、家庭、地域が、行政の協力を得ながら取り組むよう努めていきます。</li> </ul>
<p>地域の各種伝統行事等への参加は、小学生は比較的よく参加していますが、中・高生の参加状況については、低迷しているのが現状です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中・高生にとって、魅力ある地域行事の創意と工夫に努めることはもとより、各種行事・活動の企画段階から参加したり、当日の役割を担ったりするなど、子どもと共に練り上げ、創り上げる地域の行事づくりに努めていきます。</li> </ul>

## 豊川地区まちづくり検討委員会の検討経過

平成21年 6月27日	地域別計画説明会及び豊川地区まちづくり検討委員会設立準備会 ・地域別計画について市企画政策課から説明 ・豊川地区まちづくり検討委員会の設立
7月30日	第1回委員会 ・豊川の歴史と文化について ・分科会を進めるための手法と各意見の取りまとめ方 ・豊川地区の現状と各種団体の目的・目標、年間行事・取組事項
9月 4日	第2回委員会 ・年間事業予定表の修正について ・アンケートの実施について
9月13日	健康・福祉分科会 ・各種団体の現状分析
9月23日	文化・歴史・教育分科会 ・アンケートの実施について ・史跡マップづくりについて
10月 1日	第3回委員会 ・アンケートの実施について ・地域の将来像とそれに向けた取組について
10月	自治会回覧及びアンケート実施 ・委員会での検討内容の周知及び地域内の意見聴取 ・豊川小学校及び矢作小学校の児童及び保護者並びに各種団体役員へアンケートを実施
11月 2日	第4回委員会 ・アンケート結果について ・（試案）地域別計画に向けたまとめ
11月16日	分科会長会議 ・（試案）地域別計画に向けたまとめ
11月24日	文化・歴史・教育分科会 ・（試案）地域別計画に向けたまとめ
12月 8日	分科会長会議 ・（試案）地域別計画に向けたまとめ
12月16日	第5回委員会 ・（試案）地域別計画に向けたまとめ
平成22年 1月27日	第6回委員会 ・（素案）地域別計画の承認

表紙：富士見大橋から富士山を望む（下田義雄氏撮影）

## 豊川地区まちづくり検討委員会

### 委員長

山口 澄 (豊川地区自治会連合会 会長・飯泉1区自治会 会長)

### 副委員長

亀井 光雄 (飯泉3区自治会 会長)

栢沼 行雄 (東成田自治会 会長)

### 委員

#### 健康福祉分科会

大村 慎哉 (成和自治会 会長)

細羽 英昭 (富士見自治会 会長)

吉田トシ子 (豊川地区社会福祉協議会 会長)

門松 巖 (民生委員児童委員協議会 会長)

小倉 里美 (豊川学区連合子ども会 会長)

#### 防災・防犯・交通安全分科会

富山 浩明 (飯泉2区自治会 会長)

村山 雅 (西成田自治会 会長)

鈴木 秀雄 (防犯推進協議会 会長)

山室 真理 (交通安全母の会 会長)

吉田 正明 (交通安全協会豊川支部 支部長)

#### 文化・歴史・教育分科会

加藤 俊昭 (桑原自治会 会長)

土田 寛仁 (豊川連合青少年健全育成会 会長)

大川 晋作 (豊川小学校PTA 会長)

津田 博 (豊川体育協会 会長)

### 事務局員

中井 善信

# 地域別計画

## ～ 上府中地区 ～



上府中地区まちづくり検討委員会

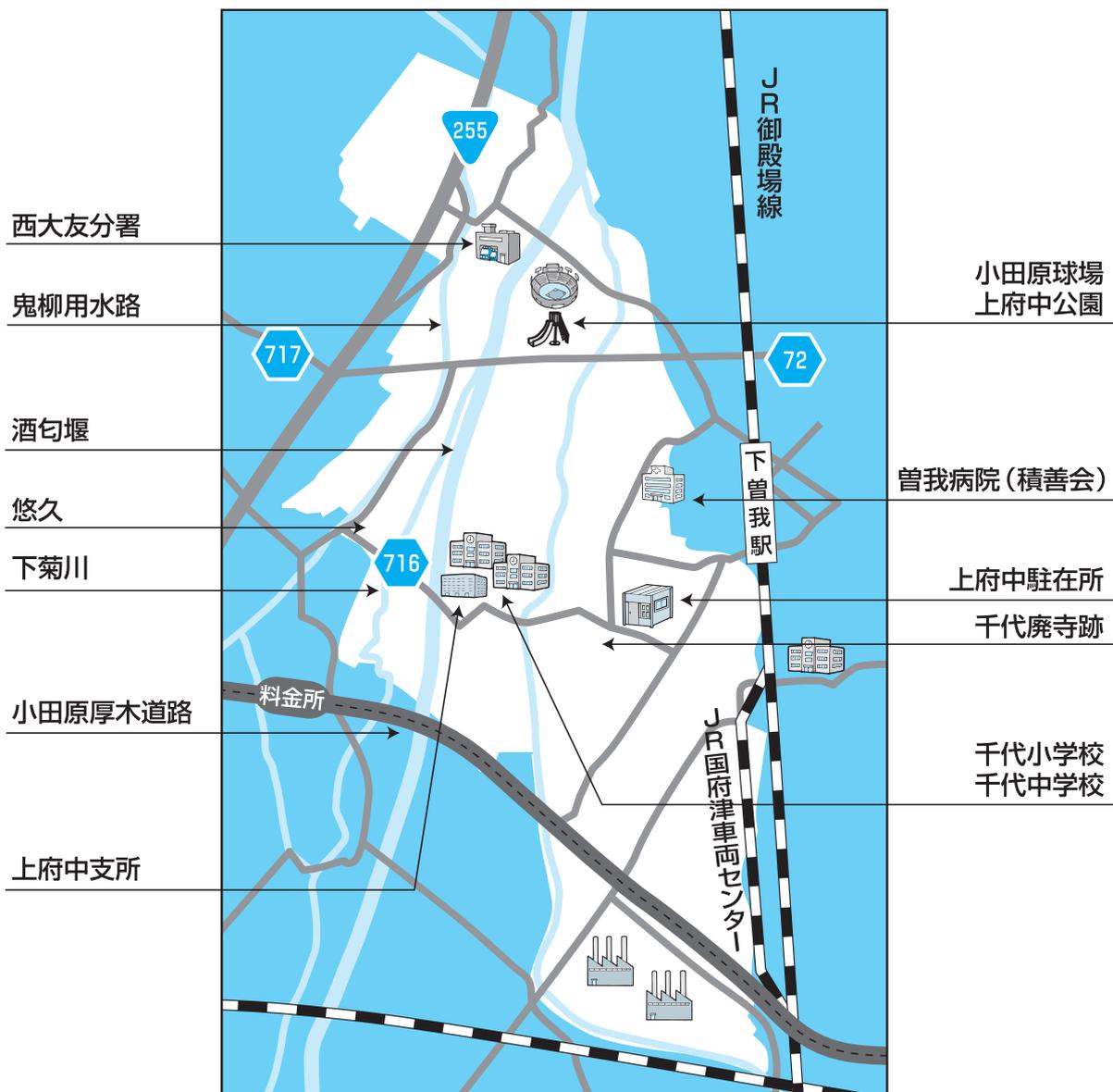
# 上府中 みんなで起こそう 地域の和

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

## 1 地域の地理状況

上府中は、市内の北東部に位置し、東側にはJR御殿場線が、西側には国道255号が、南側には小田原厚木道路が通っています。

地域内には、酒匂堰、鬼柳用水路などが整備され、また、中央には千代台地があり、周りには田園風景が広がり、自然環境に恵まれた地域です。

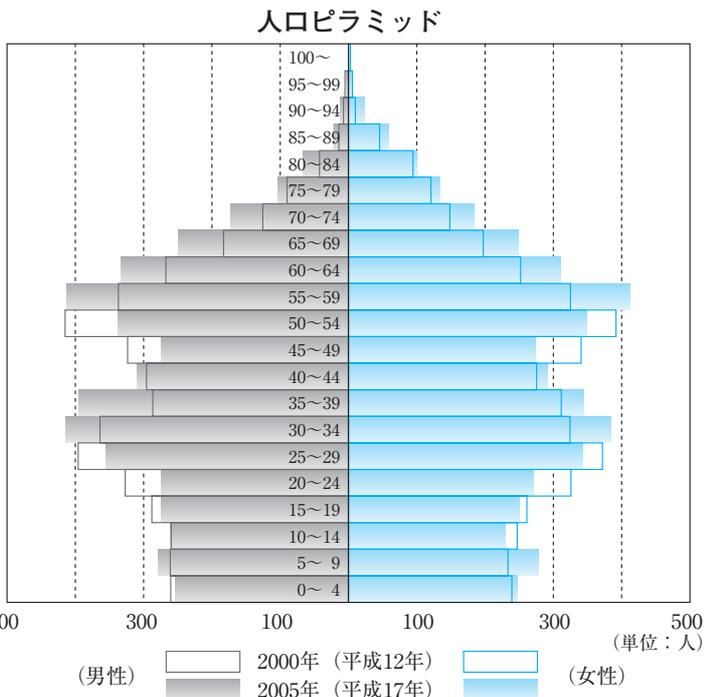


## 2 地域の人口と戸数

古くから村落共同体として営まれてきた集落は、1889年（明治22年）町村制度により東大友村、西大友村、延清村、永塚村、千代村、高田村、別堀村の7か村が合併して現在の上府中となりました。時代の移ろいととも歩み、近年になって急速に発展し、昭和から平成にかけて人口が急増しています。

人口は、1876年（明治9年）から1954年（昭和29年）の78年間では約1.7倍に、1954年から2009年（平成21年）の55年間では約3.6倍に増えています。また、戸数は約1.5倍、約7.6倍に増えていますが、1戸あたりの人数は2009年には逆に半数以下になっています。

他地域と同様、高齢者層が増えていますが、10歳未満の人口が2000年（平成12年）993人から2005年（平成17年）1,061人へ、30歳代の人口が2000年1,293人から2005年1,546人へと、若い子育て世代も増えています。



### 人口と戸数の推移

地区	年	人口 (人)			戸数 (戸)		
		1876 (明治9)	1954 (昭和29)	2009 (平成21)	1876 (明治9)	1954 (昭和29)	2009 (平成21)
東大友		124	122	122	24	22	38
西大友		274	449	580	53	70	183
延清		100	145	533	20	22	179
永塚		258	353	1,175	52	60	425
千代		430	1,004	3,751	82	171	1,241
高田		364	※504	2,440	57	※82	881
別堀		53	※68	961	8	※11	360
計		1,603	2,645	9,562	296	438	3,307
1戸あたりの人数 (人口÷戸数)					5.42人	6.04人	2.89人

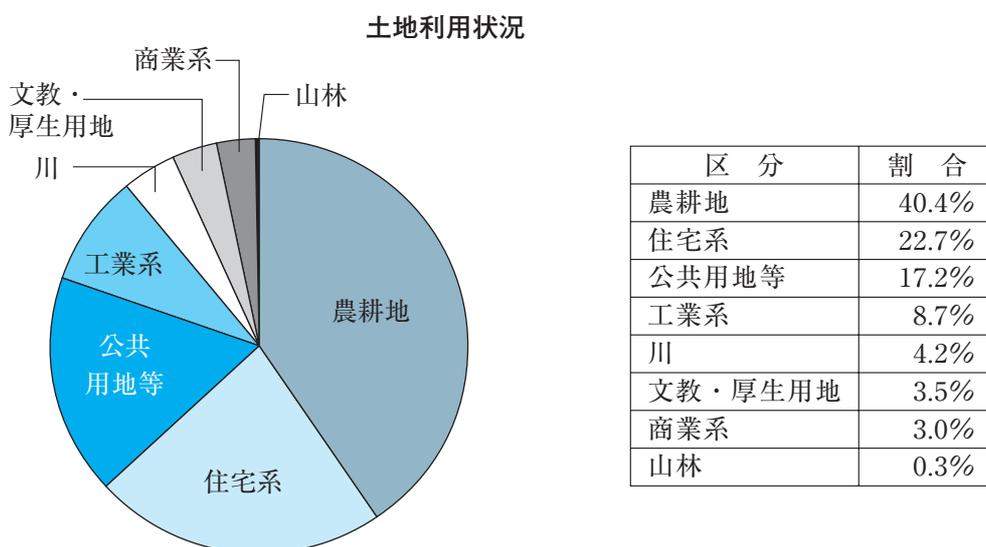
出展は神奈川県皇国地誌残稿、村の歴史、2009年10月市統計月報（※は推定数）

### 3 土地の利用状況

農耕地と住宅系が全体の63.2%、川が4.2%を占め、山林がほとんどなく、河川や水路から豊富な水の恩恵を受けた緑が豊かな地域です。

また、公共用地等と文教・厚生用地が20.7%を占めており、子どもの学び舎である千代小学校をはじめ、地域の安全を守る西大友分署、憩いの場である上府中公園、楽しくプレーや観戦ができるようナイター照明や近代的な設備を整えた小田原球場などがあります。

反面、商業施設などが少ない地域です。



千代小学校と大ケヤキ



住民の安全を守る西大友分署



憩いの風景・上府中公園



スポーツ振興・小田原球場

## 地域の誇り（特色） ～これからも大切にしよう～

広い台地とのどかな田園風景、自然に恵まれた上府中は、古代より、現在の国府津から東大友までは低湿地帯でありましたが、千代台地だけが微高地で早くから拓けていました。奈良時代の天平年間、千代台地に東大寺式伽藍配置の大寺院が創建され、初期の相模国分寺跡と言われ、この時期に古代の土地区画である天平条里制が千代台地から南の沖積段丘（中里方面）の広い範囲にわたり施行されていたという説が唱えられてきました。当時の役所である国府に由来する「府中」という言葉が残っています。



千代廃寺跡

～「身近にある小田原の史跡 川東版」  
編集・発刊小田原市教育委員会 より～

郷土の偉人「大友亀太郎」は西大友の農家に生まれ、25歳のときに北海道に渡り、函館、石狩平野（札幌）の開発の指導にあたり、「大友掘」と言われる用水路を開削し、荒野を開拓しました。

1873年（明治6年）に大友亀太郎等によって矢作村春光院に「九思館」が開校し、小学校教育が始まりました。さらに、1876年（明治9年）に、現在の千代への移転と校舎の建設に尽力しました。その千代小学校は、2003年（平成15年）に130周年を迎えました。

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

人口が増加し、ライフスタイルや地域活動への意識の変化により、近所づきあいも希薄になってきています。また、地域との関わりの少ない子育て世代と高齢者への支援体制が課題となっています。

地域にあるお祭りや祭囃子をはじめ、有形、無形の文化財や遺跡が多くありますが、行事に無関心な人が増えており、担い手不足が問題となっています。さらに指導者不足などの問題もあり、大切にしていきたいものの伝承が危うくなっています。

まだ道路が狭いところが多く、車の交通量も増え、通学路が危険にさらされています。また、交通ルールを守らないマナーの悪い人も多くなっており、交通事故も増えてきていますので、地域の安全体制を整えていかなければなりません。

## 1 文化・教育

【めざす姿】

### ①文化の継承と発展が図れるまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域に継承されているお祭りや祭囃子をはじめ、有形、無形の文化財や遺跡が多く、また、公民館行事として文化祭などが開催されています。</p> <p>しかし、地域の大切な文化が、地域に新たに入ってきた人や若い人に知られていない、祭囃子の指導者が不足しているなど、文化の継承が危うくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りのときに、保存会や自治会が中心となって、太鼓を教える慣習を作るなどして指導者を育成します。そして、敬老会や健民祭、学校の行事などに祭囃子の発表をできる機会を作ることで、太鼓の技術の向上を図り、それとともに祭囃子への関心を高め、後継者の育成を行います。</li> <li>・各公民館で行っている文化祭を継続するとともに、上府中全体で文化祭を行い、お互いに刺激し合うことで、さらに文化活動の活性化を図ります。</li> <li>・地域の遺跡やお寺、水利などをまとめた歴史探訪マップを作成し、地域の文化財に対する理解を深め、次世代に継承していきます。</li> </ul>

【めざす姿】

### ②地域のつながりを広げるまちづくり

困ったこと	できることから始めよう
<p>子どもの人数が増えているにも関わらず、子ども会の加入率が低下しており、子どもと地域との関わりが少なくなってきました。</p> <p>スポーツ少年団と地域とのコミュニケーションが取れず、スポーツ少年団の行事と地域の行事が重なってしまい、子どもが地域の行事に参加できないことがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健民祭をはじめ、スポーツを中心とした活動が地域に根付いています。こうした世代を超えて楽しめる行事を行い、子どもから高齢者まで交流を図り、地域の活性化を進めます。</li> <li>・ハイキング以外の世代間交流イベントを企画し、参加募集を自治会の回覧だけでなく、子ども会の回覧や学校との連携を図り、参加者を増やす工夫や努力をしていきます。</li> <li>・学校公開週間に住民も参加し、子どもとの交流を深めるとともに、地域の行事に子どもが協力してもらえるよう子ども会や学校に協力を求めています。</li> <li>・スポーツ団体と地域との行事予定を情報交換し、相互に理解を深め、連携を図っていきます。</li> </ul>

## 2 生活環境・地域振興

【めざす姿】

### ① 明るく安全な町並みづくり

困ったこと	できることから始めよう
<p>乾燥する時期の火災やいつ起こるかわからない地震、水害に対して不安があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練は、毎年大勢の人が参加し、充実したものとなっているので継続します。</li> <li>・年に1回の防災訓練だけではなく、夏祭りでテントの設置や炊き出し、照明器具の使用など防災訓練の一環として捉え、有事の際に対応できるよう訓練していきます。</li> <li>・火災などの被害を最小限にとどめるため、煙検知器を各家庭に設置するよう呼びかけます。煙検知器の取り付けが難しい家庭には、地域の人々の協力を得て取り付けを行い、コミュニケーションの充実を図っていきます。また、消火器事故の注意を合わせて呼びかけていきます。</li> </ul>
<p>防犯灯が少ない場所や防犯灯の球切れ等による危険な道もあり、住民の安全が守られていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路を中心に防犯灯の設置を検討します。自治会境は関心が少なく忘れられがちになってしまうので、そのような箇所を重点的に点検し、防犯灯の設置を進めるとともに、設置済みの防犯灯に球切れがないか点検します。</li> <li>・暗く危険なところを子どもや住民に周知していきます。</li> <li>・住宅街ではなく、電柱がない地域に防犯灯を設置するのはコスト上難しいので、防犯パトロールなどを実施し、犯罪を予防します。</li> <li>・各家庭の玄関先の電灯をつけておくよう呼びかけます。</li> <li>・隣近所のコミュニケーションを強くし、不審者が近づけないような地域にしていきます。</li> </ul>

**【めざす姿】**

**②安全で安心な元気なまちづくり**

困ったこと	できることから始めよう
<p>歩道がなかったり、道が狭かったり、道路の整備状況が悪く、子どもの通学時の安全が確保されていません。</p> <p>また、横断歩道で車が停止しない、子どもが飛び出すなど交通マナーが悪くなっており、交通事故が増えてきています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東大友地区、西大友地区などで行われている、自主的なボランティアによる子どもの登校時の見守り活動を、他地区にも広げていけるよう呼びかけ、子どもが安全で安心して元気に育つよう地域で支えていきます。</li> <li>・ 登下校の見守り活動が実施しやすくなるよう、腕章やスタッフジャンパーなどの支援を検討します。</li> <li>・ 見守り活動に合わせ、あいさつ運動も兼ねることで地域のコミュニケーションを図り、地域のつながりを強くしていきます。</li> <li>・ 高齢者が見守り活動に参加することで、高齢者と子どもの交流を図るとともに、外に出ることで高齢者の健康を維持する効果も得られます。</li> <li>・ 危険箇所や標識・カーブミラーが曲がっているところがないかなど、通学路安全点検を実施するにあたっては、地域が一丸となり、自治会、子ども会、PTA、交通安全母の会、交通安全協会も連携して点検の充実を図ります。事故発生場所に注意喚起の看板を設置し、標識の見直しを関係機関と協議するなど危険箇所を取り除いていきます。</li> <li>・ 年度初めに関係機関が協力して、新一年生に対し、交通マナーを教える交通安全教室を実施し、交通事故による犠牲を減らします。</li> </ul>

**【めざす姿】**

**③ごみのないまちづくり**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>田畑が多く、河川がきれいで、自然環境に恵まれており、住宅も密集感がなく、住環境が良い地域です。</p> <p>しかし、川や道路、農地などへのごみのポイ捨てやごみ置き場のルールを守らないマナーの悪い人が増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地区で行われている清掃活動や環境パトロールを行うことで、まちをきれいにし、ごみを捨てにくい環境づくりを行い、良好な住環境を守っていきます。</li> <li>・ 環境パトロールが実施しやすくなるよう、腕章やスタッフジャンパーなどの支援を検討します。</li> <li>・ 上府中地域のごみの分別結果を回覧し、個人の意識向上を図るとともに、一人ひとりがごみの減量について考えるように促します。</li> </ul>

- ・小学生に対し、環境美化の標語を募集することで小さい頃から環境に対する意識を高めていきます。

## 【めざす姿】

## ④人の気持ちを奮い立たせるまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域の祭りやスポーツを通じた行事などが盛んで、住民同士の交流が図られています。</p> <p>しかし、ライフスタイルの変化や地域活動への意識の変化により、行事を主催する団体役員になりたがらない人が増え、担い手不足が大きな課題となっています。</p> <p>また、行事への参加者が固定化するなど行事に無関心な人が増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の色々な行事を通じて住民の交流を図っていきます。</li> <li>・より多くの人に参加していただけるようPRしていきます。</li> <li>・イベントは、中学生や小学生の高学年にお願いするようにし、子ども主体、主導で、責任感ややりがいを感じることができるようにすることで、参加意欲を高め、参加者を増やしていきます。</li> <li>・団体の役員も、一人に責任や負担が集中しないよう会長の下に副会長を複数置き、ライフサイクルにあわせてた行事への参加ができるよう配慮するなど、役員を受けやすくする体制を作っていきます。</li> <li>・新たな事業を行うときには、何かを廃止するなど合理化し、負担の軽減を検討するなど、地域活動を持続可能なものにしていきます。</li> <li>・より多くの方が地域活動へ参加しやすいような仕組みづくりを行い、担い手を増やしていきます。</li> <li>・地域によっては、新たに住民となった人を全体行事の機会に紹介することで、地域に溶け込んでいただくなど、地域のつながりを強いものにするよう工夫していきます。</li> <li>・あいさつ運動や地区公民館を有効活用した活動により、住民同士のコミュニケーションを図り、気軽に声をかけ合い、助け合えるまちづくりを進め、地域活動の活性化を図ります。</li> </ul>

### 3 健康・福祉

【めざす姿】

#### ①世代間交流で生きがいくりができるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>健民祭や敬老会をはじめ、地域のお祭りなど世代間交流が盛んに行われ、また、高齢者の昼食会や障がい者の昼食会などを通じて高齢者や障がい者との交流を行っています。</p> <p>しかし、子どもの参加が少ない行事もあり、世代間の交流が図れていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・健民祭や敬老会などの行事を通じて、子どもからお年寄りまでの交流を増やし、高齢者や障がい者などを支える礎を作っていきます。</li><li>・健民祭では高齢者が参加できる種目を増やし、地域にある史跡や文化財を巡り、上府中の歴史を次世代に伝え、交流を深めることが出来るような世代間交流を検討します。また、世代間交流へ親子で参加できるように、様々なルートから参加を促していくなど、多くの人に地域の行事に参加していただけるように工夫します。</li><li>・世代間交流などを通じて体を動かすことで、高齢者の介護予防の効果も期待されます。</li><li>・上府中全体で交流する活動を増やすだけでなく、各自治会や組単位で交流を重ね、地域で支え合える環境を作っていきます。</li></ul>

【めざす姿】

#### ②健康づくり活動が盛んなまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>体育協会の活動をはじめ、任意のグラウンドゴルフなど数多くの健康づくり活動が行われています。</p> <p>しかし、地域にどのようなサークル活動等が行われているか知られていない面もあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・体育協会の活動をはじめ、任意のグラウンドゴルフの活動などを継続します。</li><li>・地域でどのような活動が行われているかを広報することで、参加者を増やししながら、地域の輪を広げていきます。</li><li>・健康おだわら普及員では、健康づくり活動に新たにフラダンスを取り入れるなど、多くの人に参加していただけるよう今後も工夫を重ねていきます。</li><li>・健康おだわら普及員と老人会や自治会などが連携し、地域の高齢者に密着した活動、例えば地区公民館で筋力体操やおだわら百彩、ラジオ体操の実施なども検討していきます。</li><li>・栄養教室や食育指導、健康相談、健康おだわら普及員</li></ul>

からのお知らせなどを継続し、身近な健康について気軽に相談できる体制を作っていきます。

### 【めざす姿】

## ③高齢者、生活弱者とのふれあいまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>市内でも数少ない地区でしか実施していない障がい者昼食会、高齢者の一人暮らしの昼食会があります。また、各地域で行われる食事会は喜ばれています。</p> <p>そして、老人介護施設が多くあります。(ルビーホーム・リバーイースト・悠久など)</p> <p>しかし、要支援の人に対する支援活動が少なく、地域ごとの一人暮らしの支援体制が課題となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会では、寝たきりの会員に対し、友愛訪問を年数回行い、米寿のお祝いを市老連、上府中老連、単位クラブで実施して行くことを続けていきます。</li> <li>・民生委員が、高齢者の一人暮らしや寝たきりの人へふれあい訪問し、交流を図るとともに、安否確認を行っています。新たな取り組みとして、いざというときに安心できるよう、防災袋の中身の期限切れを確認しています。</li> <li>・高齢者の一人暮らしの人や障がい者に何が必要なのか、アンケートなどで把握し、孤独にならないよう支えていき、隣近所で声を掛け合えるような地域にしています。</li> </ul>

### 【めざす姿】

## ④子育てが楽しいまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>核家族化が進み、育児世代が親に子育ての相談をすることができず、悩んでしまうケースが増えています。</p> <p>また、社協だよりを通じて子育て支援事業を広報していますが、相談する場所があるということがあまり知られていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援スタッフが子育て支援デーを開催し、子どもの遊ばせ方の指導や子どもの健康状態の確認を行うとともに、保護者同士が情報交換できる場の提供を継続していきます。</li> <li>・地域で、気軽に子育ての悩みを相談できる人がいることや子育て支援デーの活動を多くの人に、広く知っていただくため、広報の方法を工夫してきます。</li> </ul>

## 上府中地区まちづくり検討委員会

## 委員長

市川 輝雄 (上府中地区自治会連合会・延清自治会)

## 副委員長

杉崎 一博 (上府中地区自治会連合会・高田別堀南自治会)

## 委員

磯崎 衛	(高田別堀西自治会)	市川 直	(高田別堀東自治会)
杉山 満	(上千代自治会)	富田 昌治	(上原自治会)
吉野 輝夫	(下千代自治会)	故 秦 瑛	(永塚自治会・社会福祉協議会)
小林 信一	(東大友自治会)	興津 昭彦	(西大友自治会)
松嶋 克夫	(民生委員児童委員)	伊東たか子	(民生委員児童委員)
長谷川トキ子	(民生委員児童委員)	石井 律子	(主任児童委員)
大澤江美子	(子育て支援スタッフ)	秋澤 泰治	(青少年育成協議会)
石井 孝光	(青少年補導員)	牧野 秀司	(千代小学校PTA)
関田 智彦	(千代中学校PTA)	山崎 敏博	(上府中連合こども会)
杉山 直子	(日赤奉仕団)	鍵和田美知代	(健康おだわら普及員)
加藤 義和	(体育協会)	相良 陽子	(体育協会)
近藤 幸男	(民間防犯指導員)	丸田 佳枝	(交通安全母の会)
平野 義朋	(老人クラブ連合会)	関田 雅代	(ボランティアクラブ)
牧野 敏子	(婦人会)	古宮 忠一	(遺族会)
浦山 順平	(第19分団)		

## 事務局員

宇佐美美知子 (永塚)

熊澤 理代 (高田別堀東)

# 地域別計画

～ 下曾我地区 ～



下曾我地区まちづくり検討委員会

## 梅かほる歴史の郷 下曽我

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

### 1 地域の位置と地勢

下曽我は、小田原市の北東部に位置し、面積は約3.1km<sup>2</sup>の地域です。北部は中井町との行政境を有し、市域では、北部は曾我に、西部は上府中、南部は国府津に、東部は橘北に接しています。

地区の北東部には曾我丘陵の丘陵地帯となっています。また、丘陵地の裾野に沿って、県道72号（松田国府津線）とJR御殿場線が並行して通っています。

曾我丘陵には里山が連なり、平野部には豊かな田園地帯と、JR御殿場線の下曽我駅を中心に古くからの商店街をもつ、自然環境と住環境に恵まれた地域です。ここから望む富士山の眺めは素晴らしく、また、曾我山の丘陵地帯に登れば、富士山から、遠く伊豆半島や江ノ島まで180度の大パノラマを楽しむことができます。2月初旬から下旬までの頃には、約3万5千本の梅が一斉に咲き、梅の花と富士山との景色が溶け合い、多くの人で賑わいます。



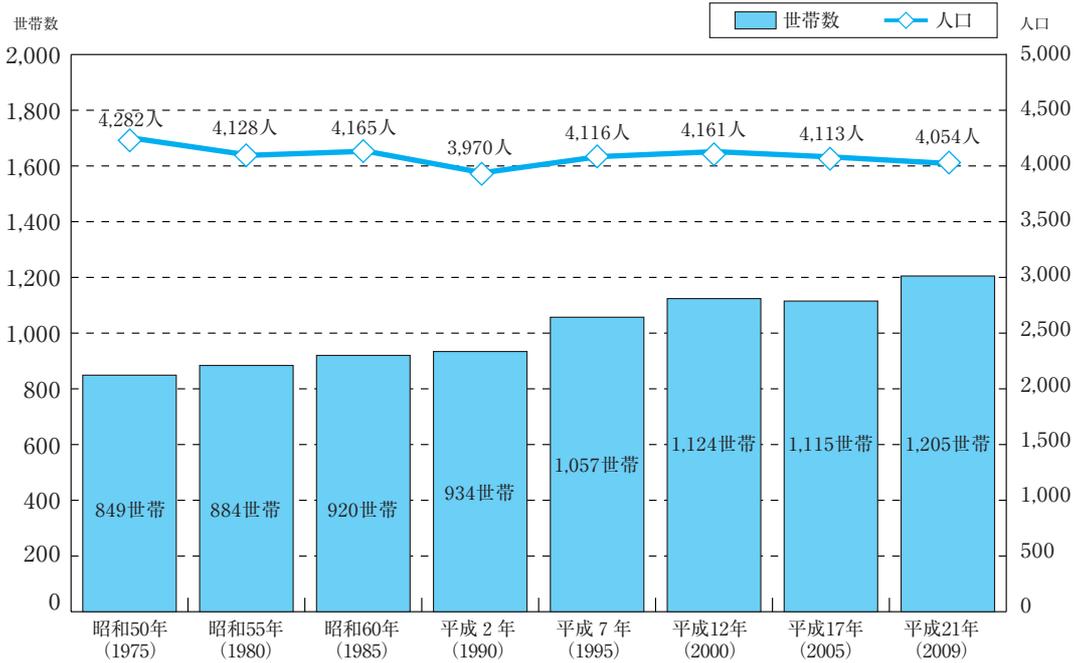
曾我の寿獅子舞



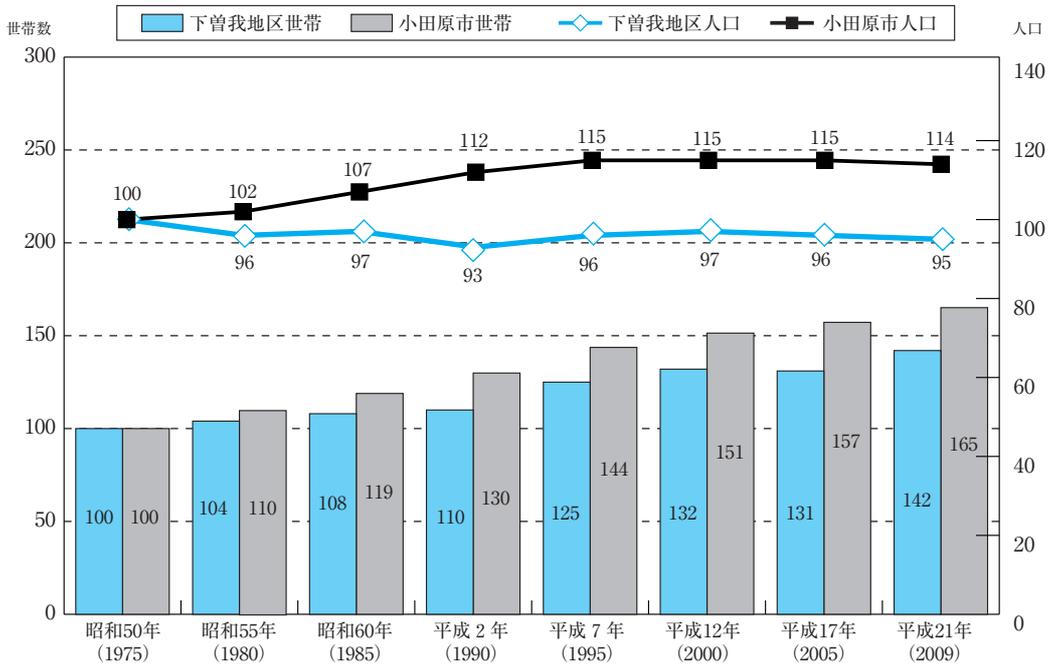
## 2 地域の人口・世帯

昭和50（1975）年と比較すると、微減はしているものの、平成21（2009）年まで、ほぼ横ばいです。また、市全体と同様に下曽我地区の世帯数が増加しています。

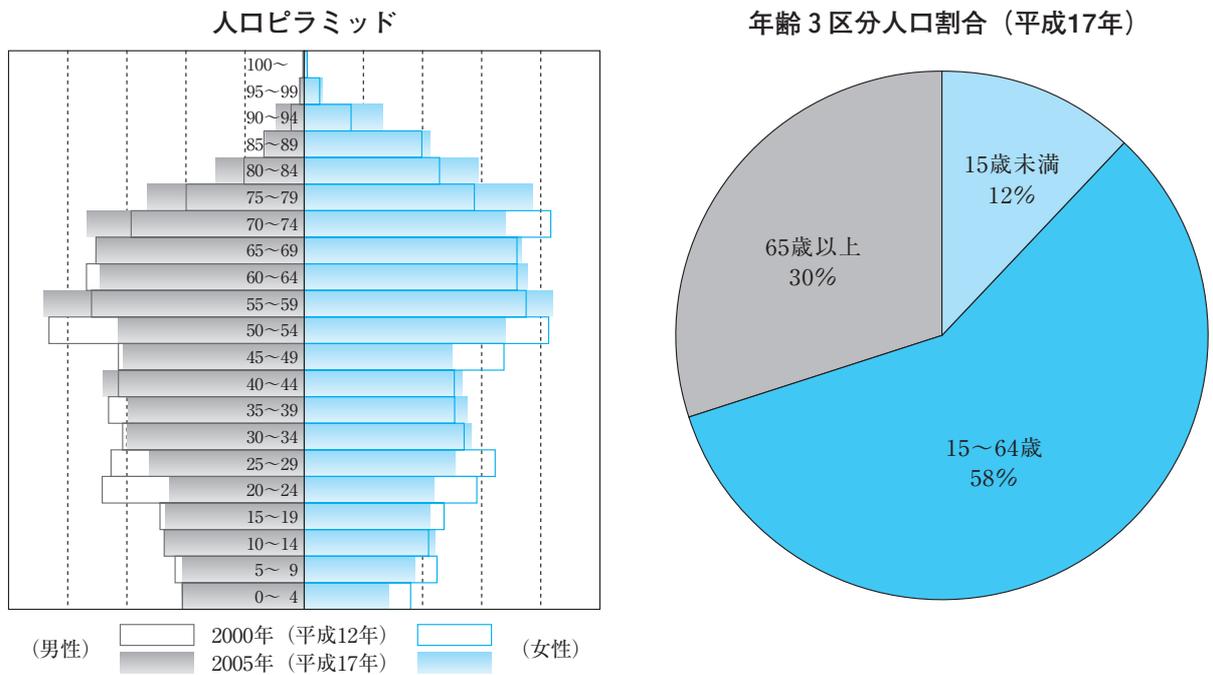
下曽我地区の5年間の人口の推移



下曽我地区と小田原市全域との人口・世帯数の比較

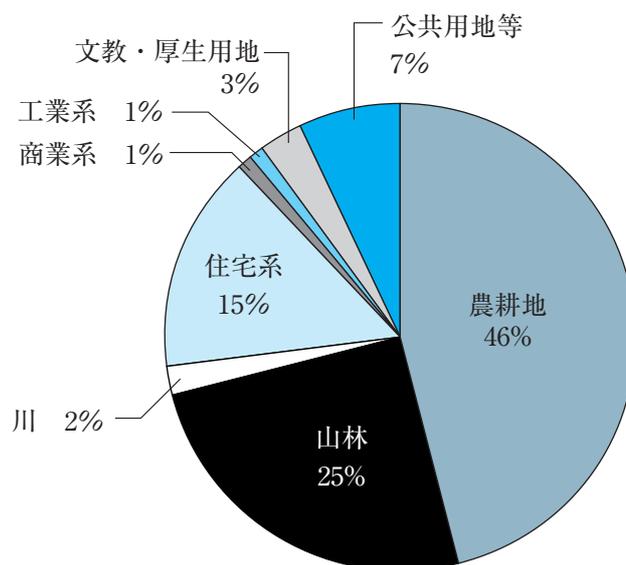


平成12・17年度の下曾我地区の人口ピラミッドと年齢3区分人口割合



### 3 土地の利用状況

農耕地が地区の約半分近くを占めており、梅やみかん、米などの農業が盛んなこと伺えます。続いて、曾我山を控え山林が多くなっていることと、下曾我駅を中心に住宅系が3番目となっています。



地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

下曾我は、曾我山の南西斜面と剣沢や殿沢川の小扇状地にあり、近代ではミカンや梅の名産地として発展をしてきました。また、吾妻鏡や曾我物語にもその地名が記載されているなど、長い歴史を持つ地域です。

また、下曾我は、昔から住民同士の連帯感が強く、お互いに助け合う関係が今も続いています。

地域活動



社会福祉協議会

下曾我の地域活動の中心的な役割を担う団体として、各団体の代表者で構成されています。社会福祉協議会があります。月1回の会議が行われているほか、敬老会などの行事も主催しています。

敬老会の様子



曾我の梅まつり

曾我の梅林、35,000本の梅の花が咲く時期、2月頃に曾我別所、曾我原のほか、中河原（曾我地区）を会場に、梅まつりが開催されます。期間中は、寿獅子舞や流鏝馬などが行われ、多くの人で賑わいます。



健民祭

地域の大きな行事として健民祭が開催されています。玉入れや綱引き、樽転がしなどの競技のほか、各地区の消防団対抗の消防リレーが行われていることが、この地域の大きな特色となっています。



曾我の傘焼き祭り

日本三大仇討ちの一つ、曾我物語の曾我十郎・五郎兄弟が父の仇を討つ際に、傘を燃やして松明にしたという故事にちなみ、十郎・五郎

に扮した幼児が全国から奉納された古傘に火をつけて燃やし、兄弟の霊を慰めます。



祭り囃子

宗我神社例大祭のときは、山車の上で、子どもたちが祭り囃子を演奏します。祭りの前になると、そのために日夜練習に励んでいます。



宗我神社例大祭

宗我神社は、旧曾我郷6箇村の総鎮守で、例祭は9月に行われています。この祭りには神輿が1基と山車が5基出され、それぞれの地区内を巡ってから神社に勢揃いし、その後、祭り囃子と高砂の舞を奉納して猿田彦尊を先頭に下曾我駅まで下っていきます。

神輿や山車を飾っている彫り物があり、とても細かく彫られています。



寿獅子舞

曾我には古くから獅子舞があり、「曾我の獅子舞」として知られていました。現存している獅子頭は江戸時代中期のものであるといわれています。一時中断していましたが、戦後「ヒョットコ踊り」と「馬鹿ばやし」が取り入れられ、新調して復活しました。



どんど焼き

下曾我地区は、自治会ごとに、どんど焼きが行われ、大人や子どもが集います。曾我岸のどんど焼きの飾りは、今はめずらしいですが、昔は下曾我の各地で行われていました。



下曾我応援団ばらむ

地域の課題解決を目的として、平成16年に設立した「ばらむ」は、40～50代を中心に活動をしています。毎年侵入竹林の伐採や下曾我思い出カレンダーの作成など、地域の課題解決と発展に向けた活動に取り組んでいます。

歴史遺産等



1 鎧の滝と弓張の滝

剣沢の奥深い谷間に、鎧の滝（上段）と弓張の滝（下段）の2段になった滝があります。江戸時代には旧暦の3月3日に、農具などの市が開かれたこともあり、戦前は、このあたりの竹が酒匂のものさしの原料として出荷されたとの話も残っています。



2 六本松峠の二碑

曾我山の峠道で、六本の古松があった。鎌倉時代には、曾我氏、中村氏、松田氏、川村氏の各豪族の居館と鎌倉を結んでおり、足柄道、鎌倉道、大山道、箱根道が交わる重要な峠で現在は芭蕉の句碑と狐山人筆の六本松碑があります。



3 宗我神社

旧曾我六箇村の総鎮守で、宗我都比古命を祀っています。北条時代から小田原城鬼門擁護の社とされてきました。毎年9月下旬に祭礼が行われて、古くは小八幡の海岸まで神輿の浜降りをしていたといわれています。



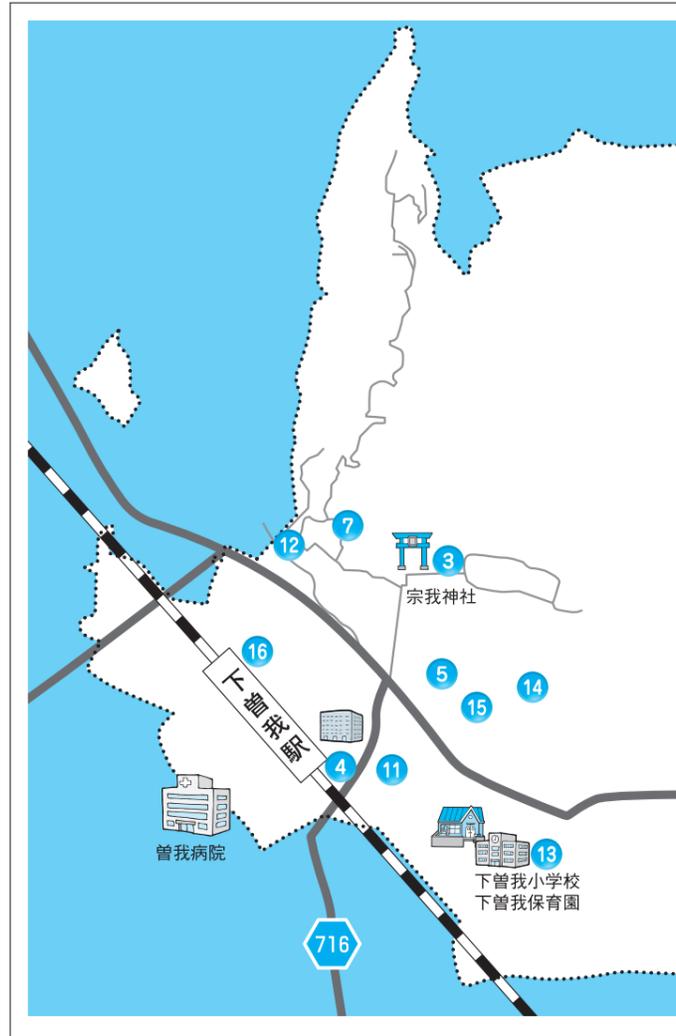
4 梅の里センター

梅を生かした農業振興と地域の活性化を図るため、平成4年に地域の中核施設として建設しました。現在は支所も設置されています。



猿田彦彦

「猿田彦彦」は、古事記や日本書紀の天孫降臨の段に登場する神であり、宗我神社例大祭において、神輿や屋台を導いて、下曾我駅までおどりていきます。通常は、鼻が高くなっていますが、ここの猿田彦彦は、鼻が低くなっているのが特徴です。



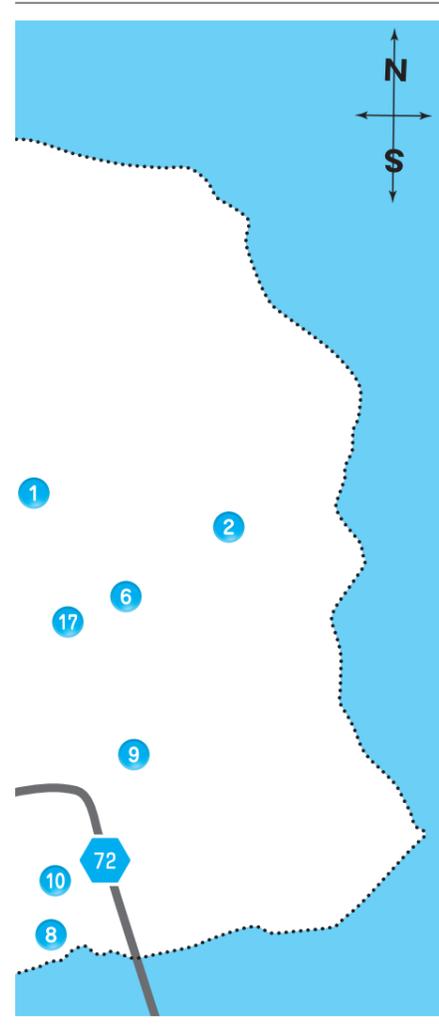
5 城前寺

曾我氏ゆかりのお寺です。お寺には、曾我兄弟らの古い位牌と木像を安置しています。また、兄弟ゆかりの品々が伝わっています。昭和33年から毎年5月28日には、境内で、兄弟討ち入りの松明に因んだ「傘焼き祭り」が、保存行事として行われています。



6 曾我祐信宝篋印塔

地域では「祐信さんの供養塔」と呼ばれています。塔の総高さは、2.2mで、鎌倉時代の関東における基本的な様式を備えた屈指の大宝篋印塔として、市の重要文化財に指定されています。



7 物見塚古墳

塚の高さ1.65m、直径61.20mの古墳があります。この塚は、古墳時代後期の円墳で石室の側壁や天井石は消失していますが、玄室部分には小さな河原石が敷き詰められ、金環などが出土しています。



8 下曾我駅

下曾我駅は、現JR御殿場線の駅です。この駅は、大正11年5月15日に開業しました。駅をおりると、近くに曾我梅林が広がり、毎年、2月中には「梅まつり」が開催されて、多くの観光客が訪れます。曾我の里散策コースもあり、近年美しい風景と史跡を巡るウォーカーで賑わっています。



9 雄山荘

雄山荘は、太宰治の小説「斜陽」の舞台となったところで、その小説には、建物の様子だけでなく、周辺の環境も記されています。建物自体は、焼失してしまいました。



10 澄禅窟

澄禅という僧が、36、7歳頃に曾我一帯を巡って修行していました。この僧は、岩窟にこもって座禅することが多かったと言われていています。この澄禅窟は横穴式古墳と考えられています。



11 天津神社

明治に「十二天社」から改称され、社には十二天を描いた厨子があります。



12 八幡社

曾我別所内の下久保・防田地区の氏神で、梅まつりの別所会場に位置しています。



13 高砂

和服・紋付袴姿の老夫婦が箆と熊手をもって微笑んでいます。祭礼のときに披露されます。子が授かるとされ、着物の貸出があります。



14 二宮尊徳遺髪塚

尊徳の母の実家があり、その家の次男が尊徳に仕え遺髪を持ち帰りました。



15 曾我梅林

曾我別所、曾我原、中河原梅林の総称で、毎年2月には35,000本の梅の花が咲き、富士と箱根の山を背景に非常に美しい風景が広がります。寿獅子舞や流鏝馬なども行われます。



16 ふれあいの郷

かつての下曾我支所で、現在は地域コミュニティ施設として使用されています。



17 曾我岸の石地藏尊

曾我岸村には地藏堂があり、その本尊は石地藏であったと記されていました。現在は公民館として建て替えられ、諸仏が館内に安置されています。



18 下曾我小学校

大正14年に下曾我尋常小学校として独立しました。現在は地域の小学校として親しまれています。

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

神縄・国府津－松田断層帯に位置するほか、曾我山の急斜面の崩壊、土石流に対する備えに不安がある中で、消防団員の地域外勤務による昼間時の発災への対応や防災マニュアルの周知などが課題となっています。

少子化・小家族化で、自治会活動が難しくなっています。また、地域コミュニティの原点でもあるお祭りや盆踊りなどの伝統文化行事への参加者が年々減少しつつあります。さらに、商業の後継者不足で、商店が減少し、高齢者が住み難くなっています。

そして、農業の後継者不足などで、耕作放棄地が増えて竹林が侵食し、下曾我の豊かな自然が破壊しつつあります。

また、若い世代の人たちが転出し、高齢者が高齢者を介護する必要があるなど、高齢化が急速に進行してきています。

## 重点的な取組とその実施方法

下曾我地区において、重点的に取り組む活動とその実施方法についてまとめております。それぞれの内容は、はじめの一步にも掲載されています。

表 題	できることから始めよう	協力団体
地域防災力の強化について	消防団員と分団長経験者が軸となって、消防団の退団者を集めた組織づくりを行い、昼間時などにおける地域防災力を高めていきます。	消防団、各自治会防災部、防災リーダー
歳の市の活性化について	歳の市を活性化するため、地域の商工業者等が出店することを促していきます。	下曾我商工振興会
下曾我のしおりづくりについて	子どもにもわかるような、歴史、文化の名所・旧跡のガイドマップ的なものを含めた「下曾我のしおり」を作成していきます。	社会福祉協議会、下曾我小学校
侵入竹林の伐採について	地域の人たちにPRをするなどにより、竹林増殖から地域の自然を守るという意識を高めることで、たけのこ堀や竹林の伐採を地域の多くの人たちが参加する行事にしていきます。	各自治会、下曾我応援団 ぷらむ
地域行事の参加の減少について	老人会と下曾我応援団ぷらむが連携し、高齢者に昔の映画を鑑賞していただく場を提供し、高齢者同士のふれあいの機会を増やしていきます。	老人会、下曾我応援団 ぷらむ

はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～ できることから始めよう ～

◆…特色 >…課題 \*…取り組むこと

## I 安全なまちづくり

【めざす姿】

### 助け合う心が身を守る

#### 1 地域防災力の強化

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 神縄・国府津－松田断層帯に位置し、大地震に対する備えや、曾我山の急斜面の崩壊、土石流に対する備えがなされているのかが不安となっています。</li> <li>➢ 気象状況による災害の発生が心配されます。</li> <li>➢ 消防団員にサラリーマンが多く、昼間時の発災に対応ができません。</li> <li>➢ 防災訓練の参加者が決まっており、多くの参加者を増やす必要があります。特に若い人たちの参加が増えません。</li> <li>➢ 防災マニュアルを作成しましたが、地域への周知が図られていません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 下曾我の防災訓練や消防団の消防訓練、水防演習の参加などにより、地域の防災力を高めています。こうした活動を継続するとともに、災害時には、まず自分の身を守り、家族の安全を確認してから、隣近所で声かけが大切です。平時から隣近所との絆を強めていくとともに、声かけを行うことについて防災訓練の場で確認していきます。</li> <li>* 消防団員と分団長経験者が軸となって、消防団の退団者を集めた組織づくりを行い、昼間時などにおける地域防災力を高めていきます。</li> </ul>

#### 2 犯罪を防ぐ情報共有

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 凶悪犯罪が近隣地域で発生し、不審者を見かけることがあるなど、報道にあるような事件や犯罪などを予防するために、地域として対策が求められています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 不審者を見かけ、犯罪が発生したときは、行政からの連絡を受け、自治会を中心に直ちに回覧を回すだけでなく、近隣の住民に声かけをし、情報共有を図ります。</li> </ul>

## II 曾我の里づくり

【めざす姿】

### 曾我の里の風土を多くの人とともに伝えていく

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆下曾我は、地区社会福祉協議会を中心に、各種団体の横の連携もしっかりしており、情報共有や課題解決に協力して取り組んでいます。</li> <li>◆宗我神社や曾我兄弟討ち入りの引き幕、5台の山車などをはじめとする歴史的資産が数多く残されています。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 少子化・小家族化で自治会活動が難しくなっています。また、自治会などをはじめとした各種団体の役員の担い手が少なく、高齢化と顔ぶれの固定化が顕著になっています。</li> <li>➢ 曾我の傘焼き祭りは、祝祭日に限りなく命日に開催するので、参加者が増えません。</li> <li>➢ 盆踊りやお祭りをはじめ、歳の市やどんど焼きなど、地域コミュニティの原点ともなる伝統文化活動への参加者が減るなど、盛り上がりにかけています。特に若い人の参加が少なくなっています。</li> <li>➢ 少子高齢化で、小学校の運動会や健民祭で行うことができる競技が限られ、また参加者を集めることに苦労しています。</li> <li>➢ 地域外で働く人が増えて、子どもに向ける大人の目が少なくなっています。</li> <li>➢ 地域における青少年育成の必要性が高まっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 今後も地区社会福祉協議会が中心的な役割を担って、地域活動を行っていきます。</li> <li>* 少子高齢化の時代の中で、より多くの人の意見や参加を得ながら、新たな課題を解決し、良いものを残していく地域活動を行うことで、よりよい下曾我を創っていくために、当該協議会以外のメンバーや年代別で選出されたリーダーによる組織体が企画を行うなど、持続可能な地域運営の仕組みを検討していきます。</li> <li>* 傘焼き祭りや各神社の祭典などをはじめとした祭典、伝統芸能、夏祭りなどを行いながら、千年以上の歴史に育まれてきた、曾我の里の風土を多くの人とともに大切にし、守り伝えていきます。</li> <li>* 盆踊りだけでなく、それ以外のイベントの企画や地区別のブースを設けるなど、夏祭りのようなものとして、住民にとって魅力のある内容を検討し、参加者を増やしていきます。</li> <li>* 歳の市を活性化するため、地域の商工業者等が出店することを促していきます。</li> <li>* 子どもが主体的に動くイベントの開催を検討していきます。その場合は、新規チームを結成し、4～5年に1回で開催していきます。まずは、形式にはこだわらず、小さな輪から始めていきます。</li> <li>* 子どもにもわかるような、歴史、文化の名所・旧跡のガイドマップ的なものを含めた「下曾我のしおり」を作成し、地域</li> </ul>

<p>➤子ども同士で遊んだり、子どもが外で遊び、自然に親しむ環境がなくなってきました。</p>	<p>の学校、保育園、幼稚園に配布することで、次代を担う子どもたちにも、下曾我の良さを伝えていきます。</p> <p>*休耕地を利用して、子どもと一緒に植樹や植栽などを行ったり、昔の遊びの場をつくり、遊びの中から人間関係を学んでいくとともに、自然に接する機会をつくりまします。</p>
---	--

**【めざす姿】**

**下曾我が誇る、豊かな自然、史跡、祭りなどの地域資源を活かして、都市住民とのふれあいや交流のあるまちづくり**

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆宗我神社祭りをはじめ、獅子舞、梅祭り、傘焼き祭りなどの各種祭典や盆踊り大会が盛んで、地域のコミュニティづくりの一翼を担っています。</li> <li>◆地域のつながりが強く、様々な地域行事が開催されています。</li> <li>◆自然豊かで、里山もあり、四季を通じて風光明媚な地域です。</li> <li>◆梅をはじめとして、みかん、キウイフルーツなど、様々な種類の果実が栽培されています。</li> <li>◆下曾我に住む若手の人たちが、下曾我応援団ぷらむという団体を組織し、郷土愛を育み、地域の課題解決をするために、地域に根ざした活動をしています。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>➤竹林の増殖で、下曾我の豊かな自然が荒らされ、剣沢などの地域の人々にも親しまれてきた景勝地が荒廃してきています。下曾我応援団ぷらむでは、こうした</p>	<p>できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*下曾我の人たちに親しまれてきた地域の自然を守るため、下曾我応援団ぷらむでは、引き続き竹林の伐採活動を続けていきます。</li> <li>*地域の人たちにPRをするなどにより、竹林増殖から地域の自然を守るという意識を高めることで、たけのこ掘りや竹林の伐採を地域の多くの人たちが参加する行事にしていきます。</li> <li>*高齢化社会において、下曾我が存続していくため、商店街の活性化は必要となります。住民と協力し、高齢者のための配達の仕事みや商店街マップの作成、アンケートによるニーズの確認、農業とタイアップをした地産地消の推進などの取組を検討し、地域に根ざした商店街としての活性化を図っていきます。</li> <li>*神社や仏閣をはじめ、自然豊かな景勝地など、下曾我の四季折々の地域資源を活かしたまちづくりをしていきます。</li> <li>*ハイキングなどを行う人が増えているので、観光客へのおもてなしの心を醸成す</li> </ul>

<p>地域の自然を再生するために、竹林伐採の活動を行っていますが、参加者を増やしていくことが課題となっています。</p> <p>➤商業の後継者不足で、商店が減少し、高齢者が住み難くなっています。</p> <p>➤豊かな歴史資産をどのようにPRして、地域の活性化につなげていくことができるのが課題です。</p> <p>➤農業の担い手の高齢化と後継者不足により、耕作放棄地が増えています。</p> <p>➤山林等に不法投棄が絶えません。</p>	<p>るだけでなく、不法投棄をし難い環境づくり心がけるため、樹園地や農道への草刈やごみの回収などの清掃活動を継続して、住民にとっても住みよいまちにしていきます。</p> <p>*生産梅林としては、有数の本数を持ち、雄大な富士を見ながら、梅の花を観賞することができる素晴らしい景観を支える下曾我の農業を守るため、市とともに十郎梅のブランド化に取り組んでいきます。また、定年退職した人も農業に携わりたくなるような魅力ある農業をしていきます。</p>
--	--

### Ⅲ 下曾我ケアタウンづくり

【めざす姿】

#### ふれあう人の輪、元気な下曾我

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b></p> <p>◆下曾我では、高齢者のために敬老行事や高齢者介護者の慰問、日用品の配布、ふれあい昼食会、独居老人への配食サービスなど、地区社会福祉協議会の団体の人を中心にきめ細やかな活動を行っています。</p> <p>◆曾我神戸地区では、老人会が主催となって、誕生日を迎えた高齢者を対象として、3箇月ごとにお誕生会を実施しています。</p> <p>◆体育協会の活動では、下曾我健民祭をはじめ、老人クラブの歩け歩け運動やペタンク大会、バドミントン大会など、各年齢層を対象にした健康のための行事が開催されています。</p>	<p>*これからも増える高齢者同士のふれあいや高齢者を地域で支えていくため、地区社会福祉協議会の在宅福祉サービスチームや各種団体のみならず、行政との連携を強化しながら、こうした活動を続けていきます。</p> <p>*3箇月ごとに行われているお誕生会は、高齢者に活力を与え、高齢者同士のふれあいのために大切なものであるため、他地区へ広げていくことを検討します。</p> <p>*老人会と下曾我応援団ぷらむが連携し、高齢者に昔の映画を鑑賞していただく場を提供し、高齢者同士のふれあいの機会を増やしていきます。</p> <p>*高齢者の健康増進のため、料理教室や栄養教室、手芸教室をはじめ、高齢者の健康管理と支援活動を行っています。今後</p>



た、介護が必要な人の情報を共有していきます。

### 下曽我のセピア色の写真

～下曽我思い出カレンダーより～

昭和20年頃の県道72号線



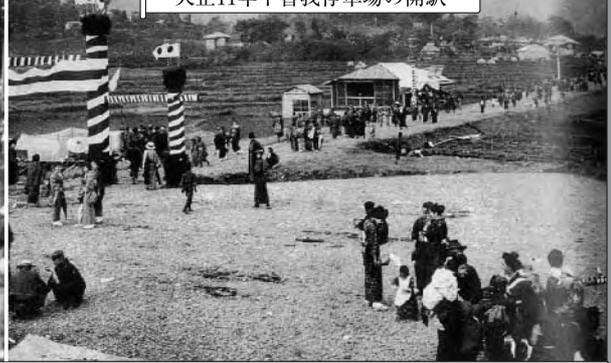
昭和20年代初期の台風一過の曾我光海



昭和30年頃の傘焼まつり



大正11年下曽我停車場の開駅



## 資料

## 検討経過

下曽我地区に係る地域別計画の策定は、下曽我地区社会福祉協議会の構成員を中心に、曾我梅まつり実行委員会、下曽我土地改良区、曾我兄弟遺跡保存会、崇敬会、下曽我応援団ぷらむなどの地域活動団体を加えて、下曽我地区まちづくり検討委員会を設置し検討を進めました。

会議の進め方は、まず、検討委員会の委員それぞれに課題や特色などを提出してもらうとともに、その内容をもとに、防災・防犯分科会、健康・福祉分科会、文化・教育分科会、環境・地域振興分科会の4つの分科会に分かれて、現在取り組んでいる活動と照らし合わせながら、自らが取り組む活動を考えてまいりました。検討の方法は、付箋と模造紙を利用するKJ法によって進めました。

最終的には、2月に行われました検討委員会場で承認を受け素案を完成いたしました。その後、地域内回覧により周知を図っています。

この計画の特徴は、取り組む活動の中で重点的な取組みを前段で掲載しているところです。

月	会議数	内 容
7月	準備会	地域別計画説明会（各種団体代表者会議）
8月	準備会及び第1回	地域まちづくり検討委員会、分科会の設置、事務局の紹介等
9月	第2回	分科会長の選任、分科会ごとの地域の特色及び課題、取り組む活動の検討
10月	第3回	分科会ごとの地域の特色及び課題、取り組む活動の検討
11月	第4回	分科会ごとの地域の特色及び課題、取り組む活動の検討
12月	第5回	めざす姿と取り組む活動の精査、各分科会の検討内容の発表
1月	第6回	事務局員を中心に地域別計画の編纂
		地域別計画及び地域からの意見書、地域のキャッチフレーズの検討
2月	第7回	事務局員を中心に地域別計画の編纂
		地域別計画及び地域からの意見書の承認
3月		（素案）地域別計画の地域内での回覧

※ 5月～12月は平成21年で、1月～3月は平成22年です。





## 下曾我地区まちづくり検討委員会

### 委員長

神保 忠司（下曾我自治会連合会長）

### 副委員長

穂坂 松次（消防団第20分団長／防災・防犯分科会リーダー）

小澤 淳一（曾我別所自治会長／文化・教育分科会リーダー）

湯川 誠一（下曾我自治会連合会副会長／環境・地域振興分科会リーダー）

曾我 義市（曾我原自治会長／健康・福祉分科会リーダー）

### 委員

<p><b>【防災・防犯分科会】</b></p> <p>曾我 英雄（青少年健全育成協議会）            長谷川悦子（民生委員児童委員）            浅海 弘子（同）            渡辺 一造（曾我神戸自治会長）            柳川 昌弘（曾我山岸自治会長）            田中 誠（防災リーダー）</p>	<p><b>【環境・地域振興分科会】</b></p> <p>深澤 英二（下曾我商工振興会）            穂坂 英雄（曾我梅まつり実行委員会）            鈴木 節子（婦人会連合会）            田中 幸子（婦人会連合会）            穂坂 廣武（下曾我土地改良区）            穂坂 欽也（民生委員児童委員）            川久保和美（下曾我応援団ぷらむ）</p>
<p><b>【文化・教育分科会】</b></p> <p>市川 直恵（子育て支援スタッフ）            佐宗 盈（崇敬会）            関野 弘行（曾我兄弟遺跡保存会）            佐宗 昌子（主任児童委員）            小泉由利子（同）            曾我 和之（下曾我小学校PTA）            神保 義明（連合子ども会）</p>	<p><b>【健康・福祉分科会】</b></p> <p>石川 治男（老人会連合会）            内山 健治（体育協会）            柏木 桂（ボランティア会）            内野千恵子（健康おだわら普及員）            竹下 啓子（民生委員児童委員）            岩崎トミ子（同）            向山 暁美（日赤奉仕団下曾我分団）</p>

### 事務局

椎野 良（下曾我応援団ぷらむ）

川久保 聡（同）

尾崎 哲郎（同）

穂坂 達夫（同）

# 地域別計画

## ～ 国府津地区 ～



国府津地区まちづくり検討委員会

# 人と海と山の織りなす小田原の東玄関 国府津

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

## 1 地域の地理状況

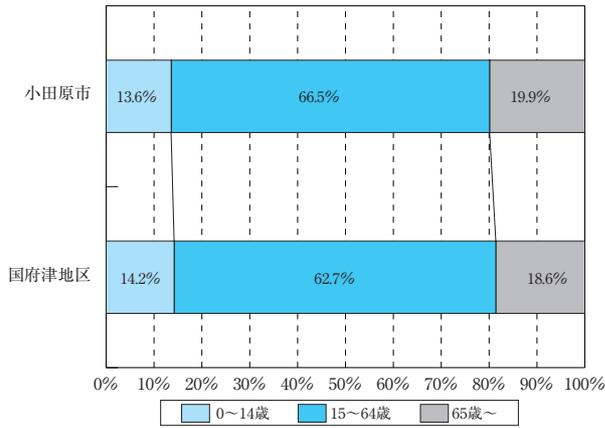
北は国府津山、南は相模湾に面し、地区の中央を森戸川が流れる自然豊かな土地でありながら、地区の南側に旧東海道を起源とする国道1号と東海道線が、また地区の中央を御殿場線が走り、国道1号にはバス路線が、東海道線には快速アクティーン、湘南ライナーが停車する国府津駅があります。



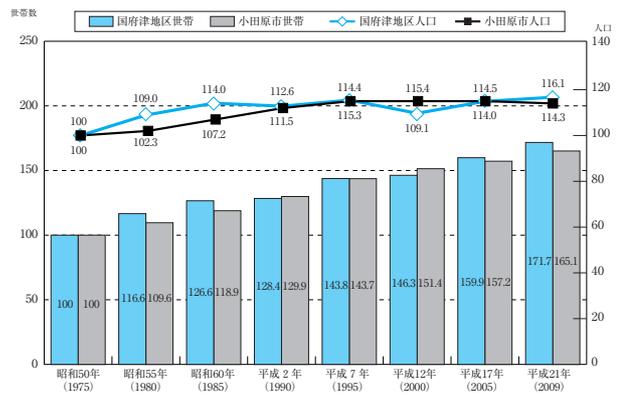
## 2 地域の人口・世帯

人口や世帯の推移・変遷と構成は小田原市全体と比較的近い割合を示しています。また、全国的に言われている60歳前後の団塊の世代が多いのは国府津地区も同じで人口ピラミッドから判ります。

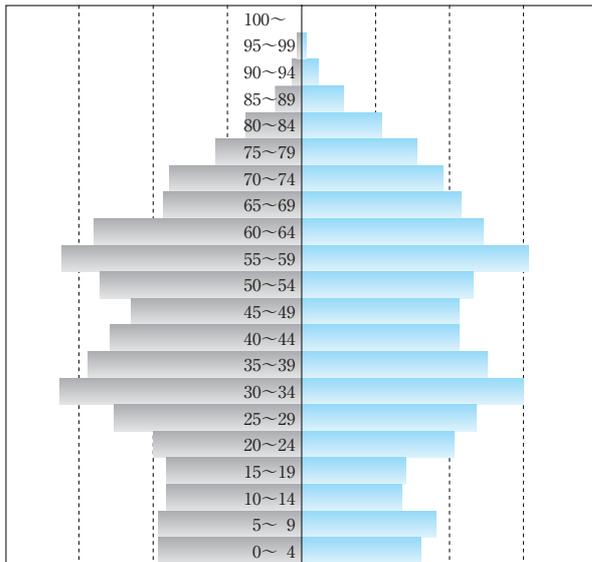
小田原市と国府津の年齢3区分人口（平成17年）



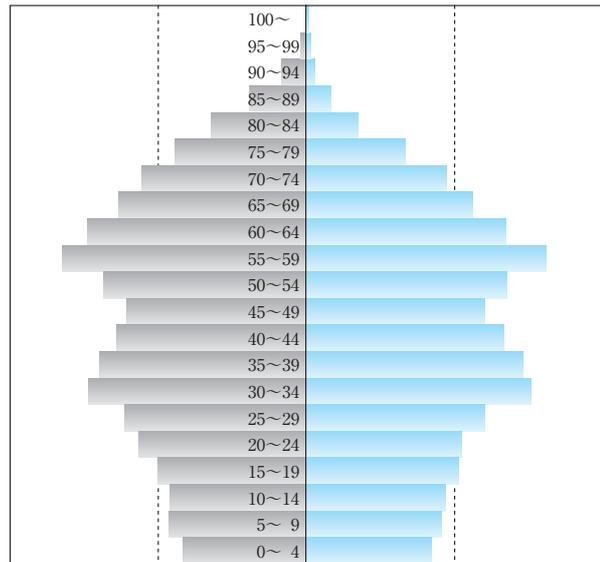
小田原市と国府津地区の人口・世帯数の推移（1975年=100）



平成17年国府津地区人口ピラミッド

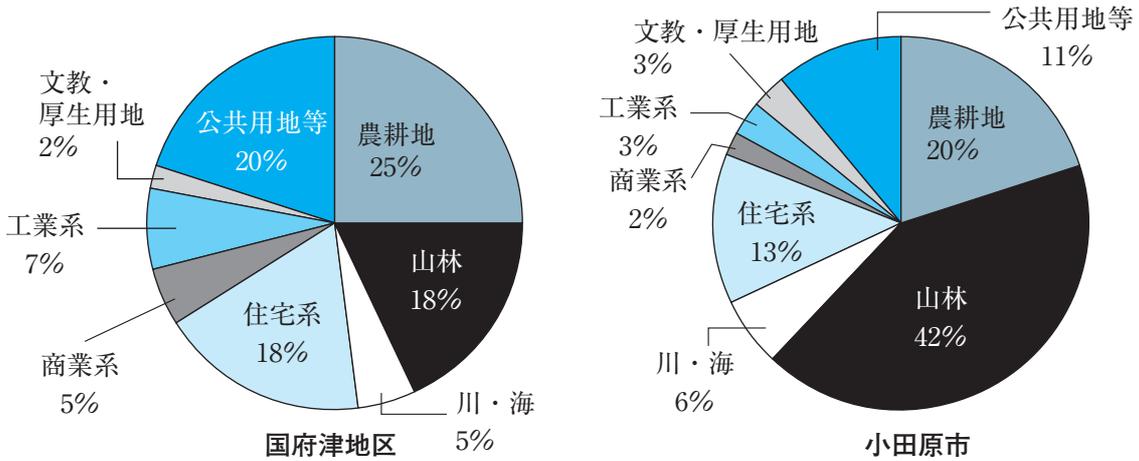


平成17年小田原市人口ピラミッド



### 3 土地利用状況

住宅系や商業系、工業系の土地利用が図られている土地の割合が小田原市全体に比べて高いですが、農耕地の割合も高く地区内に多くの農耕地が残っています。



#### 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～



【国府津山から望む海岸線とまちなみ】

国府津は国府津山の裾野から相模湾へ広がる平地に発展してきたまちです。

国府津山からは、房総・三浦半島、伊豆大島、初島、利島、伊豆・真鶴半島が見渡せ、西に目を転ずれば箱根連山、富士山が一望できる景勝地となっています。そのため、国府津駅から曾我、大井町を通り松田町へと続くウォーキングコースは有名で、休日には市外から多くのウォーカーが訪れます。

また、気候は、相模湾の黒潮海流の暖流の恩恵を受けて冬でも温暖で、春夏秋冬をとおして、大変住みやすい地区です。

さらに、昔から交通の上で大変重要な地点であり、旧五街道の一つの東海道の沿線のまちとして発展してきました。

明治に入り、鉄道が開業すると、東海道線が東京から国府津まで運転を始め、熱海や御殿場方面への交通の結節点としてさらなる発展を遂げました。



【国府津海岸】

その後昭和になって丹那トンネルが開通し、神奈川の西の交通結節点が小田原駅に移っても、東海道線開通当時のなごりとしての機関庫や転車台が残り、御殿場線がSL機関車から電車に変わる昭和40年代まで東海道線の主要な車輛基地となっていました。

その貴重な機関庫や転車台は昭和50年代に入り撤去されています。



【国府津の車両基地】



【石田邸】

また、温暖な気候と交通の至便性から、諸戸別荘や石田邸のほか、大隈重信の別荘跡、加藤別荘跡、大鳥別荘跡、名取別荘跡など、明治から昭和にかけて、名を馳せた経済人、著名人の別荘地となった名残があります。

田島には、江戸時代初期の特異な禅僧風外慧薫の住んだ岩窟やこの僧が食料と交換したとされる絵が今も残っています。また、天和元年（1681）に発見された田島弁天山横穴墓群があります。ここから須恵器の壺や土師器の坏などが出土し、市の指定文化財になっています。



【田島の横穴墓】

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

全国的な課題となっている、少子高齢化は国府津地区も例外でなく地区内の活動を支える若い人が減っています。特に昼間は地区外や市外に働きにでているため、高齢者の比率が高くなり震災などの有事の際の対応が心配です。

また、高齢者が増加することにより、高齢者を支援するための活動の充実が必要になりますが、若い人が減っているため、現在の活動の見直しやさらなる担い手の発掘に努める必要があります。

他の活動も同じで、高齢者や子どもが巻き込まれる犯罪も多くなっていることや、震災などの災害への備えなど、解決しなければならない課題が多くなっているため現在の活動を維持しながら更に充実する必要が生じていますが、人口の減少、特に若い人が減っているため、担い手の発掘は大変なことです。

よって、担い手の発掘に努めるのはもちろんのことですが、地区内の住民の一人ひとりが自分の身は自分で守る防犯や防災意識の向上に努めつつ、地区のために協力する共助の精神を持つことが必要になってきています。

## 1 健康・福祉

【めざす姿】

### 隣近所が気軽にあいさつするまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地区内に一人暮らしの高齢者と高齢者世帯が増えています。</p> <p>今後、ますます地区内に高齢者や要介護者が増えてくることが想定されることから、民生委員児童委員や老人会、地区の各種団体が行なっている見守り活動だけでは対応することが出来なくなることが想定されます。</p> <p>一戸建て住宅などは、洗濯物や郵便受の状況で体調の変化を推測することは可能ですが、最近はマンションに住む高齢者も増え、マンションの構造の特性上、洗濯物や郵便受の確認が難しいです。また、オートロック式のドアになっていることも多く、自由に中に入ることが出来ず高齢者とはインターフォンを通じて話すのが精一杯であり、顔を見ることが出来ないため、どんな人が入居しているのか分かりません。</p> <p>また、高齢者扱いすると怒る人もいて、自分の年齢と体について自覚を持つとうとしない人もいます。</p> <p>高齢者に限ったことでなく、マンションに入居している要援護者にも自分自身の安否確認が必要なことをどのようにして伝えていくかが課題です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や要介護者が増えることが想定できることから、現在、民生委員児童委員や老人会、各種団体が行なっている見守り活動を継続しながら、みんなで高齢者や要介護者を支えるという意識の向上と見守り活動の充実を図り、担い手を増やすことに努めていきます。</li> <li>・現在民生委員児童委員はマンションに入居している世帯にも訪問しているが、一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯の住民は人と接することが煩わしいのか訪問しても対応してもらえず、何回か訪問してやっと対応してくれるような状況です。しかしなかには、その訪問がきっかけで、世間話などもできるようになる人もいます。さらに粘り強く個別訪問を続けるとともに自分自身の安否確認を行うことが必要なことについて理解を得られるよう説明に努めていきます。</li> <li>・なかなか対応してもらえない人には郵便受に健康状態等を記載してもらえる置手紙を投函し、返信してもらえような仕組みづくりの検討をしていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

### 元気なお年寄りが多いまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>高齢者を対象としたサロン活動が活発に行われ、特に75歳以上を対象に行われている「ふれんどりい」は好評で、国府津地区を6地区に分け開催しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗や空き家でのサロン活動開催について検討していきます。</li> <li>・現在国府津保育園を借用し、サロン活動を開催していますが、保育園等の行事が</li> </ul>

プログラムは「やさしい勉強の場」、「感激・感動の場」、「リラックスの場」で構成しています。

しかし、高齢者は長い距離を歩くことが出来ないため、会場まで距離のある人は参加したくても参加出来ません。

会場の候補となる公共施設の国府津学習館、国府津小学校、国府津中学校が隣接しているため、国府津のあらゆる箇所で開催させることが難しいです。

また、地区内の学校や保育園を利用するにも、各行事などによりに昼間使用していることから、利用することは難しいです。

国府津地区の田島では、農協田島女性部が中心となって、年1回、80歳以上の高齢者を対象に「ミニデイサービス」を行っています。この行事は、公民館にお招きし、ゲームや音楽鑑賞などを通じて楽しんでもらいます。

重なることがあるため、年間行事として開催することが難しい。今後も出来る範囲で保育園の協力を得ながら開催を継続していきます。

- ・サロン活動の開催場所までのコミュニティータクシー等の運行を検討していきます。
- ・ミニデイサービスでは、対象となる高齢者一人ひとりを訪問しながら招待状を手渡ししています。これによって、声かけによる安否確認ができるほか、参加することで高齢者同士や地域とのつながりを持つことができることから、引き続き行っています。

【めざす姿】

親が一人で悩まないまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>保育園、幼稚園の入園前の子どもを持つ親を対象に子育てについて、主任児童委員や子育て支援スタッフを中心に相談に当たっている、のびっ子は地区の広報誌や口コミで参加者が増えていて好評です。</p> <p>現在、国府津学習館の2Fの和室(15畳)を会場として使っていますが参加者が毎年増えていて、会場が手狭になってきています。</p> <p>(人口密度は、1畳当たり1.7人)</p> <p>保育園、幼稚園の入園前の未就園児が対象のため、立って歩くことが出来ない子が多いので畳敷き等の土足禁止の場所でなければ開催が難しいです。</p> <p>平成20年度の平均1回当たりの参加者数は子どもと親を合わせて25人です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土足禁止でない会場でもウレタンマットを敷くことにより、のびっ子の開催が出来ると考えられるのでウレタンマットの購入を検討していきます。</li> <li>・ウレタンマットがあれば、学校の空き教室で開催することも可能になることから、学校の空き教室を利用した開催について検討していきます。</li> </ul>

【めざす姿】

## みんなが心も体も健康で元気なまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>自分の体力を正しく把握して、生活のなかに適切な運動を取り入れることが健康づくりの第一歩だと思います。</p> <p>高齢者の体力測定を定期的に行っている場所がいそしぎと国際医療福祉大学の体育館で、人数制限があることやすぐに行かれる距離でないため、高齢者全員が受けることができません。</p> <p>高齢者の体力向上のため日頃から軽い運動を行うよう指導していきたいと考えていますが、おだわら百彩のような新しいものを高齢者が覚えることは難しいです。</p> <p>地区住民の健康増進を目的に健康おだわら普及員が健康ウォーキングを年2、3回、また体育振興会がトリムを年2回開催しています。</p> <p>特にトリムは子どもから大人まで参加者が多く、世代間交流としても好評です。</p> <p>しかし、健康ウォーキングは集合場所や出発地として利用しているのが国府津学習館だけであるため、同じコースになる時もあり毎回悩んでいます。</p>	<p>できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者向け体力測定や住民を対象にした健康づくり教室は健康づくりに必要なことであるので、国府津地区で開催できるように会場を探しながら検討していきます。</li><li>・新しいものを行うのではなく、昔から慣れ親しんでいるラジオ体操を地区内で行い、日頃から軽い運動を行うことを心がけ、健康の維持増進に努めていきます。</li><li>・健康ウォーキングは参加者が多いと集合場所を探すのが難しいので、少し規模を縮小して、少人数でのウォーキングも検討しながら、今後も継続していきます。</li></ul> <div data-bbox="874 954 1334 1256"></div> <p>【トリム】</p>

## 2 地域振興

【めざす姿】

## 国府津地区住民が一つにまとまっているまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>国府津地区では健民祭をはじめ様々な行事が各種団体や住民の協力で実施されており、お互いが顔見知りになる絶好の機会であると同時に情報交換の場ともなっていますが、最近では行事への参加者が減ってきています。</p> <p>10年、20年後の国府津地区を担うであろう中学生が参加できる活動が少ないので、</p>	<p>できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域の行事は、住民同士のふれあいや情報交換の場として大切なので、参加が増えるような工夫をしながら、その維持に努めていきます。</li><li>・特に高齢者を対象にした「ふれんどりい」や未就園児を対象にした「のびっ子」など参加者が多い行事は、単位自治会でも開催ができるよう検討していきます。</li></ul>

小学校を卒業すると地区の活動から離れてしまいます。

また、子ども会も少子化だけでなくスポーツクラブや塾などで忙しいとの理由から、加入者も年々減少しつつあります。さらに担い手がいないなど、その運営も難しくなってきました。

夏は自治会ごとに夏祭りを、冬は自治会のほか、子ども会、消防団、老人会などの協力でどんど焼きを行っており、子どもから大人まで多くの人で賑わいます。そして、菅原神社の例大祭や八幡神社、津島神社の例大祭には、山車や神輿がまちの中を練り歩き、地域が一体となります。

- ・昔は青年団があり、その青年団に入っていた人が消防団に入るなど、若いときから順に地域の活動に関わる機会がありました。現在は、こうした活動がないため担い手が増えません。そこで小学校、中学校、高校、社会人と継続して活動に参加できる仕組みづくりを検討していきます。
- ・子ども会については、必要性について保護者の理解を得ながら、役員などの負担が集中しない運営方法や、活動が形骸化しないような工夫をして会員の確保に努めていきます。
- ・地域に根ざした祭りなどは、住民同士のコミュニケーションを促し、地域のつながりを深くする行事として、引き続き実施していきます。
- ・自治会連合会の区域と学区がほぼ一体である国府津地区の特色を活かし、子どもから大人まで、地域が一体となってまとまるために、国府津地区全体が参加し、取り組むことができるような行事の開催を検討していきます。

【めざす姿】

**地域の資源・資産を生かして活力のあるまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>国府津地区の特産品としてみかんや梅、柿があります。かつては国府津山がオレンジ色になるくらい多くのみかんの木があり、農業を営む人が多くありましたが、今は後継者不足に悩んでいます。そのため中には荒廃地になってしまっている土地もあります。対策として、みかんの木のオーナー制度を行っておりますが、担い手不足のために登録者が増えておりません。</p> <p>田島剣沢両岸に桜並木が存在し、例年桜の開花時期には多数の人が訪れます。</p> <p>開花期間の約1ヶ月間、桜まつりを開催し、ふれあい広場を利用して地場農産物などの即売を行っております。一方、桜の木が大きくなってしまったことで、隣接農地への影響などが始まっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、国府津商工振興会が「みかんの花と香りを楽しむハイキング」というイベントを定期的で開催し、特産品のみかんのPRに努めています。今後もボランティアを募り、イベント開催に必要な人員を確保します。また、FMおだわらなどを利用しながらPRに努めるとともに、地区としても協力しながら活動を盛り上げていきます。</li> <li>・桜まつりは多くの人々が訪れるイベントです。今後も継続して開催していくため、近隣の農業者や生活している住民への影響等を考慮しながら、主催する田島桜の会に協力するとともに、地場農産物のPRなどを通して、地区の活性化に努めていきます。</li> </ul>

### 3 防災・防犯

【めざす姿】

#### ふれあいと安心のまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>各種団体が協力して、交通安全のための見守り活動を行っていることは住民には心強く、誇りに思いますが、まだ危険な箇所があり、さらなる充実が求められています。また毎日のことなので個人への負担が大きくなっているのも実情です。</p> <p>また、登校時は児童が同じ時間帯で通学するので見守り活動ができますが、下校時は低学年と高学年の時間帯が異なるため見守り活動を行なうことが難しいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り活動は、子どもを交通事故や犯罪から守ると同時に子どもと大人があいさつを交わす、貴重なふれあいの機会になっているので、今後も継続していきます。</li> <li>・見守り活動や交通安全教室を通して児童に交通安全教育を行い、危険箇所を教えながら注意を促していきます。</li> <li>・下校時の見守り活動については、活動時間が長いので個人の負担にならないよう実施方法について検討していきます。</li> </ul>

【めざす姿】

#### 地域ぐるみで災害に強いまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>消防団や防災リーダーの日頃の活動が充実していて、住民の安全・安心な暮らしを守っていますが、地区外または市外に仕事を持っている人が多く、昼間にいないため、その際に大きな震災が起きた時、すぐに被災者の救出など対応をすることができません。</p> <p>高齢者の世帯状況をみますと夜間一人暮らし、又は高齢者だけの世帯は3分の1程度ですが、昼間は4分の3程度まで増えるので昼間の震災の対応について検討する必要があります。</p> <p>現在の広域避難所の運営指針では要援護者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など）も健常者と同じレベルで扱われていますが要援護者は行動力に大きくハンディキャップを持っているので、運営指針に要援護者の受け入れ態勢を盛り込む必要があります。ただその前提として、要援護者になる可能性の高い方々を把握する必要も生じます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の消防団と防災リーダーが今までの活動を継続するとともに、交流の場をつくり防災上の課題や情報を共有し、さらなる安全・安心のための活動の充実努めていきます。</li> <li>また、消防団のOB等が組織する防災支援隊の充実や活動方法を検討していきます。</li> <li>・災害時に頼りになる若い世代がいないため救援活動を行なえるか心配なので、中学生や高校生の協力が得られるよう防災訓練への参加などを検討していきます。</li> <li>・要援護者になる可能性の高い方々の名簿や台帳を作成することは、個人情報保護の問題がありますが、個人情報を目的外に使用しないことを約束して災害時の救援活動に必要なことを理解してもらい、名簿や台帳の登録者数を増やし、その充実を図っていきます。</li> <li>・広域避難所での要援護者への支援体制を含め広域避難所設置マニュアルの見直し</li> </ul>

民生委員児童委員が要援護者になる可能性の高い方の個人情報等の登録をお願いし、台帳を作成していますが登録者が増えないので、折角作成しても運営指針に受け入れ態勢を盛り込むことや災害時の安否確認のために十分に活用することができない状況です。

また、住民には一時避難所を知らない人もいます。



【防災訓練】

を行い、広く住民に周知し、防災に対する意識の向上を図っていきます。

- ・防災訓練の集合場所を一時避難所にするなど地区住民に一時避難所の周知徹底を行っていくとともに、一時避難所の案内看板が設置していない箇所への設置を進めていきます。
- ・小学校区と自治会連合会の区域が違うので、今後避難所の区割りを検討していきます。



【防災訓練】

【めざす姿】

**みんなが見ているまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>各種団体の防犯活動が活発に行われていますが、活動されている方々の高齢化が進み、担い手不足が深刻です。</p> <p>最近では、高齢者や子どもを狙った悪質な犯罪が増え、また住民の防犯意識が希薄になっているので、防犯活動をされている方々だけでなく、地区内の犯罪を予防するため地区全体で防犯意識を持つ必要があります。</p> <p>地区内の暗いところには、防犯灯や街路灯を自治会と商工振興会で設置していますが、維持管理費が高んでいます。特に商工振興会の活動経費の大部分が街路灯の維持管理費を占めており他の活動の経費を十分に捻出することができません。また、防犯灯を自治会が設置し、管理していることを知らない住民がいます。</p>	<p>できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在行っている各種団体の防犯活動を維持しながら、活動内容の充実を検討し、住民一人ひとりの防犯意識の向上に努め、また活動に参加している方々への負担の軽減の方法も検討し、防犯活動に参加しやすい環境を整え担い手を増やすように努めていきます。</li> <li>・民生委員児童委員が高齢者の見回りを行う際に犯罪に関する広報誌を渡したり、地区内で発生している犯罪の種類などを回覧等で紹介し、各自で防犯する意識を持ってもらえるように努めていきます。</li> <li>・自治会活動には、防犯灯の設置などの活動もあることを伝え、危険な箇所について情報提供をしてもらい、安全・安心な地区に向け防犯灯の整備を進めるとともに、自治会活動には費用がかかることを理解してもらうように努めていきます。</li> </ul>

## 4 生活・環境

【めざす姿】

### みんなの顔が見え、人々の絆が強く、温かさのあるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>各種団体の活動や行事等に参加する中堅世代が少ないため運営が困難です。</p> <p>特に健民祭や防災訓練は参加者が年々減少していて、健民祭は選手が集まらず、自治会によっては欠場する種目が増えています。</p> <p>また、各行事の会場は国府津学習館や国府津小学校、国府津中学校となることが多く、3会場とも隣接しているため遠い人はいつも遠くなってしまいます。会場から遠い場所に住んでいる人は遠いことを理由に参加しないこともあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練は災害時の被害軽減に寄与するだけでなく、自分の身を守るために必要となります。活動の維持・充実の方法を検討していきます。</li> <li>・自治会ごとに各種団体の活動や行事への参加者を増やす工夫や対応策を検討していきます。</li> </ul>

【めざす姿】

### 地域の海を地域で守るまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>自治会や子ども会、小学校などが国府津の自然豊かな海岸を守るため清掃を行っています。</p> <p>特にボランティア会が主宰する「国府津の海岸をきれいにする会」は熱心に活動されています。</p> <p>反面、夏場に近所の人や観光客が花火をした際、花火の燃えカスなどをそのままにして帰る人がいます。</p> <p>また、最近は海岸に燃せるごみ、燃せないごみの投棄が増えています。</p> <div data-bbox="269 1659 716 1980" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="432 1984 555 2016">【海岸清掃】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏場のごみの投棄を減らすため、海岸をパトロールして、ごみをそのままにして帰る人を減らすように努めていきます。</li> <li>・ごみの持ち帰りやポイ捨て防止を呼びかけるため、海岸に看板を設置することやごみ袋を配る活動を検討します。</li> <li>・ごみのポイ捨て防止には5区自治会でボランティア袋を設置して効果がありましたので、海岸に面する自治会はごみ箱等を設置することを検討していきます。</li> <li>・清掃する団体同士、重複場所や同時期に清掃しています。今後は横の連携を取り、清掃場所や時期をずらすことにより、国府津地区の環境美化の充実に努めていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

**地域内がいつもきれいで、ポイ捨てさせないまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>ポイ捨て防止キャンペーンは、1回1時間程度の作業で80人から100人が参加し、4グループ、4ルートに分かれて国府津地区全体にPRを行いながら清掃活動を行い、別の日にごみ出しをしなくて済むよう、収集日にあわせて行うなど、作業の負担を減らす工夫と終了後にジュースを配るなど参加者に気を配りながら活動を続けています。</p> <p>また、地元企業が「国府津未来」という集まりをつくり協力していただいています。</p> <p>しかし、平日に実施するため、参加者が少なく、参加者を増やすにはどうするのが課題です。</p> <p>菅原神社は各種団体が清掃活動を行なっているため、1年を通じてきれいになっていますが、秋の落ち葉のシーズンなどは清掃活動が大変です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイ捨て防止キャンペーンの周知回覧に、自宅の周辺やその前の道路だけのわずかな場所と少しの時間でいいので清掃活動を行なってもらいたいことを記載し、地区内にポイ捨て防止キャンペーンの周知を行い、環境美化意識の向上に努めていきます。また、周知方法についても回覧だけでなく、隣近所の声掛けを行うなど工夫していきます。</li> <li>・ポイ捨て防止キャンペーンのPR活動や清掃活動は体力的に大きな負担はかからないと考え高齢者などにも、参加の声掛けを行い、参加者を増やしながら地域のコミュニティの充実にも繋げられるように努めていきます。</li> <li>・菅原神社の清掃活動は1回の参加人数を無理して増やすような活動をするのではなく、回数を増やすように努め、1年を通じて環境美化の維持に努めていきます。</li> </ul>

【めざす姿】

**緑あふれる、自然豊かな国府津地区**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>国府津の山から田島にかけての景観は四季折々に美しく、特に秋の紅葉はきれいで山を眺めるだけでも癒されます。</p> <p>また、国府津山の自然環境を守るため、ツーデーマーチの開催日の前にコースの景観保全と環境美化のため、地区の団体「みかんの花咲く丘」が清掃活動を行なっています。</p> <p>国府津山のすばらしい眺めや豊かな自然などを楽しむため、市内だけでなく、市外からも多くの観光客が訪れていますが、反面ポイ捨てによるごみが増え、粗大ごみの不法投棄も増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国府津地区の山の自然を楽しめるようマップづくりを検討します。</li> <li>・国府津地区の自然を感じることが出来るハイキングコースの所々にある簡易トイレや休憩場を使いやすいように地区で適切な管理を行っていき他地区に誇れる自慢のハイキングコースとして将来に残し、観光客を増やすようにしていきます。</li> <li>・昔はみかん園に自由に入って、景勝地を探しながら眺めることができましたが、今は不審者が多いことや荒らされたりするためか、出入が禁止され、国府津地区の景勝地を十分に楽しむことができないので、みかん農家などと相談しながら、</li> </ul>

	<p>眺望が良いところに入れるよう働きかけ、ハイキングコースの景勝地を増やせるようにしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国府津地区にはホタルが生息しているところもあり、また昔、国府津地区の山にクヌギの木を植えてカブトムシやクワガタムシが生息できるような環境づくりも検討したことがあるので、ホタルやカブトムシ、クワガタムシなどが自然豊かな国府津地区の地に生息し、昆虫の里のような名所にしていきます。</li> </ul>
--	---

**【めざす姿】**

**やすらぎと愛着がある森戸川をめざして**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>国府津も公共下水道が整備され、森戸川や支流に家庭から生活雑廃水の流れ込む量が減り、草木が生え、魚をみかけるほどきれいになりましたが、支流には水量が少ないためヘドロなどが溜まっているところがあり、台風などで水量が増すと溜まったヘドロが森戸川に流れ込んでしまいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も森戸川へ流れ込む支流や農業用水路の清掃や草刈を行っているので、森戸川の環境美化を守るため、今後も活動を継続しながら、充実についても検討していきます。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>【森戸川】</p> </div>

**【めざす姿】**

**隣近所が声を掛け合うまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>近くに商店が少なく、時には中里の大型商業施設まで買い物に行かなければならない中、バスの本数が少ないので帰りにはタクシーを使うことも多く、生活への負担が大きくなっています。</p> <p>特に車を運転することができない高齢者には不便です。</p> <p>一人で買物をするのが困難な高齢者な</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけ地区にある商店で買物をするようにして、地区内の商店が活性化するように心がけます。</li> <li>・買物に行くときは、隣近所に声を掛け車の乗りあいで出かけるように心がけます。</li> <li>・地区の商店に配達等してもらえるようお願いをしていきます。</li> </ul>

どにはボランティア会がお弁当の配布を行っています。運営資金はボランティア会が「ホウ酸団子」を販売して自主運営に努めています。

### 国府津地区地区まちづくり検討委員会の経緯

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 平成21年11月 7日 (土) | まちづくり検討委員会設立準備会 |
| 11月28日 (土)      | 第1回まちづくり検討委員会   |
| 12月19日 (土)      | 第2回まちづくり検討委員会   |
| 平成22年 1月23日 (土) | 第3回まちづくり検討委員会   |
| 2月13日 (土)       | 第4回まちづくり検討委員会   |
| 2月27日 (土)       | 第5回まちづくり検討委員会   |
| 3月11日 (木)       | 地域別計画編集会議       |
| 3月20日 (土)       | 第6回まちづくり検討委員会   |



## 国府津地区まちづくり検討委員会

委員長	伊澤雄	(国府津地区自治会連合会会長・国府津第18区自治会会長)
副委員長	高橋正	(体育振興会会長)
副委員長	山田信	(青少年健全育成協議会会長)
幹事	関野英夫	(国府津第2区自治会会長)
幹事	佐藤哲男	(国府津第7区自治会会長)
幹事	細谷誠次	(国府津第11区自治会会長)
幹事	中川栄一	(国府津第13区自治会会長)
幹事	尾上巽子	(民生委員児童委員協議会会長)
幹事	椎野絢子	(婦人会会長)
幹事	鈴木清治	(老人連合会会長)
幹事	大川清	(防犯活動協議会会長)
幹事	野地安雄	(交通安全協会国府津支部長)
幹事	斎藤直樹	(国府津中学校PTA会長)
幹事	原学裕	(国府津小学校PTA会長)
幹事	高橋裕一	(連合子ども会会長・第18分団分団長)
幹事	高田秀一	(遺族会会長)
委員	富田今朝臣	(商工振興会会長)
委員	松本今朝臣	(国府津第1区自治会会長)
委員	朝倉知	(国府津第3区自治会会長)
委員	古谷勝義	(国府津第4区自治会会長)
委員	石塚勇平	(国府津第5区自治会会長)
委員	柴山公	(国府津第6区自治会会長)
委員	江藤忠政	(国府津第8区自治会会長)
委員	向尾恭博	(国府津第9区自治会会長)
委員	川口登城	(国府津第10区自治会会長)
委員	中村實	(国府津第12区自治会会長)
委員	小島弘	(国府津第14区自治会会長)
委員	川口眞良	(国府津第15区自治会会長)
委員	村上良照	(国府津第16区自治会会長)
委員	小岩幸雄	(国府津第19区自治会会長)
委員	山田和子	(民生委員児童委員協議会)
委員	長谷川弥生	(民生委員児童委員協議会)
委員	椎野恭寛	(体育振興会理事)
委員	天野四郎	(体育振興会理事)
委員	石塚達義	(青少年健全育成協議会副会長)
委員	磯崎明子	(青少年健全育成協議会副会長)
委員	高田豊子	(婦人会副会長)
委員	田代カツ	(婦人会副会長)
委員	諏訪部国平	(老人会)
委員	高田哲夫	(交通安全協会国府津支部)
委員	高田勝義	(交通安全協会国府津支部)
委員	高田剛治	(連合子ども会)
委員	高田高雄	(連合子ども会)
委員	高田賢一	(消防団)
委員	高田和子	(健康おだわら普及員)
委員	高田喜美子	(健康おだわら普及員)
委員	高田弘行	(国府津中学校PTA副会長)
委員	高田裕美	(国府津中学校PTA会計)
委員	高田義勝	(国府津小学校PTA副会長)
委員	高田久美	(国府津小学校PTA副会長)
委員	高田今日子	(JAかながわ西湘田島女性部支部長)
委員	高田徳子	(JAかながわ西湘田島女性部副支部長)
委員	高田久	(国府津商工振興会副会長)
委員	高田直衛	(国府津商工振興会副会長)
事務局員	石井孝代	

# 地域別計画

～ 酒匂・小八幡地区 ～



酒匂・小八幡地区まちづくり検討委員会

# 住んでいることに誇りがもて 住みたくなるまち、酒匂・小八幡

地域の今（現況） ～ わたしたちの地域はこんな地域 ～

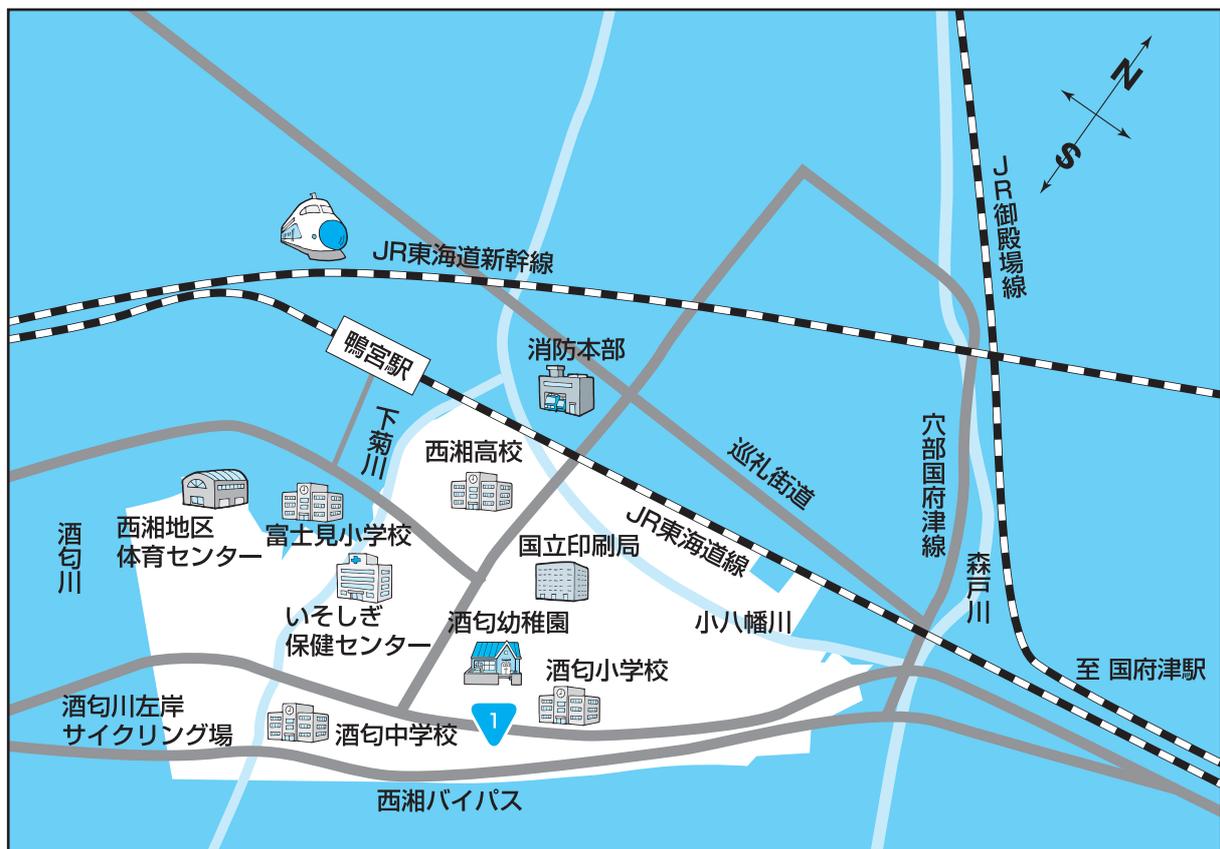
## 1 地域の地理状況

酒匂・小八幡地区は国道1号に沿って発展した由緒あるまちです。

西には酒匂川が流れ、南は相模湾に面した自然豊かな地区で、西の地区はJR東海道線鴨宮駅へ、東の地区は国府津駅へ徒歩やバスで行ける交通の便にも恵まれています。

地区内には保健センター、生きがいふれあいセンターいそしぎ、酒匂川左岸サイクリング場、県立西湘地区体育センターなどの健康、文化、スポーツ関連の公共施設、また、市立の酒匂幼稚園や酒匂小学校、酒匂中学校、県立西湘高等学校の幼稚園から高等学校までの教育施設が揃っています。

（酒匂地区の一部の児童は隣接する富士見小学校に通学しています。）

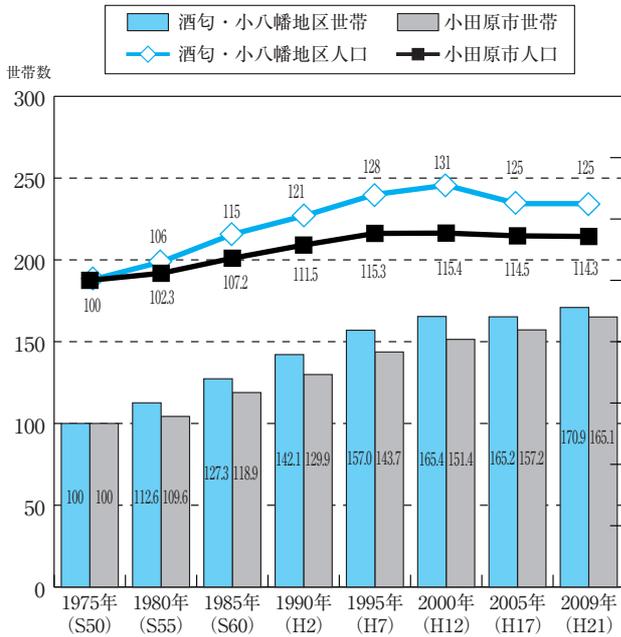


## 2 地域の人口・世帯

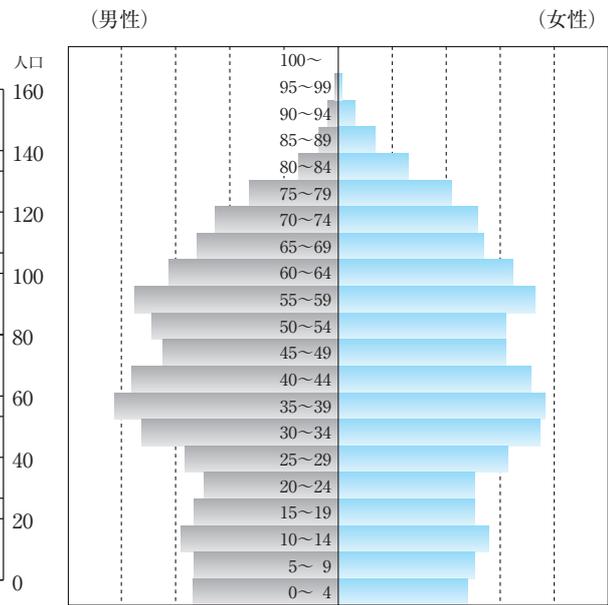
小田原市の全域と同様、平成12年（2000年）以降の人口は、微減の傾向ですが、世帯数は増加しています。

人口ピラミッドの人口構成をみると他地区と同様に60歳前後のいわゆる「団塊の世代」が多いですが、第二次ベビーブーム世代で子育て世代と言われる30歳から40歳までの人口も多いのが分かります。

小田原市と酒匂・小八幡地区の人口・世帯数の推移

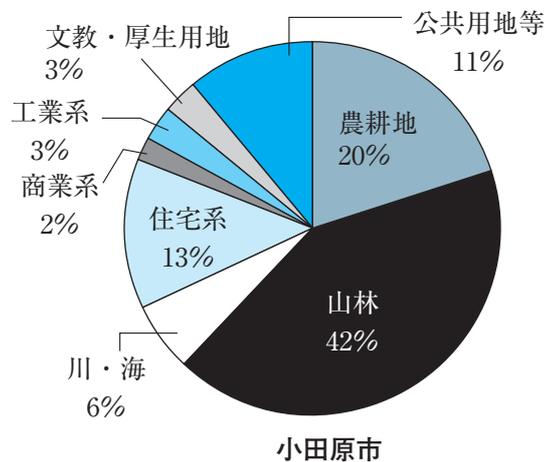
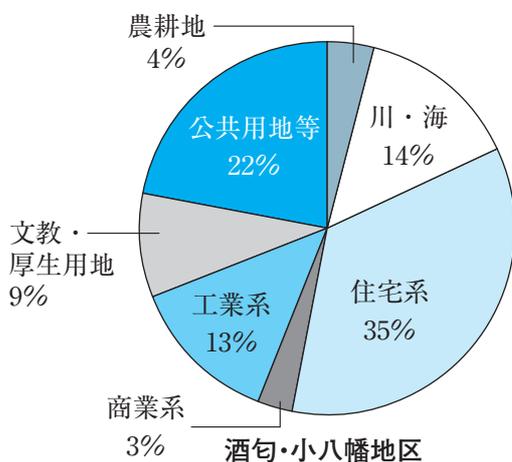


平成17年酒匂・小八幡地区人口ピラミッド



## 3 土地利用状況

地区内の土地利用は住宅地と工業地が多く、逆に農地や山林が少なく、酒匂川の下流に広がる平地を利用した、住宅地と工業地として発展した地区です。



## 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

地区内の土地利用は住宅地と工業地が多く、工業地は大型の工場が多いのが特徴です。また、周辺には大型商業施設があり日常生活が便利なわりに、西に酒匂川が流れ、南は相模湾に面して自然環境に多く触れることができ、晴れた日には、富士山を眺められるなど自然があふれていて、生活環境が良い地区です。



【相模湾（酒匂川河口付近）】



【酒匂川左岸サイクリング場】

地区内の公共施設などの状況は「生きがいふれあいセンターいそしぎ」や「保健センター」の医療関係の公共施設、スポーツをする場所としては西湘地区体育センターや酒匂川左岸サイクリング場などがあり恵まれています。

特に「生きがいふれあいセンターいそしぎ」では体操教室をはじめ、いろいろな健康に関する事業を行っており地区の住民の健康増進と維持に大きな貢献をしています。



【生きがいふれあいセンターいそしぎ】

地区内の子どもたちが通う、各小中学校のスポーツクラブ、部活が盛んで、酒匂中学校のブラスバンド部の活躍やバドミントン部の全国大会出場などは地区として誇りに思います。

また地区としてもスポーツは盛んで、小田原市民総合体育大会（市総体）では最近10年間で8回の総合優勝を誇っています。



【平成21年度市総体優勝】



【酒匂中学校】



【酒匂小学校】



【富士見小学校】

地区内には南側に旧五街道の一つ東海道を起源とする幹線道路である国道1号が走り自動車の交通量が多いですが、地区の各種団体が見守り活動をはじめ沢山の交通安全活動を行っているので児童や生徒、高齢者の重大な交通事故が少ないのが地区の自慢です。

### 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

- ◇神奈川県西部地震が予測されていますが住民の防災意識が低いことや、地区内の広域避難所が2箇所に分散しているため発災時の運営が円滑に行えるか心配です。  
全国的な高齢化社会の進展は本地区も例外でなく、独居高齢者や高齢者だけの世帯が増えていて、災害時にどのように守るかが課題になってきています。  
また、この方々の日頃からの見守り活動も十分か心配です。
- ◇道路や河川の清掃活動を行い、地区内の環境美化意識の向上に努めていますが、反面ごみ分別や収集日などを守らない心無い人のマナー違反が目にあまり対策が必要です。
- ◇由緒ある寺院などの歴史的資産が豊富で、祭礼などの伝統行事が盛んに行われていますが行事への参加者が年々減少していて文化資産が伝承されていくか心配です。  
また、地区内の活動や行事に本当にその話を聞いてもらいたい人が参加してもらえず困っています。
- ◇南を走る国道1号は週末箱根への観光客が通過するためか、渋滞がひどく、住民が休日に車で出掛けるのに支障をきたしています。

## 1 福祉・健康

【めざす姿】

### 健康で元気に生き生き暮らせるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地区各種団体が協力して開催している健康教室は人気もあり参加者が多く、特に自治会が開催する体育祭でのミニミニ健康は好評です。</p> <p>酒匂川河川敷は富士山が眺められる景勝地で、ウォーキングコースに適しています。</p> <p>健康管理には体を動かすことは大事なことで分かっていますが、面倒で日常生活の中で行っていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操教室や健康チェック、バランスの良い食事を紹介する料理教室などの健康教室は、地区住民の健康促進に、今後も必要な活動なので、参加者が減少しないよう活動内容を工夫しながら、それぞれの活動の継続と充実に努めます。</li> <li>・地区の歴史・自然資産を楽しめるウォーキングマップの作成を検討します。</li> <li>・健康促進のため、地区で行われているイベントの中で、地区を歩くことや軽い体操を行うことを検討していきます。</li> </ul>

酒匂川左岸から望む富士山



【めざす姿】

## よ来越生活環境を因るための高齢者の活動を通し、 世代間の交流をめざすまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>独居高齢者や高齢者だけの世帯への見守り活動は各種団体の役員の方々が行っていますが、地区内にこれらの世帯が増えてきて、全体に目が行き届いているか心配な状況のため、地区全体で見守る必要性が出てきています。</p> <p>老人会が行っている神社や公園の清掃活動などが地区貢献しています。</p>	<p>・地区活動のやりがいを高齢者の方々に理解してもらい、地区活動へ参加する喜びをもち、引きこもりがちな高齢者が外に出て活動する環境づくりに努め、高齢者の方々の顔を皆さんが分かるような地区を目指します。</p>

【めざす姿】

## 地域のみなさんが子育てに協力するまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地区で開催している、子育て支援のためのアップルパイなどは好評で参加者も多く、地区のお母さん方の子育てにとっても役に立っています。</p> <p>また、子どもからお年寄りまで参加する世代間交流の行事も盛んです。</p>	<p>・アップルパイのような子育てサークルを各自治会単位でつくることを検討し、サークルへの参加者を増やし、地区で子育てをする意識が芽生えるように努めます。</p> <p>・世代間交流（子育て世代や子どもがお年寄りと接する機会）の行事は各自治会で継続して開催し、子育てに対する助言などの情報を共有できるようにします。</p>

## 2 防犯・防災・交通安全

【めざす姿】

### 犯罪の無い安全で安心な街づくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地区の防犯のため自治会を始め、青少年健全育成協議会やPTAなど、地区活動をしている多くの人が防犯パトロールを実施しています。</p> <p>地区内や近隣の地区で、犯罪が増え被害者も増えています。</p> <p>交番に警察官が常駐していないため、地</p>	<p>・地区内や近隣地区で発生している犯罪の情報を共有するため、注意を促す回覧などを行い地区の防犯意識の向上を図り、犯罪を防ぐように努めます。</p> <p>・団体が情報を共有し、協力してパトロールを実施すれば、もっと効果的な活動になる可能性が高いと思われるので、実施</p>

区の犯罪発生を抑止力や、団体の防犯活動との情報共有が低下しているのではないかと不安になります。

地区防犯のため多くの団体が防犯パトロールを実施していますが、各種団体の実施場所や方法、時間帯などの情報の共有が行われていません。

子ども110番のシールが貼ってあるが留守がちな家があります。

団体の代表者が調整を行い、効果的なパトロールの手法を検討します。

- ・子ども110番を表示している家を調査し、適切なものにしていきます。

防犯パトロール



【めざす姿】

## 災害に対する備えと被災後の対応を スムーズにしてあるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>防災訓練への参加者が少ないことから地区の防災意識が高いとは思えません。また、各家庭が防災備品の準備や家具転倒処置などの防災のための対処をきちんと行っているか心配です。</p> <p>さらに、大地震が発生した場合は、広域避難所が酒匂小学校と富士見小学校に分散しているため、震災直後は行政の協力を得ることは難しいので、避難場所の運営が円滑に行えるか心配です。</p> <p>一部の自治会では行事を通して世代間の交流が図られているため、いざ災害が発生した時に共助の体制がスムーズに取ることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災のための準備や処置方法などをまとめた、防災マニュアルや防災手引きを作成し配布することを検討していきます。</li> <li>・防災訓練の内容を工夫するとともに、単位自治会での実施を検討し、小学生や子ども会、老人会にも参加を呼びかけ防災訓練への参加者を増やし、地区ぐるみで防災活動に取り組むように努めていきます。</li> <li>・災害時の広域避難所の運営を円滑に行うため広域避難所ごとに具体的な作業と担当者の名前を記載した設置運営マニュアルの作成と毎年の訓練実施を検討していきます。</li> <li>・地区全体に世代間交流が図られる様に進めていきます。</li> </ul>

酒匂小学校での防災訓練



【めざす姿】

**交通事故のない安全な街**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>南には幹線道路で交通量が多い国道1号が東西に走り、酒匂中学校と酒匂小学校、富士見小学校の生徒と児童が通学路として利用していますが、重大事故が少ないのは地区各種団体の登下校時の見守り活動などが寄与しています。</p> <p>交通マナーの低下により地区内に自転車の二人乗りや中学生が登下校時に狭い道路に拵がって歩いており、危険です。</p> <p>また、交通事故で一番多いのは高齢者なので高齢者の安全確保は地区の課題です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、行っている小学校の登下校時の見守り活動を継続するとともに、各種団体が行っている交通安全活動の情報共有を行い、交通安全活動の連携と充実に努めます。</li> <li>・蛍光色がついたものを身に着けることは、夜間の歩行者の安全確保に大きく寄与するので蛍光色のグッズの携帯を促すとともに配布を検討していきます。</li> <li>・地区で行っている交通安全教室に高齢者の参加を促すとともに、自転車の安全講習の実施を検討します。</li> </ul>

【めざす姿】

## 交通事故0(ゼロ)のまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
地区の交通安全対策は各種団体が活動し、地区に貢献していますが、歩道が確保できない視界の悪い交差点や車がスピードを出して通過する通学路など、まだ危険なところがあることが予想されます。	<ul style="list-style-type: none"><li>・地区の交通危険箇所の洗い出しや再調査を行い、各種団体が行っている見守り活動などの安全活動場所の見直しや活動内容、時間帯の情報を共有し、負担増にならないよう配慮しながら、地区の交通安全活動の充実を検討し、交通事故のさらなる減少に努めます。</li></ul>

### 3 生活・環境・美化

【めざす姿】

## エコにつながる環境づくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
燃せるごみ、燃せないごみ、資源ごみなどに分別をしないでごみステーションに出すマナーの悪い人がいます。 また、地区外の人が車で分別できていないごみを持ち込んで、ごみステーションに置いて行く人がいます。	<ul style="list-style-type: none"><li>・生ごみの水切りやごみの分別の徹底など、ごみ出しのルールの遵守徹底や地区住民にごみ出しの啓発活動を行うように努めます。</li><li>・地区の諸団体が開催する会議でごみ出しのルールを説明することや、発行している諸たよりにごみ出しのルールを載せるなど、ごみ出しの啓発活動に努めます。</li><li>・地区外の人のごみの持ち込みについては、ごみステーションの監視が必要なため地区が協力して、ごみステーションのパトロールなどを行うことを検討していきます。</li></ul>

【めざす姿】

## きらめくまち酒匂・小八幡地区

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>酒匂・小八幡地区は南が相模湾に面し、西は酒匂川に面し、地区内に小八幡川、下菊川が流れています。</p> <p>酒匂川の河口は数多くの野鳥が生息し、飛来する自然豊かな場所で、また晴れた日には富士山を眺めることができる景勝地でもあります。</p> <p>地区の南側を東西に横断する国道1号は、正月の恒例行事である東京箱根間往復大学駅伝の走路になっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒匂川の豊かな自然を守るため、現在地区の各種団体が実施している清掃活動のほかに、河川敷の草木が枯れてごみが見付けやすい11月下旬頃の清掃活動の実施について検討します。</li> <li>・現在行っている小八幡川・下菊川の清掃を継続していきます。</li> <li>・東京箱根間往復大学駅伝を見据えて毎年12月下旬に国道1号の美化活動の実施を検討します。</li> </ul>

下菊川の河川清掃



## 4 文化・教育

【めざす姿】

### 地域の交流が生む机の上では学べない体験学習

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>団体の組織や隣人関係を大切にしている、酒匂小学校の米づくり体験や父母参加の小学校美化活動、スクールボランティア、PTA主催のふれあい市場、酒匂小学校・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区共同の学校づくりの活動は活発に行っていますが、意外と知られていない状況もありますので地区にPRをしていきます。</li> </ul>

富士見小学校・酒匂中学校3校合同でのイベントなど地区共同での学校づくりが盛んです。

- ・米作り体験は指導される方がいなくなると継続してできないので、後継者探しに努めます。
- ・スクールボランティアは父母がメインですが、技術や知恵をもった高齢者の方も多いので参加の輪を広げて活動の充実に努めます。
- ・隣人関係が昔に比べ希薄になる傾向にあるので、つながりを大事にする意識の向上に努めます。

**【めざす姿】**

**地域の文化・歴史を次世代へ継承していけるまちづくり**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>祭礼などの伝統行事が盛んで、寺院などの歴史的資産も豊富なわりに、皆さんが起源や歴史についての言い伝えや背景について知りません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寺院や地区の歴史に詳しい人の協力を得て、言い伝えや背景の情報収集を行い、地区の歴史をみんなで共有していきます。</li> <li>・特に子どもには、学校の先生の協力も得ながら地域の歴史を伝えていきます。</li> </ul>

どんど焼き



春祭り



【めざす姿】

**あいさつから始まる、マナー向上を目指すまちづくり**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>最近の人々は「江戸仕草」という言葉を忘れていきます。</p> <p>道を譲られても「ありがとう」も言わないし、「お互いに譲り合う」という心を忘れていきます。</p> <p>地区の子どもの中には挨拶しても返事のない子や、登下校時に道路に何人かで横並びになって拡がって歩いている子がいます。</p> <p>昔は、マナー違反を注意するなど、人の子を叱れるおじさんがいましたが、地区内に注意する人がいなくなりました。</p>	<p>・生活の中のマナー向上の基本は地区内での挨拶や声掛けなので、現在行っている「あいさつ運動」や「声かけ運動」を今後も継続し、地区内に、お互いに譲り合う心が芽生えるように心がけます。</p>

**酒匂・小八幡地区まちづくり検討委員会の経緯**

- 平成21年 6月10日（水）：地域別計画説明会
- 平成21年 7月13日（月）：まちづくり検討委員会設立準備会  
第1回まちづくり検討委員会
- 平成21年 8月26日（水）：第2回まちづくり検討委員会
- 平成21年 9月30日（水）：第3回まちづくり検討委員会
- 平成21年10月29日（木）：第4回まちづくり検討委員会
- 平成21年11月25日（水）：第5回まちづくり検討委員会
- 平成21年12月16日（水）：第6回まちづくり検討委員会
- 平成22年 1月26日（火）：第7回まちづくり検討委員会
- 平成22年 2月16日（火）：地域別計画編集会議
- 平成22年 2月26日（金）：第8回まちづくり検討委員会

## 酒匂・小八幡地区まちづくり検討委員

	氏名	団体名若しくは団体役職名等
委員長	栗田 和雄	自治会連合会会長
副委員長	植田 博之	自治会連合会副会長
委員	石井 貞子	健康おだわら普及員代表
	岡村健二郎	酒匂学区連合子ども会会長
	川瀬貴美子	酒匂地区婦人会会長
	川瀬 義幸	酒匂体育協会会長
	日下部 透	青少年健全育成協議会会長
	熊澤 裕幸	酒匂小学校PTA会長
	佐井 幸治	酒匂中学校PTA会長
	鈴木 福子	酒匂地区ボランティア会会長
	田中 一男	酒匂地区老人クラブ連合会会長
	乃美香津子	保護司
	堀内 勇	民生委員児童委員協議会会長
	前田 潤一	消防団第17分団長
	松本 俊代	青少年育成推進員副班長
	譲原 脩三	酒匂地区社会福祉協議会会長
	譲原 俊子	日赤奉仕団酒匂分団団長
	譲原百合子	酒匂地区交通安全母の会会長
	安藤 勝彦	自治会連合会副会長
	川瀬 正揚	自治会連合会副会長
	瀧本 堯	自治会連合会監事
	津山 貴嗣	自治会連合会会計
松村 民久	自治会連合会常任理事	
三廻部洋次郎	自治会連合会常任理事	
今屋 憲一	ケンケン市民パトロール隊隊長	
事務局員	川本 孝雄	酒匂地区
	譲原 弘	小八幡地区

# 地域別計画

## ～ 片浦地区 ～



片浦地区まちづくり検討委員会

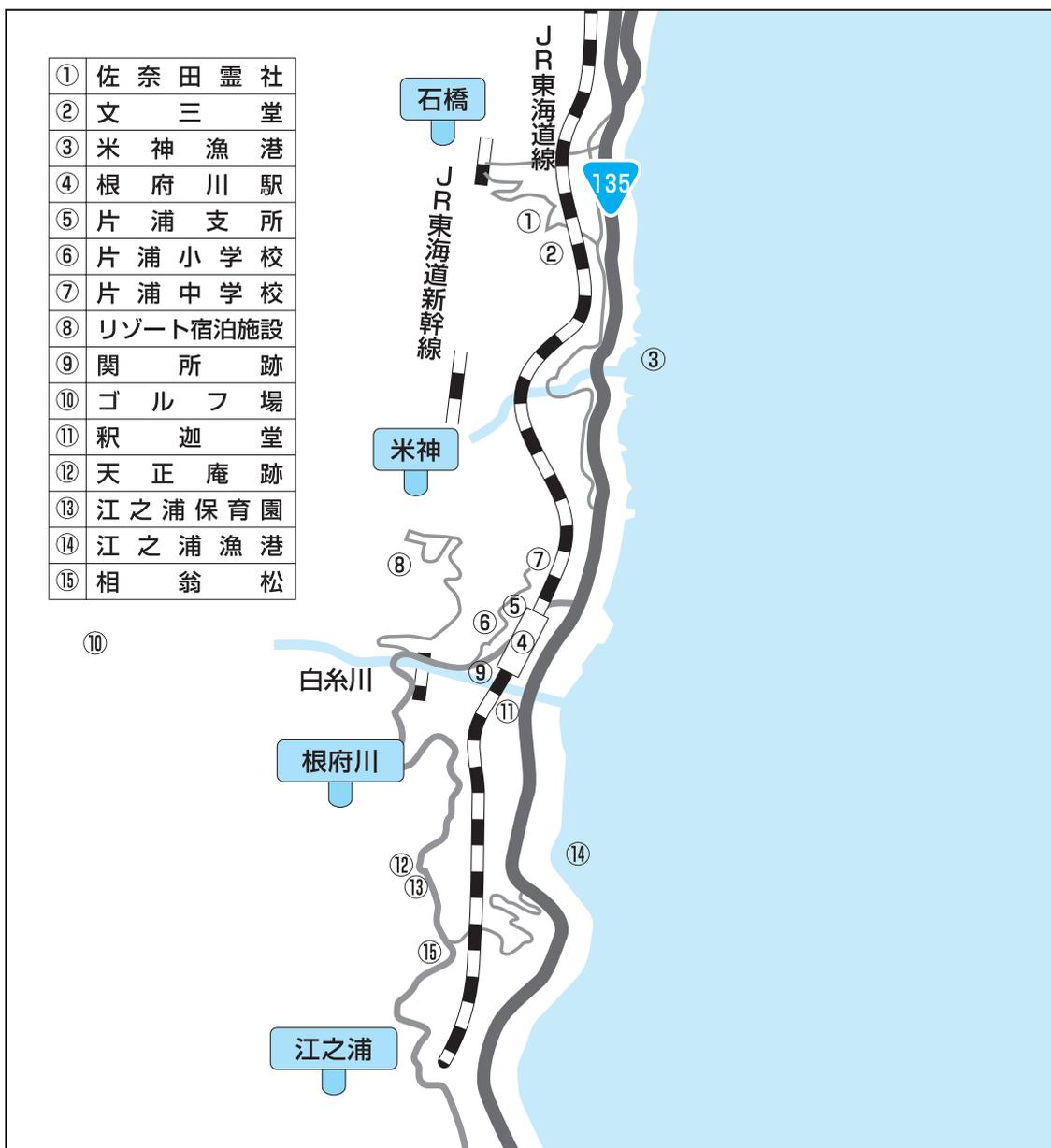
# 海と山・四季の香り漂う 片浦

地域の今（現況） ～ わたしたちの地域はこんな地域 ～

## 1 地域の地理状況

片浦は、市内の西部に位置し、西は真鶴町、湯河原町、北は箱根町と接し、斜面には果樹園が多く見られる地域です。

東側を海に面し、海岸線沿いを国道135号、J R東海道線、J R東海道新幹線がほぼ並行に通っており、小田原で最も西にある駅として、J R根府川駅があります。

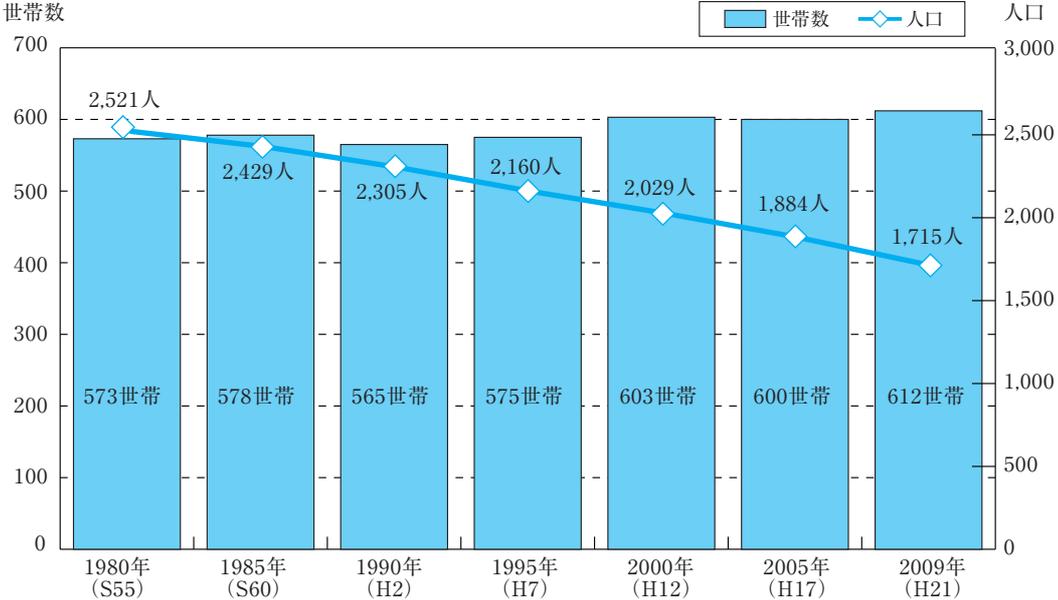


## 2 地域の人口・世帯

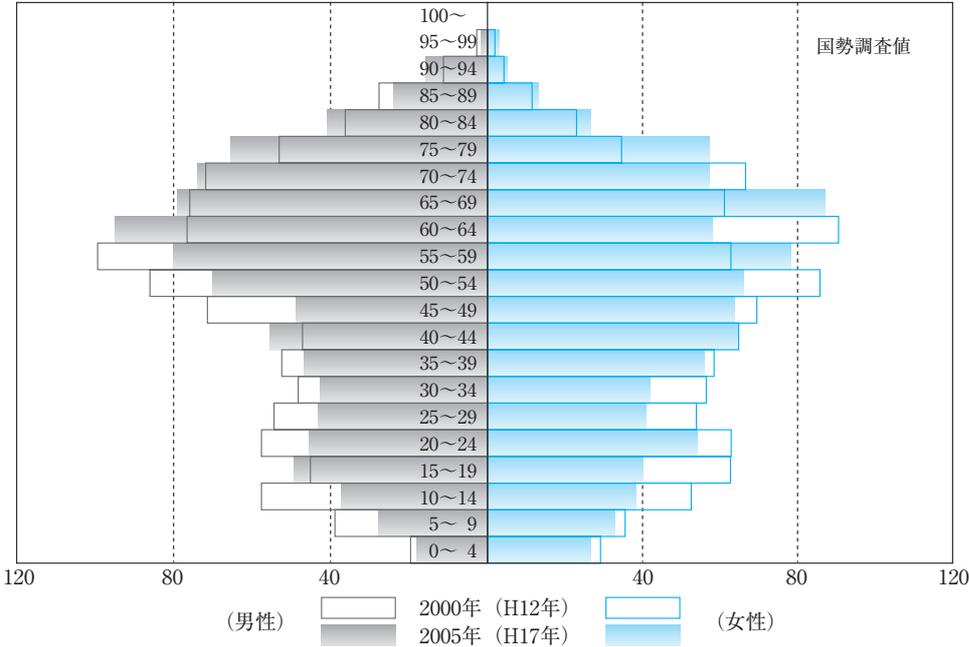
昭和55年（1980年）と比較すると、平成21年（2009年）で地域の人口は約30%減少し、世帯数は約8%増加しています。人口は昭和55年（1980年）から減少が続いていますが、世帯数はほぼ横ばいか微増しており、1世帯あたりの人数は昭和55年（1980年）の約4.4人から、平成21年（2009年）の約2.8人と大幅に減少しています。

人口の構成は、他地区と同様に「団塊の世代」が多いですが、65歳以上の割合を比較すると、小田原市全体が19.9%に対して片浦地区は29.4%と約10ポイント高く、高齢化が進んでいることがわかります。

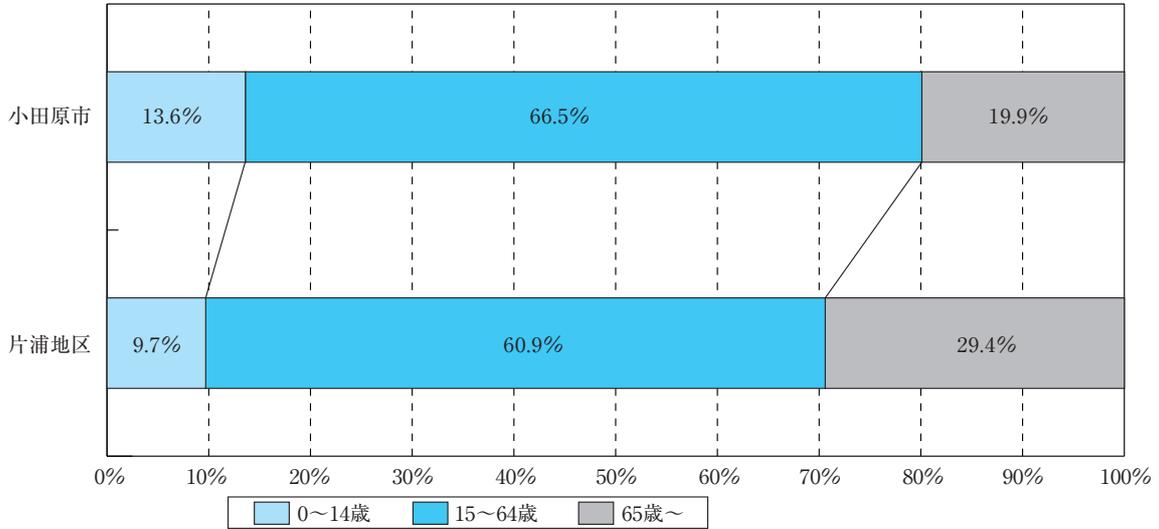
片浦地区の人口と世帯数の推移



片浦地区の人口ピラミッド

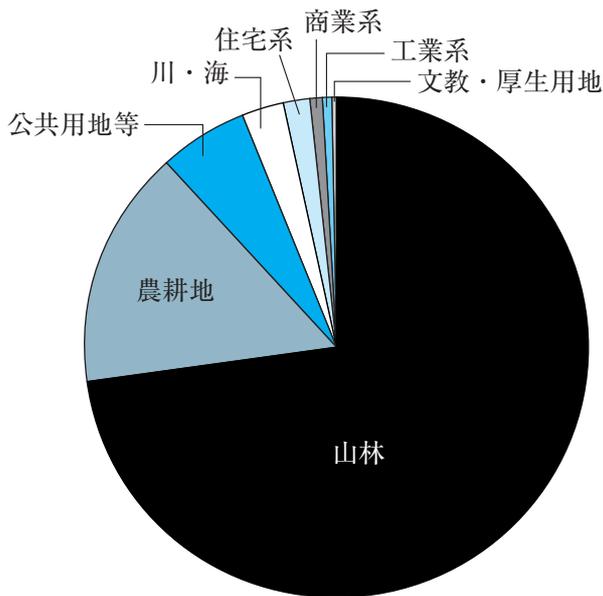


片浦地区と小田原市の年齢3区分人口割合の比較（平成17年）



### 3 土地の利用状況

山林と農耕地を合わせると全体の90%弱を占めており、学校や道路などの公共用地等の5.7%、住宅地の1.7%に比べて、緑に多く囲まれ、自然環境が豊かな地域です。反面、商工業系などがとても少ない地域です。



区分	割合
山林	72.8%
農耕地	15.4%
公共用地等	5.7%
川・海	2.7%
住宅系	1.7%
商業系	0.8%
工業系	0.6%
文教・厚生用地	0.3%
合計	100.0%

## 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～



東洋のリビエラ

豊かな自然に囲まれ、眼前に相模湾、その遠方に三浦半島、房総半島を望む眺望は、かつてドイツの建築家ブルーノ・タウトに「東洋のリビエラ」と称された景勝の地です。

箱根連山が屏風のように連なり、東部のみが海に面して自然に囲まれている地形から「片浦」という名称がついたとされています。

この海に面して陽光が十分降り注ぐ地形を活かし、みかんやレモンなど柑橘類の栽培が盛んで、特にみかんの収穫時期には、山がオレンジに色づくなど、この地区の特色となっています。

また、源頼朝が平家討伐の命を受け、鎌倉へ向かう途中の石橋山で平家と戦いが行われた「石橋山古戦場」、佐奈田与一が眠り、現在もたん・咳・ぜんそく・声などに霊験があるとされ、多くの参拝者が訪れる「佐奈田霊社」をはじめとし、ネジリ畑、文三堂、弾正屋敷跡、天正庵跡など多くの歴史的資産を有しているだけでなく、正岡子規・森鷗外・北原白秋など文学者の縁の地でもあります。



佐奈田霊社

地域活動に目を移しますと、自治会、老人会や子ども会への加入率が高く、地域住民同士のつながりが強い、地域活動が活発な地区です。伝統芸能である鹿島踊りは小田原市内では片浦の4地区だけに伝わり、特に根府川寺山神社の鹿島踊りは神奈川県無形民俗文化財に指定されており、保存会をはじめとして地元の人々の手で行われ、小学生も参加しています。

さらに、1連合1学区のため、地域と学校との連携が取りやすいため、小学校の運動会と健民祭を合同で行ったり、小学校の児童が敬老会で金管バンドを披露したり、地域と学校とのつながりの強さもうかがえます。



根府川寺山神社の鹿島踊り

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～



片浦は、全城市街化調整区域で、土地利用に大幅な制限がかかってしまっており、地区の若い人が土地に残らず少子高齢化が進行しています。

少子化により、平成22年3月には片浦中学校が閉校になり、片浦からは城山中学校に通うこととなりますが、そのことで地域と学校のつながりが希薄になってしまわないかが心配されます。

さらに高齢化により、お年寄りがお年寄りを支えなければならない状況になっていく心配があります。

また、新たな住宅を建てるのが困難なため、外から移住する人がおらず、市内他地区に比べて人口減少が著しい地区でもあります。人口減少・少子高齢化により、農業者・漁業者・林業者の数が減少しており、後継者不足が深刻となっています。農業者と林業者の減少は、耕作放棄地の増加や森林の荒廃を招いており、今後も増えていくことが懸念されます。

片浦の特色でもある景色はとても良いのですが、その反面、地形的に傾斜地で坂道、階段が多いため、地区内に高齢者が増えてきている状況では、徒歩または自転車での外出にはとても労力を要します。路線バスも走っていますが、土日は運行しておらず、また平日も便数が少ないため不便で、車がないと生活できない状況です。

防災面においては、前面を海に面し、傾斜地の多い片浦は、災害時に土砂崩れなどで道路・線路が寸断され、孤立してしまう恐れがありますが、昼間は地区内に若い人が少なく、昼間に災害が発生したときの対応方法が課題となっています。

## はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～ できることから始めよう ～

## 【めざす姿】

## 地域の支えあいでお年寄りも子どもも安心して暮らせるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
子どもが少なく、お年寄りが増え、お年寄りがお年寄りを支えなくてはなりません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化が進む片浦は、益々増えるお年寄りの触れ合いの機会を確保する為、敬老会やお茶飲み会、お花見、地域触れ合い訪問事業を継続するとともに、会の活動を楽しくするよう会員以外の者も協力していきます。</li> <li>・ お年寄りが安心して住むことができる片浦にするため、若者に限らず、中年から高齢者の年齢になる前の者、高齢者に至るまで、地域全体で協力して支えていけるように、お手伝い、手助けの仕組みを検討していきます。</li> </ul>

## 【めざす姿】

## 地域の力で安全に暮らせるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
海に面し、傾斜地の多い片浦は、災害時は孤立してしまう恐れがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時に孤立する恐れがある片浦は、住民の防災に対する意識が高く、また、地域のつながりも強いため、災害時の安否確認も難しくありません。防災訓練や自主防災組織の活動の充実を図りながら、被害縮小に向けて取り組んでいきます。</li> <li>・ 「互助」の観点から、災害時は、隣近所との連携が非常に大切となってくるので、地域行事や日常生活を通じて、片浦の強みでもあるご近所との結びつきを今後も強めていくように努めていきます。</li> <li>・ 昼間には地域内に若者が少ないので、昼間時の災害には消防団OBなどの経験者の協力が得られるように検討していきます。</li> </ul>

## 【めざす姿】

## 山、海の恵みを活かした、片浦ブランドのあるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>海や山に囲まれた環境を活かし、農作物や海産物などの特産物が多いです。</p> <p>農業の担い手が減ってきており、耕作放棄地が年々増加してきています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 片浦ブランドについて非農家・非漁業の人々も交えた話し合いの場を創設します。</li> <li>・ 片浦ブランドのHPを開設し、広く情報を発信します。</li> <li>・ 農家以外の人に農作業を手伝ってもらえる仕組みづくりを検討したり、学校農園に農家の方が指導しに来てくれるなど、農産物を使って、学校と地域とのつながりをさらに強化していきます。</li> </ul>

**【めざす姿】**

**美しい自然と歴史資産・郷土芸能が息づくまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>片浦は、恵まれた自然環境と数多く残る歴史資産など、魅力ある地域資源を有しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正八幡神社祭典、子之神社祭典、大美和神社祭典、寺山神社祭典、釈迦堂花祭りなどの片浦の祭りは地域に人が集うコミュニティーの原点となるものとして、守り続けていきます。</li> <li>・豊かな自然環境とその恵みを受けた特産物や片浦ウォーキングトレイル、リゾート地に訪れる者との交流を活かして、地域の活性化を図ります。また、樹木や花を植栽し、片浦ウォーキングトレイルのコースをより楽しめるよう工夫いたします。</li> <li>・鹿島踊りや福踊りなどの地域固有の伝統芸能は片浦の宝であり、若い人に関心を持ってもらうよう働きかけを行うことなどで、次世代まで継承していきます。</li> <li>・佐奈田霊社や文三堂など片浦に数多く残る歴史資産を地域の人を知り、来訪者に伝えられるようにする事で、こうした資産を守り、地域活性化につなげていきます。</li> </ul>
<p>鳥獣被害など、野生動物による農作物への被害が絶えず、また、坂道や急傾斜地が多く、車を運転できない高齢者には負担となる地形ですが、山と海に囲まれた自然があり、東洋のリビエラと言われるほどの景観を楽しめます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も、海岸清掃・美化運動・道刈・ホタルの育成など、片浦地区の自然を守る活動が多数行われており、今後もこの活動を衰退させず、維持させていきます。</li> </ul>

**【めざす姿】**

**絆を大切にすまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>各種地域活動が盛んで住民同士のつながりが強く、顔の見える関係を築いています。</p> <p>少子化や若者の転出で、活動の担い手となる者が減りつつあります。</p> <p>10年後、50年後の片浦地域がどうなっているのか心配です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんど焼きや山の講、戦没者等に対する墓参や慰霊祭など、先祖や自然を敬う活動を大切にしつつ、地域の絆を強くしていきます。また、各種公民館活動（カラオケ教室、ふれあい祭り、ヨガ教室など）を続けていきます。</li> <li>・健民祭や片浦地区球技大会、元旦健康ジョギングなどの地域の行事を通して、片浦の人たちの持つ優しい気持と団結力を守っていきます。</li> <li>・あいさつ運動を続けることで、地域全体に目が行き届き、地域のつながりが強いという片浦の良い点を守っていきます。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも片浦地域が存続していけるように、行政にも働きかけを行っていきます。</li> <li>・地域内各種団体との情報交換と連帯を強めます。</li> </ul>
--	--

## 【めざす姿】

**地域と学校・地域と子どもの絆がつよいまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>片浦は、学校と地域だけでなく、地域と子どものつながりが強い地域です。</p> <p>片浦中学校が閉校となり、子どもたちが城山中学校に通学することになることで、こうしたつながりがなくなってしまうことが心配です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片浦は、子ども会のバス遠足や青少年育成協議会の収穫祭をはじめ、清掃活動や防災訓練などの地域活動への小中学生の参加を通じて、地域と子どものつながりをさらに強めていきます。</li> <li>・片浦小学校をわがまちの学校としての想いをもって、各地で活躍する片浦小学校の金管バンド活動を応援するとともに、片浦小学校運動会と健民祭の合同開催を続けることで、学校と地域のつながりを強めていきます。</li> <li>・地域と城山中学校が連携を深めていけるように、城山中学校に働き掛けを行っていくとともに、中学生を含めた地域活動を充実することで、地域と中学生のつながりを紡いでいきます。</li> </ul>

## 【めざす姿】

**地域活動を行っている人々が楽しみ、  
現活動を維持しながら、さらに地域のつながりが強くなるまち**

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>市内で少子高齢化、人口減少が著しい地域ですが、地域でまとまる意識が高く、地域と学校のつながり、また、地域住民同士のつながりが強く、地域活動も盛んで参加率も高い地域です。</p> <p>P T A 役員の担い手も減っており、また、子どもが学校を卒業してから自身が退職するまでの間が、地域活動から離れてしまうことが多いです。</p> <p>独身の方の割合が多いです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おやじの会」が出来たばかりで、活動を充実させていきますが、それと同時に地区行事の担い手を増やす仕組みづくりをしていき、子どもが学校を卒業しても、地域活動から離れないようにします。</li> <li>・他地区から片浦小学校への通学が可能となるよう、現在方向性を検討していますので、今後も続けていきます。</li> </ul> <p>・地域主催のお見合いなども検討していきます。</p>

# 資 料

## ◆アンケートについて

片浦地区まちづくり検討委員会では地域別計画を策定するにあたり、地域住民に対してアンケートを実施し、片浦の現状・特色・課題・将来像について広くご意見をいただき、計画策定の参考にしました。

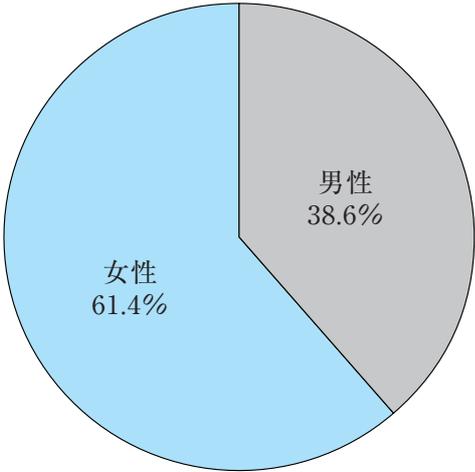
### 1. アンケート実施概要

実施期間	平成21年7月2日～平成21年7月17日
対 象 者	(1) 片浦小学校5、6年生及び保護者(40名) (2) 片浦中学校全校生徒及び保護者(32名) (3) 片浦地区から城山中学校に通う全生徒及び保護者(38名) (4) 片浦地区の住民(60名) (5) K F C (片浦フットボールクラブ)
配布方法	(1)～(3)は各学校を通じて配布 (4)については自治会長を通じて配布 (5)については代表に依頼して配布
回収方法	(1)～(3)は各学校を通じて回収 (4)については返信用封筒により回収 (5)については代表により回収
回 収 率	配布数 180部、回収数 140部、回収率 77.8%

2. 回答者の属性

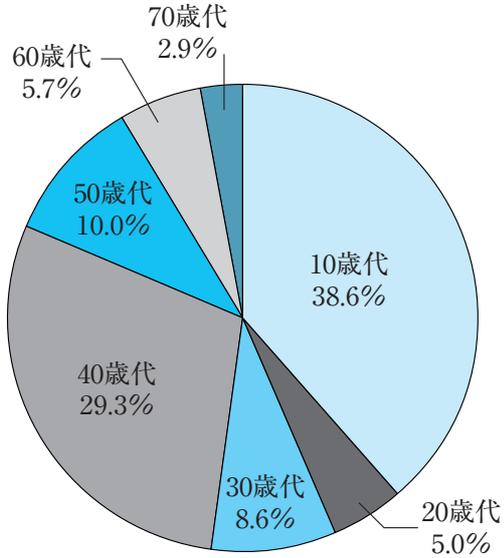
回答者の男女比

男性	54人
女性	86人
合計	140人



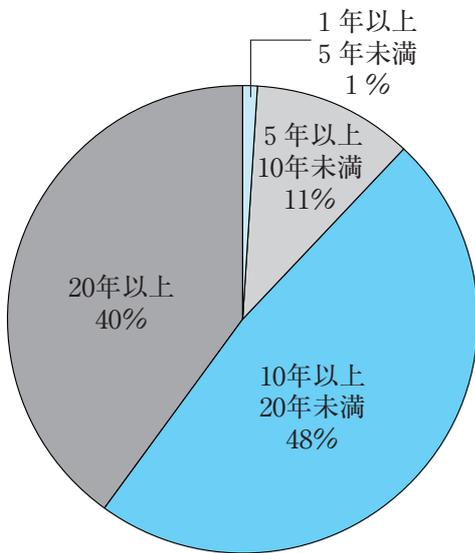
回答者の年齢割合

10歳代	54人
20歳代	7人
30歳代	12人
40歳代	41人
50歳代	14人
60歳代	8人
70歳代	4人
80歳以上	0人
合計	140人



回答者の居住年数

1年未満	0人
1年以上 5年未満	2人
5年以上 10年未満	15人
10年以上 20年未満	67人
20年以上	56人
合計	140人



### 3. 各設問の主な回答内容

#### 片浦のイメージ

##### ・主な意見

・海、山に囲まれ自然が豊かで温暖な地域
・子どもが少なく、過疎化が進んでいる
・交通便が悪い
・地域同士、地域と学校のつながりが強い
・ミカンの里

#### 片浦の特色

##### ・主な意見

・海、山、川があり、東洋のリビエラといわれた景観がある
・学校と地域のつながりが強い地域
・子どもたちが素直
・おいしいミカンが採れる

#### 片浦の課題

##### ・主な意見

・地域全体が調整区域なので家が建てられず、人口が減少する一方
・交通の便が悪く、またお店がないので買物に不便
・各種団体役員の担い手不足
・街灯が少なく夜を歩くのがこわい
・若い人が住みつかず、子どもの数が減少している
・サルやイノシシなどの鳥獣被害に困っている
・バスの便数がすくなく、また、土日はバスが走っていない
・農業・漁業の後継者が不足している

#### 片浦の将来像

##### ・主な意見

・土地に対する法規制がなくなり、住宅が新たに建てられるようになり、人口が増え、活気のあるまち
・安全に暮らせるまち
・子どもが増えて、片浦中学校が復活している
・自然を残しつつ、住宅が増えて、活気のあるまち
・若い人が地域に戻ってきて安心して住めるまち

## 片浦地区まちづくり検討委員会

## 委員長

中井 英雄 (片浦地区自治会連合会・石橋自治会)

## 副委員長

松本 勇 (米神自治会)

## 委員

会田 高久 (根府川自治会)

高橋 卓也 (民生委員児童委員)

広石 計典 (保護司)

鈴木 裕章 (農業者代表)

高橋 茂 (林業代表)

山室 光正 (片浦中PTA)

高橋 弘美 (子ども会)

廣井 弘義 (消防団)

廣井 隆史 (防災リーダー)

森本 俊行 (江之浦自治会)

高橋 昭子 (主任児童委員)

高橋 征人 (漁業者代表)

松本 隆博 (農業者代表)

矢郷 昌行 (土地改良区)

鈴木 敦子 (片浦小PTA)

広石 修 (体育振興会)

一井 仁 (防災リーダー)

## 事務局員

宮崎 博文

# 地域別計画

## ～ 曾我地区 ～



曾我地区まちづくり検討委員会

## 緑と歴史遺産を誇り、富士を仰ぐ長寿の里 “曾我”

地域の今（現況） ～ わたしたちの地域はこんな地域 ～

### 1 地域の位置と地勢

曾我は、小田原市の北東部に位置し、面積は6.06km<sup>2</sup>の地域です。北部は大井町との行政境を有し、市域では、南部は上府中に、東南部は下曾我に、西部は桜井に接しています。

西部は酒匂川に接し、東部は曾我山といわれる大磯丘陵地帯となっています。中央部には、東名高速道路と国道1号を繋ぐ国道255号が南北に、市道0065と0066が東西に走っています。また、丘陵地の裾野に沿って、県道72号（松田国府津線）とJR御殿場線が並行して通っています。さらに国道255号に並行する道路として小田原・大井線の建設が進められております。

豊かな田園地帯を中心にもつ、自然環境に恵まれた地域で、地域内のどこからでも富士山を眺めることができます。梅の花の咲く時期には、梅の花と富士山との景色が素晴らしく、多くの人を訪れます。

梅やみかんなどの果樹栽培のほか、米の水稲栽培が盛んな地域です。



梅林から富士の眺め

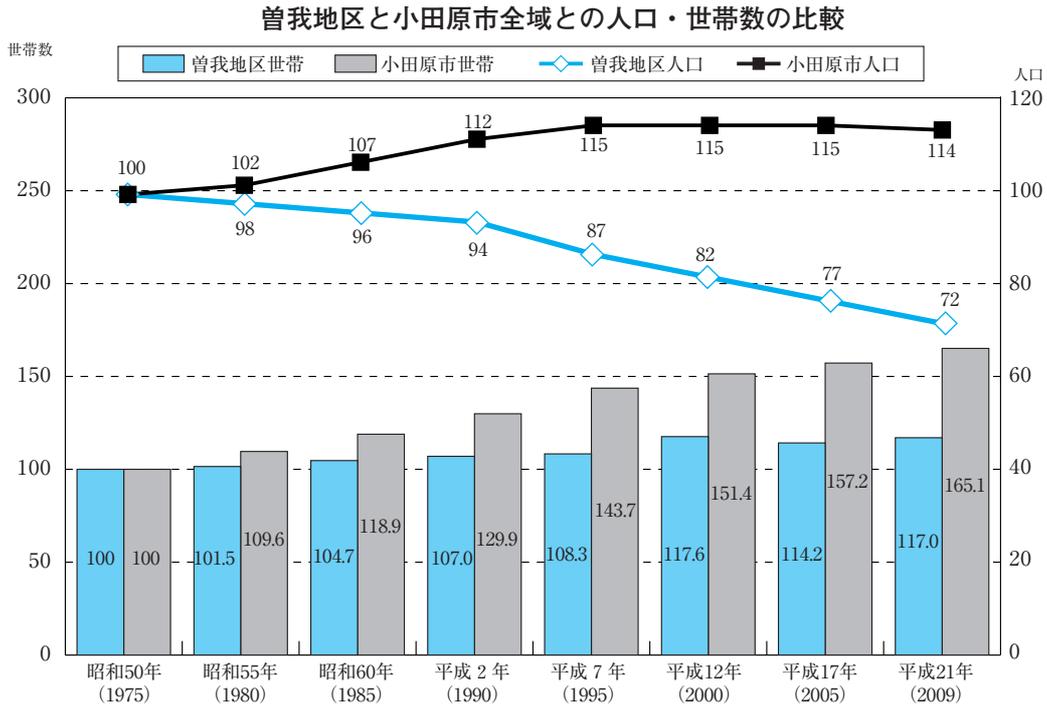


みかんの花



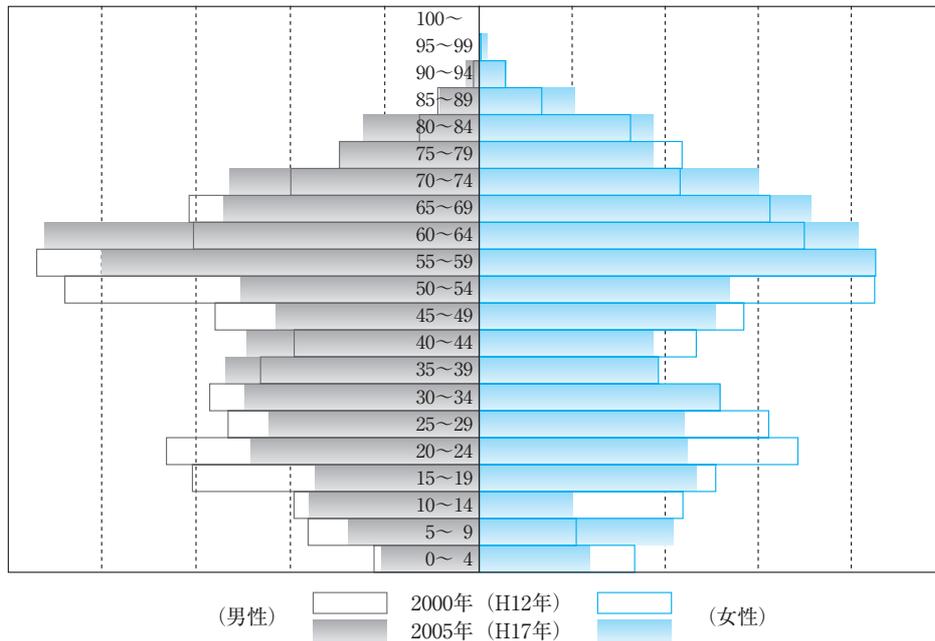
## 2 地域の人口・世帯

人口は、昭和50（1975）年から毎年減少し、平成17（2005）年には30年前と比べると約7割近くに落ち込んでおります。市全体としては、人口は横ばいで、世帯数は増加していますが、曾我は、世帯数が横ばいとなっていることが特徴です。

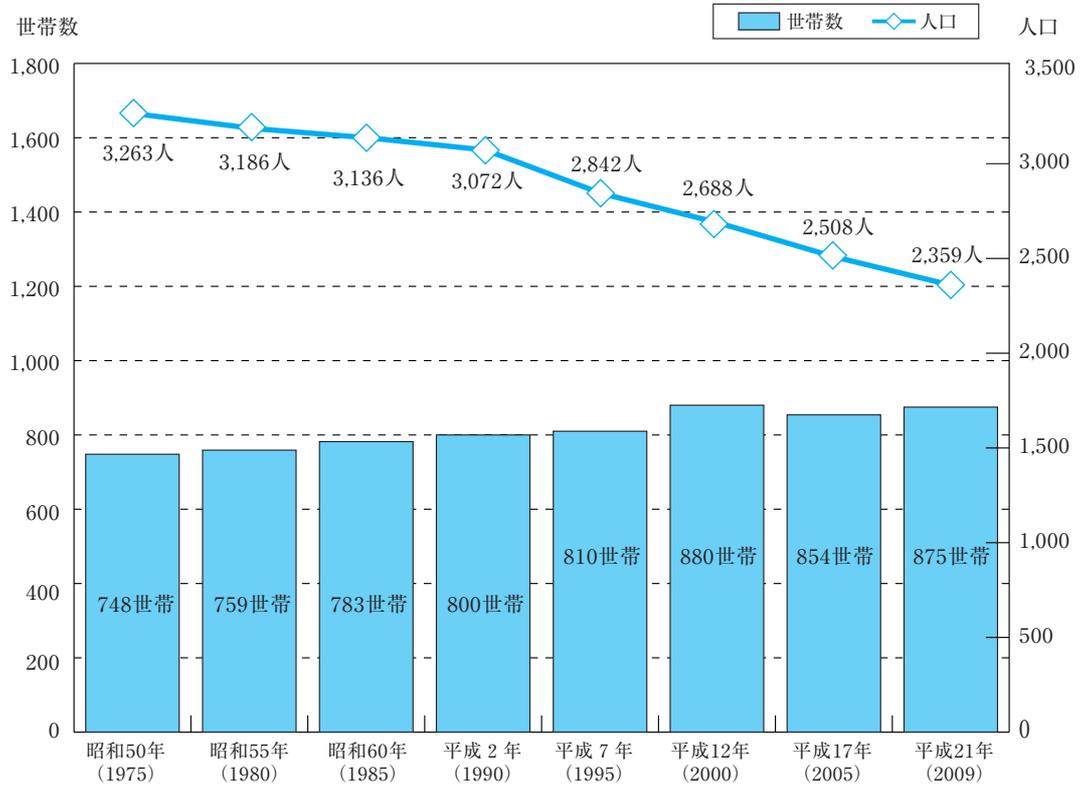


曾我地区の人口ピラミッド

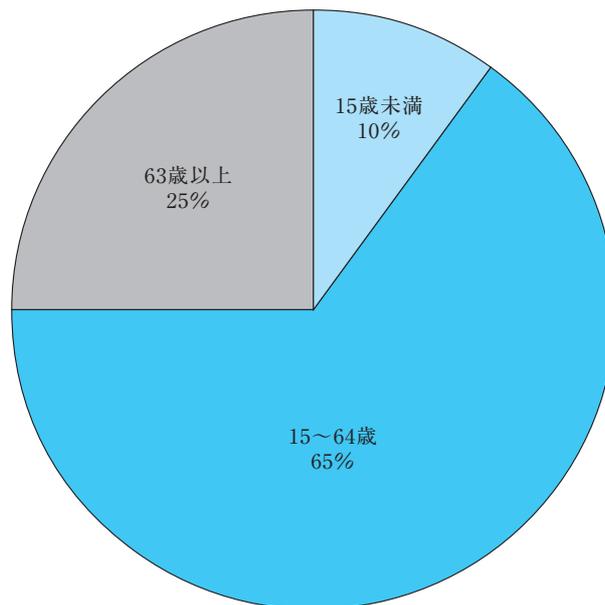
※ 目盛線は30人間隔です。



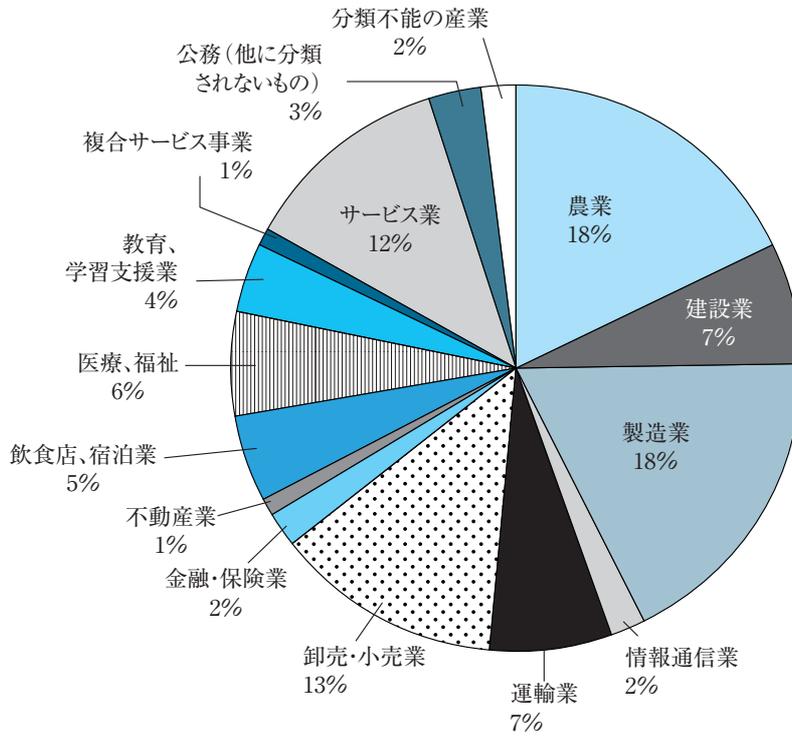
### 人口と世帯数の推移



### 人口の3年齢区分の割合 (平成17年)

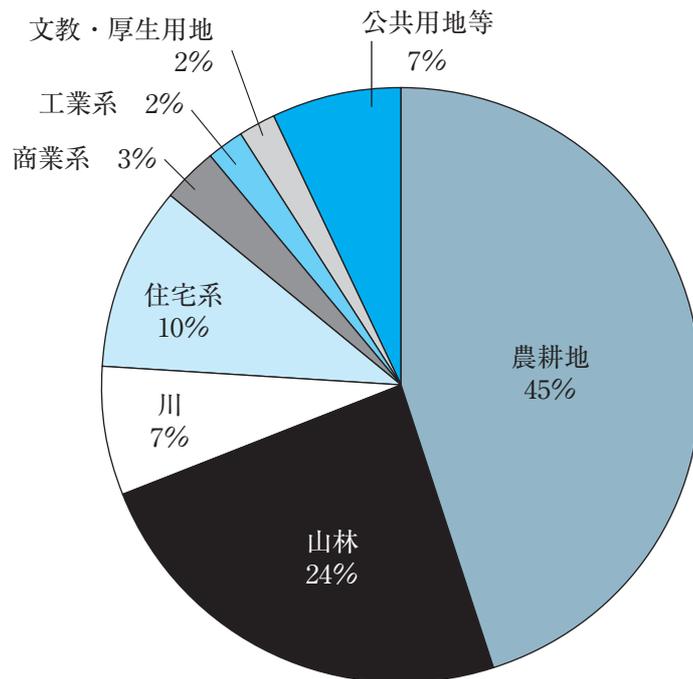


曾我地区の産業別就業者(15歳以上)の割合[平成17年]



### 3 土地の利用状況

曾我の80%近くは、農耕地や山林、川で占められており、豊かな自然に囲まれた中で、自然を生かした産業である農業に占める土地の割合が多いことが特徴です。



## 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

1000年前の小田原には、足柄峠を越えて、遠く奈良の都に通じる旧東海道が千代の台地を走り、曾我の一部にも集落があるとされています。また、吾妻鏡や曾我物語にも地名が記載されているなど長い歴史を持つ地域であり、自然環境に恵まれた農村地帯です。

そして、日頃から人々のつながりが強く、隣近所の協力体制があり、顔なじみの人たちなので、安心して暮らせる地域と考えている住民が多くいます。高齢者が多いことも特徴ですが、体育祭や防災訓練、敬老会などの代表的な地域行事には多くの人が参加します。

また、宗我神社例大祭や三嶋神社祭礼などには、老若男女を問わず、多くの人が集い、盛況に行われており、地域コミュニティの下支えをする行事となっています。

### 地域活動



#### 体育祭

体育振興会が主催をし、地域を代表する行事として、毎年10月に行われています。綱引きや大縄跳びなどの種目があり、子どもからお年寄りまで楽しむことができるイベントとなっております。また、より多くの人に参加してもらえるように、競技の一部に高齢者枠の設定や年齢制限をなくすなどの工夫をしています。



#### 防災訓練

災害はいつ起こるかわからないので、日頃から備えをしておくことが大切です。そこで、自治会や防災リーダーを中心に、毎年11月に地域全体を対象とした防災訓練を行っています。避難経路を確認するための参集訓練や三角巾の使い方などをはじめ、消火器訓練や起震車による地震体験、消防団の放水なども行っており、災害時に対応できるような知識を覚えて、防災意識の向上に努めています。また、防災リーダーによるAEDの心肺蘇生訓練なども行いました。



#### 敬老会

人のつながりのある曾我では、人生の先輩である高齢者を大切にすることは基本です。社会福祉協議会が開催する敬老会には、地域全体の高齢者が曾我小学校の講堂に会し、小学生がお祝いの言葉を贈り、長寿の表彰、祭囃子太鼓の演舞、昼食会などを行って、楽しい一日を過ごしていただきます。高齢者が多い地域なので、高齢者の集う大切な行事の一つです。



### 農業

足柄平野と大磯丘陵の一部に位置する曾我は、酒匂川が走り、酒匂堰や鬼柳堰という用水路もあり、農業が盛んな地域となっています。梅やみかん、米をはじめ、梨や柿、キウイフルーツ、バラ、菜花など様々な農産物を生産しており、それらの風景や果実に四季を感じ、楽しむことができます。



### 曾我山とみかん

曾我山と称される大磯丘陵の南斜面を利用して、みかんの栽培が行われています。曾我のみかんは少し酸味があり、みかんに甘さだけを求めない人たちには好評です。12月頃に収穫期を迎えますので、冬の澄んで新鮮な空気が漂う晴天の日には、富士山を遠く望み、また足柄平野から相模湾まで見渡すことができる景色の中、実るみかんの橙の色と葉の深い緑との組み合わせによって自然の素晴らしさを堪能することができます。



### 梨畑

鬼柳や下大井地区を中心に、足柄梨が栽培されています。水稲栽培の農閑期に収穫できる果樹として普及し、かつては足柄梨業組合も設立され、隣接する西大友に事務所がありました。現在も沿道販売による生産者直売などもあって、新鮮で季節の味を楽しむことができます。



### 三嶋神社祭礼

鎌倉時代に源頼朝の庇護を受けた古社で、大井町上大井及び西大井、小田原市下大井及び鬼柳の地域の氏神となっています。2月には「節分」、4月には「例祭」、11月には「だるま市」などが行われています。特筆すべきは、神輿が4地区を巡り、地域の繁栄を祈る行事が2年ごとに行われています。



### 宗我神社例大祭

宗我神社は、旧曾我郷6箇村の総鎮守で、例祭は9月に行われています。この祭りには山車5基と神輿1基が出され、それらが神社内に並ぶ姿は大変勇壮です。神輿は、中河原、上曾我、曾我大沢のほか、下曾我地区を、山車は、それぞれの地区内（中河原、上曾我のほか、下曾我地区）を巡ってから神社に勢揃いします。

その後、祭り囃子と高砂の舞を奉納し、猿田彦尊を先頭に下曾我駅まで下っていきます。古くは小八幡の海岸まで神輿の浜降りをしたといわれています。地域内外を問わず、多くの人に関わり、あるいは集う大きな行事の一つです。

地域資産



益田信世別荘跡

1 初代小田原市長の益田信世氏が酒匂川左岸土手下に昭和10（1935）年頃別荘を建てました。湧水を利用して池を造り、コイやマスなどを飼育し、畑には梨や桃の果樹を植えて、野菜を栽培していました。



曾我自修学校発祥の地とモッコク

2 曾我自修学校は、小学校より上級の学校に進学することが困難であった明治時代に、瑞雲寺住職が向学の志を持つ地域の青年を教導し、その後境内に自修学校を創立しました。規模拡大や学制改革などで移転や名称変更した後に向上高等学校と改称しました。その後、伊勢原に移転しました。瑞雲寺は、曹洞宗の寺で、十一面観世音を本尊とします。また、境内にはモッコクの木があり、市内最大級の古木で市の天然記念物となっています。



鬼柳堰・酒匂堰

3 大久保忠燐が初代小田原城主忠世の意思を継ぎ、酒匂川左岸の畑地が多く沢水に頼っていた水田の小田原藩の石高を上げるため、酒匂川の流路変更と共に酒匂堰・鬼柳堰の普請を始め、慶長8年（1603）に西大井から国府津の親木橋までの幅7.2m・延長10.7kmの酒匂堰を完成させ、（小田原藩）30数カ村に500町歩の水田と2万石の増産をはたしました。そこで酒匂堰を別名「万石堰」と呼んでいます。昭和12年に文明用水を酒匂川・川音川の川底をサイホンで通し、三角土手から酒匂堰に取水し、金田堰・鬼柳堰に分水し、用水路の改修を昭和42年に完成し現在に至っています。



曾我支所及び生涯学習センター 曾我分館

4 小田原市役所の窓口業務の一部を担う支所と、併設して生涯学習施設があります。昭和31年建築の木造立てで趣きのある建物です。生涯学習センター曾我分館は、和室と講堂があり、地域の活動に利用されています。社会福祉協議会の会議も毎月、ここで開催されています。



曾我山

5 小田原市の東部の丘陵地は、曾我山と呼ばれ、大磯丘陵の南西部にあたります。海側から弁天山、高山、不動山、浅間山と次第に高くなって大井町、松田町に続いています。曾我山と足柄平野との境界は急斜面でまっすぐです。そのため、みかん畑に利用されています。



風外窟

6 上曾我の鎮守三島神社西下のクスギ林の中に風外窟があります。風外は、ここ曾我・田島で座禅を組み、墨絵を書き、念仏を布教して6年間ほど生活しました。



須賀神社とクスノキ

9 速須佐之男命を祀るとされています。祠の裏手には、市内で第4位の巨木で市の天然記念物にも指定されているクスノキがあります。オオバヤドリギが30箇所も寄生していることが珍しいです。



中河原梅林

8 中河原梅林のほか、曾我別所、曾我原の梅林を総称して、曾我梅林といいます。2～3月頃には富士山を望む田園の中に、35,000本の生産梅林が咲き誇ります。その期間には、曾我の梅まつりが開催され、多くの人で賑わいます。

7 泉蔵院には、平安時代後期にこの地方の仏師が作った代表的な仏像として、十一面観音立像があります。昭和45年には、市の指定文化財にもなっています。泉蔵院は、照昌山大願寺泉蔵院といいます。



(参考資料・引用：身近にある小田原の史跡 川東版 第2版 小田原市教育委員会発行)

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

曾我は、曾我山と酒匂川の間に位置しているため、地震や風水害、山火事への備えが重要な問題ですが、自主防災組織や消防団の必要性に対する住民の意識が低くなっています。

また、地域全体が市街化調整区域となっているため、開発に伴う人口増は望めない中、少子高齢化が一段と進み、高齢者が高齢者を支えていかななくてはならない環境になってしまいう可能性があります。そして、自治会の未加入集落の高齢化も進み、これからは地域が一体となって、連携しながら住民が支えあう環境づくりが急務であります。

さらに、農業従事者の高齢化と後継者不足のため、荒廃農地が広がりつつあり、そこへの不法投棄もまた問題となっています。

## はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～できることから始めよう～

◆…特色 >…課題 \*…取り組むこと

### I 安心・安全なまちづくり

#### 1 災害への備え

【めざす姿】

### 日頃の備えで災害に強いまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域全体として行っている防災訓練には、多くの人が参加し、防災に対する意識を高く持っています。</li> <li>◆曾我地区の一部では、自治会を中心に拍子木を使った火災予防活動を行っています。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢曾我山や酒匂川があり、地震や風水害、山火事などへの備えが必要となります。特に、地震発生時の建物や大谷石の堀の倒壊、液状化現象、酒匂川氾濫による土石流などの水害への対応策、崖崩れの危険箇所等の把握、災害時の中河原配水池の安全性、山火事発生時の防災対策などが求められています。</li> <li>➢年々高齢者や単身世帯が増加しており、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*災害による被害を少なくするため、引き続き、曾我地区防災訓練の実施や防災用具の整備を行うとともに、自主防災組織の更なる充実を図っていきます。また、防災訓練を通して、誰もができる初期消火や消火器の使い方を学び、火災などの災害に備えていきます。</li> <li>*災害時に本当に必要なことは何かを住民たちで話し合い、毎年の防災訓練に反映していきます。</li> <li>*発災時における被害の軽減と世帯状況の把握などのため、平常時においては、個人情報保護の必要性も意識しながらも、各世帯状況等の情報の提供についての理解を求めています。</li> <li>*草刈や枝下ろしなど、山道の清掃をすることで、山火事発生の際に、迅速に対</li> </ul>

<p>災害発生時の対応で、動けない人をどうしたらよいのかなど、心配なことが多くあります。</p>	<p>応できるように管理をしていきます。                  *市と情報交換を行いながら、消火器設置場所の周知を行い、火災発生時に初期消火による被害拡大防止に努めます。                  *防災知識の啓発活動を続けていきます。</p>
--	--

## 2 「互助」の仕組みづくり

### 【めざす姿】

### 「自助」「互助」の精神が根付き、地域防災力の高いまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b>                  ◆山火事などの災害に対応する自治消防があり、加入が義務付けられています。</p> <p><b>【課題】</b>                  ➤自主防災組織や消防団の必要性に対する地域住民の意識が低くなっています。                  ➤消防団員の確保が難しくなっています。また、地域外に勤務する団員が多く、昼間時に災害が起きたときの体制が心配です。                  ➤自主防災組織が高齢化しており、災害発生時に機能するか不安です。</p>	<p>*災害時における「互助」の考えから、自主防災組織や消防団の必要性や重要性を地域の人に周知するとともに、中高生にも協力を求められるように、生徒の意識を向上させていきます。また、自治会と消防団の連携を密にしながら、性別や年齢要件の緩和などを検討し、団員の確保に努めていきます。                  *災害時に的確な指示を出せることができる地域のリーダーを育成していきます。</p>

## 3 犯罪を防ぐ「見守る目」

### 【めざす姿】

### お隣同士の良い関係、つくって守る安全・安心なまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b>                  ◆青少年健全育成協議会のパトロールは、地区社会福祉協議会の会議で、見回り箇所の協議をするなど、地域の連携を図りながら実施しています。                  ◆ミニ集会で高い塀を抑制するための協議や各家庭への注意・啓発などの防犯への取組みを行っています。</p>	<p>*青少年健全育成協議会パトロールや防犯パトロールを継続しながら、地域の安全確保に努めるとともに、各家庭に空き巣等への注意と防犯対策の周知を行い、住民の意識啓発を図っていきます。                  *回覧を活用して、犯罪発生情報などを適時に伝えていきます。特に盗難や空き巣等の犯罪があった場合は、直ちに回覧を</p>

<p><b>【課題】</b></p> <p>➤空き巣等の犯罪が発生し、地域住民の安心・安全な生活が脅かされています。地域のつながりが弱くなることで、子どもへの見守りの目が薄くなるのが心配です。</p> <p>➤夜道が暗く、安心して歩くことができません。また、通学路は交通量の少ない道路を選んでいるので、防犯面では不安なところがあります。</p>	<p>作成して各家庭に周知を図り、再発防止に努めます。</p> <p>*地域の絆を強めることが、防犯への第一歩と考え、声かけやあいさつ運動の励行により、隣近所の協力体制を整え、地域の見守りによって、子どもの安全を確保していきます。</p> <p>*防犯灯を必要な箇所に設置していきます。</p>
--	---

#### 4 交通安全への取組み

**【めざす姿】**

### 「老人や子どもを交通事故から守る」意識の高いまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b></p> <p>◆通学路の安全確保のために、スクールゾーン対策協議会を設置し、通学路にある障害物の撤去などを依頼する活動を行っています。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>➤幅員が狭く歩道のない道路の交通量が多く、子どもが安心して学校に通うことができません。</p> <p>➤個人宅の生垣が道にはみだしているところがあって危険です。</p>	<p>*新入学児童・園児を交通事故から守る活動や登下校時の見守り活動をはじめ、通学路の調査や点検を行って、行政や住民に対して危険箇所の改善や障害物の撤去などの働きかけを行っています。こうした活動を継続しながら、見守りの目によって子どもの安全を確保していきます。</p> <p>*回覧の発行や交通安全教室を通して、交通ルールの遵守と自らできる交通事故防止策を身に付けてもらうとともに、交通安全に対する意識を醸成していきます。</p> <p>*教育の基本は家庭であることに鑑み、家庭教育の徹底を行うことで、子どもも交通ルールを学び、守ることを教えていきます。</p> <p>*交通安全の向上のため、交通指導員の配置を検討していきます。</p>

## II 健やかで安心して暮らせるまちづくり

### 1 支え合いの取組み

【めざす姿】

#### 福祉の活動を伝え、地域が支えあえるまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <p>◆自治会をはじめとした地域の主だった団体が社会福祉協議会の構成員となっており、毎月の会議が課題解決や情報共有、各種活動の調整などの場となっております。</p> <p>【課題】</p> <p>➢高齢化が進み、これからは高齢者同士が支え合いをしていかななくてはなりません。</p> <p>➢民生委員や健康おだわら普及員などの地域福祉を支えるための担い手の数が不足しています。</p>	<p>＊曾我の連携強化のため、曾我地区社会福祉協議会の会議は、今後も継続していきます。なお、構成員の中には、毎月別に会議を開催している団体から複数の人が出席していることもあり、会議の運営方法等について検討します。</p> <p>＊民生委員とボランティアクラブの連携を密にするなど、地域福祉の更なる充実に取り組むとともに、高齢者が高齢者を支える時代を迎える前に、行政が直接担う福祉への働きかけも視野に入れながら、地域福祉のあり方について検討します。</p> <p>＊子育て支援スタッフや民生委員、主任児童委員は、子育て支援の活動をしていますが、活動に対する認知度が低いので、回覧などにより活動の周知をしながら理解と協力を求めています。</p>

### 2 健康づくりへの取組み

【めざす姿】

#### 体力づくりと仲間づくりで健康な人々が住むまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <p>◆曾我地区体育祭やペタンク活動、グラウンドゴルフ、体操教室などの体を動かす活動だけでなく、はつらつ健康相談やミニミニ健康デー、栄養教室などの「食」を含めた健康管理面の活動もあり、地域の輪と健康づくりのための活動が行われ</p>	<p>＊各種スポーツをはじめとする健康づくりの活動は、人々のふれあいと健やかで生き生きとした暮らしを支えるために、体育振興会を中心に今後も継続していきます。</p> <p>＊体操教室やミニミニ健康デーなどの健康活動については、遠くまで歩くことがで</p>

ています。特に曾我地区体育祭は多くの人が参加する曾我の代表的な行事の一つです。

**【課題】**

- 日常生活における交通手段に自動車を利用している人が多く、運動不足は否めませんが、地域で気軽に参加できるサークルがないなど、時間に余裕のない人が運動をする機会がありません。また、農業従事者は、農作業で身体を動かしているため、さらに健康づくりを行うという意識が低くなっています。
- 曾我地区体育祭は、参加者が高齢化し、また役員が出ていることが多く、参加者が増えず、種目を行うことも難しくなっています。特に若い世代の人の参加者が少なくなっています。また、参加しない人の中には、家に引きこもっている人もおり、こうした人たちに参加を促していくかが課題となっています。

きない高齢者への対応や参加者を増やし、きめ細やかな対応をしていくため、保健師の助言と協力を得ながら、身近な自治会単位での活動を検討していきます。

- \*また、これらの活動を通じて、健康で長生きをするための効果を説明しながら、自らの健康は自らで維持していくということと、散歩、ラジオ体操などの気軽に行えることから、日常的に運動を行うような意識付けを図っていきます。
- \*曾我地区体育祭は、高齢者も楽しめるようなレクリエーション的な種目や子どもが参加できるような種目を増やすことを検討し、参加者数の増加に努めます。また、回覧だけでなく、各活動団体で声かけをしていきます。
- \*家に閉じこもってしまっている人には、まず仲間づくりが第一歩と考え、あいさつを中心に隣近所で声かけをし、地域とのつながりを深めていきながら、地域活動への参加を促していきます。

**3 高齢者への見守りとふれあいの取組み**

**【めざす姿】**

**高齢者への支えと見守りの厚いまち**

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b></p> <p>◆一人暮らしの高齢者のために、安否確認などの見守り訪問をはじめ、配食サービスや昼食会（クリスマス会・梅見会）などの活動を行っています。また、高齢者同士が集まる旅行やサークル活動が盛んに行われています。</p>	<p>*高齢者とのふれあい、あるいは支えあいをしていくために、高齢者への見守り活動を継続するとともに、気軽に参加できる体制づくりをめざすことで更なる充実を図っていきます。</p> <p>*地域で高齢者を支えていくため、地域全体で老人会などをバックアップするとともに、誰もが老人会に楽しく参加できるような体制づくりを検討していきます。</p>

<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤高齢者同士が支え合うために、高齢者が集える場が大切となってきますが、老人会の加入率が地区ごとに格差が広がり、役員の担い手も少ない状況となっています。そのため、入会の実年齢が下がってきています。</li> <li>➤高齢者を支えるための各種活動を行っていますが、担い手も減り、また、対象となる人の中でも訪問等を嫌がる人もあって、サービス提供が難しくなっています。</li> <li>➤若い世代が減少し、高齢化が進行しており、一人暮らし高齢者や高齢者だけの世帯も増えています。特に市営住宅における単身高齢者世帯の増加は顕著となっています。</li> <li>➤曾我は、病院や商業施設が少ないので、年齢と共に足腰が弱くなってきている状況で、通院などにおける付き添いなどの問題もあり、このまま暮らしていくことができるのか心配です。</li> </ul>	<p>*高齢者の日常生活支援のために、地域による送迎ボランティア活動の実施を検討していきます。その際は、支援や有償化、事故の補償などの考慮も必要です。</p>
---	---

### Ⅲ 良き資産を次代に繋ぐまちづくり

#### 1 美しいまちを守る取組み

**【めざす姿】**

#### 曾我の美しい自然環境を守り伝えるまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b></p> <p>◆曾我山や酒匂川を有し、地域全域で富士山が見え、多くの生き物や草花に囲まれ、空気は澄み、人家が少なく清々として、落ち着いた佇まいがある小田原一良ところです。また、中小の清流にも恵まれております。</p>	<p>*春夏の美化清掃や下水掃除・公園草取りなど、地区内清掃をはじめ、六地藏や宝徳松、熊野神社など、公共施設や自然環境だけでなく、歴史遺産の清掃を行っています。こうした活動を継続し、曾我の豊かな自然環境や歴史遺産を美しく保って次世代に引き継いでいきます。</p>

<p><b>【課題】</b></p> <p>➢ 曾我山や農道などに家電製品、タイヤ、他の生活道具などの不法投棄があります。</p>	<p>* 不法投棄対策のため、引き続き美化推進委員によるパトロールなどを行っていきます。また、清掃活動の更なる充実を図り、まちをきれいにすることによって、ごみを捨て難い環境をつくっていきます。</p>
---	--

## 2 わがまちの誇りを伝える取組み

### 【めざす姿】

## 伝統行事を通じ、地域世代間の交流が活発なまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b></p> <p>◆ 宝徳松や益田信世別荘跡をはじめ、白山神社、熊野神社や須賀神社など、曾我には伝統のある歴史遺産があり、また、それぞれの神社では祭典が行われて多くの人が集い、曾我の誇る地域コミュニティの原点となっています。</p> <p>◆ 鬼柳自治会の夏祭りや中河原自治会の盆踊りには、多くの人々が参加し盛大に行われております。一方、夏祭りを止めてしまう地区もあります。</p>	<p>* 三嶋神社祈念祭や宗我神社祭礼、導き地蔵祭典、どんど焼きをはじめ、納涼大会や夏祭りなどの伝統文化行事は、現在曾我に住んでいる人だけでなく、この地で生まれ育った人たちにとっても大切なものであり、また人と人とを繋ぐ交流の場として、守っていきます。</p> <p>* 祭り囃子は、敬老会で発表するだけなので、それ以外に発表の場を提供し、参加者の意識を醸成し、地域の活性化につなげていきます。</p> <p>* 曾我梅まつりを利用して、曾我の文化遺産・歴史資産を広報していきます。</p>

## 3 特色を活かした取組み

### 【めざす姿】

## 地域を知り地域の特色を活かし地場産業の活性化を図るまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b></p> <p>◆ 米、梅、みかん、柿、梨などが栽培される農業中心の地域です。</p> <p>◆ 曾我梅まつりは、多くの人で賑わい、地域に活力を与えています。</p> <p>◆ 地域内のどこからでも富士山が見え、景</p>	<p>* 地産地消を活用し、高齢者や身体の不自由な人のために、ミニショップなどを開いて地域の特産物を販売する取り組みを検討していきます。こうした活動には、JAや市との連携を図りながら、農業振興策との併用を考えていきます。</p>

<p>観の優れた地域です。また、康岳寺や熊野神社などの歴史遺産や酒匂堰と鬼柳堰による豊かな穀倉地帯です。</p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢市街化を抑制する区域として宅地ができず、新たな世帯が増えません。</li> <li>➢農地等の荒廃・農業の後継者不足で山が荒れ、耕作放棄地に繋がっています。また、農業従事者が高齢化しています。</li> <li>➢商店がなく、高齢者化が進むと日常生活に支障をきたすのではないかと心配です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*曾我と市が連携して、曾我ブランドを生み、育てていき、魅力ある農業とするとともに、荒廃農地の解消や農業後継者の育成に取り組んでいきます。</li> <li>*農地の宅地化などによる土地の利活用は難しいので、まずは曾我の特色である「農」を活かしたまちづくりなどによる地域振興策を検討していきます。</li> <li>*田植え・稲刈り体験やみかん・梅もぎ、花見などによって、曾我を体験し、食べて、遊んで満喫するという、「る（体験する）る（食べる）ぶ（遊ぶ）」を起こし、地域の活性化に繋げていきます。そのために、まずは「地域を知ろう」と題し、寺や史蹟めぐりなどのマップづくりをしていきます。</li> <li>*ウォークラリー大会では、地域の史跡などの資産を巡り、住んでいる人に曾我の自然や歴史を知ってもらいます。</li> </ul>
---	--

#### 4 地域のきずなを活かした取組み

**【めざす姿】**

### 子どもからお年寄りまで顔が見えるつながりのあるまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆隣近所の協力体制が整っていて、地域のコミュニケーションも密になっています。</li> <li>◆住民の出入りが少なく、顔なじみの人たちが多く住んでいるので、安心して暮らすことができる静かで緑に包まれた環境です。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢各自治会の高齢化が進んでいますが、加入をしていない集落の高齢化も進み、今</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*曾我地区自治会連合会や曾我地区社会福祉協議会が連携し、市の協力も得ながら、自治会連合会への未加入集落との対話を図り、今後の方向性を模索していきます。</li> <li>*子どもがスポーツなどの地域行事に参加することで、人々と顔見知りになり、地域の見守りの中で、健全育成を図っていきます。</li> </ul>

<p>後は地域で連携していく必要性があります。</p> <p>➤若い世代が増えず、小学校入学児童が減少しています。</p>	
---	--

## IV 生きがいのあるまちづくり

【めざす姿】

### 学びあいとふれあいが充実しているまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p><b>【特色】</b></p> <p>◆グラウンドゴルフ大会や日本舞踊などの生涯学習活動が盛んに行われています。また、パークゴルフ、ペタンク、ハイキングなどの体育事業を推進しています。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>➤各地区に公民館があって、生涯学習への環境は整っていますが、生涯学習活動などへの参加者は同じで、なかなか広がっていきません。</p>	<p>*各種活動への関心を高めるため、広報活動の活性化をするとともに、曾我地区全体の文化的交流を図るため、曾我地区連合公民館長会議の開催を検討していきます。</p> <p>*公民館活動を広く広報することで、参加者を増やしていきます。</p>



## 資料

## 検討経過

曾我地区に係る地域別計画の策定は、曾我地区社会福祉協議会の構成員を中心とした曾我地区まちづくり検討委員会を市内で最も早く設置し、月1回定期的に行われております同社会福祉協議会の会議の場を利用し検討を進めました。説明会を含めると10箇月にも及ぶ検討期間を経て作成されました。

会議の進め方は、まず、検討委員会の委員それぞれに課題や特色などを提出してもらうとともに、回覧によって地域に呼びかけて課題や特色を洗い出しました。その内容をもとに、現在取り組んでいる活動と照らし合わせながら、自ら取り組む活動を考えました。検討の方法は、検討委員会を4つのグループに分け、同じテーマで、付箋と模造紙を利用するKJ法によって進めました。

最終的には、2月に行われました検討委員会の場で承認を受け素案を完成するとともに、地域内を回覧することで周知を図っています。

月	会議数	内 容
5月	事前	地域別計画説明会（社協会議）及びまちづくり検討委員会の設置
6月	第1回	組織の内容（委員長、副委員長、会則等）、今後の進め方及び課題調査票の配付
		地域内に周知の回覧
7月	第2回	曾我地区に係る人口、面積等の説明及び課題調査票の結果の報告
8月	第3回	4グループに分けて、防災・防犯分野に係る現状把握及び取り組む活動の検討
9月	第4回	防災・防犯分野及び健康分野に係る現状把握及び取り組む活動の検討
10月	第5回	健康分野に係る現状把握及び取り組む活動の検討
11月	第6回	健康・福祉分野に係る現状把握及び取り組む活動の検討
12月	第7回	文化・教育・環境・地域振興に係る現状把握及び取り組む活動の検討
1月	第8回	取り組む活動のまとめ、めざす姿の検討
		自治会長を中心に地域別計画の編纂（2回）
2月	第9回	地域別計画の承認
3月		（素案）地域別計画の地域内での回覧



※ 5月～12月は平成21年で、1月～3月は平成22年です。



## 曾我地区まちづくり検討委員会

### 委員長

久保寺 正 (曾我地区自治会連合会長)

### 副委員長

稲毛 勝巳 (曾我地区自治会連合副会長)

### 委員

<p style="text-align: center;"><b>【Aグループ】</b></p> <p>荻田 俊道 (民生委員児童委員協議会長)            高橋美佐子 (春木住宅自治会長)            長田 康子 (民生委員児童委員)            平澤 長門 (民生委員児童委員)            鳥井 功 (中河原自治会副自治会長)            加藤 延夫 (春木住宅自治会副自治会長)            柏木 良子 (ボランティアクラブ会長)            杉崎 幸正 (体育振興会長)            徳田 峰雄 (曾我地区連合子ども会長)</p>	<p style="text-align: center;"><b>【Bグループ】</b></p> <p>市川 芳夫 (鬼柳自治会長)            飯岡 芳雄 (籠場住宅自治会長)            枝野 早苗 (民生委員児童委員)            本多 操 (民生委員・主任児童委員)            柏木 一治 (山岸地区連絡員)            三田地健志 (下大井自治会副自治会長)            須貝 隆 (籠場住宅自治会副自治会長)            市川 昭一 (消防団第21分団長)            柏木 洋子 (子育て支援スタッフ)</p>
<p style="text-align: center;"><b>【Cグループ】</b></p> <p>代田 要 (中河原自治会長)            新鹿 勲 (花里住宅自治会長)            勝間田岩男 (民生委員児童委員)            板垣 文子 (民生委員・主任児童委員)            杉田 孝夫 (鬼柳自治会副自治会長)            吉鶴 守秋 (花里住宅自治会副自治会長)            佐藤 正枝 (健康おだわら普及員)            代田 絹代 (曾我小PTA会長)            鳥居 和男 (青少年健全育成協議会長)            矢島 昇知 (曾我小学校長)</p>	<p style="text-align: center;"><b>【Dグループ】</b></p> <p>関野 晃弘 (曾我大沢自治会長)            柏木 一彦 (明月自治会連絡員)            田中 時子 (民生委員児童委員)            鳥居 輝男 (上曾我自治会副自治会長)            中津川 隆 (曾我大沢自治会副自治会長)            石井 恵子 (健康おだわら普及員)            杉崎 勲 (曾我地区老人クラブ連合会長)            市川 亨 (交通安全協会支部長)</p>

### 事務局

佐藤隆司 (曾我地区社会福祉協議会監事)

作成日 平成22年3月

※計画書に使用した写真の一部は、柏木茂高氏から提供されたものです。

# 地域別計画

## ～ 前羽（橘南）地区 ～



前羽地区まちづくり検討委員会

# 海と山に囲まれ、昔の風情が残る住みよいまち 前羽

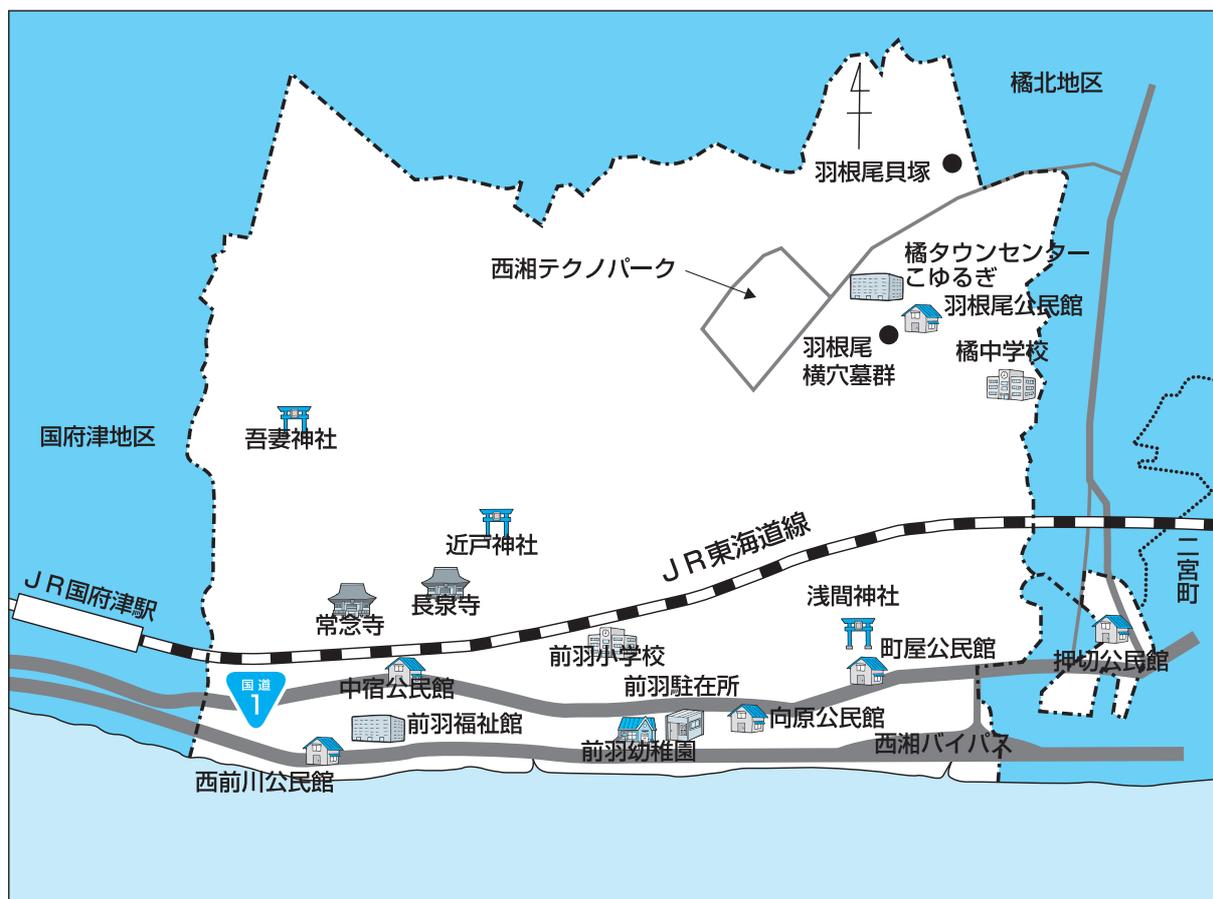
地域の今（現況） ～ わたしたちの地域はこんな地域 ～

## 1 地域の地理状況

前羽は、小田原市の東部に位置し、東側を二宮町に接し、南側が相模湾に面する地域です。海側から西湘バイパス、国道1号、JR東海道線が東西に走っています。

前羽を通る国道1号は、1月2日と3日に開催される伝統的な箱根駅伝のコースとなっています。ランナーは、押切を過ぎて高台から相模湾を一望されます。

地区内には西湘テクノパークがあり、その中には平成19年8月にオープンした橋タウンセンターこゆるぎがあります。地域コミュニティの場としては、前羽福祉館もあります。



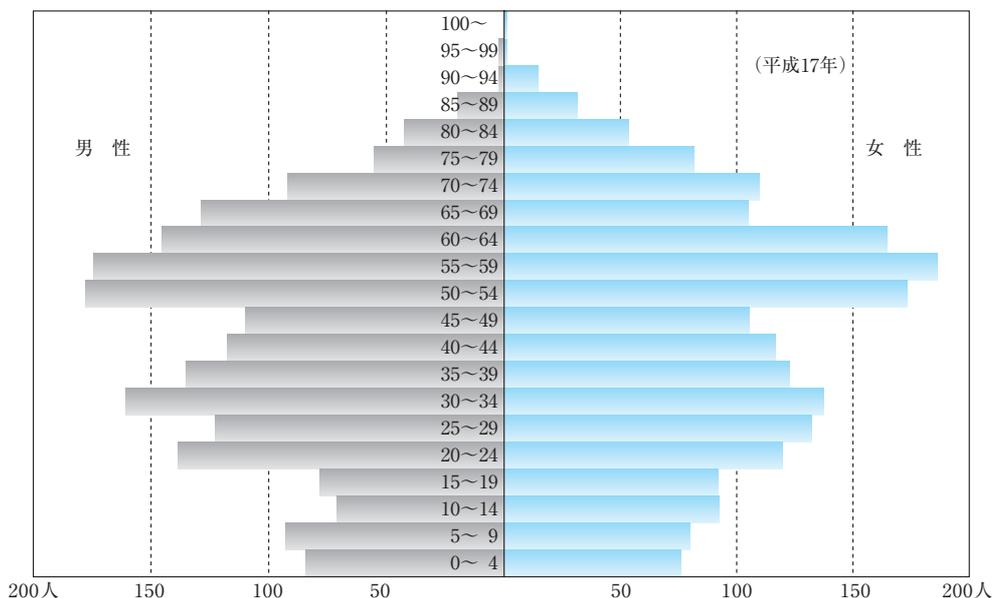
## 2 地域の人口・世帯

人口の年齢構成は、団塊の世代、団塊ジュニア世代が多く、「釣鐘型」となっていますが、これは前羽地区だけでなく小田原市全体、さらには日本全体の傾向です。

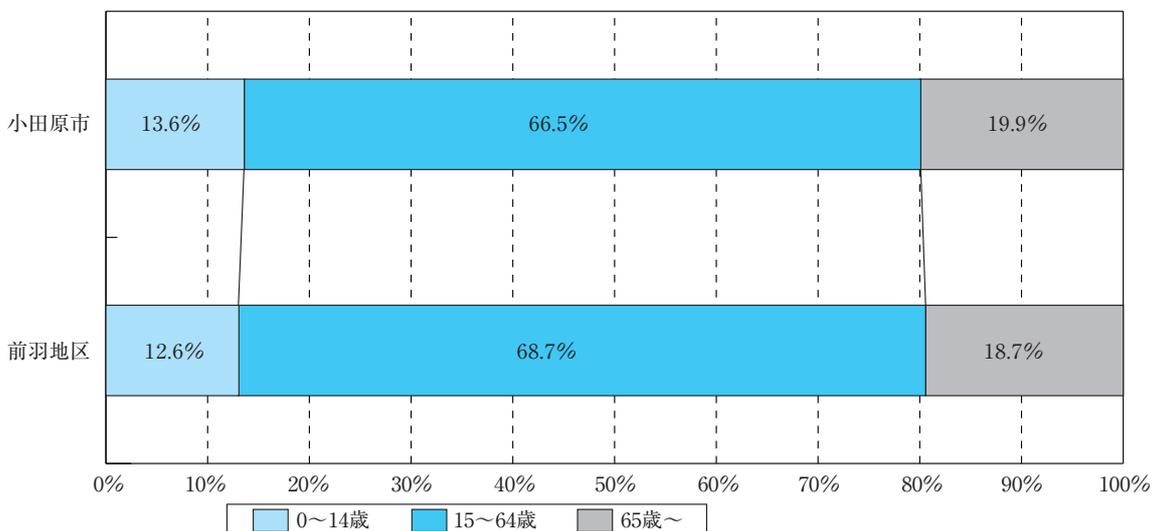
年齢3区分人口の割合を小田原市全体と比較しますと、ほぼ小田原市全体と同じ割合ですが、年少人口割合がやや少なく、一方、生産人口割合がやや多くなっています。

1980年からのおよそ30年間の世帯数・人口の推移に目を移しますと、世帯数・人口ともに小田原市全体の増加率よりも高い増加率を示しています。

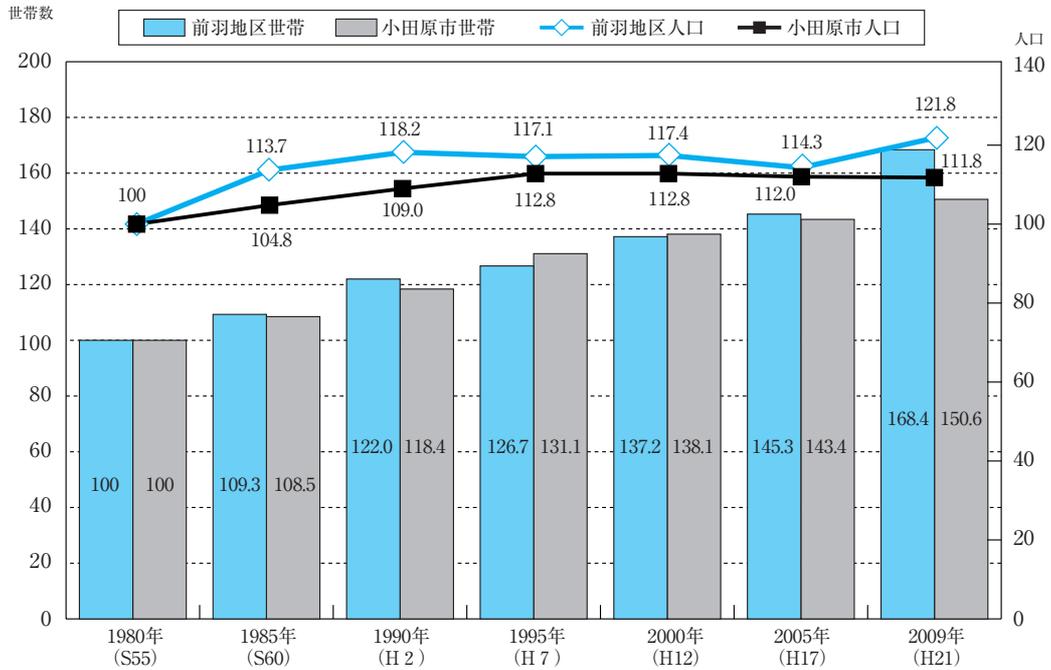
年齢構成



年齢3区分人口の割合比較 (平成17年)

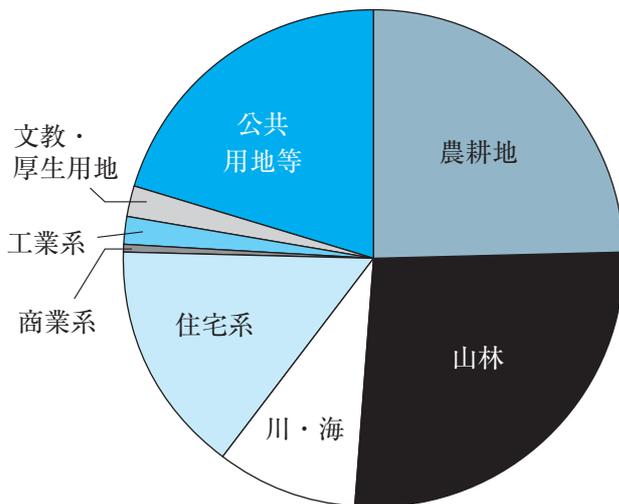


前羽地区と小田原市の世帯数・人口の推移



### 3 土地の利用状況

土地利用状況の割合を小田原市全体と比べると、下図に示すように「農耕地」、「住宅系」などの割合が高く、一方、「山林」、「商業系」の割合が低くなっておりま  
す。とりわけ鉄道用地、道路用地や公園の「公共用地等」の割合が小田原市全体の  
2倍近くになっているのが、前羽の特徴です。



区 分	前羽地区	小田原市
農耕地	24.6%	20.4%
山林	26.6%	42.0%
川・海	9.1%	6.0%
住宅系	15.1%	13.3%
商業系	0.5%	2.1%
工業系	1.8%	2.9%
文教・厚生用地	2.0%	2.7%
公共用地等	20.3%	10.6%
合 計	100%	100%

## 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

前羽は、気候が温暖で、海などの自然があり、また、国府津駅に近く、明治から昭和初期にかけて大隈重信などの名だたる政財界人の別荘地として利用されていました。

1889年（明治22年）に前川村、羽根尾村、川匂村の一部が合併して前羽村となり、1955年（昭和30年）には下中村と前羽村が合併して橘町が誕生しました。大字前川は国府津を挟んで東西に分かれていたため、西側の前川（現在の消防本部～シティーモール付近）は小田原市に囲まれた飛び地となっていました。その後、1971年（昭和46年）に小田原市に合併し、現在に至っています。

前羽は温州みかんの特産地でもありました。紀州みかんとの違いは、温州みかんは酸味があり、長持ちするので、年を越えてから出荷していました。

相模湾は魚の種類が豊富で、昭和30年代くらいまでは、ぶり定置網漁、しらす地引網漁などで漁業が栄えていました。今も、袖ヶ浦、五ッ浦などの地名が残っており、海のまちとしての名残があります。また、加工業も盛んで麴を入れた塩辛や、袖ヶ浦には塩畑があったため、梅干など塩を使う漬物業が栄え、現在も続いている事業者があります。

海だけでなく山もある前羽では、水量が豊富な坊山の水を利用するために簡易水道を敷設しました。その水源は今も残っており、きれいな水が流れる清流のため、数年前からホタルが見られるようになりました。

戦前から昭和20年代初期にかけては、道祖神の祭りの際に、6つの山車をつくり、中に藁で作った人形を飾り、その山車は町内を引き回したあと中宿公民館付近に並べ、その出来栄を競っていました。現在は、3箇所での祭りが行われています。翌日にはどんど焼きを海岸で行い、町内安全を祈願しています。

西湘テクノパーク内に、羽根尾貝塚と羽根尾横穴墓群があります。羽根尾貝塚は、今から5350～5750年前の縄文時代前期の貝塚と泥炭層からなる遺跡です。この貝塚は水分と有機質を含む泥炭層と呼ばれる土の中に形成されており、通常の遺跡では腐ってしまうような漆塗りの木製容器などが良好な状態で出土されました。羽根尾横穴墓群は約160基あります。既に開口されたものが多く、遺物は土師器など少数ですが、7世紀から奈良・平安時代のものであるといわれ、こゆるぎに展示されています。



羽根尾横穴古墳

## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

地域住民の価値観・ライフスタイルが多様化し、地域との連携がやや希薄になっており、各種行事の参加者や、各団体の役員の成り手が少なく、また、退職年齢の引き上げで、高齢者が役員を担っていることが多くなっています。

防災では、災害時に活動する団体の担い手の確保が困難になってきています。また、最近では個人情報を出してもらうことが難しくなっており、災害弱者の把握や安否確認のための世帯構成の把握など難しくなっています。

生活環境では、カラスに荒らされるごみステーションへの対策や、車からのポイ捨て、不法投棄、犬のフンを片付けないなど、マナーの問題への対策が必要となってきています。

### ◆道祖神祭りの山車の人形（昭和31～33年頃）

南部坂雪の別れ



坂下道祖神

與右衛門かさね



東道祖神

曾我の夜討



寺前道祖神

忠水  
臣一  
角蔵



坂口道祖神

玄治店の場



大西道祖神

良弁杉  
鷺にさらわれる場



小西道祖神

## はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～ できることから始めよう ～

## 文化・教育・福祉

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>◆地域は海岸に接しているといった特色を生かして、キス釣り大会を行っています。</p> <p>➤学校に呼びかけて参加者を募っていますが、参加者が少ないのが実情です。</p>	<p>*子どもたちに自然とのふれあいを通して、自然の大切さを学ぶ機会と捉えて、こうした活動を続けていきます。</p> <p>*学校を通して呼びかけを続けるとともに、釣り方の講習会を開催して、まだ釣りを経験したことのない人にも参加してもらうなど、関心を高め、参加者の拡大を図っていきます。また、つり竿のない人も気軽に参加できるように、主催者がつり竿などの道具を用意して貸し出す方法や、子どもたちも楽しく参加できるように内容に工夫して参加者を増やしていきます。</p>
<p>◆「いきいき健康事業」や世代間交流事業、未就園児グループ「キラキラ星」と一人暮らし高齢者とのふれあい事業など、高齢者の介護予防に向けた事業展開をしています。</p> <p>➤地域福祉への更なる貢献をするため、活動を活発にすることが必要です。</p>	<p>*事業への参加者を増やすことで、活動の活発化を図ります。</p> <p>*毎年同じ内容で行うのではなく、参加者が参加しやすいように、常に事業内容を見直していきます。</p> <p>*広報にも力をいれながら、参加者やご近所同士の誘い合いや口コミを利用して参加者を増やしていきます。</p>
<p>➤前羽地区健民祭、球技大会など、各種スポーツ大会を開催していますが、参加者集めに役員の方が苦勞しているのが実情です。</p> <p>◆前羽地区健民祭には、中学生がボランティアとして参加し、準備や放送などを担当しています。</p>	<p>*健康と交流のために、こうしたスポーツ大会を続けていきます。</p> <p>*健民祭、球技大会など、各種スポーツ大会については、競技内容や種目などを工夫して参加者が増えるようにしていきたいです。</p>

<p>◆小学校では「優しさ」と「学力」・「たくましさ」を育てています。地域の力をお借りして安心して、安全な学校生活を送ることができています。</p> <p>◆運動会や学習発表会などの学校の行事に地域の多くの方に参加していただいています。</p> <p>◆地域の方にも、学校に対する意見（特に厳しい意見）を言っていただけると助かります。</p>	<p>*情報公開を進め、保護者・地域の方と子どもが一緒に協力し合える学校行事を工夫していきます。</p> <p>*地域の行事に多くの子どもが参加し、地域とともに子どもを育てていけるように、学校も協力します。</p> <p>*職員の地域行事への参加をより進めていきます。</p>
<p>➤前羽小学校は、児童数が少ないため、保護者の約半数がPTAの役員になっています。</p> <p>➤幼稚園児、中学生、高校生を持つ保護者が、重複して役員を受けざるを得ない状況にあります。</p>	<p>*組織の縮小を検討しましたが、一人の負担が多くなってしまうことも考えられるため、現状を維持していきます。</p>
<p>◆前羽小学校のプールは、夏休み期間中に児童が利用できるように開放されています。</p> <p>◆プール利用者の安全確保のために、指導員のほか、保護者が監視当番を行っています。</p>	<p>*保護者の理解を得て、継続していきます。</p>
<p>➤前羽地区は、前羽連合子ども会と単独の子ども会がありますが、単位地区の子ども会では、子どもの数が減少しているため、活動のあり方を見直す必要があります。</p>	<p>*子どもの数が少なくなっていく傾向は、今後も続くと思われていますので、前羽地区として一つの子ども会を持つなど、地域の子どものあり方について検討していきます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>◆江戸中期のころの地図では、前羽地区は、沿道にたくさんの道祖神がありました。</li> <li>◆現在でも道祖神祭りとどんど焼きを行っています。</li> <li>◆地蔵尊を各家に宿泊させて持ち回る「廻り地蔵」は、5つの地区で行われています。</li> <li>◆こうした地域の伝統文化に対する関心が薄れてきています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地域に伝わる古い伝統文化は、今後も大切にし、継承していきたい。</li> </ul>
---	--

## 生活環境・防災・防犯

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆毎年7月の海の日に前羽海岸クリーン作戦を実施しています。</li> <li>◆地域住民のほか、幼稚園児、小学生、中学生及び先生が参加していますが、今後も更に参加者を増やしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*海岸に沿っている自治会連合会が、「海の日」に一斉に行えば、環境美化を効果的に行うことができる。また、PR効果も期待できるので、自治会総連合と市への協力を働きかけていきます。</li> <li>*広報おだわらや地域情報誌などで取り上げてもらえるようPRをしていきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆催事のときや年末などに、子どもの安全、地域の安全を守るためパトロールを実施しています。</li> <li>➢夜道が暗くて、歩いていて危険を感じる箇所もあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*年末のパトロールについては、消防団と青少年健全育成協議会とが別々に行っていましたが、今後は連携して実施します。</li> <li>*犯罪を未然に防ぐため、市による防犯灯設置補助制度を活用していきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自治会連合で、年1回防災訓練を実施し、避難訓練や被災者に対する応急処置方法などの訓練をしています。</li> <li>➢災害時に活動する消防団や日赤奉仕団などの担い手の確保が困難になってきています。</li> <li>➢「災害弱者」の把握と、どのように対応したらよいかなどの課題があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*災害時への関心が高まってきているので、全体的な訓練だけでなく、単位自治会としての防災訓練も検討していきます。</li> <li>*発災時において、災害弱者を速やかに避難させるため、自治会と民生委員が協力して活動できるよう、日頃から災害弱者の把握に努めるとともに、連携を密にしていきます。</li> </ul>

<p>➤防災は、自治会における最重要課題であり、災害時の確認のため、平時より世帯構成などを把握していきたいですが、最近は個人情報を出してもらうことが難しくなっています。</p>	<p>*出前講座を利用して、個人情報の取り扱いについて、関係者や地域住民に正しく理解してもらいます。</p>
<p>➤カラスに荒らされているごみステーションが多く見受けられます。</p> <p>➤車からのポイ捨て、海岸や堤防管理用通路（地域では「海岸道」と言っています。）、農道に缶やごみを捨てる人がいて困っています。</p> <p>➤放置自転車や不法投棄が増えて困っています。</p> <p>➤犬のフンを片付けない人など、マナーの悪い人がいます。</p>	<p>*ごみステーションへの見回りやネットの設置や整備をするなどにより、ごみが荒らされないようにします。</p> <p>*放置自転車や不法投棄の見回りを強化することを検討していきます。</p>

## 地域振興

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>◆橋商工会は、毎年4月と11月に「橋ファミリーフェスティバル」や地場産まつりを開催し、地域の活性化を図っています。</p> <p>◆また、橋商工会青年部が平成21年度に初めてとなる「みんなの花火」を羽根尾の調整池で行いました。</p>	<p>*橋商工会は、こうした活動を継続するとともに、橋南連合自治会との連携を更に深めていきます。</p> <p>*地域住民との交流を促進し、各種活動のPR、活動への理解を得ていくとともに、地域の活性化に協力していきます。</p> <p>*機会を捉えて、各自治会長への商工会のまちづくり活動への出席をしていただくようお願いをしていきます。</p>
<p>◆西湘テクノパークの羽根尾地区には、新たに11の企業が進出しており、西湘テクノパークとの連絡調整が図れる仕組みが必要とされています。</p>	<p>*西湘テクノパークにある企業との連絡窓口を設け、連絡調整を行っていきます。</p>

<p>◆農業と商工業に青年層の組織があります。今後は、商工青年と農業青年との連携を深め、地域産業の活性化を進めていきたいです。</p> <p>➤古くからみかん栽培が行われてきましたが、担い手の減少が課題となっています。</p>	<p>*商工青年と若手農業者とが交流を持ち始めており、今後はこれを発展させ、商工・農業の連携を深めながら、地域産業の活性化を図っていきます。</p>
<p>◆戦中・戦後の前羽の出来事を中心に、前羽の歴史をまとめて、残していきたい。</p> <p>◆地域の歴史に詳しい方から、地域の記憶を聞いていく必要があります。</p>	<p>*橘商工会の協力のもと、橘地区の観光マップをリニューアルし、ウォーキングなどに活用できるものを作成していきます。</p> <p>*地域の出来事集を作成するときは、メンバーを地域の人の中から幅広く求めるほか、古い写真や記録文書などの資料の提供や地域の歴史に詳しい方に聞き取りをしていきたいです。</p>

## 前羽地区まちづくり検討委員会

### 委員長

椎野 禎章 (向原自治会長、橘南地区自治会連合会長)

### 副委員長

石塚嘉一郎 (橘南社会福祉協議会長)

### 委員

大曾根政志 (橘南青少年健全育成協議会長)

遠藤芙美枝 (民生委員児童委員協議会長)

椎野 純雄 (前羽体育振興会長)

椎野 祐寛 (前羽長楽会長)

椎野ウタ子 (日赤奉仕団前羽分団長)

小野澤藤一 (橘商工会長)

石塚 雄一 (22分団部長)

中村 孝 (前羽小学校長)

北村 千波 (前羽小学校PTA会長)

石塚 美栄 (前羽連合子ども会長)

大木 徹 (西一区自治会長)

大曾根哲夫 (西二区自治会長)

池田 政孝 (J R自治会長)

廣澤 朗光 (中宿自治会長)

椎野 亨 (町屋自治会長)

田代 賢二 (押切自治会長)

渡辺徳太郎 (羽根尾自治会長)

平成22年2月作成

# 地域別計画

## ～ 橘北地区 ～



橘北地区まちづくり検討委員会

# 歴史溢れる長寿の里 たちばな北

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

## 1 地域の地理状況

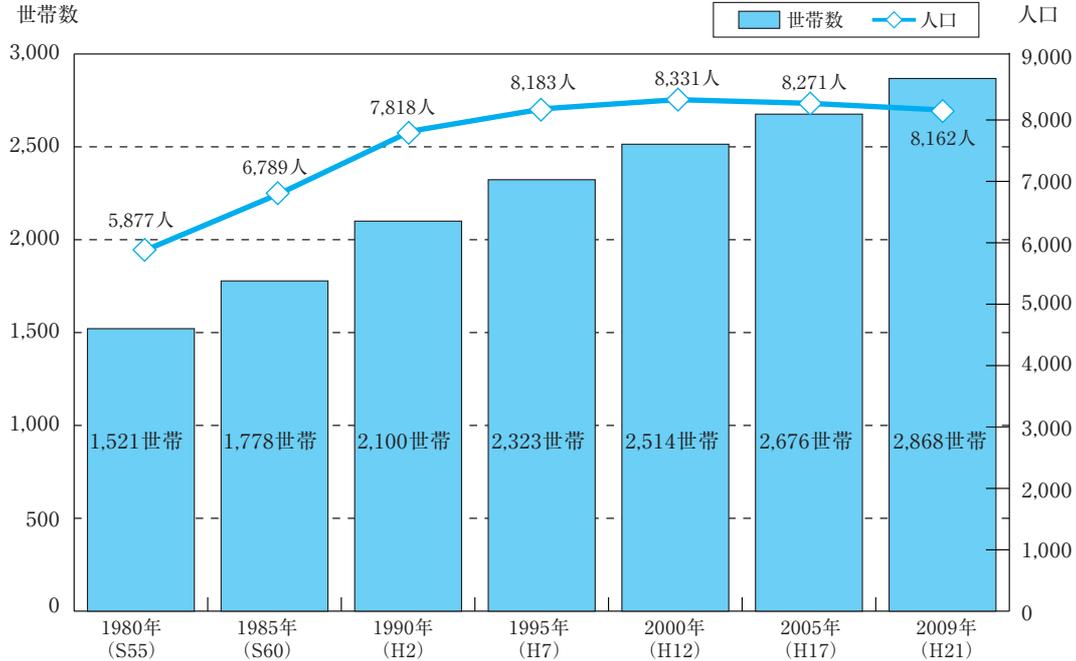
橋北は、小田原市で一番東に位置し、東は二宮町に接し、北は中井町に接しています。南北に県道中井羽根尾線が通っており、東西には小田原厚木道路が通っており二宮インターが近くにあります。



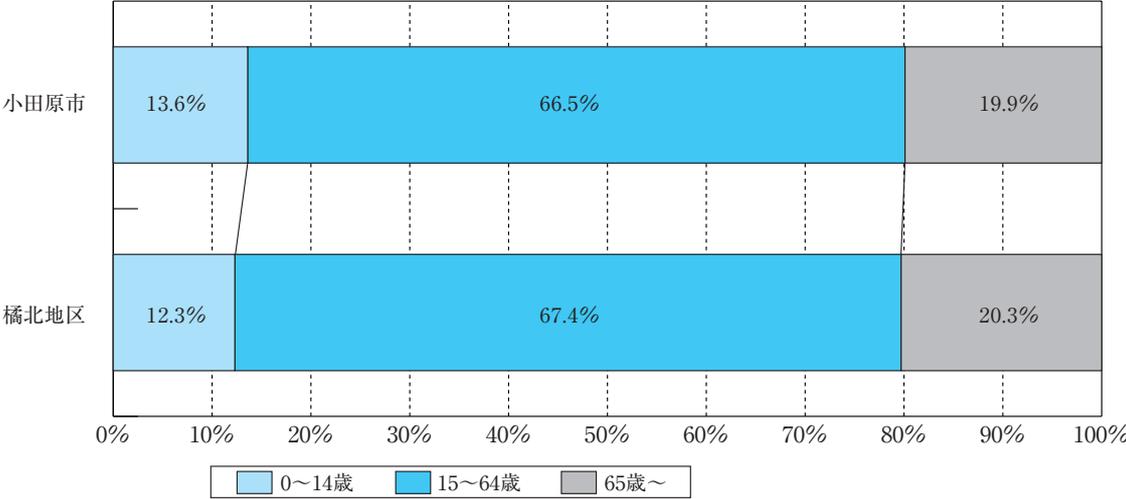
## 2 地域の人口・世帯

1980年（昭和55年）と比較すると、2009年（平成21年）で地域の人口は約39%増加し、世帯数は約88%増加していて、人口の増加が著しい地域です。人口は1980年（昭和55年）から増加をしていき、2000年（平成12年）の8,331人をピークにゆるやかに減少しています。世帯数は増加し続けており、新たな住宅が多く建設されたことが伺えます。1世帯あたりの人数は1980年（昭和55年）の約3.8人から、2009年（平成21年）の約2.8人と減少しています。

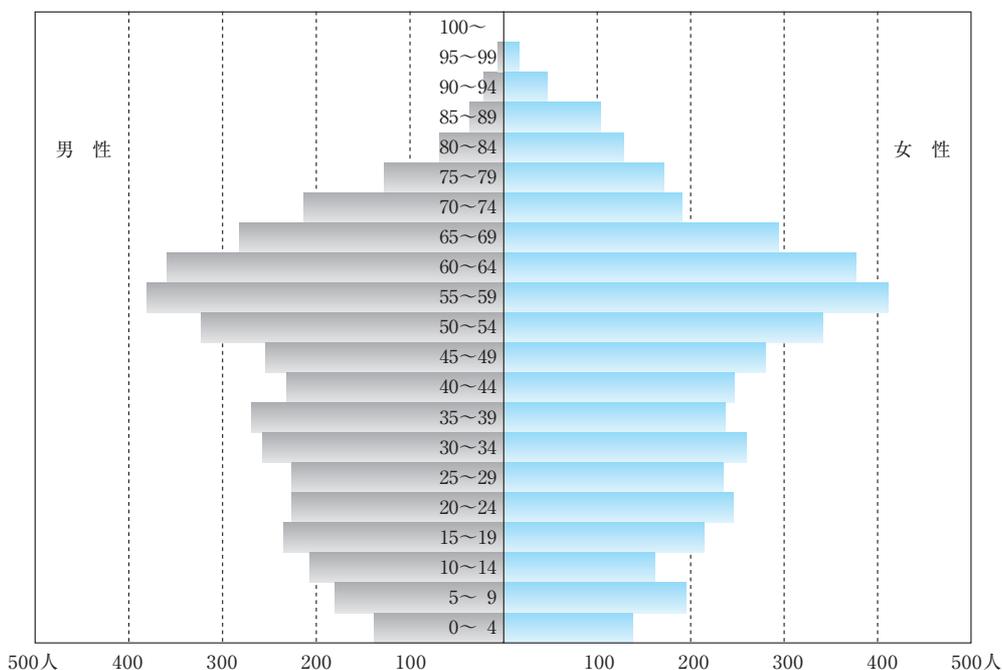
橘北地区の人口と世帯数の推移



小田原市と橘北地区の年齢3区分人口割合の比較（平成17年）



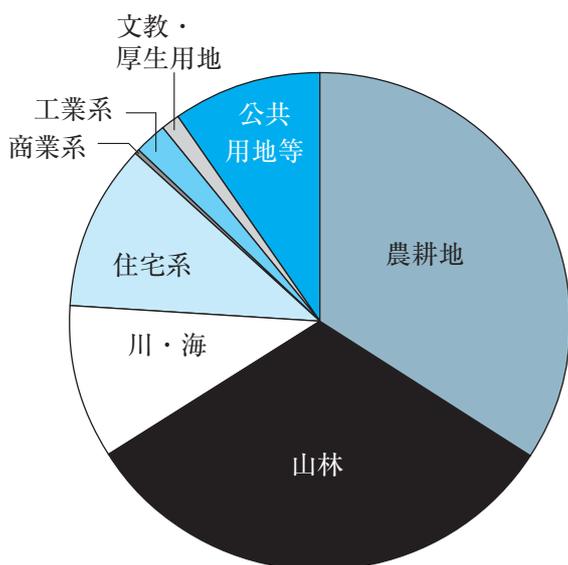
橘北地区の人口ピラミッド（平成17年）



### 3 土地の利用状況

農耕地と山林を併せると全体のおよそ66%を占め、続いて住宅系、川・海、公共用地等がそれぞれおよそ10%となっており、自然がとても豊かな地域であるのがわかります。

反面、商工業系などが少ない地域です。



区分	割合
農耕地	34.1%
山林	31.9%
住宅系	10.8%
川・海	10.0%
公共用地等	9.6%
工業系	2.1%
文教・厚生用地	1.2%
商業系	0.3%
合計	100%

## 地域の誇り（特色） ～ これからも大切にしよう ～

## 相模人形芝居下中座

相模人形芝居は一体の人形を三人の遣い手が操作する人形浄瑠璃です。

下中座は、江戸時代中頃から小竹の人形として知られてきました。天保の改革による諸芸禁止により中断しましたが、天保の改革終結後、再興が図られ活動が続けられました。



明治28年当時、活動が続けていた長谷座、林座（ともに厚木市）、下中座の三座は「相模人形芝居」の名称のもとに、神奈川県無形文化財に指定されました。さらに、この三座は相模人形芝居連合会を結成し、昭和55年、国の重要無形民俗文化財に指定されました。

## 下中たまねぎ



橘北は、畜産・農業が盛んな地域であります。

この地域は、海底が隆起してできた土地なので、自然の恵みによる肥沃の土で育てた「下中たまねぎ」は甘みが強く、小田原の特産の一つとなっています。

平成13年度から荒廃農地対策として、一般家庭の方が畑の一角のオーナーとなり、定植から収穫まで行う「たまねぎのオーナー制」が始まり、多くの方がリピーターとなっています。

## 橘ブルーアイズ

平成17年秋、小学生の通学途中に変質者が現れるという事件が発生したため、地域を挙げて防犯活動に取り組むことになりました。

平成18年3月には青少年健全育成協議会が中心となって「橘ブルーアイズ」を立ち上げました。「橘ブルーアイズ」は小田原市内で初めて認定された青パト（青色回転灯装備車）を使用し、地域の安全・安心を守るためパトロールに取り組んでいます。



## 地域の困ったこと（課題） ～一人ひとりの気づきから～

橘北は、他地区と同様に高齢者の割合が多くなってきています。農業が盛んな地域ですが、後継者不足によって荒廃農地が増えてきています。地域内で活動を行っている各種団体の役員も高齢化し、次の担い手をどう育てていくかが課題となっています。

閑静な住宅地としてとても住みやすいですが、鉄道の駅から離れており、路線バスの便数も少なく、車を運転できない方にとって、外出は大変な労力を要します。

南北に県道中井羽根尾線が通り、国道1号と中井町、小田原厚木道路二宮インターと繋がっているため、地域外からの車が非常に多く通行します。県道中井羽根尾線は道幅が狭いのですが、ダンプカーなどの大型車が多く通り、また、歩道がないため、特に小学生の登下校には危険が伴います。

また、大規模災害はいつ起こるかわかりませんが、災害時には、特にこの地域では「自助」「共助」が大切となります。いざという時に備えて地域の防災訓練に参加し、日常的あいさつや地域活動を通じて地域の人と関わりを持つことで、お互いに助け合える関係を築いていかなければなりません。

はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～ できることから始めよう ～

## 総論

人口減少や少子高齢化の社会を迎える中、橘北地区が今後も発展し続けていくためには、現在の自然環境を保ちながら、安心、安全なまちづくりを行う必要があります。そこで、公共施設や道路の整備、交通手段の確保（新たな駅の設置など）により、住み良い生活環境を整えつつ、人口の増加を図って行きたいと考えています。

そのための働きかけを行いながら、地域としても、あいさつなどの励行により顔が見える関係を築きつつ、ボランティアの活用のほか、地域活動への参加者同士や若い世代とのコミュニケーションづくりを進め、「地域活動は地域への恩返しである」という意識の醸成を図っていきます。

また、農業が盛んであるという特色を活かし、都市住民との交流をめざす観光農業に向けた取組みを進めるなど、地域の力を最大限発揮して、自然・歴史と住環境と人の心が調和した、住む人にとって住みよく、訪れる人にとっても暮らしたいと思える「まちづくり」を進めていきたいと考えています。

## 生活・環境

### コミュニケーション

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>★住民同士のコミュニケーションの促進を図るため、自治会を中心に各種団体が活動を行っています。</p> <p>★自治会役員が高齢化しており、定期清掃を行うのは難しいといった声が聞かれます。</p> 	<p>*ボランティアネットワークなどが、他団体と繋がりを持ち、情報を得られるように努力していきます。</p> <p>*地域活動は自治会を中心に行っていますが、担い手の高齢化やニーズが多様化する中では、既存の組織だけでは対応し切れません。地域の中で、地域活動の担い手を育て、組織化したり、手助けをしていく仕組みなどを検討していきます。</p> <p>*さらに高齢化が進んだときに、清掃活動を自治会有志で行うか、NPO等の協力を受けながら活動を続けていく等の対応策の検討を行っていきます。また、清掃活動には、清掃活動が出来なくとも出てくることにより、高齢者とのコミュニケーションが取れますので、顔を出してもらうことがとても大切です。そのため、高齢者などは参加して世間話だけでも良いという考えを浸透させていき、気軽に参加しやすい雰囲気づくりを行っていきます。</p>

<p>➤小学生はあいさつが良く出来ますが、大きくなるにつれ、道ですれ違ってあいさつをするという意識が希薄になっています。また、あいさつを励行するために「あいさつ運動」を行っていますが、この活動を知らない人が多いです。</p>	<p>*あいさつは、顔が見える関係を築くなどコミュニケーションだけでなく、防犯上も効果がありますので、地域にあいさつの輪を広げていきます。その際、防犯帽子や防犯ベスト等を着用していると、相手方もあいさつを返しやすいため、防犯グッズを身につける習慣を促していきます。</p>
<p>➤橋環境ボランティアクラブや各種ボランティアなど地域活動が盛んですが、年々担い手が減ってきており、活動継続のための方法を考える必要があります。</p>	<p>*定年退職後の人には、知恵と経験を生かした地域活動を行って欲しいので、地域活動をしたことがない人にも参加しやすいきっかけを作るよう検討していきます。</p>
<p>★バザーの際、独楽回しなどの昔遊びを行ったり、竹とんぼや草鞋づくりを行うなど、高齢者と子どものコミュニケーションがとれる機会が多くあります。</p>	<p>*学校を通じて地域コミュニティを醸成するため、スクールボランティアなどをして学校に入ってきてもらい、子どもと触れ合うことで、地域の子どもの地域で育てる意識が芽生えるような環境づくりを検討していきます。</p> <p>*高齢者にとっても、学校で子どもの声を聞くことが健康に良い影響を与え、また、学校で子どもと遊ぶことで、子どもからあいさつをしてくれるなどの効果もありますので、積極的に学校へ入っていく意識を持っていきます。</p>

## 自然環境

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>★開発が進み、以前に比べると住宅が増えています。また、まだ田舎の良いところが残っています。</p>	<p>*開発の許可などは行政がするものですが、乱開発などが行われないように、住民も自分たちの住んでいる地域に関心を持ち、地域についての情報の収集を行うよう努力いたします。</p>
<p>★橋北は、里山や棚田が残っており、また、ホタルの生息地があるなど、美しい自</p>	<p>*ホタルの生息地を守るため、河川をなるべくコンクリートにしないように働きかけます。また現在ボランティアで、巻貝・カワニナの繁殖に力をいれています。</p>

<p>然が残されています。</p> <p>➤美しい里山が残っていますが、近年、荒廃農地が増えてきて、里山が荒れ始めています。</p>	<p>で、このような活動を続け、引き続きホタルが住める環境を維持していきます。</p> <p>*中村川については、桜などを植樹することで、通学路やウォーキングコースなどに活用することを検討していきます。</p> <p>*棚田については、清掃グループが清掃活動を行って、棚田の保全を行っていますので、活動を続けていきます。</p> <p>*侵入竹林などを伐採し、炭焼き会に提供して炭にして有効活用を図るなど、他団体との連携を上手く取りながら、里山再生の方法を検討していきます。</p>
--	---

### ごみ出しルール

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>➤ごみ出しのルールを守らないため、回収されないごみがあり、カラスなどに荒らされる原因となっています。</p>	<p>*小田原市で行っているごみの環境調査の結果を広く住民に周知・徹底し、ごみ出しルールの啓発に努めていきます。また、市の出前講座を利用して、ごみの分別への理解を深めていきます。</p>

## 地域振興

### 農業

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>★昔に比べ、開発が進んで農地が少なくなっていますが、橘北はまだまだ農業が盛んな地域です。</p>	<p>*「下中たまねぎ」は、オーナー制度によって多くの人が、定植から収穫まで楽しめる仕組みがあり、耕作面積が年々増えていますので、さらにオーナーが増えるように、農協や市などと協力を密にし、PR活動をしていきます。</p> <p>*定植祭と収穫祭を盛り上げ、更なる集客力の向上を図るため、地域の方々にも手伝ってもらえるような仕組みづくりを検討していきます。</p>
<p>➤橘北は、農業がさかんですが、農作物の価格が不安定などの理由により、自活が難しいことがあるため、農業の後継者が育ちにくい状況です。</p>	<p>*世界的な観光地としての箱根に近く、小田原厚木道路のインターの隣接地となっており、交通の利便性を利用した観光農業を振興するため、インターネットを活用した情報発信や空き家を利用した週末滞在型農業などにより、地域の農（酪農）業の活性化を図る方策を研究していきます。</p>

<p>➤ 農業の後継者不足のため、 荒廃農地が目立ってきて います。</p>	<p>* 荒廃農地対策の一つとして、菜の花を植え、収穫した 菜種を食用油として利用し、さらにその廃油を市がリ サイクルする仕組みづくりに取り組んでいます。自然 に優しい環境づくりにむけて、今後も継続していきま す。</p>
--	---

## 商 業

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>★橋商工会は、毎年4月と11 月に「橋ファミリーフェス ティバル」や地場産まつり を開催し、地域の活性化を 図っています。</p> <p>★また、橋商工会青年部が平 成21年度に初めてとなる 「みんなの花火」を羽根尾 の駐車場で行いました。</p>	<p>* 橋商工会は、こうした活動を継続するとともに、自治 会との連携を更に深めていきます。</p> <p>* 地域住民との交流を促進し、各種活動のPR、活動へ の理解を得ていくとともに、地域の活性化に協力して いきます。</p> <p>* 機会を捉えて、各自治会長への商工会のまちづくり活 動への参加をしていただくようお願いをしていきま す。</p>
<p>★橋北地区には、農業と商工 業に青年層の組織がありま す。今後は、商工青年と農 業青年との連携を深め、地 域産業の活性化を進めてい きたいです。</p> <p>➤古くからみかん栽培が行わ れてきましたが、担い手の 減少が課題となっています。</p>	<p>* 商工青年と若手農業者とが交流を持ち始めており、今 後はこれを発展させ、商工・農業の連携を深めながら、 地域産業の活性化を図っていきます。</p>

## 文化・教育

## 伝統、伝統行事

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>★どんど焼きは、地域コミュニティを支える行事として、自治会や子ども会などが中心となって盛んに行われています。地域の人々が集まって主催するところもあります。</p>	<p>*どんど焼きでは、トン汁を作ったり、餅つきを行ったり、団子を大人と子どもと一緒に作ったりするほか、最後に焚き火を消すときに水消火器を使用して、消火訓練を同時に行うなどの工夫をし、さらなる参加者の増加に努めています。</p>
<p>★神奈川県無形文化財及び国の重要無形民俗文化財に指定されている「相模人形芝居 下中座」や市指定無形民俗文化財の「白髭神社の奉射祭」など、伝統を受け継いでいる地域であります。</p> <p>★子どもがういろう売り口上を行っています。</p>	<p>*「相模人形芝居 下中座」のような伝統を小中学生の生徒に教え、次代に伝えていく努力をします。また、地域の伝統行事を次代に伝えようとしている人たちと連携し、地域として協力していけるような体制づくりをしていきます。</p> <p>*地域活性化の一つとして、ういろう売り口上を小学生などに教え、各種行事に参加するなど、今後その啓発に努めています。</p>

## 地域文化

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>★中学校では地域を知るための授業が有り、シルバー大学歴史観光コースを卒業した方が、スクールボランティアとしてガイドを行っています。</p>	<p>*地域の史跡を子どもへ教えることは大変重要ですので、こうした活動を継続し、住民にも、この地域の史跡を知る機会を増やしていきます。</p>
<p>★小中学校は地域のために体育館を解放しており、住民が利用しています。</p>	<p>*ボランティアのために空き教室を開放するなど地域に開かれた学校が実現できていますので、今後は、図書室なども開放し、さらに多くの住民が学校へ訪れるよう、学校と話し合っていきます。</p>

<p>★子どもたちのために地域の方々が協力をし、スクールボランティアを行っています。また、環境ボランティアが中心となって縄跳び、卓球、将棋、手芸、書道、読み聞かせなどを行っています。</p>	<p>*開かれた学校と、安全・安心の確保の両立は難しいですが、学校を中心とした地域づくりを行い、気軽に地域の人が学校に顔を見せに行けるよう、地域と学校の連携を強め、スクールコミュニティを形成していきます。</p>
---	--

## 防災・防犯

### 防 災

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>➤災害時の対応は、自助・共助・公助ですが、共助の体制を保つのに若い人が不足しています。</p>	<p>*若い人に頼っていても、昼間に発災したときなどは地域に若い人がいないことが想定されますので、日頃の防災訓練でも若い人がいないことを想定して行い、また、消防団や防災リーダーOBの活用など、地域で災害に対応できる仕組みづくりを検討していきます。</p> <p>*普段地域にいる、小学校高学年や中学生の協力を得られれば、心強いですので、普段から防災訓練に参加してもらえるようにしていきます。</p> <p>*地区内の事業者の協力を得て、昼間の発災時に若い人を動員できるような協力体制を整えていくことを検討していきます。</p>

### 防 犯

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>★小田原厚木道路の二宮インターが近くにあり、地域以外の車輛の往来がとても多いという事情のため、防犯・交通安全に対する意識が高く、小田原市内で初めて認定された青パト（青色回転灯装備車）を使用した「橘ブルーアイズ」が結成され、パトロールに取り組</p>	<p>*橘ブルーアイズが地域の防犯活動に大きく貢献していますが、より高い防犯効果を生むため、自治会・各種団体などの細やかな見回り活動と連携を深めていきます。</p> <p>*防犯の目が光っているというアピールも大事ですので、地域で防犯の目が光っていることを周りから見て分かるように、パトロール以外のウォーキング、散歩などのちょっとした外出時でも防犯帽子や防犯ジャケットを着用することを意識していきます。</p> <p>*地域住民の顔が見える関係も防犯に役立ちますので、</p>

<p>んでいます。</p> <p>★学校の周りでは、PTAと民生委員児童委員とボランティアが毎日10人以上で協力をして、見回り活動を行っています。</p>	<p>普段からの路上でのあいさつや登下校時の児童への声かけなど、コミュニケーションを心がけていきます。</p> <p>*定年退職した人を中心とした、地域で子どもを見守る仕組みづくりをしていくため、地域活動に参加しやすい環境をつくっていきます。また、一人ひとりの負担を減らすため、保護者にも協力してもらうように働きかけをしていきます。</p> <p>*健康づくりのために散歩をする住民が増えているので、歩きながらでも見守りができるような意識の向上を図っていきます。</p>
---	---

## 健康・福祉

### 子育て

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>➤こゆるぎの完成により、幼児とその保護者が利用する子育てサークルの活動の幅が広がり、親子と一緒に参加することができるものが多くなっています。</p> <p>➤小学生の子ども同士が集まって遊んだり、上級生が下級生の面倒をみるなどの子ども同士の関係が希薄になってきました。</p>	<p>*子育てボランティアの活動を推進し、地域における子育て支援を充実していきます。</p> <p>*子どもが安心して遊べる場所を地域でつくっていきます。</p> <p>*放課後の学校を利用して、子どもの居場所づくりを進めていきます。</p> <p>*お祭りや子ども会の活動などを通じて子ども同士の絆を強めていくとともに、子ども自身が企画運営するような行事など、上級生が下級生の面倒を見ていくような関係づくりのための地域行事の実施を検討していきます。</p>

### 高齢者

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>➤これから地域内に高齢者が増加することが予想されますが、高齢者の持っている知恵と経験を地域のために発揮できる機会が少ないです。</p> <p>➤一人暮らしの高齢者が増えており、地域での見守りを厚くする必要があります。</p>	<p>*地域活動のPRと声かけによって、活動の楽しみを見出し、高齢者自らが地域活動に参加するためのきっかけをつくっていきます。</p> <p>*地域活動は、地域への恩返しであるという意識の醸成と参加者同士のコミュニケーションづくりを図っていきます。</p>



## 橘北地区まちづくり検討委員会

### 委員長

飯田 秀美

### 副委員長

石塚 八朗

### 委員

大澤 正忠    小澤 守    清水 金蔵    曾我 義夫    渡辺 征男

### 協力団体

中村原第1区自治会

中村原住宅自治会

小船第1区自治会

小竹下自治会

小竹脇自治会

上町自治会

さつきが丘自治会

消防団第22分団

橘北地区社会福祉協議会

橘北ボランティアクラブ

下中幼稚園

橘北青少年健全育成協議会

中村原第2区自治会

中村原第6区自治会

小船第2区自治会

小竹打越自治会

明沢自治会

橘団地共同自治会

湘南橘台住宅自治会

交通安全協会橘北支部

中村原寿会

下中小学校

橘中学校

湘南橘駅（仮称）設置期成同盟会

中村原第3区自治会

中村原第7区自治会

山西自治会

小竹坂呂自治会

沼代自治会

橘団地一般住宅自治会

若葉台自治会

橘北地区体育振興会

民生委員児童委員協議会

下中小学校PTA

小田原市橘商工会

平成22年3月作成

# 市民の力で未来を拓く希望のまち

## 地域別計画

平成23年3月 発行

発行  
小田原市

編集  
小田原市企画部企画政策課  
〒250-8555 小田原市荻窪300番地 電話(0465)33-1255

印刷 朝日オフセット印刷株式会社